大東市埋蔵文化財調査報告第20集

中垣内遺跡

－関西電力株式会社架空送電線鉄塔（No.24）建替え等に伴う発掘調査報告書－

２００４年３月

大東市教育委員会

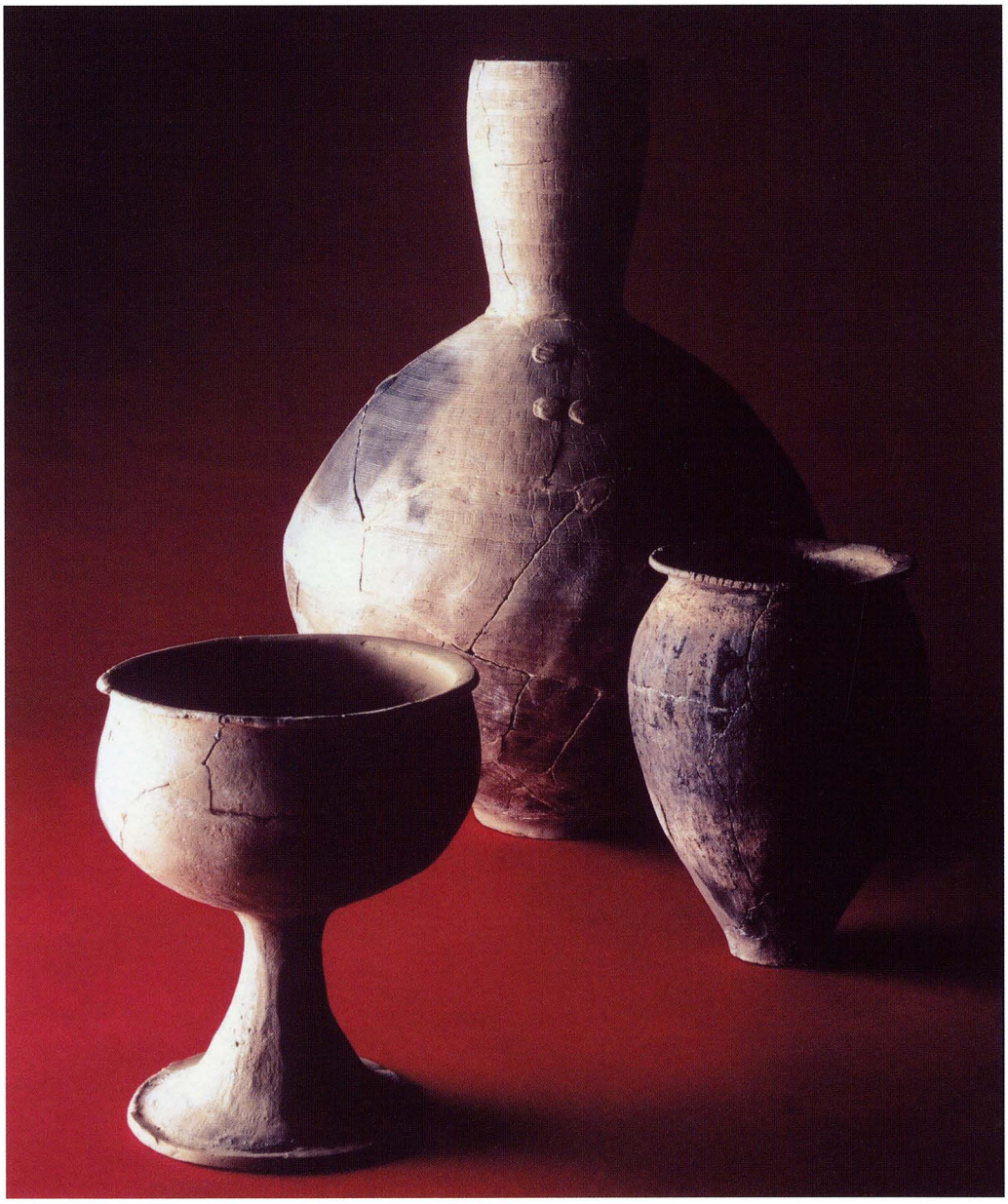
大東市埋蔵文化財調査報告第20集

中　垣　内　遺　跡

－関西電力株式会社架空送電線鉄塔（No.24）建替え等に伴う発掘調査報告書－

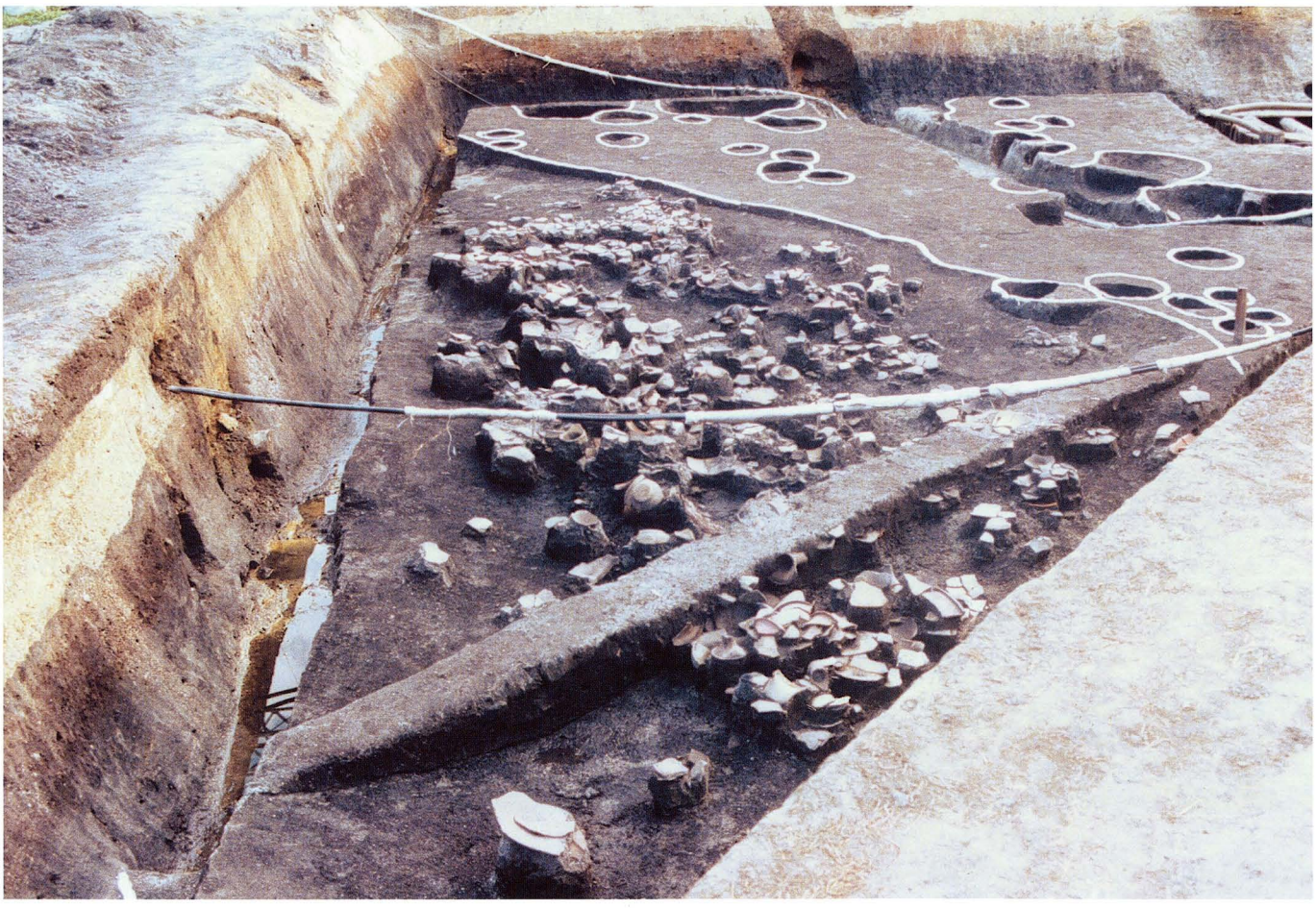
２００４年３月

大東市教育委員会



1．出土弥生土器

1．第２遺構面全景（南より）



2．ＳＤ－Ａ201（北より）

1．ＳＤ－Ｂ201（北東より）

2．ＳＰ－Ａ275柱根

3．ＳＰ－Ａ277柱根

1．第３－ａ遺構面全景（南より）

2．ＳＤ－Ａ301（南西より）

1．ＳＤ－Ｂ302（西より）

2．ＳＫ－Ａ309（北西より）

序　　文

大阪府の北東部に位置する大東市は、東部に飯盛山を含む生駒山系が南北に連なり、西部では古くに河内湾、河内湖、また江戸時代の中頃までは深野池という大きな池があり、山と海・池などに縁取られた多様な地形環境のなかで古来より豊かな自然を有していました。

そのような環境のなかで先人達は個性ある歴史、また豊かな文化を育んできました。そして、その名残である遺跡、石造物など、いわゆる文化財も数多く残されています。

この度、報告することになりました中垣内遺跡は昭和３４年以来、数回にわたって調査が実施されていまして、徐々にではありますが、遺跡の実態が明らかにされています。

今回の発掘調査では弥生時代の集落跡が顕著に確認され、これまで弥生時代の代表的な遺跡と言われながらも、やや名前だけが先走りしてきた感があっただけに、今回の調査成果は中垣内遺跡の歴史的価値を再確認するとともに、また鍋田川流域を中心とした古代の大東市を復元するうえで、たいへん貴重な成果を得ることができたと思われます。

今後、これらの成果を市民共有の財産として活用していくと共に、本報告書が本市の歴史や文化を知る基礎資料として活用され、歴史や文化財に対する理解を深めるための契機となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査および整理作業の費用負担をはじめ多大なご協力を賜りました関西電力株式会社をはじめ、お世話になりました関係機関・関係各位に厚くお礼申し上げます。

また教育委員会では、今後とも先人より受け継いできた貴重な文化財を大切に保存し、未来を担う次世代に託したく努力する所存でありますので、市民の皆様方におかれましては今後とも本市の文化財保護行政にご理解、ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成１６年３月

大東市教育委員会
教育長　中　口　　馨

例　　言

1．本書は、大阪府大東市中垣内５丁目における中垣内遺跡発掘調査（ＮＧＴ９２－１）の報告書である。

2．調査は架空送電線鉄塔（No. 24）建替及び電力ケーブル移設に伴うもので、関西電力株式会社大阪北支店より依頼を受け、大東市教育委員会が実施した。

3．発掘調査及び整理作業は大東市立歴史民俗資料館、中逵健一が担当した。
調査期間、調査面積等は本文中に記載している。

4．本調査に係る費用については関西電力株式会社大阪北支店がこれを負担した。記して感謝の意を表する。

5．本調査及び報告書作成にあたっては、下記の諸氏よりご指導、ご教示を賜った。記して感謝の意を表する。（敬称略、順不同、所属は当時による）
田代克巳（帝塚山短期大学）、岩瀬透・阿部幸一（大阪府教育委員会）、三好孝一・若林邦彦（財団法人大阪文化財センター）、塩山則之・浜田延充（寝屋川市教育委員会）、西山昌孝（千早赤坂村教育委員会）、岩崎直也（近江八幡市教育委員会）

6．現地調査、整理作業にあたっては下記の諸氏の協力を得た。（敬称略、五十音順）
［現地調査］
井尻由美子、井戸上照子、大谷聡、甲斐範浩、皆見秀久、北田享子、小矢田誠司、嶽野幸一、谷崎光子、塚山彦一郎、中慶子、野村香枝、萩野登、長谷哲雄、樋口かよ子、樋口里美、森石千枝子、吉野正泰
［整理作業］
井尻由美子、岩上直子、大谷聡、甲斐範浩、皆見秀久、北田享子、小堀直子、嶽野幸一、田中玲子、谷崎光子、谷崎結生、塚山彦一郎、中慶子、萩野登、長谷哲雄、樋口かよ子、樋口里美、宮澤淳也、宮田八重子、村尾奈津子、森石千枝子、吉野正泰

7．本調査における基準点、水準点の設置については株式会社大東設計事務所に委託した。

8．報告書作成に係る一部図面作成、遺物観察表、遺物写真撮影を、大東市教育委員会の指導のもと、財団法人元興寺文化財研究所に委託した。
また、巻頭カラー図版１の写真撮影については有限会社阿南写真工房の阿南辰秀氏に依頼した。

9．動物遺体の同定については、大阪市立大学大学院医学研究科、安部みき子氏、大阪市立大学大学院文学研究科、高志こころ氏に依頼し、併せて報文を賜った。

10．本書の執筆、編集は中逵が行った。

11．本調査に関わる遺物、実測図、写真、カラースライド等は大東市立歴史民俗資料館において保管している。広く利用されることを希望する。

本 文 目 次

序　文
例　言
第１章　調査に至る経緯 …… 1
第２章　遺跡の位置と環境 …… 3
第３章　調査の方法 …… 6
第４章　調査成果
　第１節　基本層序 …… 8
　第２節　第１遺構面 …… 8
　第３節　第２遺構面 …… 20
　第４節　第３－ａ遺構面 …… 42
　第５節　第３－ｂ遺構面 …… 61
第５章　まとめ …… 78
附章　中垣内遺跡出土動物遺体について……（安部みき子・高志こころ）…… 81

挿 図 目 次

第１図　調査地位置図 …… 2
第２図　大東市位置図 …… 3
第３図　周辺遺跡分布図 …… 5
第４図　調査区区割図 …… 7
第５図　調査区壁面断面図 ……9・10
第６図　包含層等出土遺物（１） …… 11
第７図　包含層等出土遺物（２） …… 12
第８図　包含層等出土遺物（３） …… 13
第９図　包含層等出土遺物（４） …… 14
第10図　包含層等出土遺物（５） …… 15
第11図　ＳＫ－Ｃ１０１平・断面図 …… 16
第12図　ＳＫ－Ｃ１０４・溝　平・断面図 …… 16
第13図　第１遺構面全体図 …… 17・18
第14図　ＳＸ－Ａ１０１・Ａ１０２平・断面図 …… 19
第15図　第２遺構面全体図 …… 21・22
第16図　ＳＤ－Ａ２０１平・断面・遺物出土状況図 …… 23
第17図　ＳＤ－Ｂ２０１平・断面・遺物出土状況図 …… 24
第18図　ＳＤ－Ａ２０１出土遺物（１） …… 25

第19図　ＳＤ－Ａ２０１出土遺物（２）　…… 26
第20図　ＳＤ－Ａ２０１出土遺物（３）　…… 27
第21図　ＳＤ－Ａ２０１出土遺物（４）　…… 28
第22図　ＳＤ－Ｂ２０１出土遺物（１）　…… 29
第23図　ＳＤ－Ｂ２０１出土遺物（２）　…… 30
第24図　ＳＤ－Ｂ２０１出土遺物（３）　…… 31
第25図　ＳＫ－Ａ２０３平・断面・遺物出土状況図　…… 33
第26図　ＳＫ－Ａ２０４・Ａ２３２平・断面・遺物出土状況図　…… 33
第27図　ＳＫ－Ａ２２０・ＳＰ－Ａ２９２遺物出土状況図　…… 34
第28図　ＳＫ－Ａ２３３・ＳＰ－Ａ２１６５遺物出土状況図　…… 34
第29図　ＳＫ－Ａ２３４平・断面・遺物出土状況図　…… 34
第30図　ＳＫ－Ｃ２０２平・断面図　…… 36
第31図　ＳＫ－Ｃ２０３平・断面図　…… 36
第32図　ＳＫ－Ｃ２０９平・断面図　…… 36
第33図　ＳＫ－Ｃ２１１平・断面図　…… 36
第34図　ＳＸ－Ａ２０１遺物出土状況図　…… 37
第35図　ＳＸ－Ａ２０４遺物出土状況図　…… 39
第36図　ＳＸ－Ｃ２０２平・断面・遺物出土状況図　…… 38
第37図　ＳＸ－Ｃ２０３遺物出土状況図　…… 38
第38図　ＳＰ－Ａ２１２２遺物出土状況図　…… 39
第39図　第２遺構面　ピット（ＳＰ）断面図　…… 39
第40図　第２遺構面　土坑（ＳＫ）・不明遺構（ＳＸ）・ピット（ＳＰ）出土遺物（１）　…… 40
第41図　第２遺構面　土坑（ＳＫ）・不明遺構（ＳＸ）・ピット（ＳＰ）出土遺物（２）　…… 41
第42図　ＳＫ－Ａ３０２平・断面図　…… 42
第43図　第３－ａ遺構面全体図　…… 43・44
第44図　ＳＫ－Ａ３０３平・断面・遺物出土状況図　…… 45
第45図　ＳＫ－Ａ３０４平・断面図　…… 45
第46図　ＳＫ－Ａ３０６平・断面図　…… 46
第47図　ＳＫ－Ａ３０８平・断面図　…… 46
第48図　ＳＫ－Ａ３０９平・断面・遺物出土状況図　…… 47
第49図　ＳＫ－Ａ３１２平・断面図　…… 47
第50図　ＳＫ－Ａ３１３平・断面図　…… 48
第51図　ＳＫ－Ａ３１６平・断面図　…… 48
第52図　ＳＫ－Ａ３１９平・断面図　…… 49
第53図　ＳＫ－Ａ３２０平・断面図　…… 49
第54図　ＳＫ－Ａ３２４平・断面図　…… 50
第55図　ＳＫ－Ａ３２５平・断面図　…… 50
第56図　ＳＫ－Ａ３２７平・断面図　…… 51

第57図　ＳＫ－Ａ３３０平・断面・遺物出土状況図 …… 51
第58図　ＳＫ－Ａ３３１平・断面図 …… 52
第59図　ＳＫ－Ａ３３３平・断面・遺物出土状況図 …… 52
第60図　ＳＫ－Ｂ３０１平・断面図 …… 53
第61図　ＳＫ－Ｂ３０２平・断面図 …… 53
第62図　ＳＫ－Ｂ３０３平・断面図 …… 54
第63図　ＳＫ－Ｂ３０４平・断面図 …… 54
第64図　ＳＫ－Ｂ３０５平・断面・遺物出土状況図 …… 54
第65図　ＳＫ－Ｃ３０４平・断面図 …… 54
第66図　ＳＫ－Ｃ３０６平・断面図 …… 55
第67図　ＳＫ－Ｃ３０８平・断面図 …… 55
第68図　ＳＫ－Ｃ３１５平・断面図 …… 55
第69図　ＳＫ－Ｃ３１６・Ｃ３１７平・断面図 …… 55
第70図　ＳＫ－Ｃ３１８平・断面図 …… 56
第71図　ＳＸ－Ａ３０１断面図 …… 56
第72図　ＳＸ－Ａ３０２平・断面・遺物出土状況図 …… 56
第73図　ＳＸ－Ａ３０３平・断面図 …… 57
第74図　ＳＰ－Ａ３７５平面図（根石） …… 57
第75図　第３－ａ遺構面　ピット（ＳＰ）断面図 …… 57
第76図　第３－ａ遺構面　土坑（ＳＫ）出土遺物（１） …… 58
第77図　第３－ａ遺構面　土坑（ＳＫ）出土遺物（２） …… 59
第78図　第３－ａ遺構面　不明遺構（ＳＸ）・ピット（ＳＰ）出土遺物（１） …… 60
第79図　ＳＤ－Ａ３０１平・断面・遺物出土状況図 …… 62
第80図　第３－ｂ遺構面全体図 …… 63・64
第81図　ＳＤ－Ａ３０１出土遺物 …… 65
第82図　ＳＤ－Ａ３０２遺物出土状況図 …… 66
第83図　ＳＤ－Ａ３０３（側溝掘削時）遺物出土状況図 …… 66
第84図　ＳＤ－Ａ３０２出土遺物 …… 67
第85図　ＳＤ－Ａ３０３出土遺物 …… 68
第86図　ＳＤ－Ｂ３０２遺物出土状況図（上層） …… 69
第87図　ＳＤ－Ｂ３０２平・断面・遺物出土状況図（下層） …… 70
第88図　ＳＤ－Ｂ３０２出土遺物（１） …… 71
第89図　ＳＤ－Ｂ３０２出土遺物（２） …… 72
第90図　ＳＤ－Ｂ３０２出土遺物（３） …… 73
第91図　ＳＤ－Ｃ３０１遺物出土状況図 …… 74
第92図　ＳＤ－Ｃ３０２遺物出土状況図（１） …… 74
第93図　ＳＤ－Ｃ３０２遺物出土状況図（２） …… 75
第94図　ＳＤ－Ｃ３０１・Ｃ３０２出土遺物（１） …… 76

第95図　ＳＤ－Ｃ３０２出土遺物（２）　…… 77
第96図　出土骨角製品（１）　…… 81
第97図　出土骨角製品（２）　…… 82

表　目　次

表１　動物遺体の出土表　…… 84～ 93
表２　イヌ・イノシシ・シカの出現頻度表　…… 94 ・ 95
表３　上顎歯の計測値・下顎歯および顔面骨の計測値・
四肢骨の計測値・四肢と体幹の計測値　…… 96～ 99
表４　出土遺物一覧表　……101～113

写真図版目次

巻頭カラー図版１
1. 出土弥生土器
巻頭カラー図版２
１．第２遺構面全景（南より）　２．ＳＤ－Ａ２０１（北より）
巻頭カラー図版３
１．ＳＤ－Ｂ２０１（北東より）　２．ＳＰ－Ａ２７５　柱根
３．ＳＰ－Ａ２７７　柱根
巻頭カラー図版４
１．第３－ａ遺構面全景（南より）　２．ＳＤ－Ａ３０１（南西より）
巻頭カラー図版５
１．ＳＤ－Ｂ３０１（西より）　２．ＳＫ－Ａ３０９（北西より）

図版１　遺構（１）
１．第１遺構面全景（南より）　２．第１遺構面全景（西より）
図版２　遺構（２）
１．第１遺構面全景（東より）　２．第１遺構面・Ａ区（東より）
図版３　遺構（３）
１．第１遺構面・Ｃ区（東より）　２．第１遺構面・Ｃ区（西より）
図版４　遺構（４）
１．第２遺構面全景（南より）　２．第２遺構面全景（西より）
図版５　遺構（５）
１．第２遺構面全景（東より）　２．第２遺構面・Ａ区北西部（南西より）
図版６　遺構（６）
１．第２遺構面・Ａ区南西部（西より）　２．第２遺構面・Ａ区南東部（東より）

図版７　遺構（７）
１．第２遺構面・Ｂ区（南東より）　２．第２遺構面・Ｃ区（東より）
図版８　遺構（８）
１．ＳＤ－Ａ２０１（北より）　２．ＳＤ－Ａ２０１遺物出土状況①
図版９　遺構（９）
１．ＳＤ－Ａ２０１遺物出土状況②　２．ＳＤ－Ｂ２０１（北東より）
図版10　遺構（10）
１．ＳＤ－Ｂ２０１遺物出土状況①　２．ＳＤ－Ｂ２０１遺物出土状況②
図版11　遺構（11）
１．ＳＤ－Ａ２０１・Ｂ２０１（南東より）　２．ＳＤ－Ｃ２０１（南より）
図版12　遺構（12）
１．ＳＫ－Ａ２０３（北西より）　２．ＳＫ－Ａ２０３遺物出土状況（北西より）
図版13　遺構（13）
１．ＳＫ－Ａ２０４（南より）　２．ＳＫ－Ａ２２０（南西より）
図版14　遺構（14）
１．ＳＫ－Ａ２２９（南より）　２．ＳＫ－Ａ２３０（南より）
図版15　遺構（15）
１．ＳＫ－Ａ２３２（西より）　２．ＳＫ－Ａ２３３（東より）
図版16　遺構（16）
１．ＳＫ－Ｃ２０２（西より）　２．ＳＫ－Ｃ２１１（南より）
図版17　遺構（17）
１．ＳＸ－Ａ２０１（西より）　２．ＳＸ－Ａ２０４（南より）
図版18　遺構（18）
１．ＳＸ－Ｃ２０２（南西より）　２．ＳＸ－Ｃ２０２遺物出土状況（北東より）
図版19　遺構（19）
１．ＳＸ－Ｃ２０３（東より）　２．ＳＸ－Ｃ２０３遺物出土状況（東より）
図版20　遺構（20）
１．Ａ区北西部　ピット群（南西より）　２．Ａ区南西部　ピット群（北西より）
図版21　遺構（21）
１．ＳＰ－Ａ２４２（西より）　２．ＳＰ－Ａ２７５（東より）
図版22　遺構（22）
１．ＳＰ－Ａ２７７（南より）　２．ＳＰ－Ａ２１３６（北西より）
図版23　遺構（23）
１．第３－ａ遺構面全景（南より）　２．第３－ａ遺構面全景（西より）
図版24　遺構（24）
１．第３－ａ遺構面全景（東より）　２．第３－ａ遺構面・Ａ区北西部（南西より）
図版25　遺構（25）
１．第３－ａ遺構面・Ａ区南西部（南東より）　２．第３－ａ遺構面・Ａ区南東部（東より）

図版26　遺構（26）
１．第３－ａ遺構面・Ｂ区（北東より）　２．第３－ａ遺構面・Ｃ区（西より）
図版27　遺構（27）
１．ＳＫ－Ａ３０２（南より）　２．ＳＫ－Ａ３０３（北西より）
図版28　遺構（28）
１．ＳＫ－Ａ３０３遺物出土状況（北東より）　２．ＳＫ－Ａ３０４（西より）
図版29　遺構（29）
１．ＳＫ－Ａ３０６（北より）　２．ＳＫ－Ａ３０８（西より）
図版30　遺構（30）
１．ＳＫ－Ａ３０９（西より）　２．ＳＫ－Ａ３１０（南西より）
図版31　遺構（31）
１．ＳＫ－Ａ３３０（南より）　２．ＳＫ－Ａ３３３（北西より）
図版32　遺構（32）
１．ＳＫ－Ｂ３０５（西より）　２．ＳＫ－Ｃ３１４（南西より）
図版33　遺構（33）
１．ＳＸ－Ａ３０１（南東より）　２．ＳＸ－Ａ３０２（東より）
図版34　遺構（34）
１．ＳＰ－Ａ３２１　柱根　２．ＳＰ－Ａ３９１　柱根
図版35　遺構（35）
１．ＳＰ－Ａ３７５　根石　２．ＳＰ－Ｂ３２４　根石
図版36　遺構（36）
１．第３－ｂ遺構面全景（南より）　２．第３－ｂ遺構面全景（西より）
図版37　遺構（37）
１．第３－ｂ遺構面全景（東より）　２．第３－ｂ遺構面・Ａ区北西部（南西より）
図版38　遺構（38）
１．第３－ｂ遺構面・Ａ区南西部（西より）　２．第３－ｂ遺構面・Ａ区・Ｃ区（西より）
図版39　遺構（39）
１．第３－ｂ遺構面・Ｂ区（南東より）　２．第３－ｂ遺構面・Ｃ区（西より）
図版40　遺構（40）
１．ＳＤ－Ａ３０１（南西より）　２．ＳＤ－Ａ３０１断面（南西より）
図版41　遺構（41）
１．ＳＤ－Ａ３０１遺物出土状況（南より）　２．ＳＤ－Ａ３０２（南西より）
図版42　遺構（42）
１．ＳＤ－Ａ３０２断面（南西より）　２．ＳＤ－Ａ３０２遺物出土状況（南西より）
図版43　遺構（43）
１．ＳＤ－Ａ３０３（南より）　２．ＳＤ－Ａ３０３遺物出土状況①（北より）
図版44　遺構（44）
１．ＳＤ－Ａ３０３遺物出土状況②（北東より）　２．ＳＤ－Ａ３０４（北より）

図版45　遺構（45）
　１．ＳＤ－Ｂ３０２（西より）　　２．ＳＤ－Ｂ３０２断面（西より）
図版46　遺構（46）
　１．ＳＤ－Ｂ３０２遺物出土状況〔上層〕①（東より）
　２．ＳＤ－Ｂ３０２遺物出土状況〔上層〕②
図版47　遺構（47）
　１．ＳＤ－Ｂ３０２遺物出土状況〔下層〕①　　２．ＳＤ－Ｂ３０２遺物出土状況〔下層〕②
図版48　遺構（48）
　１．ＳＤ－Ｃ３０１（南より）　　２．ＳＤ－Ｃ３０１遺物出土状況（北西より）
図版49　遺構（49）
　１．ＳＤ－Ｃ３０２（南より）　　２．ＳＤ－Ｃ３０２遺物出土状況〔上層〕
図版50　遺構（50）
　１．ＳＤ－Ｃ３０２遺物出土状況〔下層〕①　　２．ＳＤ－Ｃ３０２遺物出土状況〔下層〕②
図版51　出土遺物（１）
図版52　出土遺物（２）
図版53　出土遺物（３）
図版54　出土遺物（４）
図版55　出土遺物（５）
図版56　出土遺物（６）
図版57　出土遺物（７）
図版58　出土遺物（８）
図版59　出土遺物（９）
図版60　出土遺物（10）
図版61　出土遺物（11）
図版62　出土遺物（12）
図版63　出土遺物（13）
図版64　出土遺物（14）
図版65　出土遺物（15）
図版66　出土遺物（16）
図版67　出土遺物（17）
図版68　出土遺物（18）
図版69　出土遺物（19）
図版70　出土遺物（20）
図版71　出土遺物（21）
図版72　出土遺物（22）

第１章　調査に至る経緯

中垣内遺跡は昭和34年に関西電力株式会社東大阪変電所建設の際に発見された遺跡である。それに伴う緊急調査が一部実施されており、限られた条件下の調査であったにもかかわらず竪穴住居跡などを検出し、また弥生土器など大量の遺物が出土したことから、当時においては弥生時代の集落遺跡として多大な評価を得た遺跡であった。

その後、長年にわたり発掘調査の機会には恵まれなかったが、昭和62年の大阪産業大学の校舎建設に伴う調査を皮切りに、昭和62年～平成元年にかけては変電所敷地内における４ヶ所の調査など、現在に至るまで昭和34年の調査を含めば、合計11次にわたる調査が実施されている。その結果、遺跡としては集落を中心とした縄文時代から近世に至る複合遺跡との性格が与えられているが、大東市域では現在においても弥生時代を代表する遺跡となっている。

今回の調査は、関西電力株式会社大阪北支店により架空送電線鉄塔の増強工事の事業計画がなされたことによる。この事業計画は生活水準の向上、都市機能の高度化および産業の発展などにより電力需要が年々増加の傾向を示し、将来において電力供給不足の状態が懸念されることから、大阪府東部地域などに電力供給している東大阪変電所の電力容量を増やすこととなり、そのため奈良県生駒市北田原に所在する新生駒変電所から東大阪変電所に至る一部送電線（東大阪新生駒線）鉄塔を大型化するため建替えを行うというものであった。

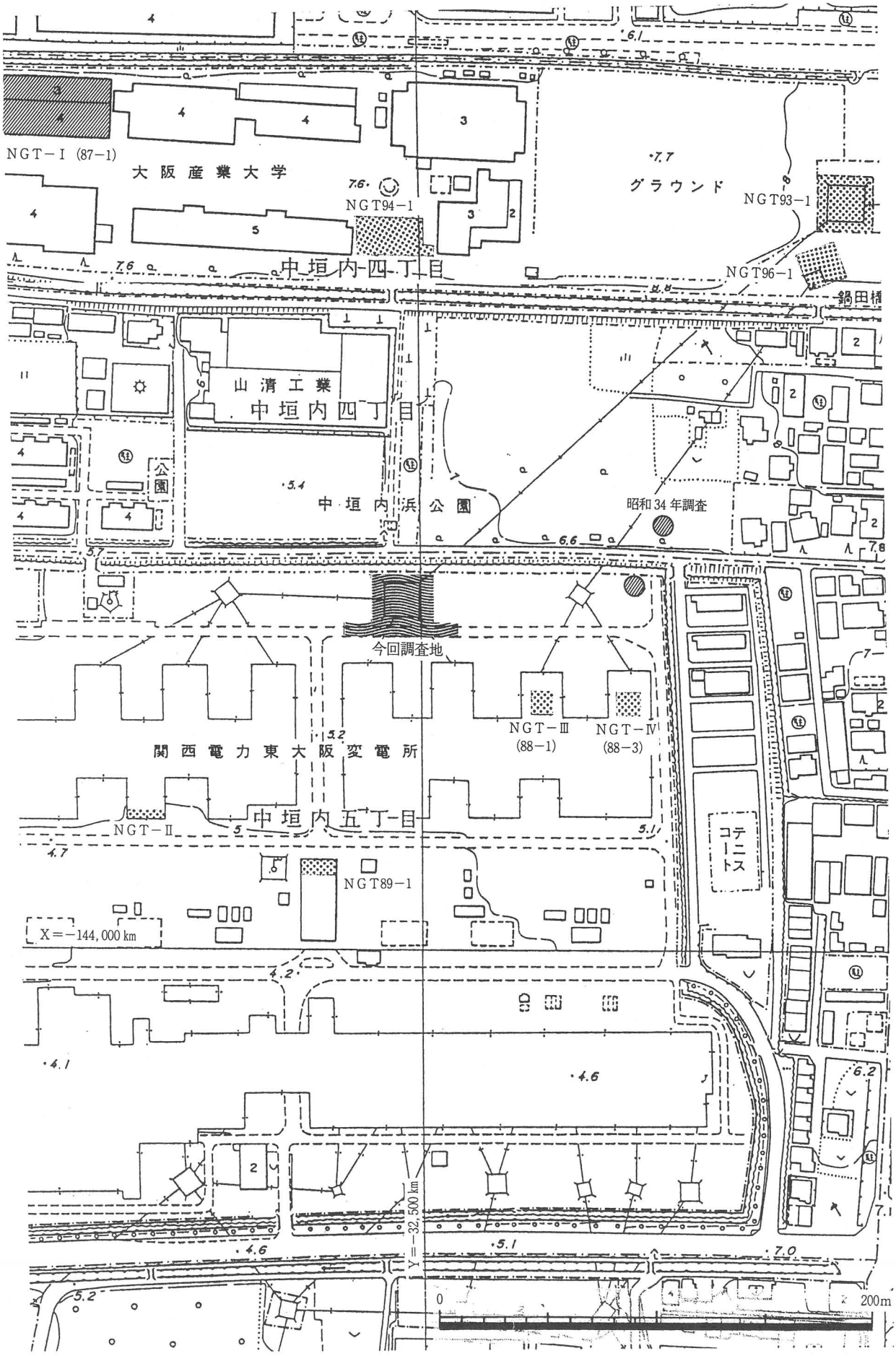
これらの計画のうち大東市域においては10基の鉄塔が対象であったが、特に東大阪変電所が中垣内遺跡内に立地することが周知されていたこともあり、関西電力株式会社大阪北支店より本市教育委員会に当該事業における埋蔵文化財の取り扱いについての事前協議の申し入れがあった。

本市教育委員会では、事業対象である各鉄塔のうち５基が遺跡内を占め、残りの５基が本市で指定する遺跡周辺地域を占めることから、前者については各鉄塔別に文化財保護法第57条の２に基づく届出の提出を求めるとともに、工事によって遺跡の損壊が想定される場合には工事の設計変更による現状保存または発掘調査が必要である旨を伝えた。また後者については試掘調査の実施の必要性を伝え、遺跡が発見された場合には同様の処置が必要である旨を伝えた。結果、事前の範囲確認調査及び試掘調査に関しては本市教育委員会が実施することで合意を得た。

以上の協議を経て、まず当該事業における東大阪新生駒線No.24号と呼称される鉄塔が対象とされた。文化財保護法第57条の２に基づく届出は平成３年11月１日付で提出され、以下、諸手続きを経て平成４年２月18日に本市教育委員会が範囲確認調査を実施した。その結果、遺物を多量に含んだ包含層を確認するなど遺跡の広がりが確認されたことから遺跡の保存に関して協議を行ったが、事業内容の特殊性もあり計画変更は困難であるとのことから発掘調査を実施することで合意した。

その後の協議において、発掘調査の実施については本市教育委員会に依頼がなされたことから、さらに調査に関する具体的項目について協議がなされ、結果、平成４年６月11日付で「埋蔵文化財発掘調査に関する覚書」が交わされるに至った。

調査は既設鉄塔部分を除いた鉄塔拡幅部分373.45㎡、及び鉄塔大型化に伴い地中配電線を移設する必要が生じたことによるその移設部分302.63㎡、合計676.08㎡を対象に、平成４年６月22日から開始し、同年10月30日に終了した。


NGT－I (87－1)
大阪産業大学
NGT94－1
グラウンド
NGT93－1
NGT96－1
中垣内四丁目
山清工業
中垣内四丁目
公園
中垣内浜公園
昭和34年調査
今回調査地
NGT－Ⅲ
(88－1)
NGT－Ⅳ
(88－3)
関西電力東大阪変電所
中垣内五丁目
NGT－Ⅱ
NGT89－1
テニスコート
X＝－144,000 km
Y＝－32,500 km
0
200m

第１図　調査地位置図

第２章　遺跡の位置と環境

中垣内遺跡は大阪府大東市中垣内一帯にかけて所在し、南北約850m、東西約１kmの範囲を持つと推定されている遺跡である。これまで数次にわたって調査が行われており縄文時代から近世にかけての複合遺跡であることが明らかにされている。特に弥生時代の集落跡としては有名である。

地理的には、鍋田川によって形成された扇状地とその西方に広がる沖積地にかけて立地している。

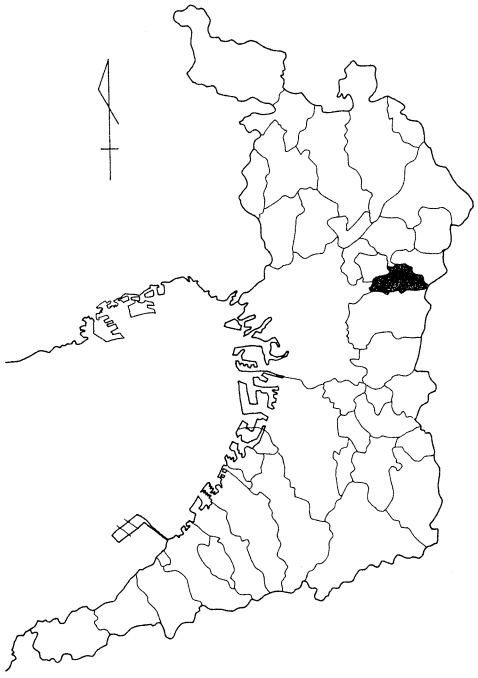
以下、周辺の遺跡を中心に歴史的推移を概観する。

〈旧石器時代〉

中垣内遺跡からナイフ形石器が出土している。しかし、昭和34年における採集のため、出土状況など詳細は明らかでないが、この時代の遺物としては現在のところ市内唯一のものである。

〈縄文時代〉

集落を示すような具体的な遺構は検出されていないため、様相については明らかではない。唯一、中垣内遺跡で中期後半の土坑状の遺構と推測されるものが確認されているのみである。遺物では、北条遺跡、宮谷古墳群で草創期の有舌尖頭器などが出土・採集されている他、土器では包含層等からの出土ではあるが主に扇状地及び周辺の遺跡から早期末～前期初頭の可能性のある土器片から晩期に至るまでほぼ全時期を通して見受けられる。



第２図　大東市位置図

そして、磨耗を受けず比較的残りの良好な遺物も多いことから丘陵、扇状地などに集落跡の存在した可能性は十分あると考えられる。

〈弥生時代〉

この時代から市域においても遺構を伴う遺跡が多数確認されるようになる。前～中期の集落跡が確認された中垣内遺跡、北条西遺跡、後期の竪穴住居を検出した北条遺跡などがある。また、中垣内遺跡の東に位置する鍋田川遺跡では後期のまとまった遺物が出土しており、当時の集落の動向を考えるうえでも重要な遺跡であることが明らかになりつつある。

〈古墳時代〉

当時、河内湖東岸に位置していた市域においても多数の集落が営まれるようになり、前期では鍋田川遺跡、中～後期にかけては北新町遺跡、メノコ遺跡などがある。特に特徴的な様相としては初期須恵器、韓式系土器、鳥足文を施した陶質土器の出土など渡来系的な影響の強い遺物が目立ち、先に述べた河内湖東岸という地勢的環境からも頷けるものである。

古墳に関しても多くの古墳、古墳群が周知されているが、残念ながら詳細の解らないものが多い。その中において城ヶ谷遺跡、北条遺跡、宮谷古墳群、堂山古墳群で古墳の調査が行われている。特に堂山古墳群では三角板皮綴短甲、衝角付冑、鉄刀、鉄鏃など多量の鉄製武器、武具類が出土していることか

ら当時の有力な首長墓と考えられており、当時の社会を考えるうえで貴重な成果をあげている。

〈古代〉

奈良時代では北新町遺跡、寺川遺跡で集落が確認、推測されている。特に北新町遺跡では人面墨書土器が出土し、また寺川遺跡では「白麻呂」と墨書された土器が出土するなど、官衙的集落の存在が推定されている。

平安時代では寺川遺跡で集落跡が確認されている。特に、直径１m程の木を刳り貫いた井筒などは注目され、また河川跡からはウマの骨が一体復元出来るほどの出土があり、通常の集落とはかなり違う様相を示している。

〈中世〉

北新町遺跡で 12～13 世紀を中心とした集落跡、御領遺跡で 13～14 世紀の集落跡が確認されており、市域における中世の様相も明らかにされてきている。また、城跡に関しても、戦国武将、三好長慶の飯盛城、その支城とされる野崎城、キリシタンで有名な三箇サンチョの三箇城などが知られている。ただ、考古学的には飯盛城において発掘調査がわずかに実施されているのみで残念ながら詳細は明らかにされていない。

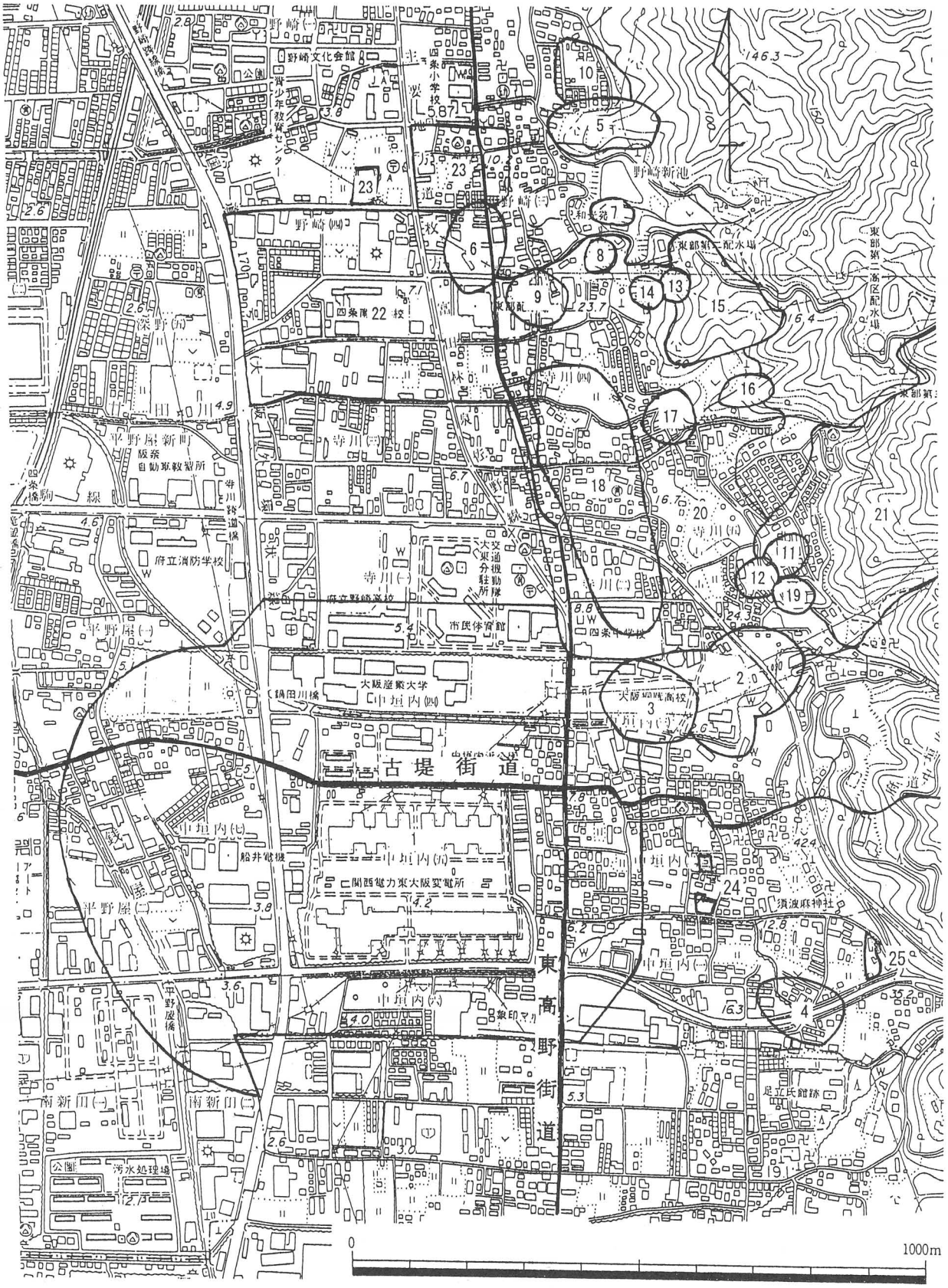
〈近世〉

大阪城の築城、また江戸幕府による再築の際、石垣用石材の供給地であった石切場跡や、宝永元年(1704)の大和川付け替えに伴い新田開発が盛んになるが、その管理施設であった平野屋新田会所などがある。

また西諸福遺跡では深野池、新開池とは別の池と推定される遺構が検出されており、備前擂鉢、壺、美濃窯系天目茶碗、胎土目唐津窯系皿、堺擂鉢、石臼などの陶磁器類がまとまって出土している。

(引用・参考文献)

大阪府史編集専門委員会　1991 年　『大阪府史』別巻　大阪府
大東市教育委員会　1973 年　『大東市史』
大東市教育委員会　1987 年　『寺川・北条遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第１集
大東市教育委員会　1989 年　『大東市埋蔵文化財発掘調査概報』大東市埋蔵文化財調査報告第３集
大東市教育委員会　1990 年　『城ヶ谷遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第６集
大東市教育委員会　1997 年　『中垣内遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第 11 集
大東市教育委員会　1997 年　『寺川遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第 13 集
大東市教育委員会　1998 年　『メノコ遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第 14 集
大東市教育委員会　1999 年　『御領遺跡』大東市埋蔵文化財調査報告第 15 集
大東市教育委員会　2000 年　『西諸福遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第 17 集
大東市教育委員会　2004 年　『中垣内遺跡』大東市埋蔵文化財調査報告第 21 集
大東市教育委員会　2002 年　『旧平野屋新田会所屋敷と建物』大東市文化財調査報告書
大東市北新町遺跡調査会　1986 年　『北新町遺跡第１次発掘調査概要報告書』
大東市北新町遺跡調査会　1991 年　『北新町遺跡第２次発掘調査概要報告書』
大東市北新町遺跡調査会　1997 年　『北新町遺跡第３次発掘調査概要報告書』
大阪府教育委員会　1993・1994 年　『堂山古墳群』大阪府文化財調査報告書第四五輯
中達健一　1995 年　「大東市・北条西遺跡（93・1 次調査）」　『まんだ』第五十六号
黒田淳　1988 年　「大東市“宮谷古墳群の調査”」　『まんだ』第三十五号



1 中垣内遺跡　2 鍋田川遺跡　3 元粉遺跡　4 若宮遺跡　5 福蓮寺遺跡　6 メノコ遺跡
7 峯垣内遺跡　8 市水道寺川配水場古墳　9 瓦堂遺跡　10 福蓮寺古墳　11 城の越上の段古墳
12 城の越古墳　13 堂山上遺跡　14 堂山下古墳　15 堂山古墳群　16 六地蔵古墳
17 十林寺古墳　18 寺川古墳群　19 大谷神社古墳　20 寺川遺跡　21 大谷古墳群
22 寺川浜遺跡　23 野崎条里遺跡　24 中垣内東遺跡　25 若宮東遺跡

第３図　周辺遺跡分布図

第３章　調査の方法

今回の調査区は既設の鉄塔の撤去と併行して大型の鉄塔を設置するといった工法によるため、調査時においては既設の鉄塔が遺存する状況であった。その状況から派生する諸事情のため、鉄塔拡幅部分については２ヶ所に分断されることになり、地中配電線移設部分を含め合計３ヶ所の調査区になることから、鉄塔の２ヶ所の部分をそれぞれＡ区、Ｂ区とし、移設部分をＣ区とした。

掘削については、盛土、旧耕作土、床土までを機械掘削の対象とし、以下、包含層については層位ごとに人力による掘削を行った。そして、それぞれの層位面において遺構の確認を行いながら、地山面に至るまで順次繰り返した。

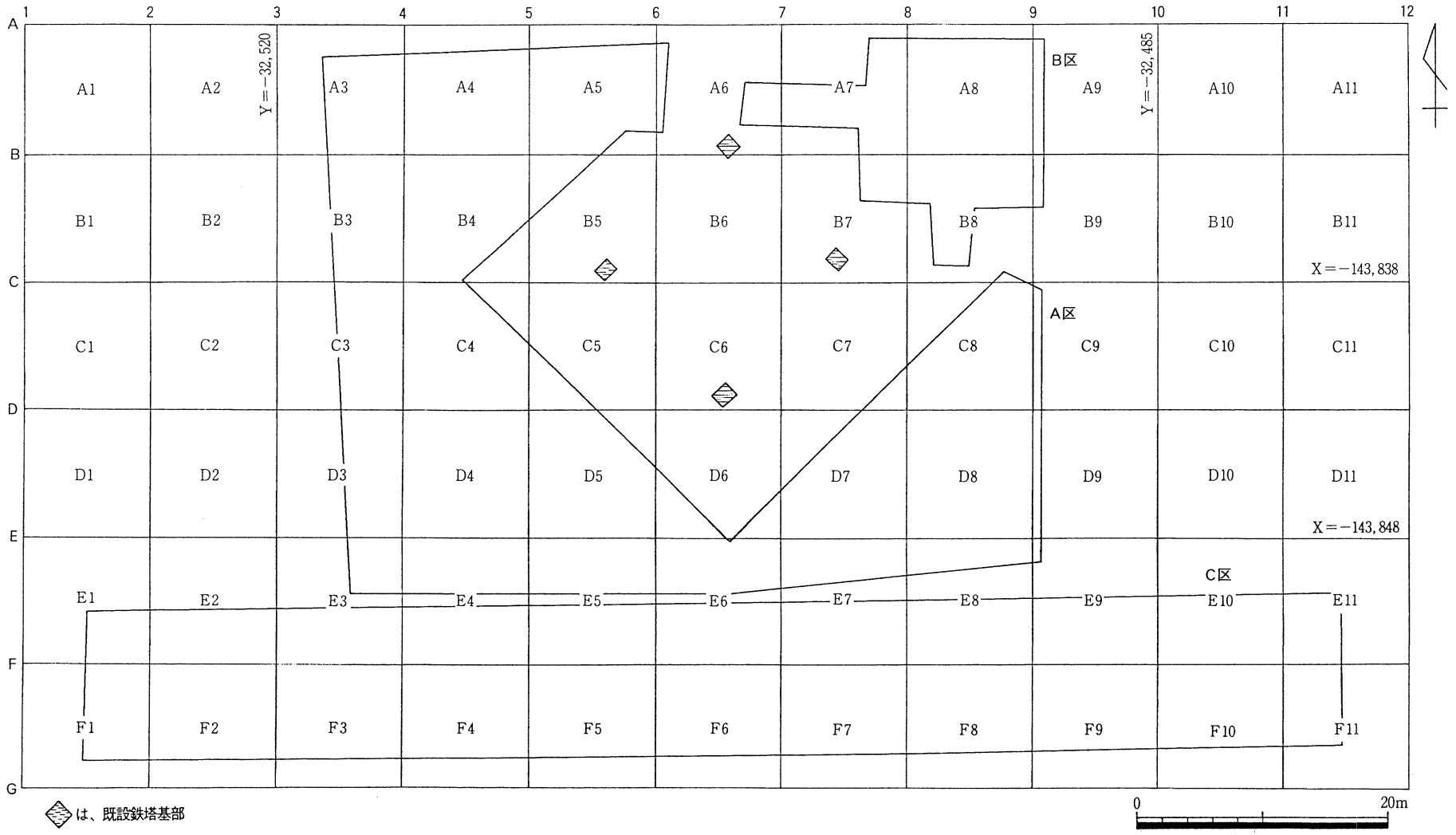
遺構の平面実測については、変電所内ということもあり、また送電線等が走ることからクレーン、ヘリコプターなどによる空中写真測量は不可能であったため、すべて平板測量で実施した。また必要に応じて遺構平面図・断面図・遺物出土状況図を適宜作成した。

調査区の区割り設定については、調査区付近においてＡ、Ｂ、Ｃ区をバランスよくカバーできるように考慮しながら任意の地点を決め、それを基点に国土座標第Ⅵ系による座標を使用して調査区全体を東西南北それぞれ５ｍごとに座標軸を順次配しながら囲み、調査区内に５ｍ四方の区画を設定した。各区画の呼称については南北座標軸に西端を起点として算用数字を順次付し、また東西座標軸については北端を起点としてアルファベットを順次付すことにより各交点を記号化し、その北西隅の交点を用いている（第４図）。また、水準についてはＴ．Ｐ．（東京湾平均海面値）を使用している。先に述べた遺物出土状況など各種記録作業、また包含層などの遺物の取り上げについては、すべてこれらの基準に基づいている。また、報告書の記述においても同様である。

遺構番号については調査区毎、および遺構検出面ごとに付与しており、それらの各区名、各遺構面を示す数字は遺構番号の頭に冠している。

写真撮影については、写真撮影用の足場を安全上建てることができなかったので、調査区広域を対象とした撮影には関西電力が工事の際に使用するバケット車を使用した。特に調査区全域を撮影する場合には変電所内施設を利用したため、その際は関西電力の職員が撮影を実施した。撮影には６×７の中型カメラによるモノクロ撮影、35㎜小型カメラによるモノクロ、カラーそれぞれにおいて撮影を行い、またスライドの作成も行っている

また、今回の調査では弥生時代集落の遺跡であることから石鏃などの石製品や石屑が多量に包含されていることが想定されたため、遺構の埋土、包含層掘削土のすべてを採取して水洗作業を実施しその抽出に努めた。しかし、諸般の事情から調査と平行してその作業を終える必要があったため、石製品以外のその他微細な遺物、骨、種子などの抽出については実施することができなかった。


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
A
B
C
D
E
F
G
A1
A2
A3
A4
A5
A6
A7
A8
A9
A10
A11
B1
B2
B3
B4
B5
B6
B7
B8
B9
B10
B11
C1
C2
C3
C4
C5
C6
C7
C8
C9
C10
C11
D1
D2
D3
D4
D5
D6
D7
D8
D9
D10
D11
E1
E2
E3
E4
E5
E6
E7
E8
E9
E10
E11
F1
F2
F3
F4
F5
F6
F7
F8
F9
F10
F11
Y＝−32,520
Y＝−32,485
X＝−143,838
X＝−143,848
A区
B区
C区
は、既設鉄塔基部
0
20m

第４図　調査区区割図

第４章　調査成果

第１節　基本層序

今回の調査では３面の遺構面を確認した。基本的層序については以下の通りである。

第Ⅰ層　盛土。層厚0.5m。現況でT．P．＋4.8mを測る。

第Ⅱ層　灰緑色土。層厚0.2～0.3m。調査区西半部に認められた。

第Ⅲ層　茶褐色土。層厚0.2～0.3m。調査区東半部に認められた。

第Ⅳ層　灰黄～灰白色砂。層厚0.1～0.2m。Ａ区東半部、Ｂ区南半部に認められた。

第Ⅴ層　黒褐色～黒灰色土。層厚 0.2m。Ｃ区西半部を除き、ほぼ全域に認められた。弥生時代中期の包含層である。第１遺構面のベース面をなす。

第Ⅵ層　暗緑灰～暗灰緑色土。層厚0.2～0.3m。第２遺構面のベース面をなす。

第Ⅶ層　淡灰緑色シルト。層厚0.1m。いわゆる地山層である。第３遺構面のベース面をなす。

第２節　第１遺構面

第Ⅴ層をベース面として、溝、土坑、ピットなどを検出した（第13図）。標高はＣ区東側が最も高く、T．P．＋4.5m測り、またＣ区西側が最も低くT．P．＋3.9mを測る。Ａ、Ｂ区は若干、西に向かって傾斜する傾向があるが、概ねT.P.＋4.2m前後である。

１．溝

〔Ａ区〕

12条を検出した。ほぼ東西南北に走るものであり、規模からみて鋤溝など耕作に伴うものと考えられる。遺物は瓦器、瓦質土器、須恵器、土師器などが出土しており概ね中世に比定できる。

〔Ｃ区〕

22条を検出した。ほぼ南北に走るものが多数を占めている。Ａ区の溝と同様、規模からみて鋤溝など耕作に伴うものと考えられる。遺物は瓦器、瓦質土器、須恵器などが出土しており概ね中世に比定できる。

２．土坑

〔Ｃ区〕

ＳＫ－Ｃ１０１（第11図）

Ｆ７区で検出した。ほぼ楕円形を呈し、規模は長径約0.9m、短径約0.6m、深さ約0.2mを測る。埋土は黄褐色砂質土である。遺物は土師器が出土している。

ＳＫ－Ｃ１０２

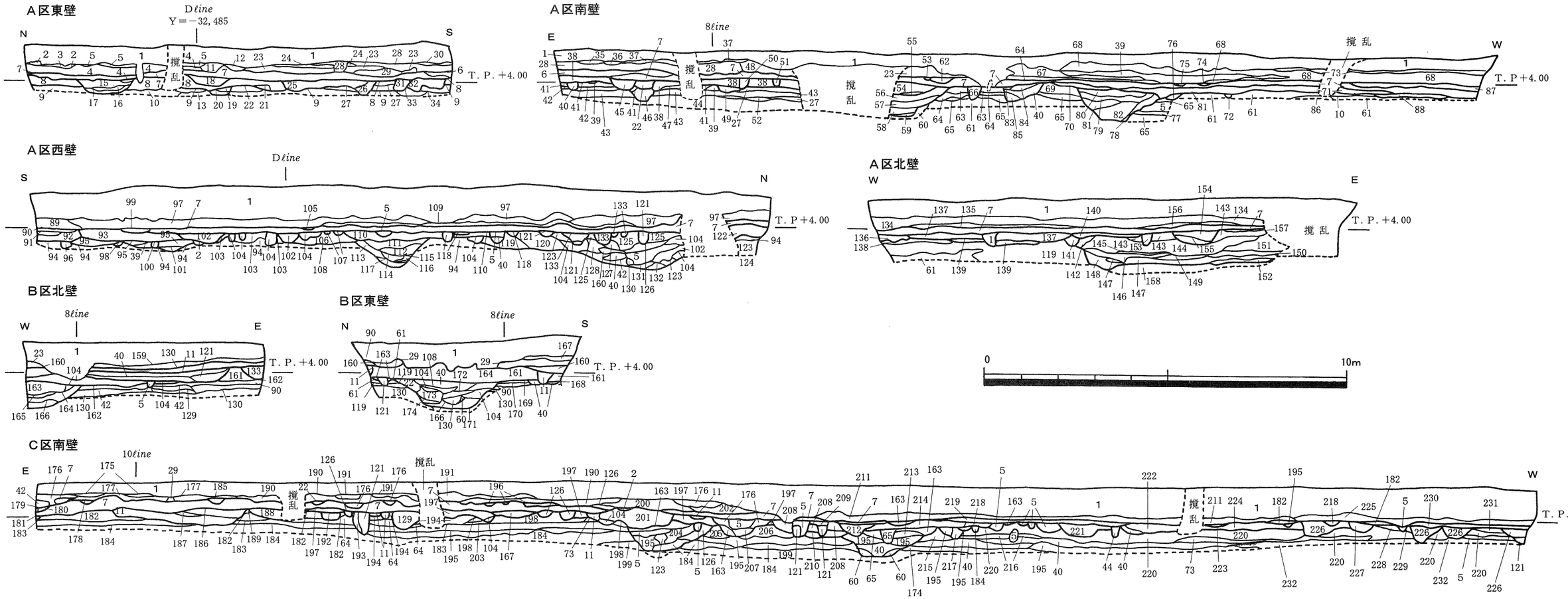
Ｆ６区で検出した。ＳＫ－Ｃ１０３を切る。調査区外に広がるため形態は明らかでないが、ほぼ隅丸の長方形を呈するものと思われる。規模は幅約0.9m、深さ約0.09mを測る。遺物は須恵器が出土している。

ＳＫ－Ｃ１０３

Ｆ６区で検出した。ＳＫ－Ｃ１０２に切られる。ほぼ楕円形を呈し、規模は長径約 2.1m、短径約0.7m、深さ約0.15mを測る。遺物は須恵器が出土している。

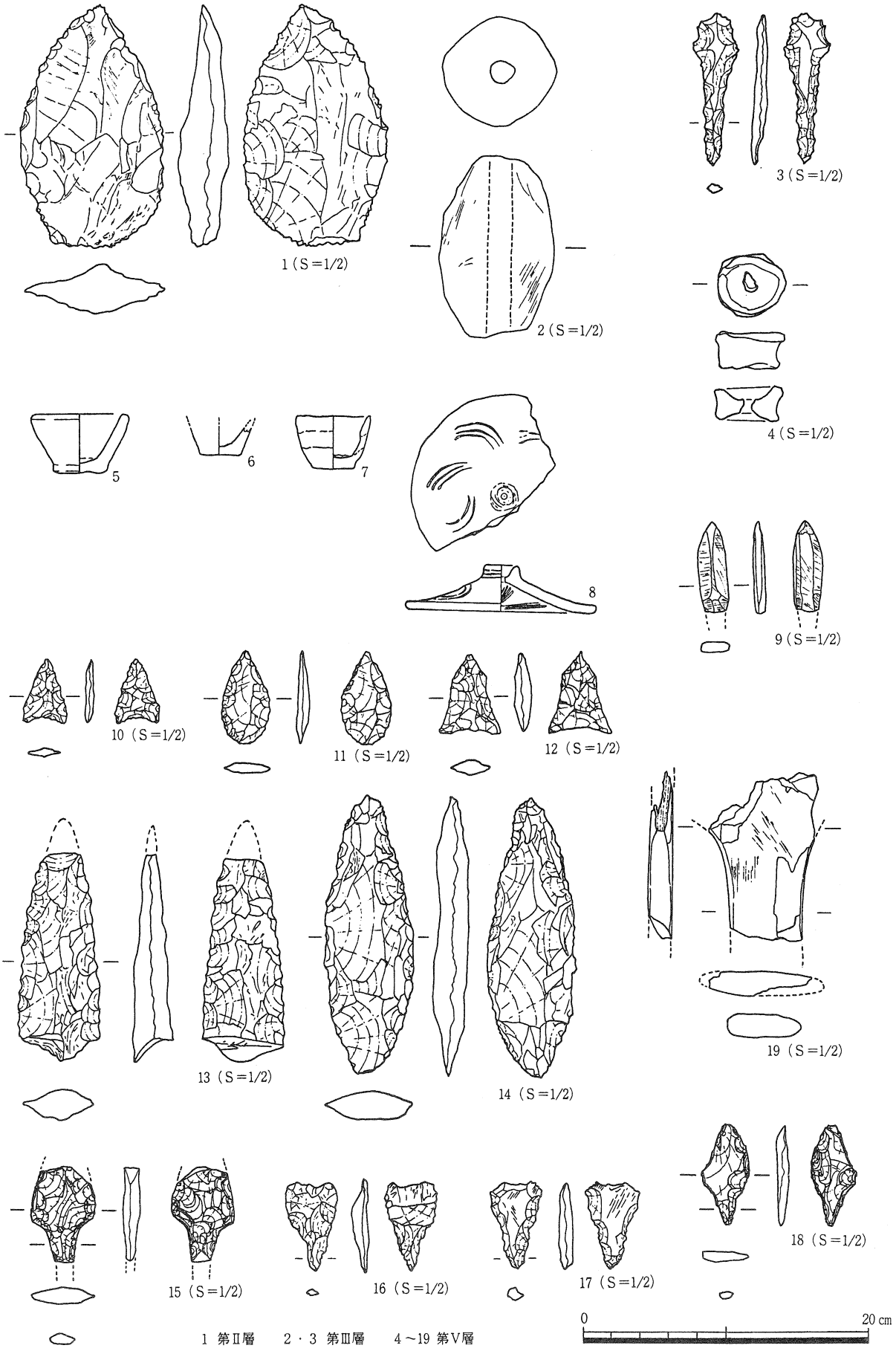
ＳＫ－Ｃ１０４（第12図）

Ｆ５区で検出した。溝に切られる。深さ約0.06mを測る。遺物は出土していない。

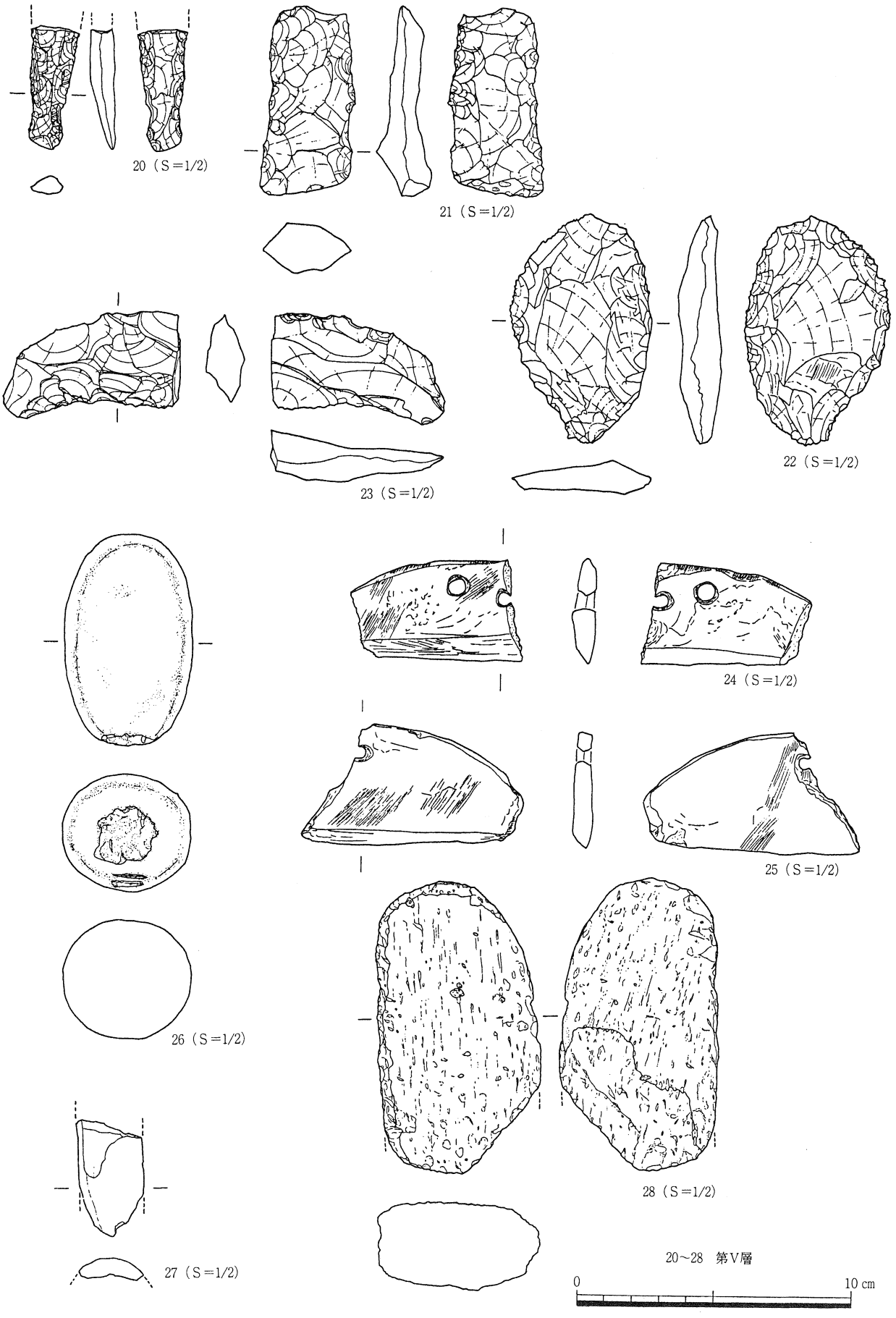


1 盛土
2 茶灰色砂質土
3 灰色土混じり灰茶色シルト
4 暗茶褐色土（暗灰色土のブロックを含む）
5 暗灰色砂質土
6 暗茶褐色土混じり暗灰黒色粘質土
7 黒褐色土
8 暗灰緑色土
9 灰緑色シルト
10 灰黄色粗砂
11 黒褐色粘質土
12 黄褐色砂質土
13 灰黄色微砂
14 灰白色細砂
15 暗灰色砂質土
16 暗灰色粘質土
17 暗灰黒色砂質土
18 暗灰色土
19 暗灰緑色砂質土
20 暗灰色砂質土
21 黄灰粗砂
22 灰色土
23 灰緑色土
24 灰緑色砂質土
25 黒褐色粘質土
26 暗灰色砂質土
27 灰黄色粗砂
28 褐黄色土
29 茶褐色土
30 茶褐色砂質土
31 暗灰色粘質土
32 灰色砂質土
33 灰緑色微砂
34 灰色粘土
35 黄褐色土混じり灰色土
36 灰緑色砂質土
37 黄灰色砂質土
38 暗緑灰色粘質土
39 黄灰色粗砂
40 暗灰色粘質土
41 淡灰緑色シルト（黒色の斑点を含む）
42 灰白色砂
43 緑灰色粘質シルト
44 灰青色砂質土
45 黒灰色土まじり灰色土
46 暗灰色粘質土（焼土、炭等を多量に含む）
47 淡灰緑色砂
48 緑灰色土混じり褐黄色土
49 暗灰緑色砂質土
50 暗灰色粘質土
51 暗灰色粘質土
52 緑灰色微砂
53 暗緑黄色砂質土
54 暗灰緑色土（黒灰色土を含む）
55 灰白色砂
56 暗灰緑色粘質土
57 暗灰緑色砂質土
58 暗緑灰色砂質土
59 暗緑灰色粘質シルト
60 暗灰色砂
61 灰緑色シルト
62 黄灰色粗砂混じり暗灰緑色土
63 淡灰緑色シルト（黒色斑点）
64 暗灰黄色粗砂
65 暗灰青色粘質土
66 暗灰黒色粘質土
67 淡灰青色砂質土
68 淡灰青色砂質土
69 暗緑黄色粗砂混じり土
70 灰色砂質土
71 黒褐色粘質土
72 黒色土混じり暗灰緑色砂
73 淡灰青色微砂
74 淡灰青色砂質土
75 淡灰青色砂質土
76 暗灰黒色砂質土
77 灰青色砂
78 暗灰黄色砂
79 灰色砂質土
80 灰緑色砂質土
81 灰色粘質土
82 灰白粗砂と暗灰色粘土の互層
83 黒色粘質土
84 黄灰色砂質土
85 暗灰黒色砂質土
86 青灰色粘質土
87 黄褐色土混じり灰緑色粘質土
88 黄褐色砂混じり暗灰色砂質土
89 黄灰色砂混じり灰緑色砂質土
90 黄灰色砂
91 灰緑色粘質土
92 褐色土混じり暗灰青色土
93 褐色土混じり暗茶褐色土
94 淡灰緑色シルト（斑点を含む）
95 灰緑色粘土混じり黄灰色砂質土
96 暗灰黒色砂質土（灰緑色シルト及び黄灰色粗砂を含む）
97 灰緑黄色土
98 黄灰色砂混じり暗灰色土
99 灰緑色粘土混じり暗灰色土
100 黄灰色粗砂混じり暗灰色砂質土
101 灰色シルト
102 暗灰黒色粘質土
103 黄灰色粗砂
104 暗灰緑色砂質土
105 緑黄色砂質土
106 灰黄色砂
107 黄灰色粗砂混じり暗灰緑色砂質土
108 暗灰色粘質シルト
109 黄灰色砂混じり緑灰色砂質土
110 灰黄色砂混じり暗灰色土
111 暗灰色緑色土
112 灰色砂質土
113 暗灰色砂質土
114 灰色粘質シルト
115 暗灰色細砂
116 灰色粘土
117 灰白色砂と灰色粘土の互層
118 黄褐色粗砂混じり暗灰色砂質土
119 灰黄色砂
120 灰白色粗砂
121 黒灰色粘質土
122 暗灰色粘質土
123 灰黄色粗砂
124 淡灰青色粘質土
125 暗灰緑色土
126 灰色砂質土
127 灰黄色砂混じり暗灰色粘質土
128 暗黄灰色砂
129 灰色粘質土
130 暗灰色粘土
131 暗灰色砂混じり土
132 暗灰黒色砂質土
133 黒灰色土
134 緑灰色土
135 灰緑黄色砂質土
136 暗灰色粘質土
137 黒灰色粘質土
138 淡灰緑色シルト
139 灰緑色砂質土
140 黒灰色粘質土
141 黒灰色土
142 暗灰緑色土（ベース層か）
143 黄灰色粗砂混じり暗緑灰色土
（５㎜内外の礫を含む）
144 灰色砂質土
145 暗灰色粘質土
146 灰黄色砂質土
147 暗茶褐色粘質土
148 暗灰青色砂質土
149 暗灰色砂質土
150 暗灰緑色粘質土
151 灰黄色砂質土
152 暗灰黒色粘土
153 暗灰色土
154 黒褐色粘質土
155 暗緑灰色土（炭を含む）
156 灰緑黄色砂
157 黒褐色粘質土
158 灰白色砂
159 黄褐色粗砂
160 黒灰色土
161 暗緑灰色土
162 淡灰緑色シルト
163 暗灰黄色砂質土
164 茶灰色土
165 暗黄灰色砂
166 暗灰褐色砂質土
167 暗茶褐色土
168 灰緑色シルト
169 灰緑色砂
170 緑灰色シルト
171 緑灰色砂質土
172 暗灰緑砂
173 暗灰色粘土）
174 暗灰緑色砂
175 淡灰黄色砂質土
176 褐色混じり灰色土
177 褐黄色砂質土
178 褐色混じりの淡灰色土
179 淡灰青色粘土
180 にぶい灰黄色砂質土
181 暗灰色砂混じり粘質土
182 暗灰黄色砂
183 暗灰色粘質土（５㎜内外の礫を含む）
184 灰色砂
185 茶褐色混じり灰色土
186 暗茶褐色粘質土
187 黒褐色土
188 茶褐色混じり暗灰色土
189 暗灰色砂質土
190 淡灰色土
191 黄緑色砂質土
192 灰緑色砂質土（焼土を含む）
193 暗灰緑色粘質土
194 淡灰黄色シルト
195 暗灰色土
196 褐色混じり灰色粘質土
197 褐色混じり灰色土
198 暗黄灰色粗砂
199 暗灰黒色粘土
200 褐色混じり灰色砂質土
201 黒灰色粘質土（多量の炭、焼土等を含む）
202 淡灰青色土
203 淡灰緑色シルト
204 暗灰色粘質土と暗灰緑色砂の互層
205 暗灰黄色砂質土
206 灰白色粗砂
207 灰色砂混じり土
208 灰黄色砂質土
209 暗緑灰色砂質土
210 暗灰緑色砂質土
211 灰緑色粘質土
212 黒灰色粘質土（底部に焼土、炭等を多量に含む）
213 にぶい灰緑色砂
214 暗黄色砂混じり暗灰褐色土
215 暗灰緑色砂（暗灰青色のブロックを含む）
216 暗灰緑色シルト
217 灰黄色砂混じり暗灰色砂質土
218 暗灰緑黄色砂質土
219 暗黄灰色粗砂混じり灰緑色土
220 淡灰緑色砂と黄色粗砂の互層
221 灰色砂質土（炭を含む）
222 緑灰色シルト混じり灰色粘質土
223 黄灰色粗砂混じり緑灰色粘質土
224 にぶい灰緑色砂質土
225 淡灰褐色土
226 暗灰青色土
227 暗灰青色砂質土
228 緑灰色土混じり暗黄灰色砂
229 暗灰青色砂
230 オリーブ灰色砂質土
231 淡灰緑色微砂
232 淡灰青色砂

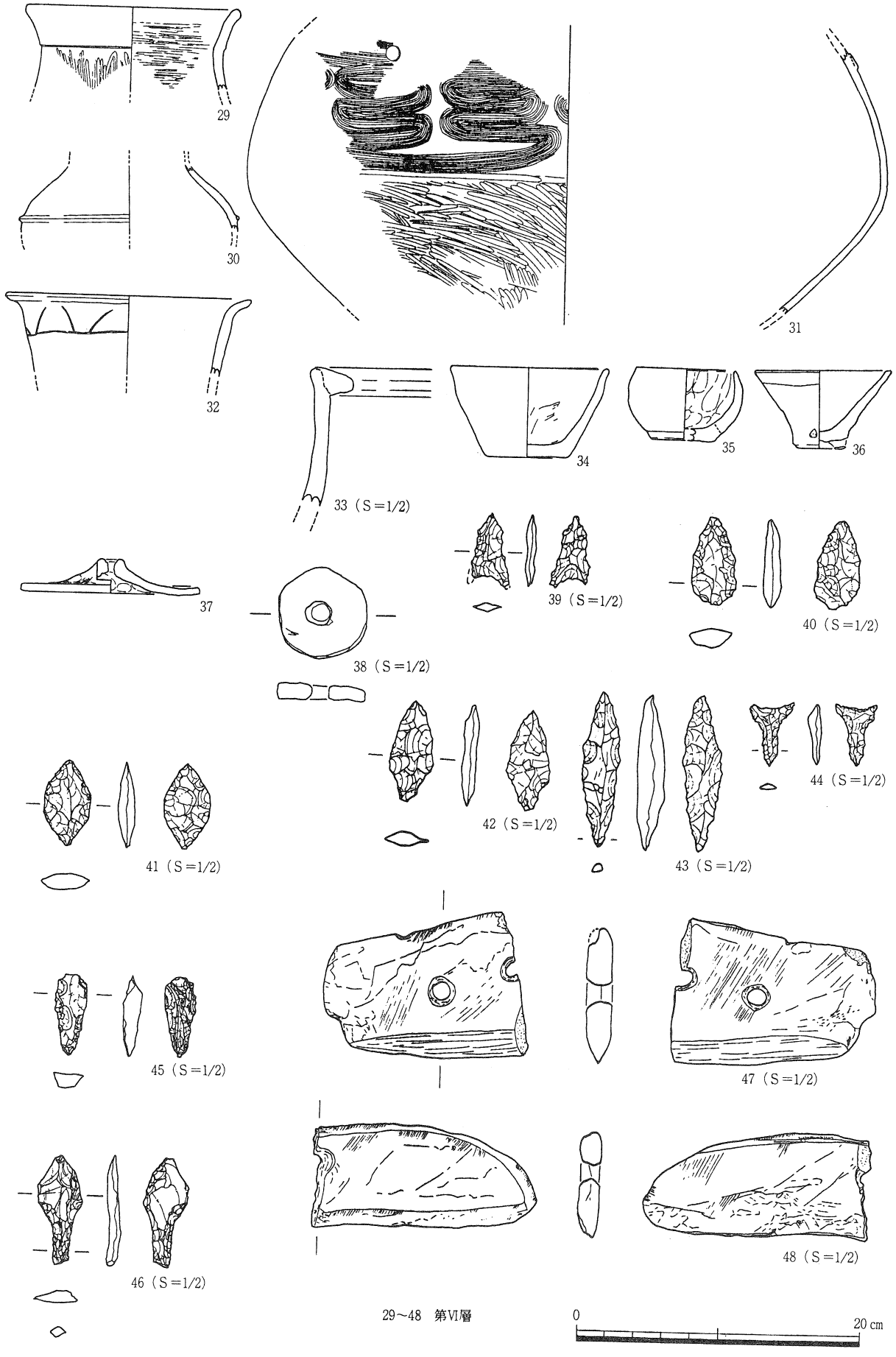
第５図　調査区壁面断面図



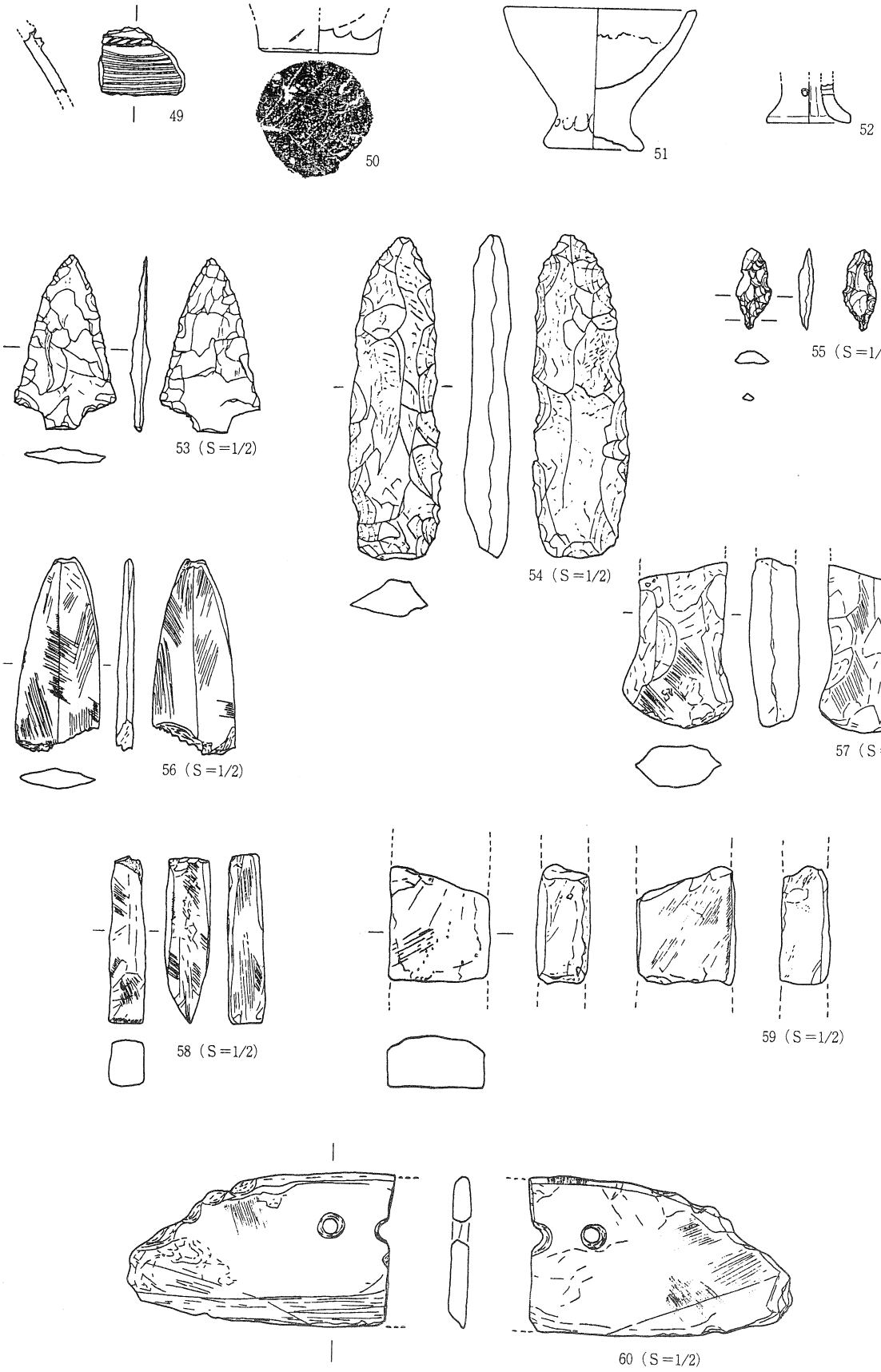
第6図　包合層等出土遺物（1）



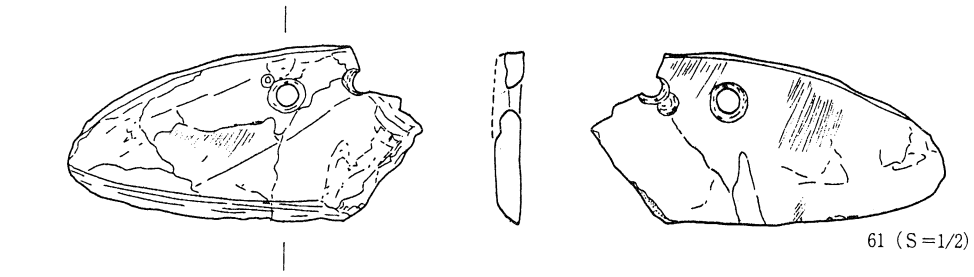
第７図　包合層等出土遺物（２）



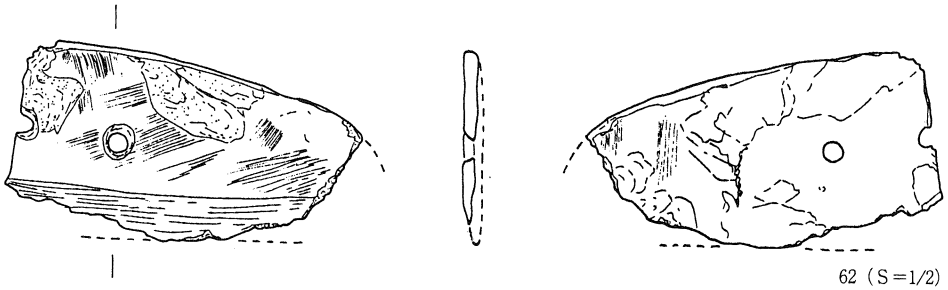
第８図　包合層等出土遺物（３）



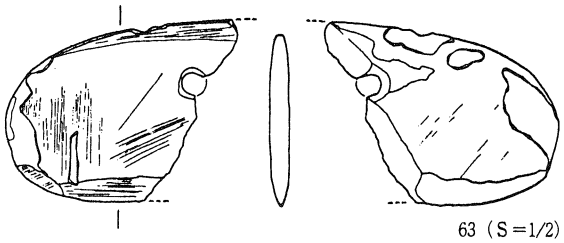
第９図　包合層等出土遺物（４）



61（S＝1/2)

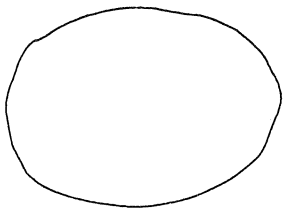


62（S＝1/2)



63（S＝1/2)

64（S＝1/2)



61　不明
62　カク乱
63・64　側溝

第10図　包合層等出土遺物（５）

3．不明遺構

〔A区〕

ＳＸ－Ａ１０１（第14図）

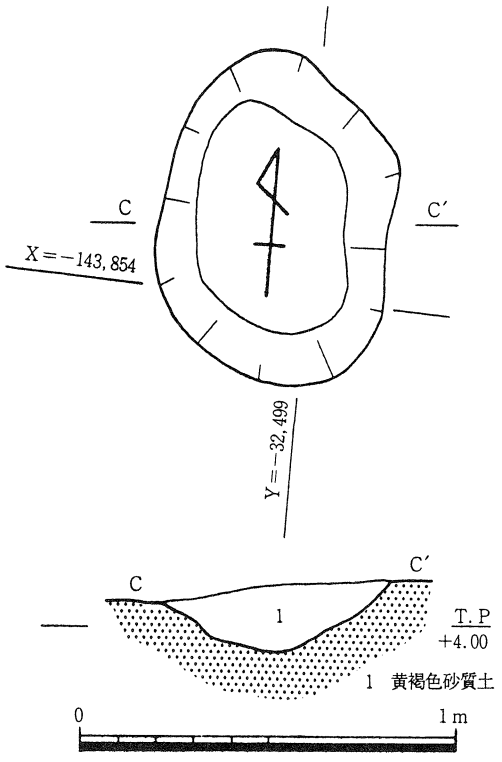
Ａ３～４、Ｂ３～４にかけて検出した。不定形を呈し、深さ約0.14mを測る。遺物は瓦器、須恵器などが出土している。

ＳＸ－Ａ１０２（第14図）

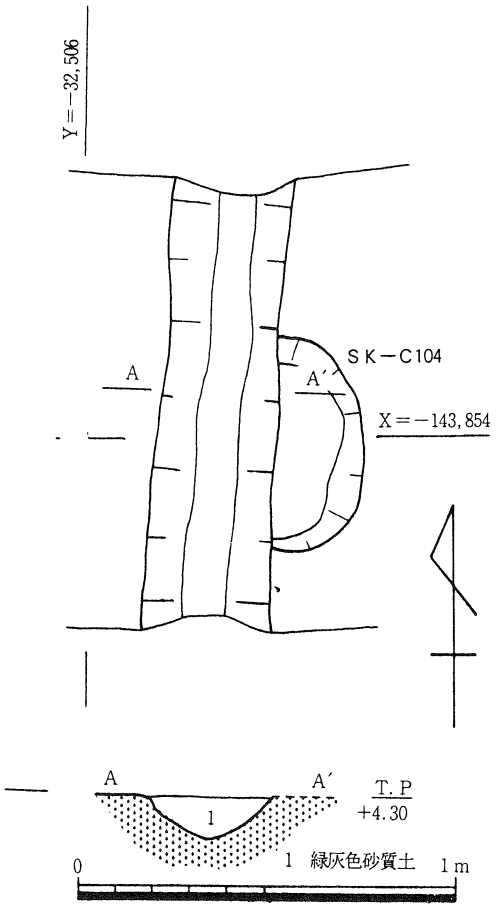
Ａ３～５にかけて検出した。不定形を呈し、深さ約0.08mを測る。遺物は瓦器、須恵器、土師器などが出土している。

4．ピット

Ａ～Ｃ区にかけて18基を検出したが、遺物の出土もなく性格の不明なものである。



第11図　ＳＫ－Ｃ１０１ 平・断面図



第12図　ＳＫ－Ｃ１０４ 溝　平・断面図

Y=−32,525　Y=−32,520　Y=−32,515　Y=−32,510　Y=−32,505　Y=−32,500　Y=−32,495　Y=−32,490　Y=−32,485　Y=−32,480

X=−143,828

X=−143,833

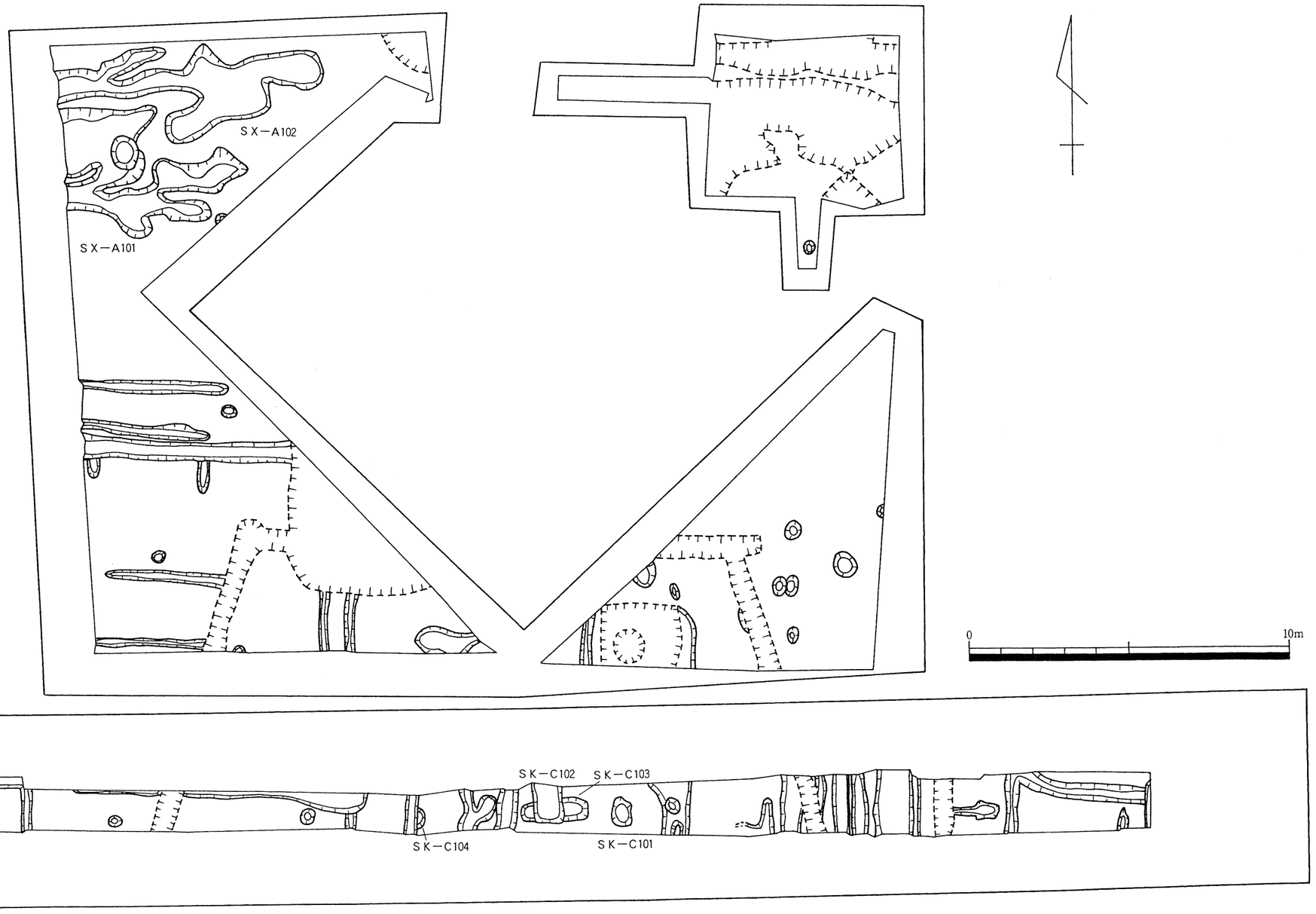
X=−143,838

X=−143,843

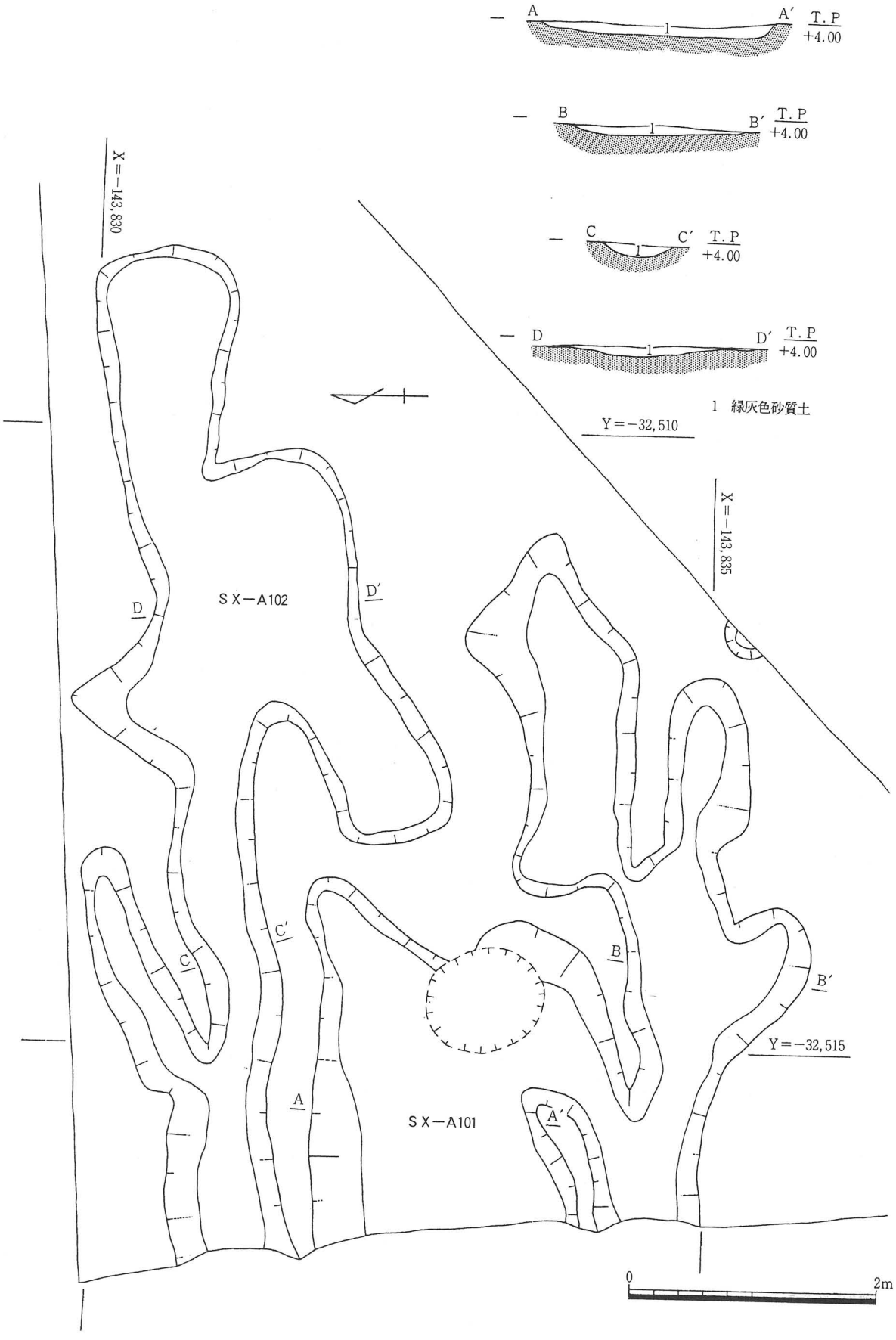
X=−143,848

X=−143,853

X=−143,858



第13図　第１遺構面全体図



第14図　ＳＸ−Ａ１０１・Ａ１０２　平・断面図

第３節　第２遺構面

基本層序第Ⅵ層をベース面として、溝、土坑、多数のピットを検出した（第15図）。標高は第１遺構面と同様にＣ区東端が最も高く西および北西に向けて若干、傾斜する傾向を示している。Ｃ区東端でＴ．Ｐ．＋4.5m、Ｃ区西端でＴ．Ｐ．＋3.8m、Ａ、Ｂ区では概ねＴ．Ｐ．＋4.0mを測る。また、Ｃ区東端のＦ９～10区にかけては地形的に高いことにより、既に第３遺構面に対応する面が検出されており、第２遺構面に対応する遺構は形成されていない状況であった。

１．溝

〔Ａ地区〕

ＳＤ－Ａ２０１（第16図）

Ｃ８～Ｅ８区にかけて検出した、若干、弧状を描きながら北北西に走る溝である。ＳＤ－Ｂ２０１に繋がる。規模は全体の幅は確認し得ないが、およそ約6.0mと推定され、深さ約0.2～0.3mを測る。埋土は３層で黒灰色砂質土、黒灰色土、黒灰色粘質土である。遺物は弥生中期土器、土製品、石製品、木片、動物遺体、炭、種など大量の遺物が出土している。

〔Ｂ地区〕

ＳＤ－Ｂ２０１（第17図）

Ａ７～８、Ｂ７～８区にかけて検出した南北に走る溝である。ＳＤ－Ａ２０１に繋がる。規模は幅約4.7m、深さ約0.2～0.4mを測る。埋土はＡ区のＳＤ－Ａ２０１とは酸化、鉄分を含むため若干雰囲気が異なるが、４層で暗灰褐色土～粘質土が主体をなす。遺物はＳＤ－Ａ２０１同様に大量の遺物が出土している。

〔Ｃ地区〕

ＳＤ－Ｃ２０１

Ｆ８区で検出したほぼ南北に走る溝である。規模は幅約0.9m、深さ約0.4mを測る。埋土は２層で褐色混灰黄色砂質土、暗灰黒色土である。遺物は出土していない。

２．土坑

〔Ａ地区〕

ＳＫ－Ａ２０３（第25図）

Ｄ４～５区にかけて検出した。形態、規模は撹乱に切られているため明らかでない。最深部で約0.14mを測る。埋土は１層で黒色土である。遺物は弥生中期土器片、サヌカイト剥片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ２０４（第26図）

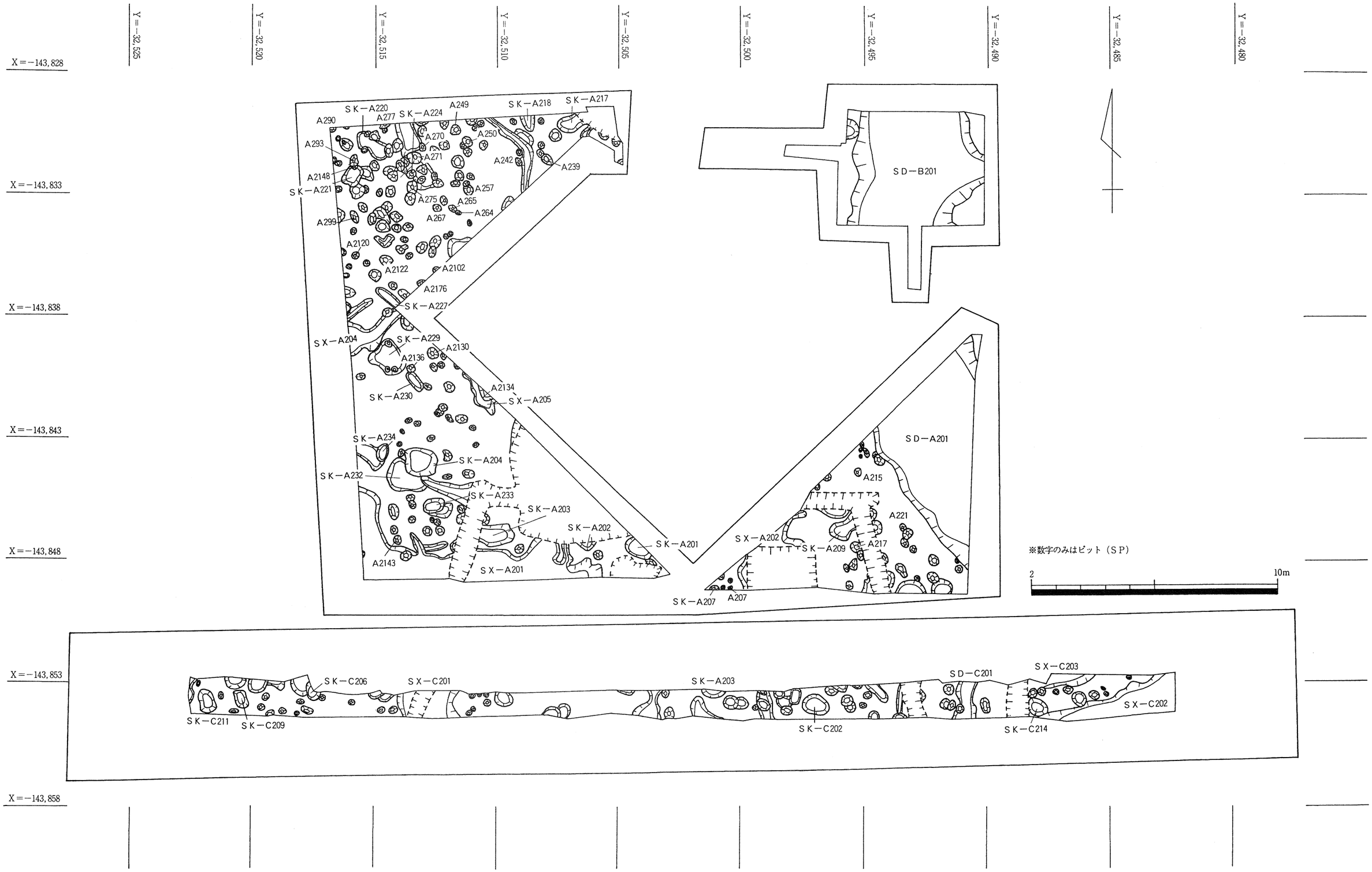
Ｄ４で検出した。形態は不定形な円形を呈し、規模は径約1.1～1.3m、深さ約0.18mを測る。埋土は１層で黒色土である。遺物は弥生中期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ２２０（第27図）

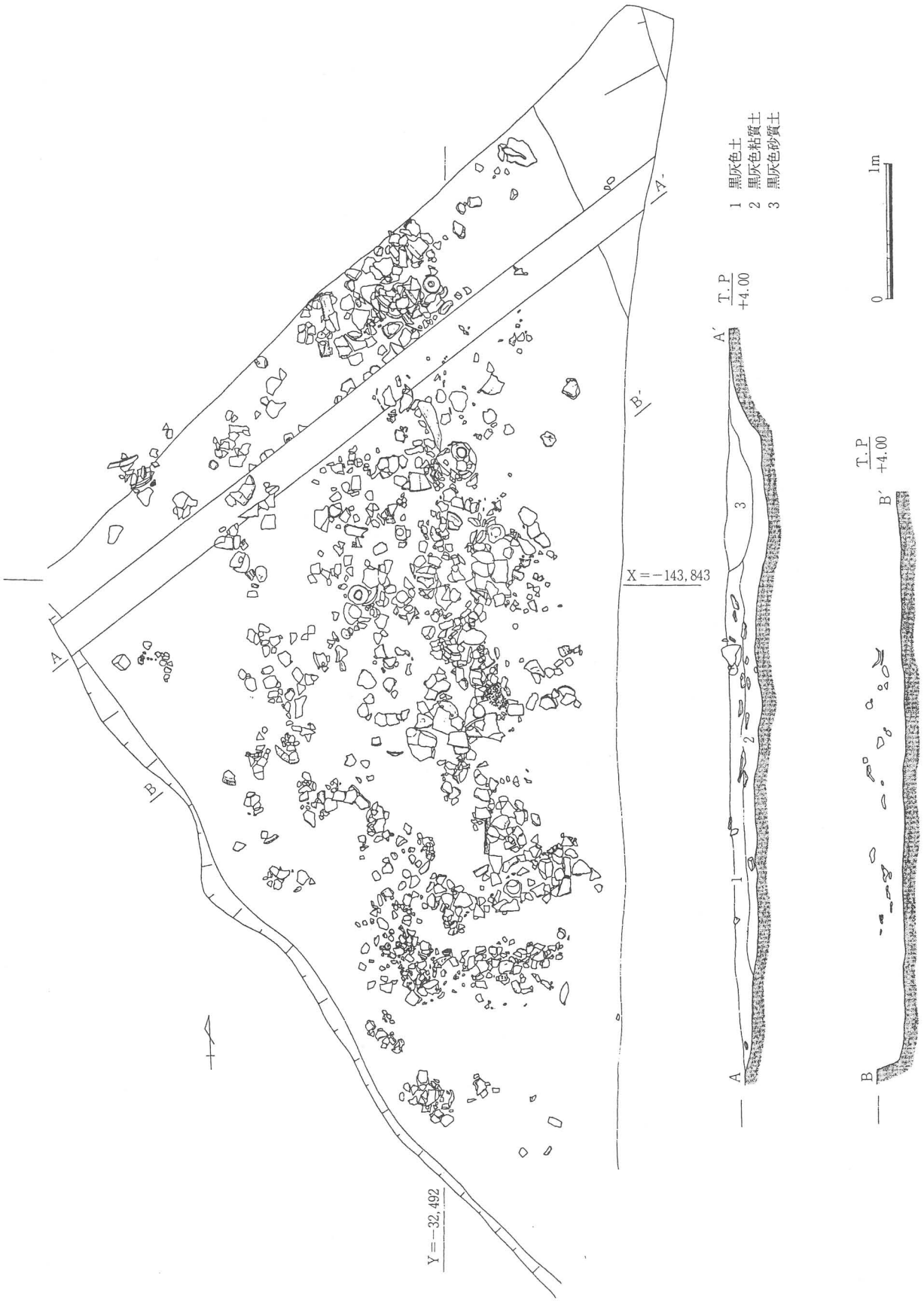
Ａ３～４区にかけて検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約1.5m、短径約0.75m、深さ約0.15mを測る。遺物は弥生中期土器片、石製品、サヌカイト剥片などが出土している。

ＳＫ－Ａ２２７

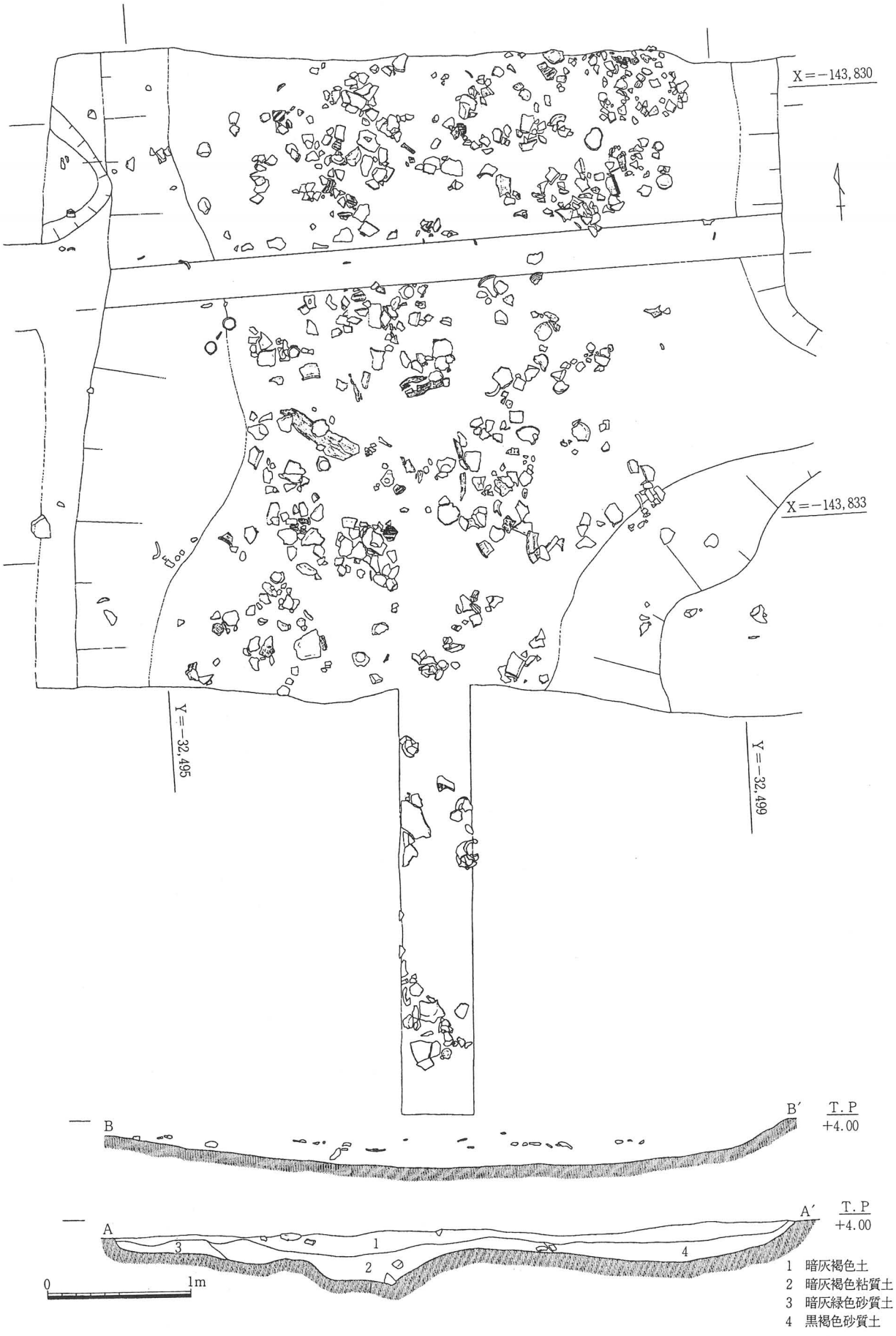
Ｂ４区で検出した。形態は調査区外に伸びるため明らかではないが、ほぼ楕円形を呈するものと思われる。規模は短径約 0.4m、深さ約 0.09mを測る。埋土は１層で暗灰色土である。遺物は弥生中期土



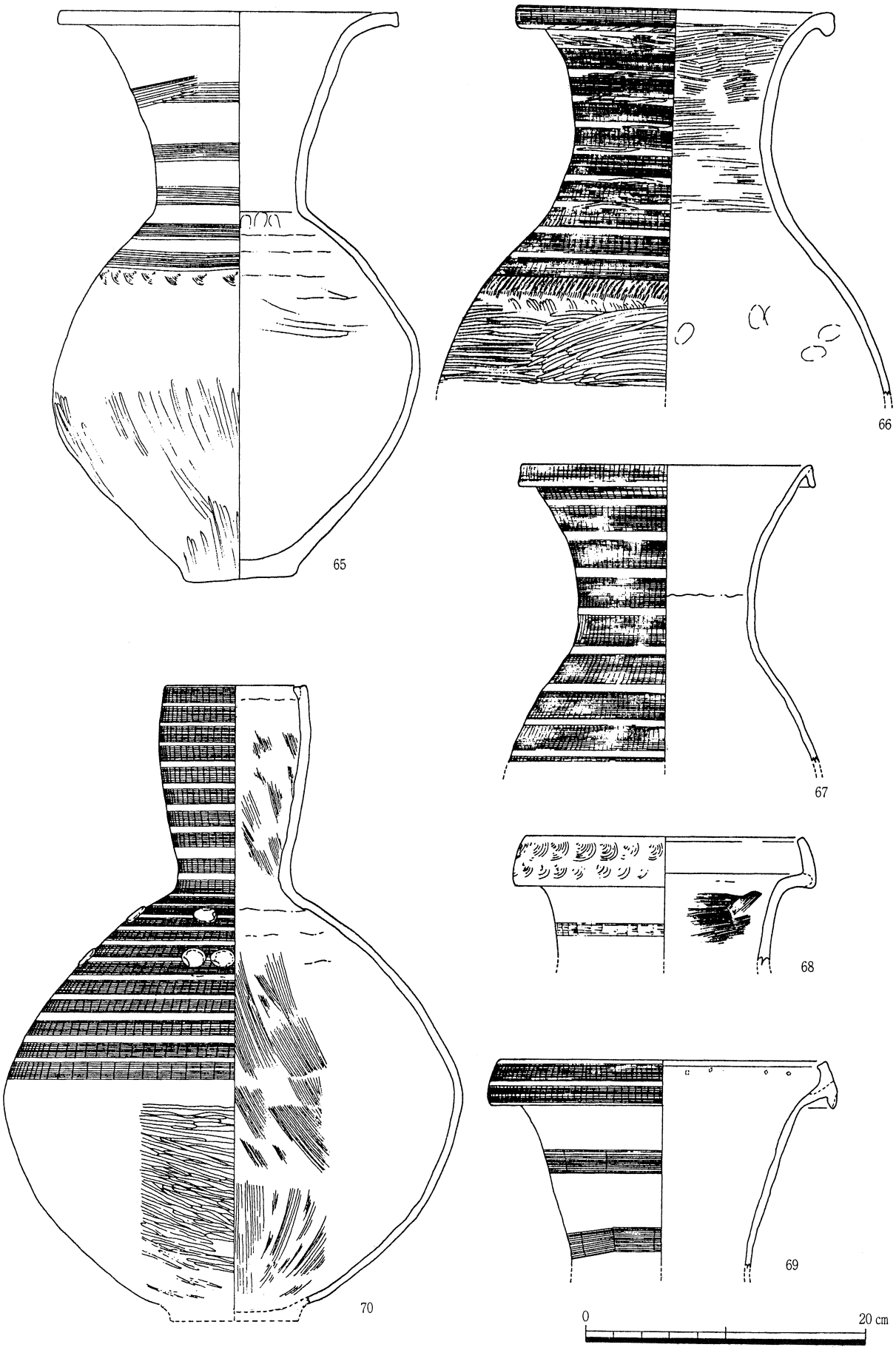
第15図　第２遺構面全体図



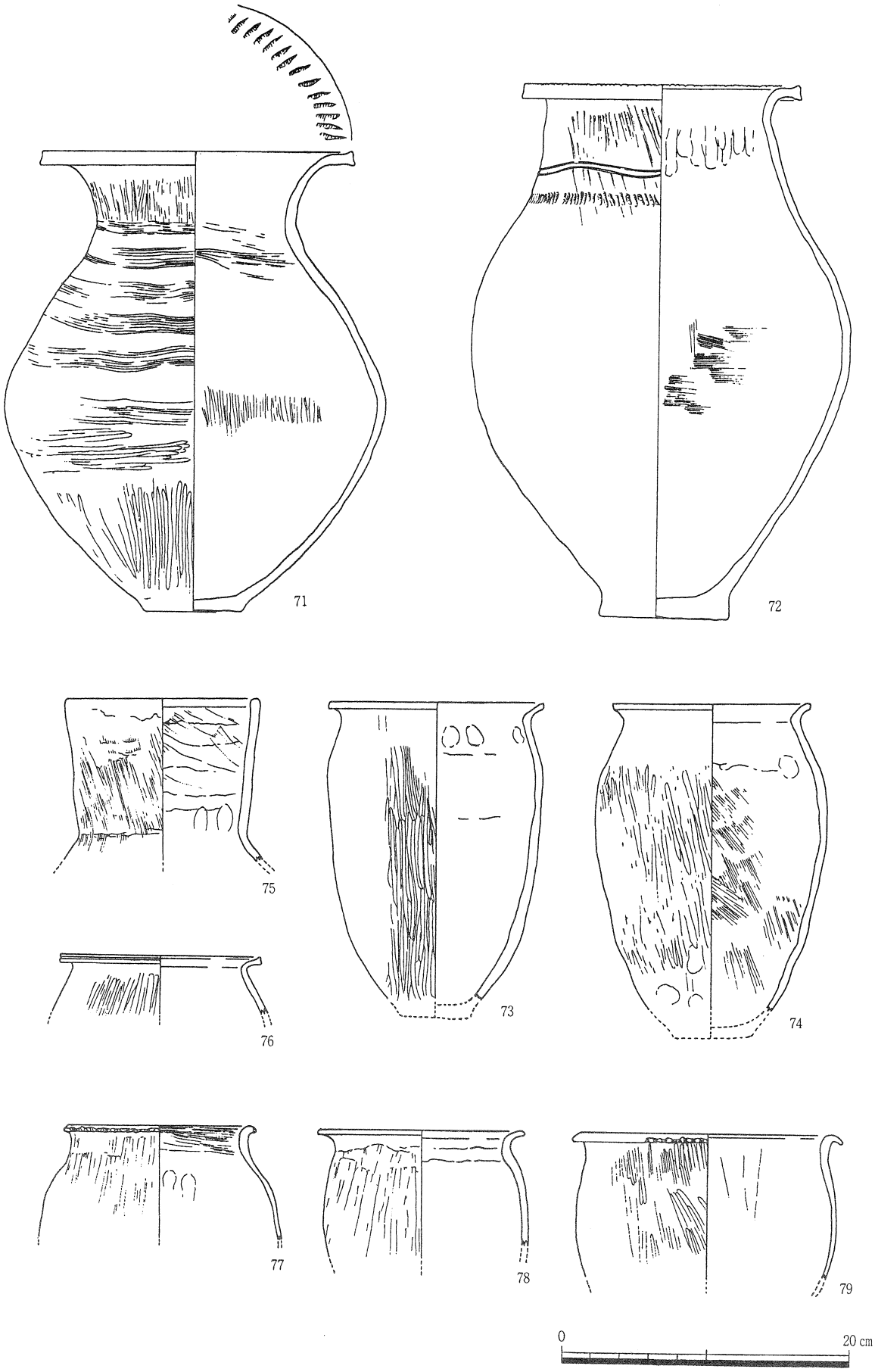
第16図　ＳＤ－Ａ２０１　平・断面・遺物出土状況図



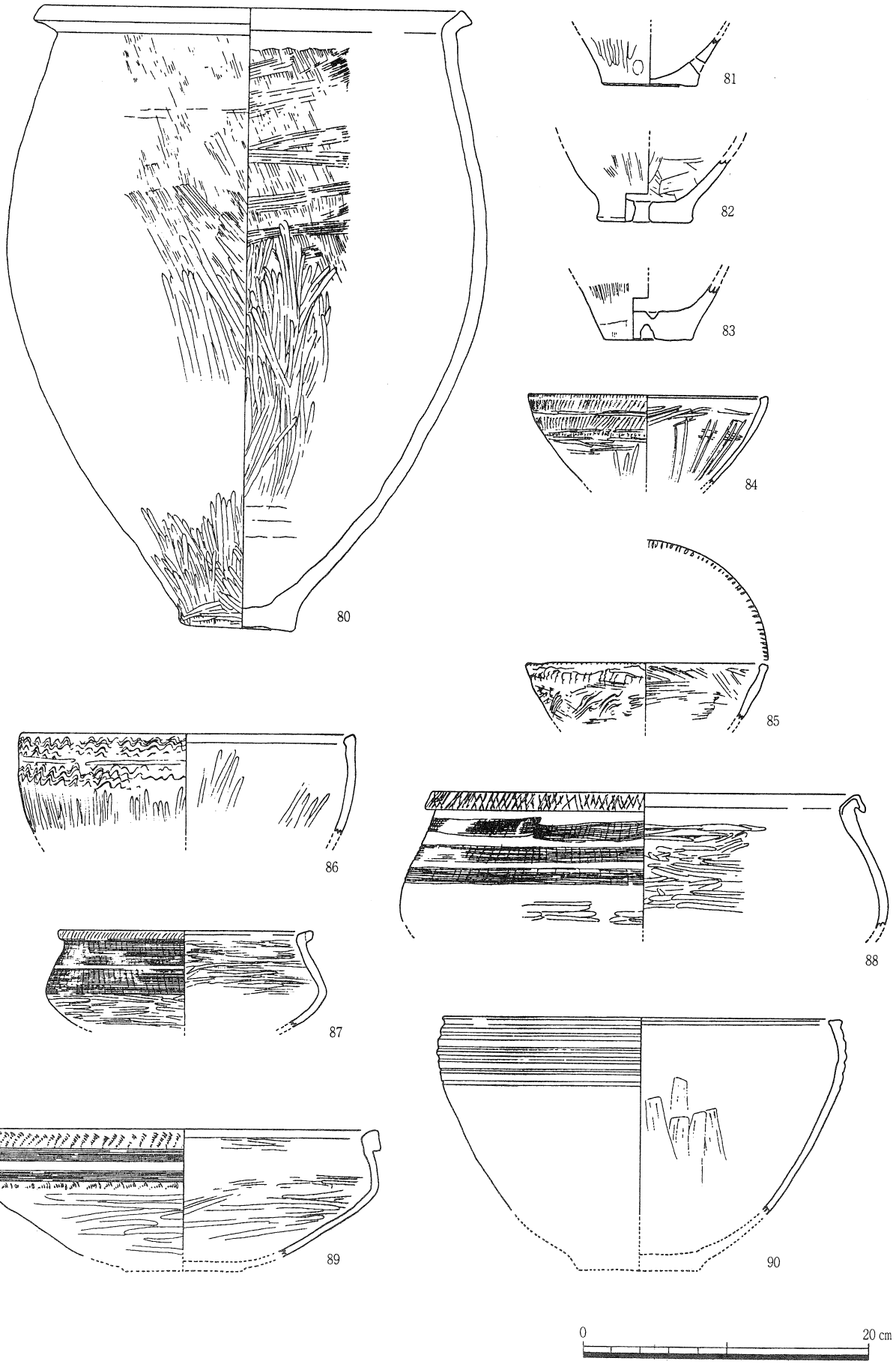
第17図　ＳＤ−Ｂ２０１　平・断面・遺物出土状況図



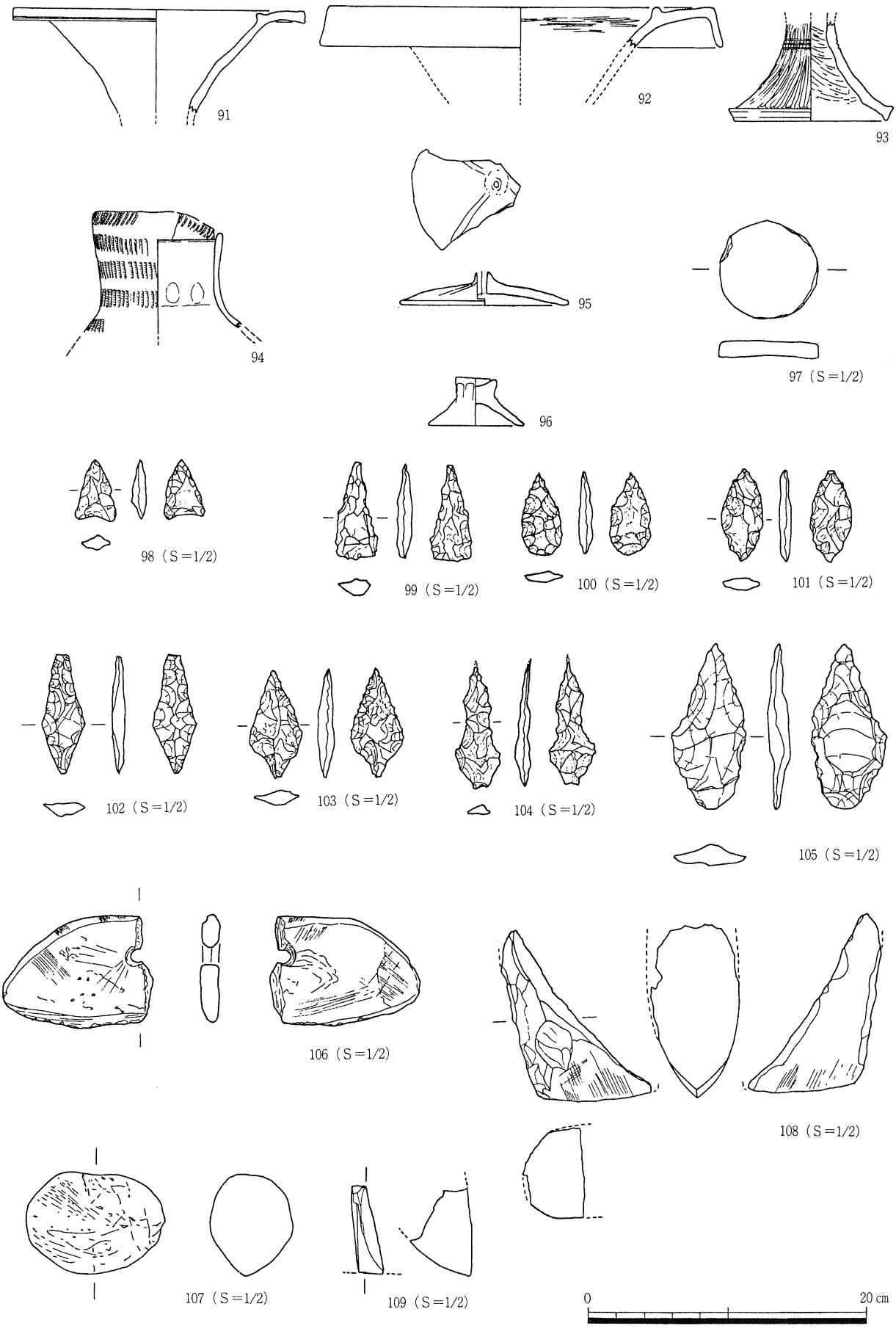
第18図　ＳＤ－Ａ２０１　出土遺物（１）



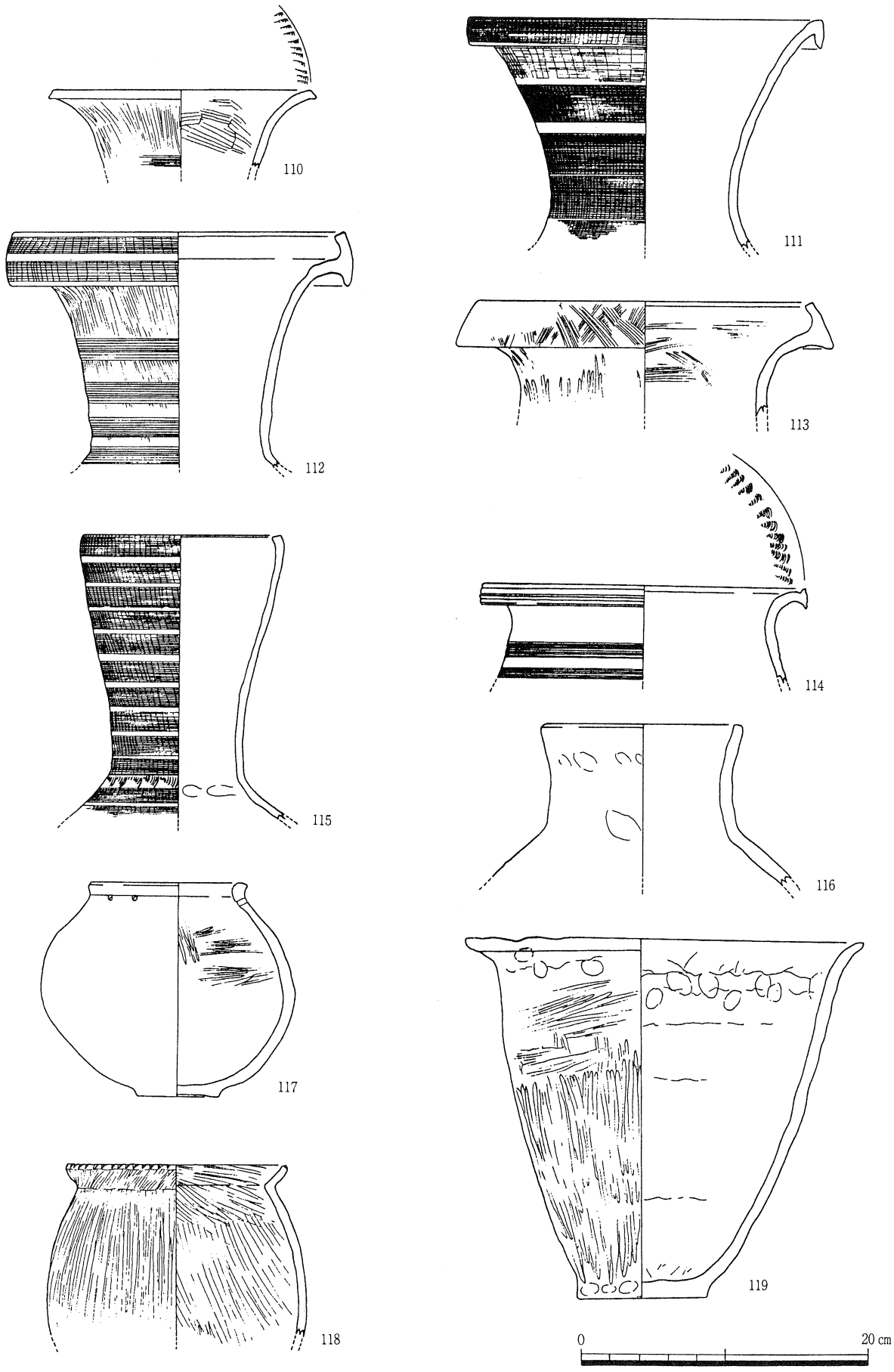
第19図　ＳＤ－Ａ２０１　出土遺物（２）



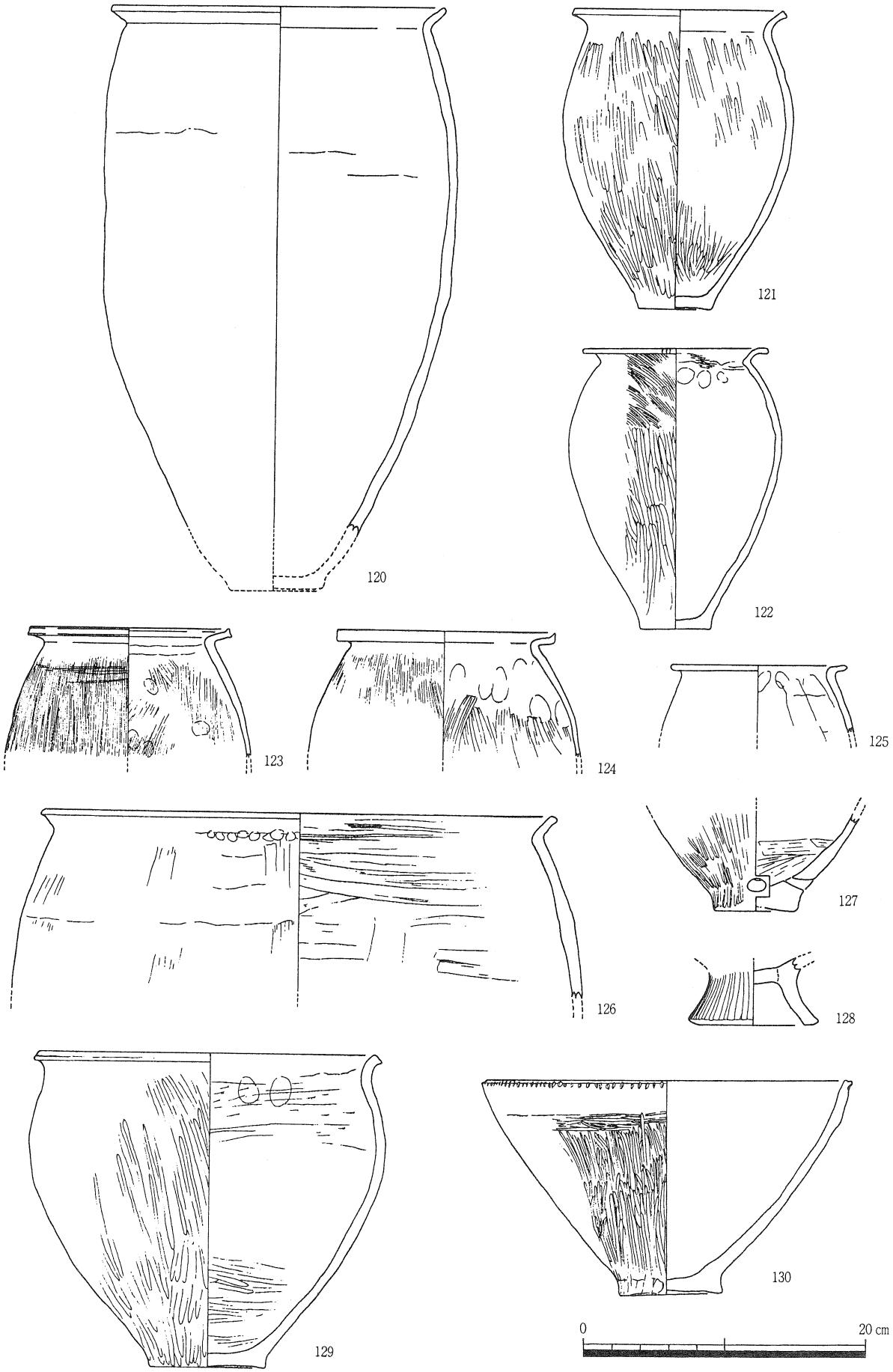
第20図　ＳＤ－Ａ２０１　出土遺物（３）



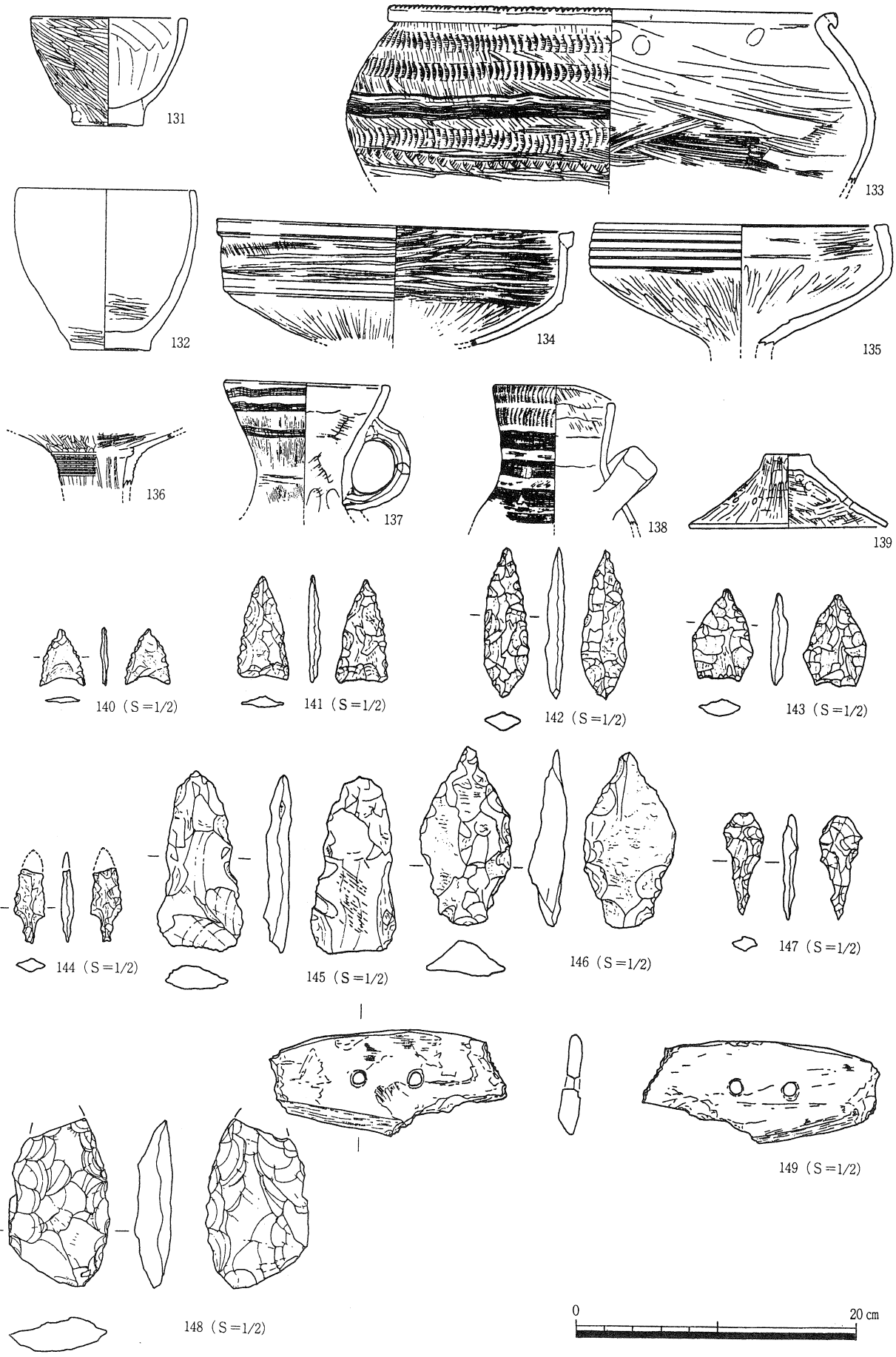
第21図　ＳＤ－Ａ２０１　出土遺物（４）



第22図　ＳＤ－Ｂ２０１　出土遺物（１）



第23図　ＳＤ－Ｂ２０１　出土遺物（２）



第24図　ＳＤ－Ｂ２０１　出土遺物（３）

器片、サヌカイト剥片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ２２９

Ｃ３～４区にかけて検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約1.4m、短径約1.0m、深さ約0.05mを測る。埋土は１層で黒色土である。遺物は弥生中期土器片、石製品、サヌカイト剥片などが出土している。

ＳＫ－Ａ２３０

Ｃ４区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約1.0m、短径約0.45m、深さ約0.16mを測る。埋土は１層で黒色土である。遺物は弥生中期土器片、サヌカイト剥片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ２３２（第26図）

Ｄ４区で検出した。ＳＫ－Ａ２０４に切られる。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約0.8m、短径約0.55m、深さ約0.05mを測る。埋土は２層で黒色土、灰色砂である。遺物は弥生中期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ２３３（第28図）

Ｄ４区で検出した。他の土坑に切られるため、形態は明らかでない。最深部で約0.1mを測る。埋土は１層で黒色土である。遺物は弥生中期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ２３４（第29図）

Ｄ４区で検出した。形態はほぼ円形を呈し、規模は径約0.55m、深さ約0.16mを測る。埋土は２層で暗灰色砂質土、黒色土である。遺物は出土していない。

〔Ｃ地区〕

ＳＫ－Ｃ２０２（第30図）

Ｆ７区で検出した。形態はほぼ楕円形を呈し、規模は長径約1.1m、短径約0.9m、深さ約0.15mを測る。埋土は１層で暗灰黒色土である。遺物は弥生土器片が出土している。

ＳＫ－Ｃ２０３（第31図）

Ｆ６区で検出した。形態、規模は調査区外に伸びるため明らかでない。最深部で約0.09mを測る。埋土は３層で灰緑色砂質土、灰色砂質土、暗灰色砂混粘質土である。遺物は弥生土器片、石包丁などが出土している。

ＳＫ－Ｃ２０９（第32図）

Ｆ２区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.75m、短径約0.5m、深さ約0.1mを測る。埋土は１層でややしまった暗灰緑色砂である。遺物は弥生土器片が出土している。

ＳＫ－Ｃ２１１（第33図）

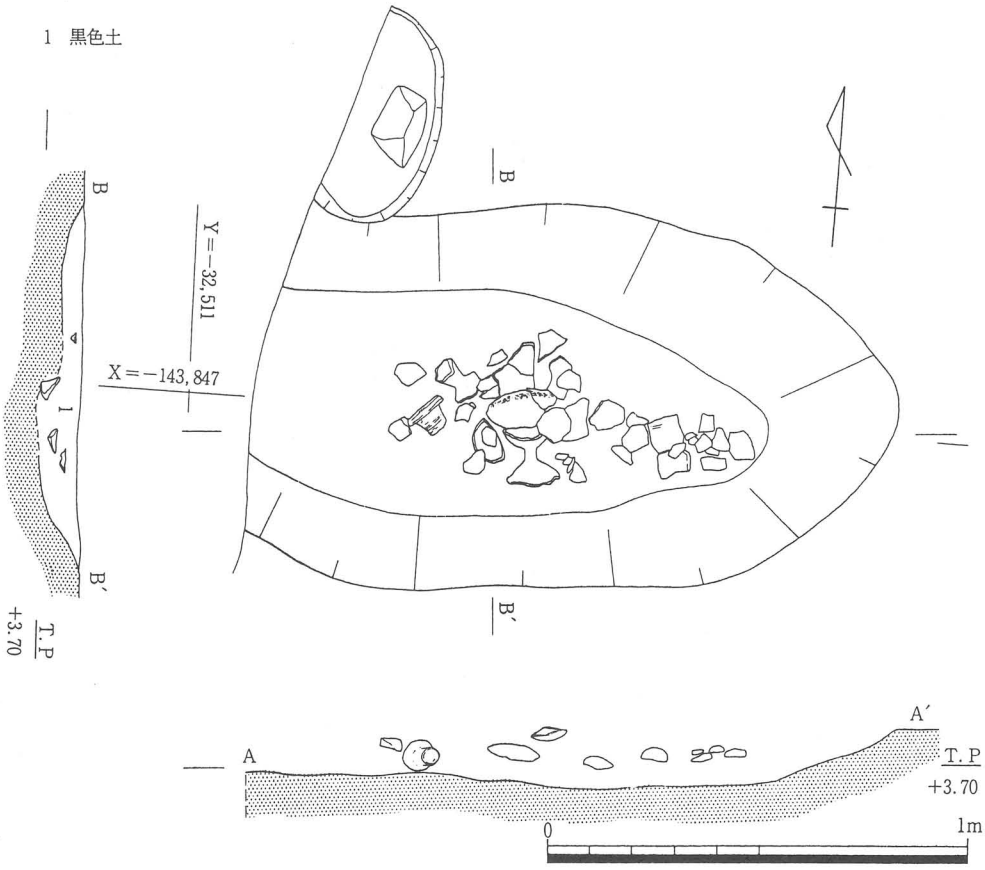
Ｆ２区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約1.0m、短径約0.6m、深さ約0.15mを測る。埋土は１層でややしまった暗灰緑色砂である。遺物は弥生土器片、サヌカイト剥片、骨などが出土している。

３．不明遺構

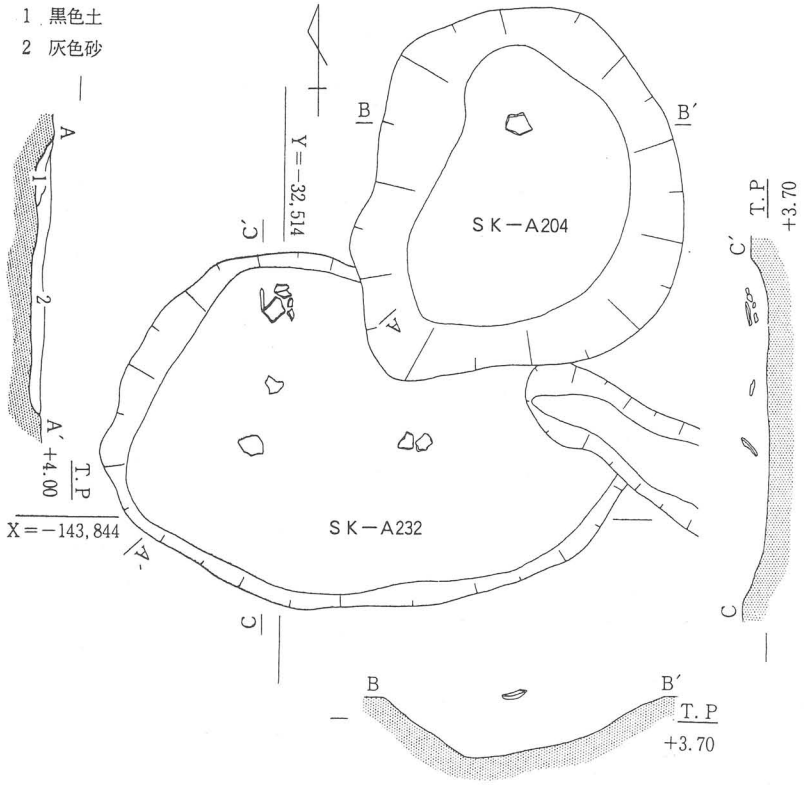
〔Ａ地区〕

ＳＸ－Ａ２０１（第34図）

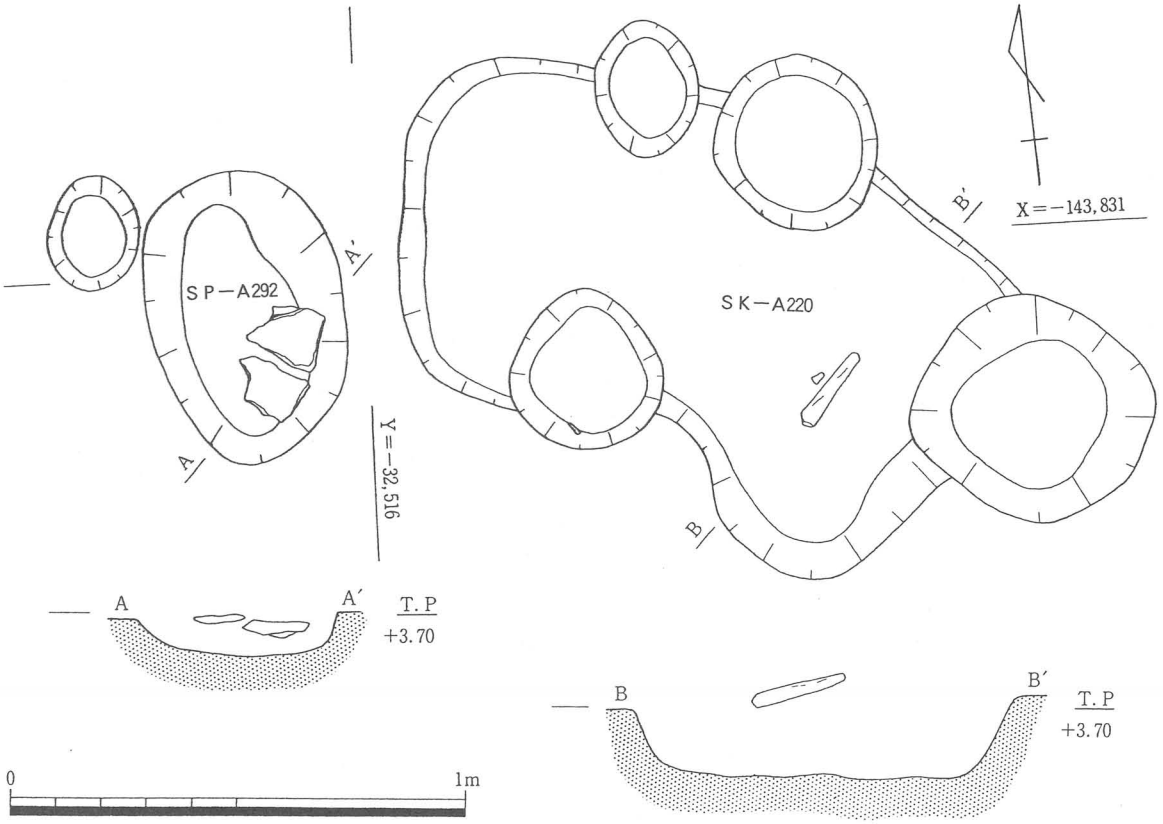
Ｄ３～５、Ｅ３～５にかけて検出した不定形な土坑である。最深部で約0.12mを測る。埋土は２層で黒色土、暗茶褐色砂混土である。遺物は弥生中期土器片、骨、炭などが出土している。



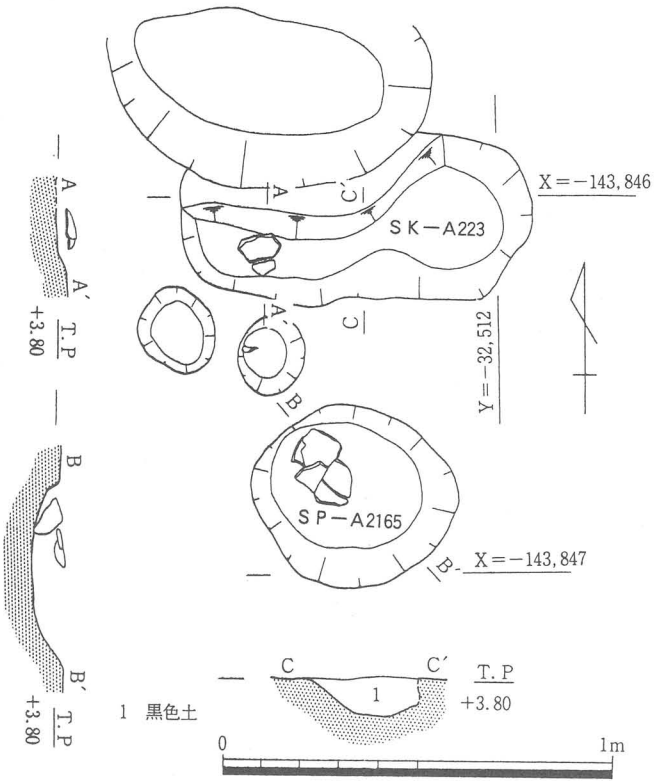
第25図　ＳＫ－Ａ２０３　平・断面・遺物出土状況図



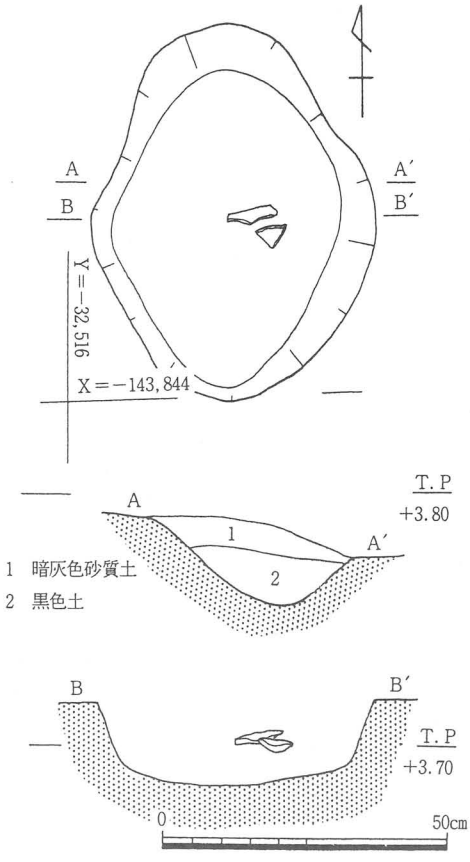
第26図　ＳＫ－Ａ２０４・Ａ２３２　平・断面・遺物出土状況図



第27図　ＳＫ－Ａ２２０　ＳＰ－Ａ２９２　平・断面・遺物出土状況図



第28図　ＳＫ－Ａ２３３　ＳＰ－Ａ２１６５
平・断面・遺物出土状況図



第29図　ＳＫ－Ａ２３４
平・断面・遺物出土状況図

ＳＸ－Ａ２０２

Ｄ７～Ｅ７区にかけて検出した不定形な遺構である。最深部で約0.09ｍを測る。遺物は弥生中期土器片、土製円盤などが出土している。

ＳＸ－Ａ２０４（第35図）

Ｂ４、Ｃ３～４にかけて検出した不定形な遺構である。最深部で約 0.2ｍを測る。埋土は２層で暗灰色砂質土、暗灰緑色シルトである。遺物は弥生中期土器片、骨、木片などが出土している。

〔Ｃ地区〕

ＳＸ－Ｃ２０１

Ｆ４区で検出した形態、規模ともに不明確な遺構である。最深部で約0.74ｍを測る。埋土は１層で暗灰色砂質土である。遺物は弥生中期土器片が出土している。

ＳＸ－Ｃ２０２（第36図）

Ｅ10、Ｆ９～10区で検出した形態、規模ともに不明確な遺構である。最深部で約0.28ｍを測る。埋土は１層で暗灰黒色土である。遺物は比較的まとまって出土しており弥生前期土器片、土製円盤、骨などが出土している。

ＳＸ－Ｃ２０３（第37図）

Ｅ９～Ｆ９で検出した形態、規模ともに不明確な遺構である。最深部で約0.17ｍを測る。遺物は弥生前期土器片、土製円盤などが出土している。

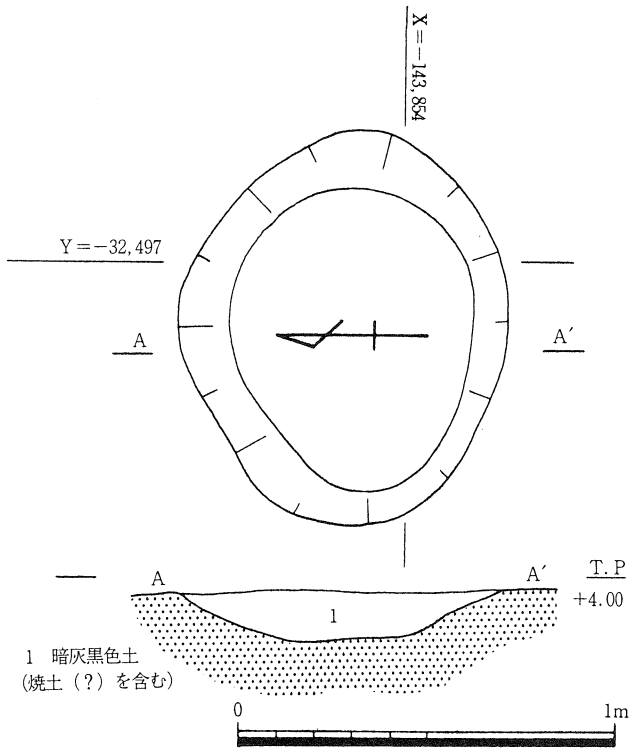
４．ピット

Ａ区で183基、Ｃ区で62基を検出した。特にＳＰ－Ａ２１２２では土器片が根石のような状況で検出されている（第38図）。また、柱材が遺存していたものとしてＳＰ－Ａ２１５、Ａ２２１、Ａ２４２、Ａ２５７、Ａ２６４、Ａ２６５、Ａ２６７、Ａ２７１、Ａ２７５、Ａ２７７、Ａ２９９、Ａ２１０２、Ａ２１２０、Ａ２１３４、Ａ２１３６、Ａ２１４８、Ａ２１７６の１７基があった。（第39図）

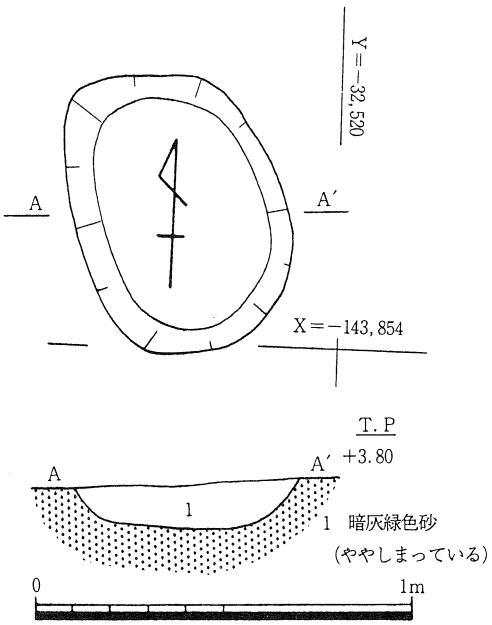
おそらく掘立柱建物が存在するものと思われ、調査時に概ね７棟ほどを想定したが[(1)]、再検討の結果、断定するには至らなかった。

註

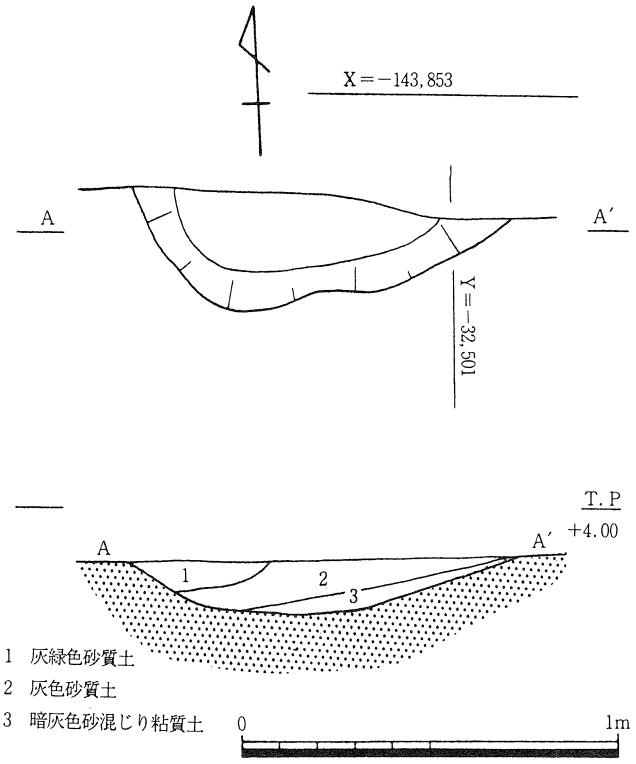
(1)　『中垣内遺跡現地説明会資料』　大東市教育委員会　1992年10月



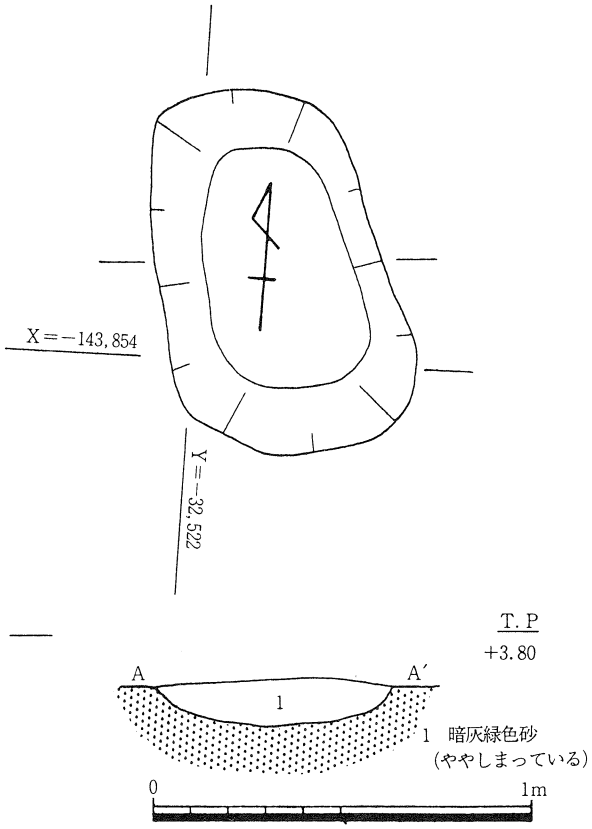
第30図　ＳＫ－Ｃ２０２　平・断面図



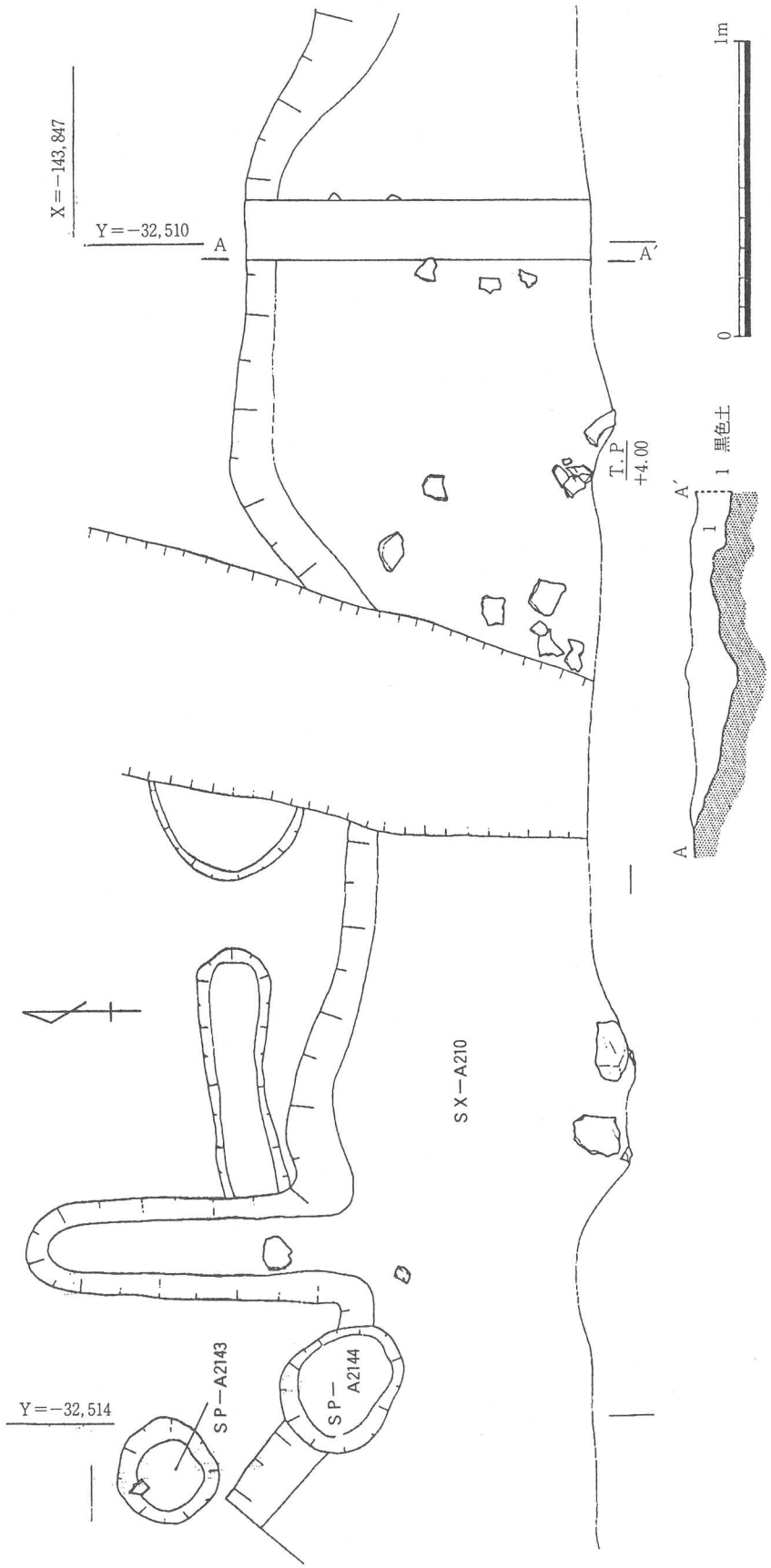
第32図　ＳＫ－Ｃ２０９　平・断面図



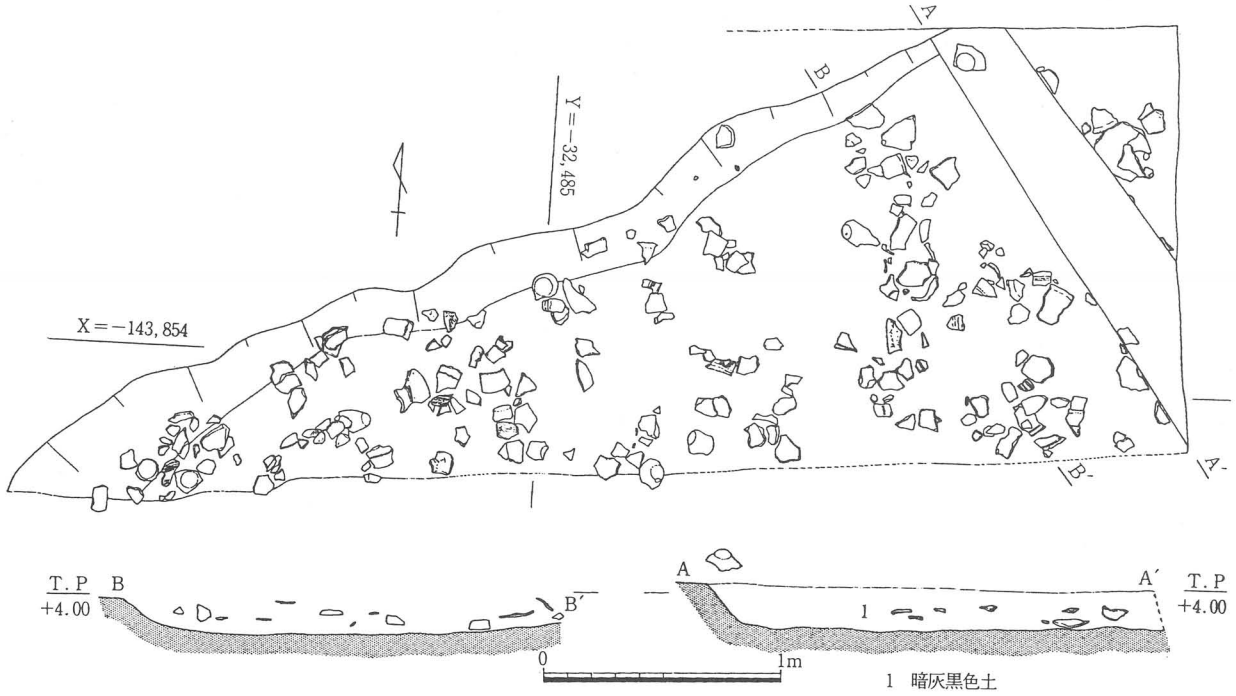
第31図　ＳＫ－Ｃ２０３　平・断面図



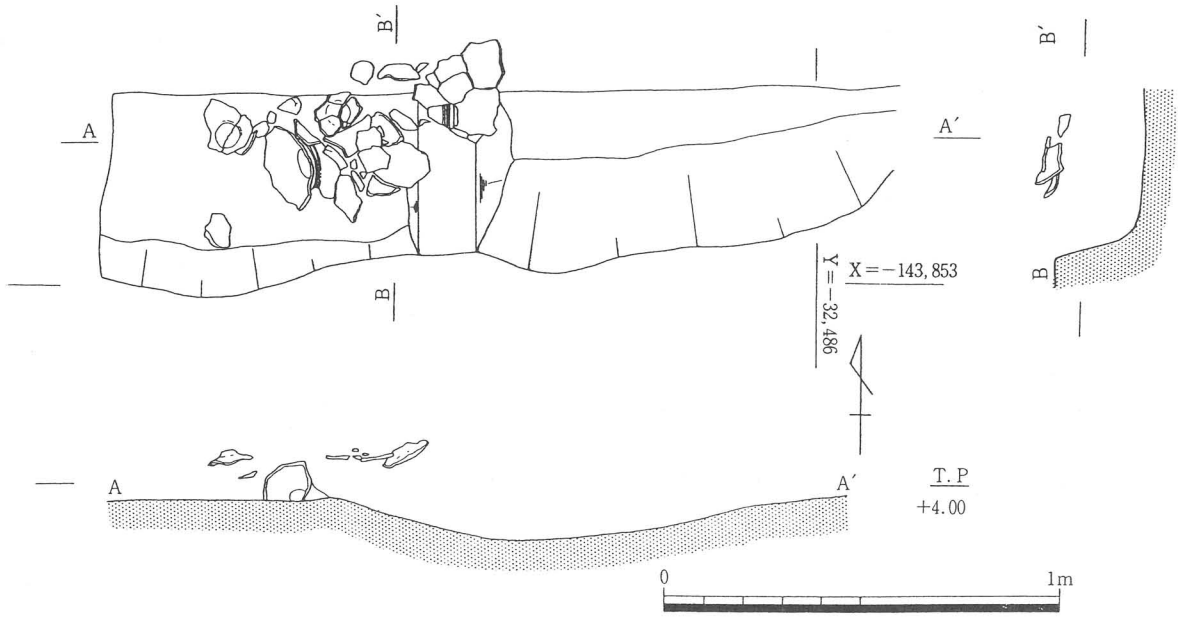
第33図　ＳＫ－Ｃ２１１　平・断面図



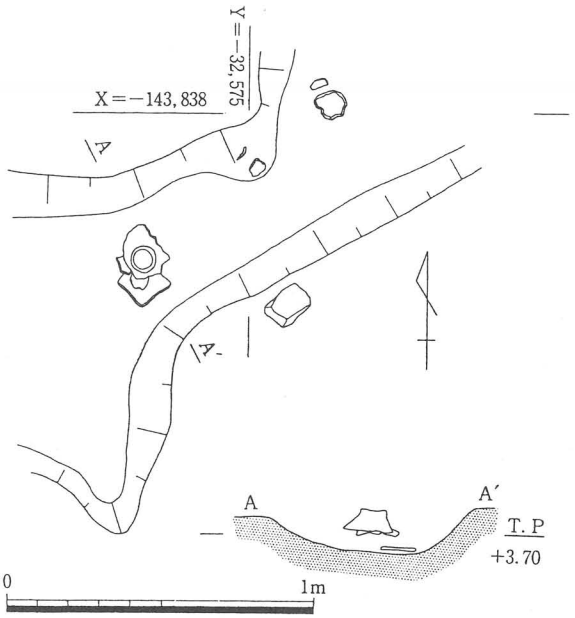
第34図　ＳＸ－Ａ２０１　遺物出土状況図



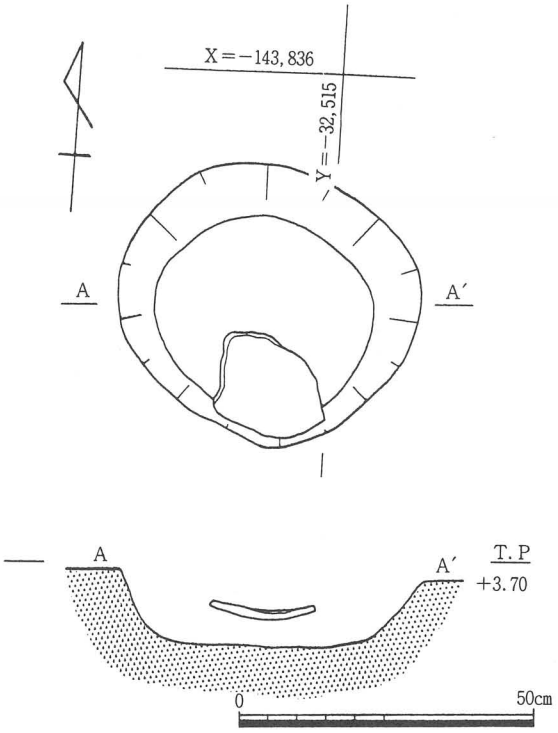
第36図　ＳＸ－Ｃ２０２　平・断面・遺物出土状況



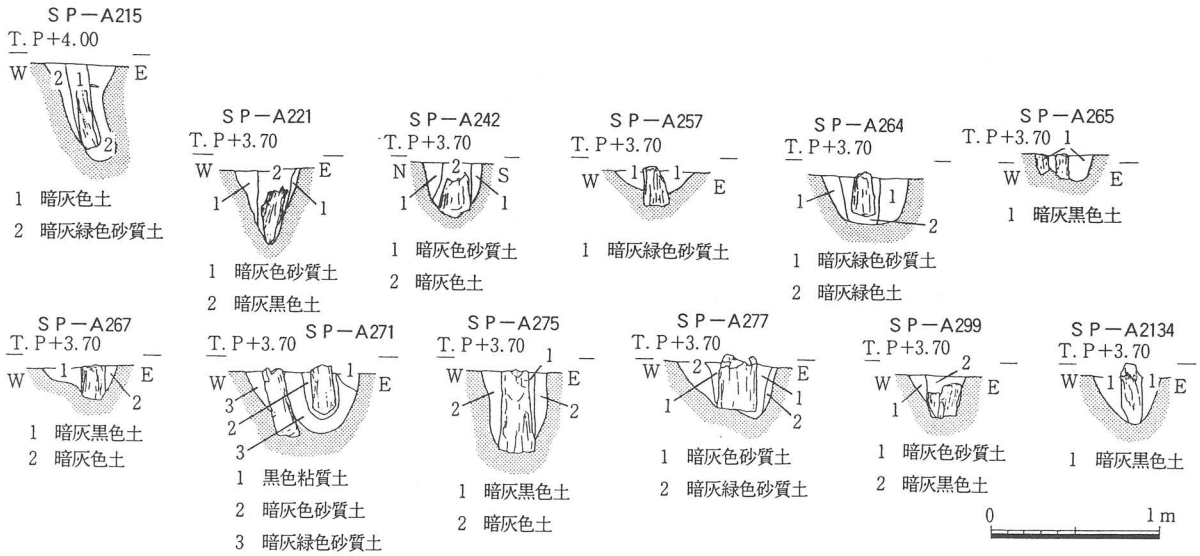
第37図　ＳＸ－Ｃ２０３　遺物出土状況図



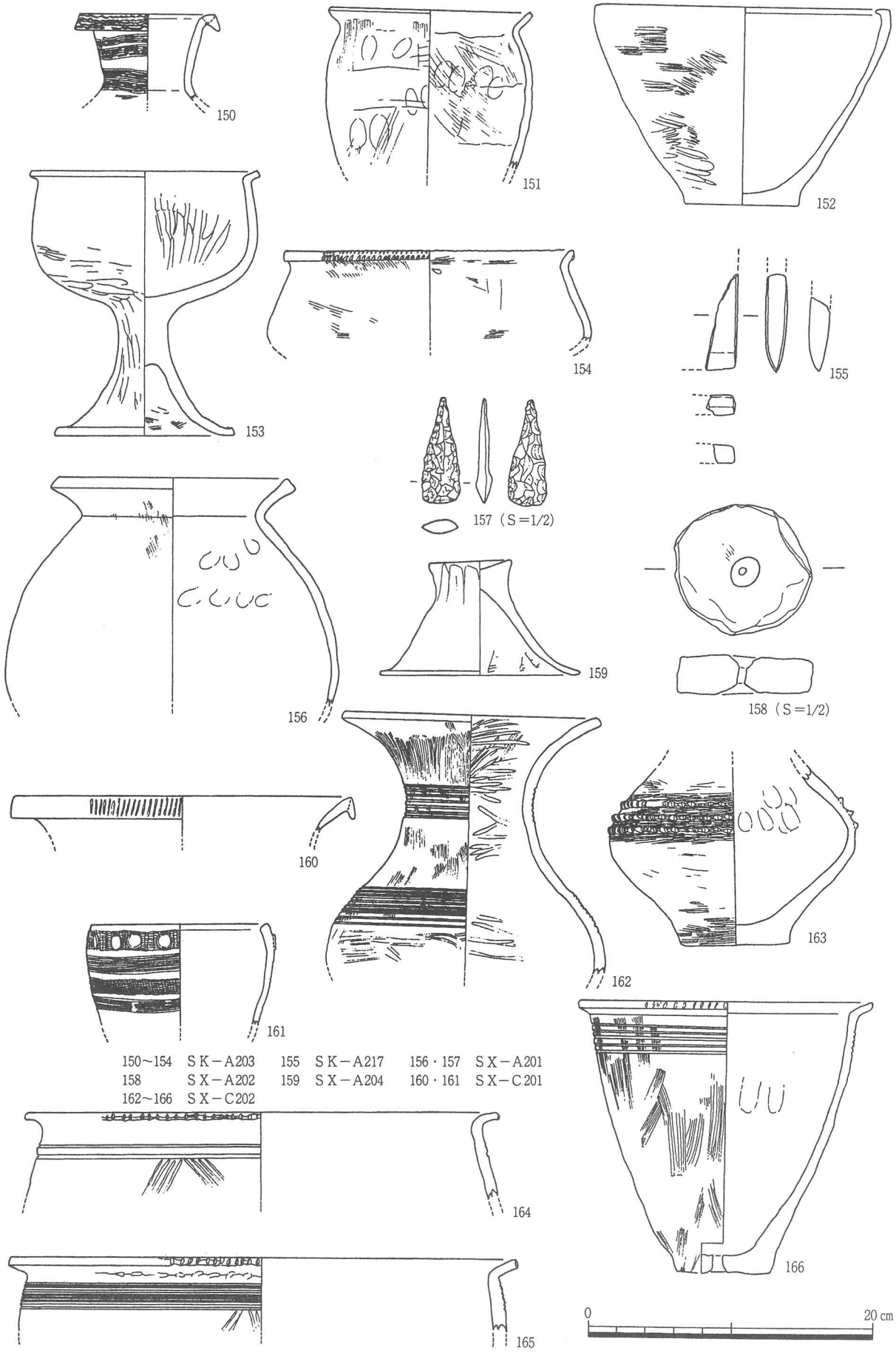
第35図　ＳＸ－Ａ２０４　遺物出土状況図



第38図　ＳＰ－Ａ２１２２　遺物出土状況図

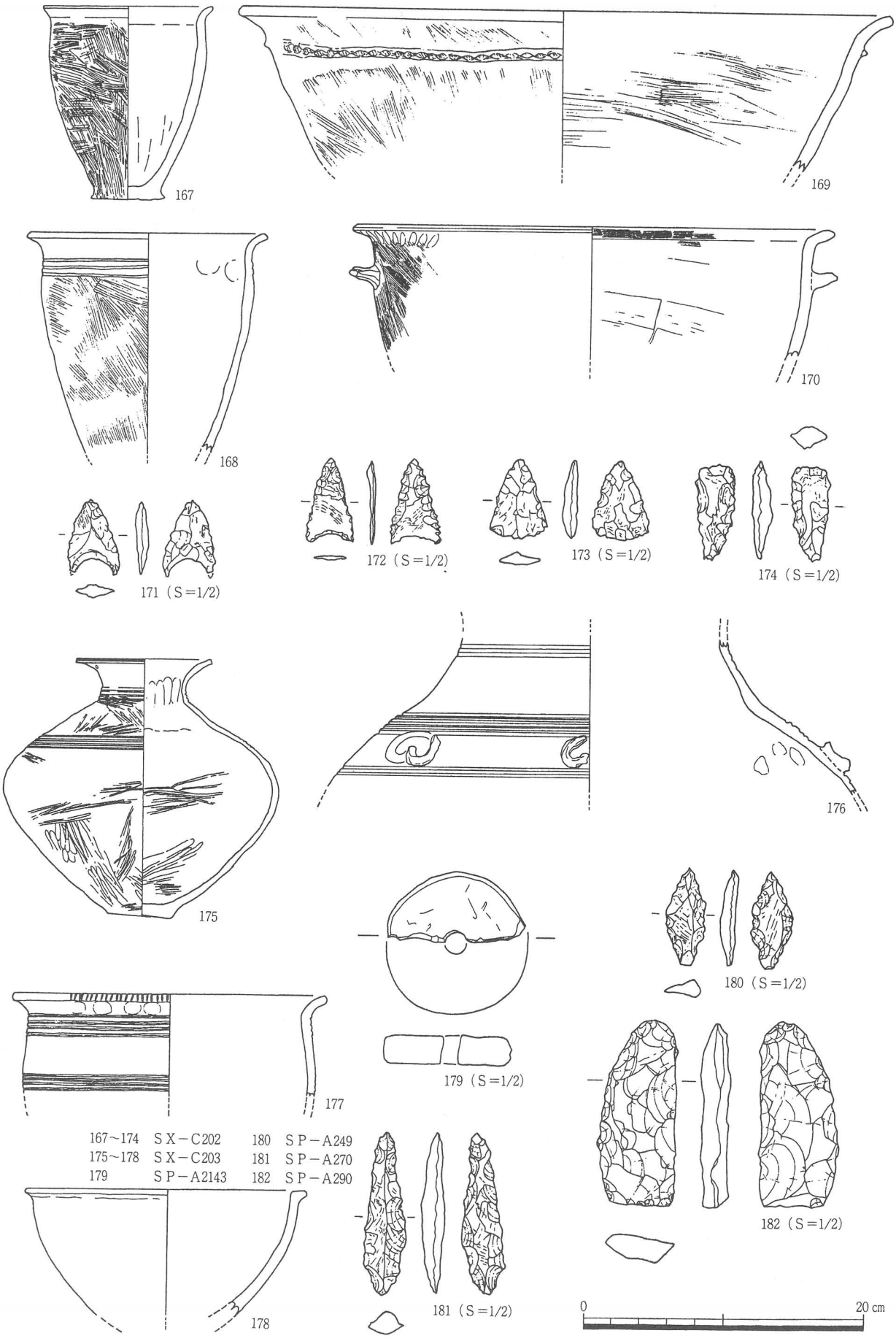


第39図　第２遺構面　各ピット（ＳＰ）断面図



150～154　ＳＫ－Ａ203　155　ＳＫ－Ａ217　156・157　ＳＸ－Ａ201
158　ＳＸ－Ａ202　159　ＳＸ－Ａ204　160・161　ＳＸ－Ｃ201
162～166　ＳＸ－Ｃ202

第40図　第２遺構面　各土坑（ＳＫ）・不明遺構（ＳＸ）・ピット（ＳＰ）出土遺物（１）



167～174	ＳＸ－Ｃ202	180	ＳＰ－Ａ249
175～178	ＳＸ－Ｃ203	181	ＳＰ－Ａ270
179	ＳＰ－Ａ2143	182	ＳＰ－Ａ290

第41図　第２遺構面　各土坑（ＳＫ）・不明遺構（ＳＸ）・ピット（ＳＰ）出土遺物（２）

第４節　第３－ａ遺構面

基本層序第Ⅶ層をベース面として、溝、土坑、多数のピットを検出した（第43図）。標高は第１、２遺構面同様にＣ区東端が最も高く西および北西に向けて若干傾斜する傾向を示している。Ｃ区東端でＴ．Ｐ．＋4.5m、Ｃ区西端でＴ．Ｐ．＋3.8m、Ａ区北西端ではＴ．Ｐ．＋3.7mを測り、全体として概ねＴ．Ｐ．＋3.8m前後である。

後述する第３－ｂ遺構面とは検出面は同じであるが、比較的規模の大きい溝を切っている遺構を含めた面までを第３－ａ遺構面とし、溝を完掘した状態での面を第３－ｂ遺構面とした。遺構の切り合い関係からある程度の時期差は当然考えられるものであるが、図面作成において便宜上分けたものであり、ここでは溝以外について記述する。

１．土坑

〔Ａ地区〕

ＳＫ－Ａ３０２（第42図）

Ａ４区で検出した。形態はほぼ楕円形を呈し、規模は長径約0.75m、短径約0.5m、深さ約0.7mを測る。埋土は１層で暗灰黒色土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３０３（第44図）

Ａ４～５、Ｂ４～５区にかけて検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.22mを測る。埋土は２層で暗灰色土、暗灰黒色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３０４（第45図）

Ｂ４区で検出した。形態は不定形を呈し、規模は最大径約1.7m、深さ約0.4mを測る。埋土は２層で暗灰黒色粘質土、暗灰色土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ３０６（第46図）

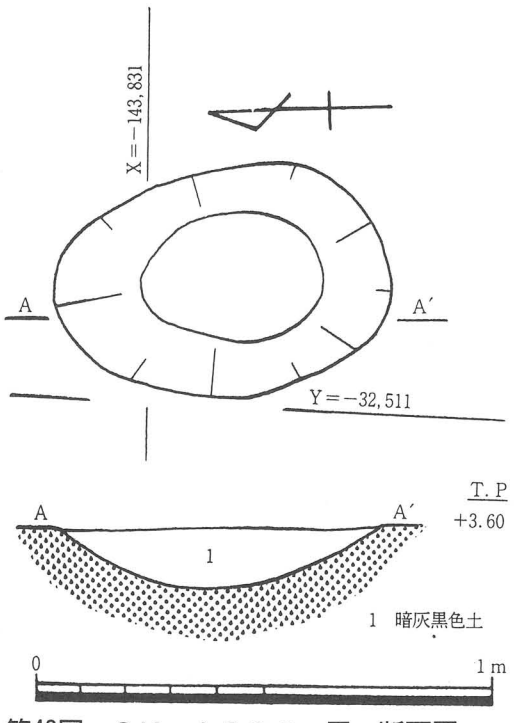
Ｂ４区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約1.0m、短径約0.85m、深さ約0.2mを測る。埋土は２層で暗灰色土、暗灰黄色砂である。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３０８（第47図）

Ａ３区で検出した。形態はやや形の崩れた隅丸の長方形を呈し、規模は長径約1.85m、短径約1.0m、深さ約0.2mを測る。埋土は２層で暗灰色土、暗灰色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３０９（第48図）

Ｂ３～４区にかけて検出した。形態は隅丸の長方形を呈し、規模は長径約2.1m、短径約0.9m、深さ約0.23mを測る。



第42図　ＳＫ－Ａ３０２　平・断面図

Y=−32,525　Y=−32,520　Y=−32,515　Y=−32,510　Y=−32,505　Y=−32,500　Y=−32,495　Y=−32,490　Y=−32,485　Y=−32,480

X=−143,828

X=−143,833

X=−143,838

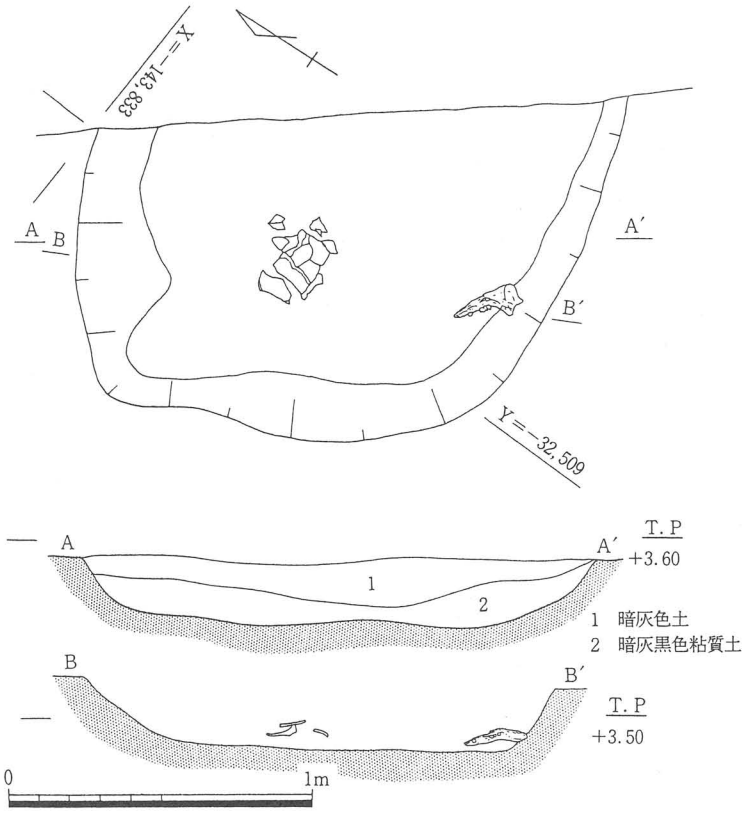
X=−143,843

X=−143,848

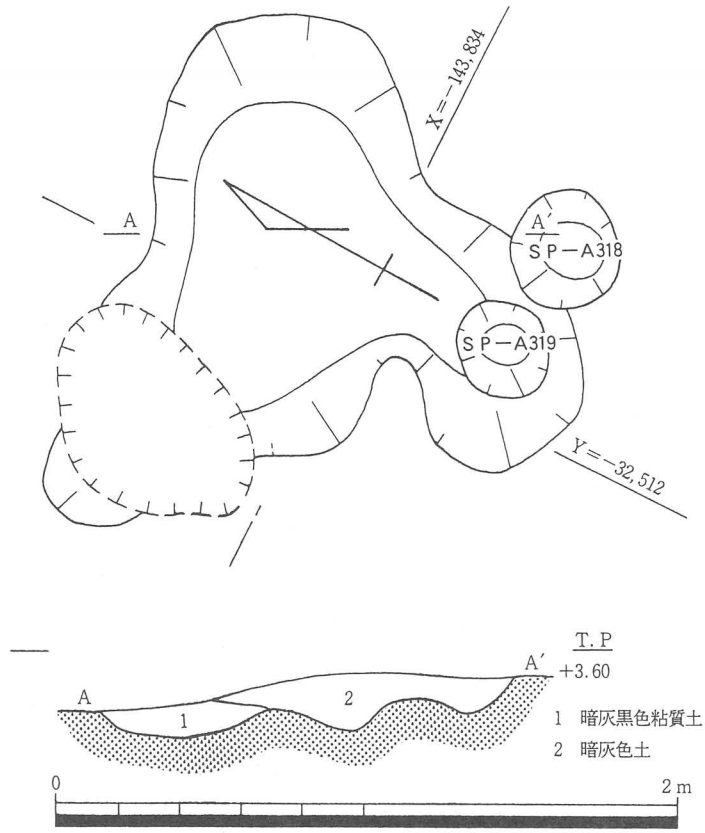
X=−143,853

X=−143,858

第43図　第３－ａ遺構面全体図



第44図　ＳＫ－Ａ３０３　平・断面・遺物出土状況図



第45図　ＳＫ－Ａ３０４　平・断面図

埋土は１層で暗灰黒色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、サヌカイト剥片、骨、炭片などが出土しているが、ほぼ中央にまとまった遺物が認められることや、先端に約0.35m程度の石が遺存していた状況は通常の土坑とは異なる様相を窺わせる。

ＳＫ－Ａ３１０

Ｂ３～４区にかけて検出した。形態は隅丸の長方形を呈し、規模は長径約2.6m、短径約1.0m、深さ約0.2mを測る。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３１１

Ｂ３区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでない。埋土は１層で暗灰黒色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３１２（第49図）

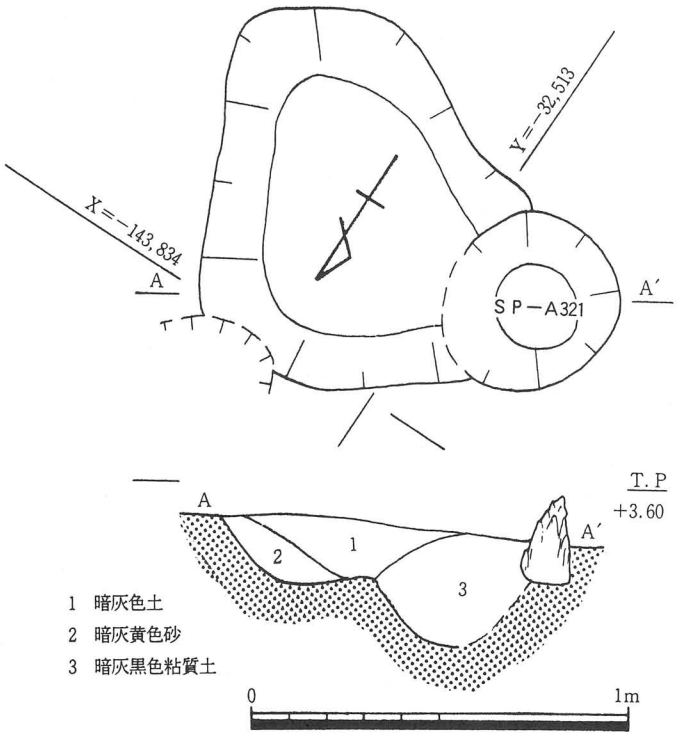
Ｃ３～Ｃ４区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.95m、短径約0.3m、深さ約0.07mを測る。埋土は１層で暗灰緑色シルト混じり暗灰色土である。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３１３（第50図）

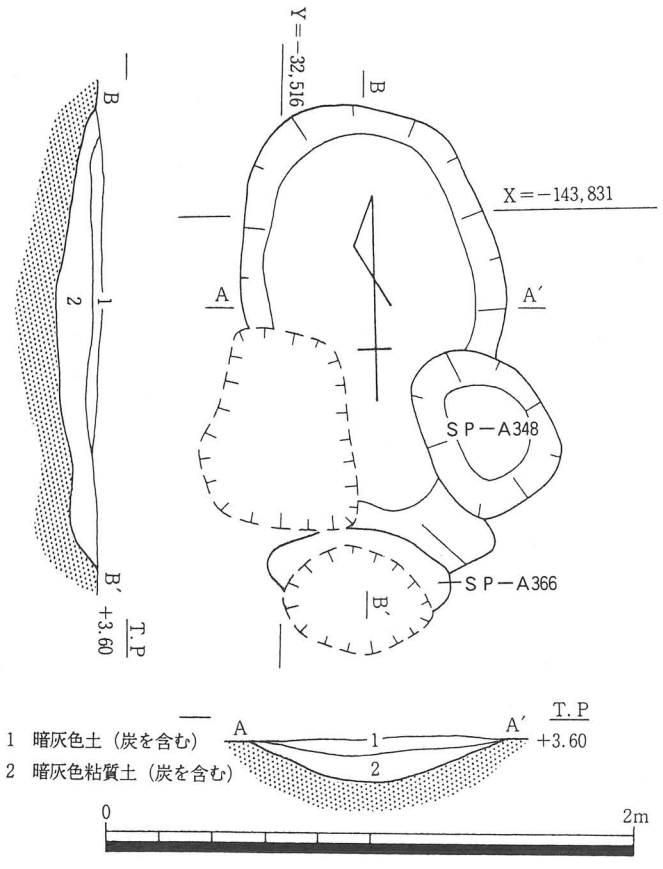
Ｃ４区で検出した。形態はやや形の崩れた隅丸の方形を呈し、規模は長径約1.4m、短径約1.2m、深さ約0.07mを測る。埋土は１層で灰色シルト混じり暗灰黄色シルトである。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３１６（第51図）

Ｄ４区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約1.4m、短径約0.95m、深さ約0.14mを測る。埋土は１層で黄灰色砂質土である。遺物は弥生前期土器片、炭片などが出土している。



第46図　ＳＫ－Ａ３０６　平・断面図



第47図　ＳＫ－Ａ３０８　平・断面図

ＳＫ－Ａ３１７

Ｄ５区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.13mを測る。埋土は２層で暗灰黄色シルト混じり灰色砂、暗灰色シルトである。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３１８

Ｄ５区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.17mを測る。埋土は２層で暗黄灰色砂質土、暗灰色粘質シルトである。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３１９（第52図）

Ｅ５区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.13mを測る。埋土は１層で暗黄灰色粗砂混じり暗灰色粘質土である。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３２０（第53図）

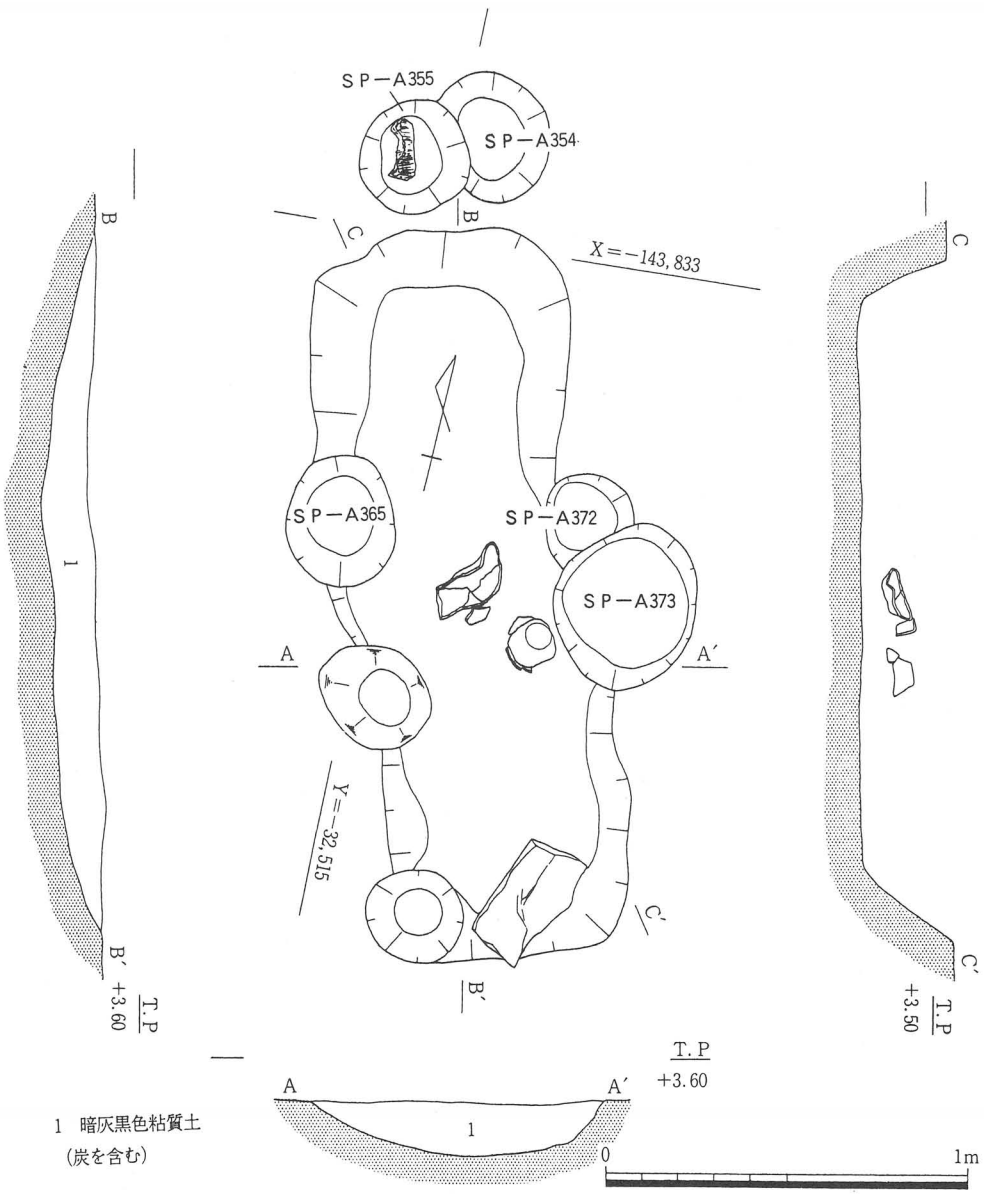
Ｃ８～Ｄ８区にかけて検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.11mを測る。埋土は２層で暗灰緑色シルト、黄灰色砂である。遺物は弥生前期土器片、紡錘車、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ３２１

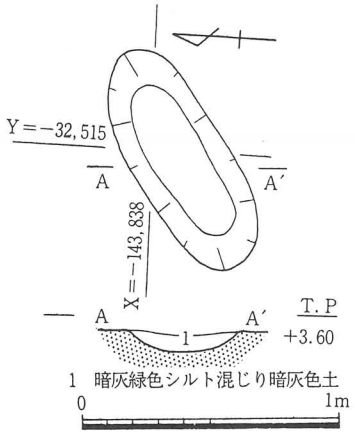
Ｅ８区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.21mを測る。埋土は２層で暗灰緑色土、暗灰緑色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ３２２

Ｄ８区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.06mを測る。埋土は１層で暗灰黒色土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。



第48図　ＳＫ－Ａ３０９　平・断面・遺物出土状況図



第49図　ＳＫ－Ａ３１２
平・断面図

ＳＫ－Ａ３２３

Ｄ８区で検出した。他の遺構に切られているため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.09ｍを測る。埋土は１層で褐黄色砂混じり暗褐色土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ３２４（第54図）

Ｄ８～Ｅ８区にかけて検出した。形態は不定形な円形を呈し、規模は径約0.95ｍ、深さ約0.37ｍを測る。埋土は２層で暗灰緑色土、暗灰緑色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３２５（第55図）

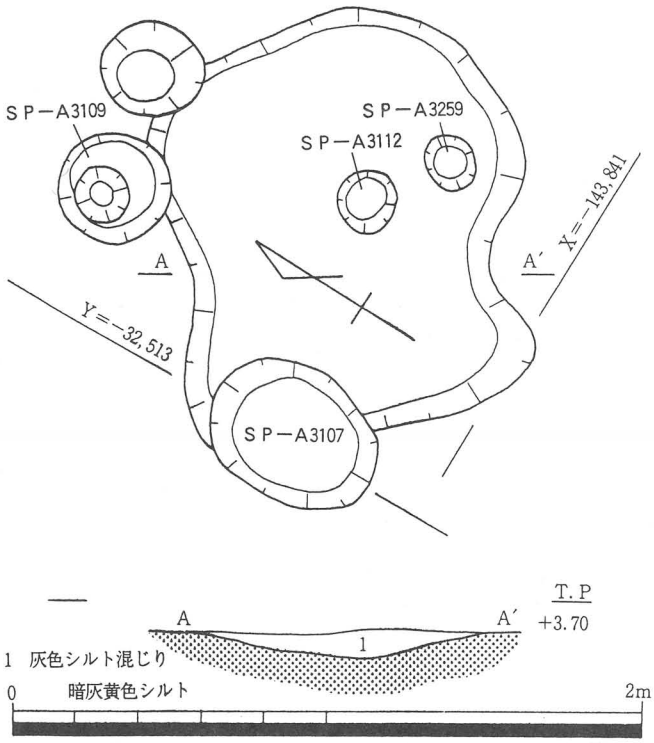
Ｅ７区で検出した。形態は隅丸の三角形を呈し、規模は径約0.75ｍ、深さ約0.12ｍを測る。埋土は２層で暗灰青色土、暗灰緑色砂質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３２６

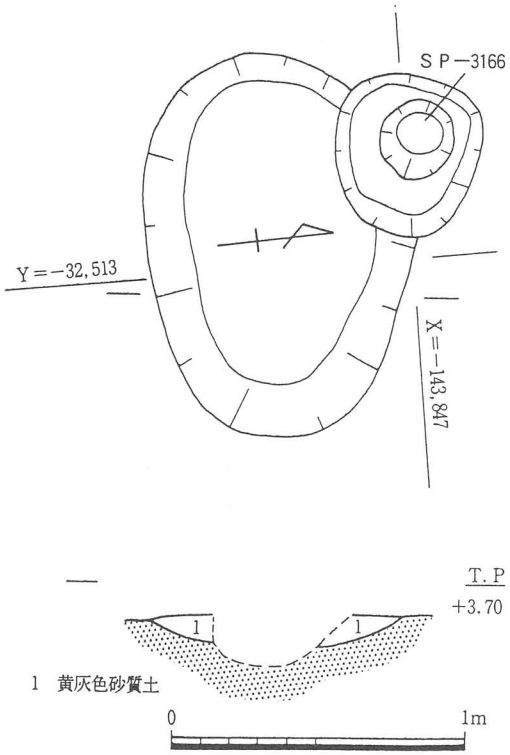
Ｄ７区で検出した。撹乱に切られているため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.09ｍを測る。埋土は２層で暗灰黒色砂質土、黄灰色砂である。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３２７（第56図）

Ｄ８区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約1.0ｍ、短径約0.5ｍ、深さ約0.23ｍを測る。埋土は１層で暗灰色砂質土である。遺



第50図　ＳＫ－Ａ３１３　平・断面図



第51図　ＳＫ－Ａ３１６　平・断面図

物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ａ３２８

Ｄ７～８区にかけて検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.16ｍを測る。埋土は２層で暗灰色土、暗灰緑色砂質土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ａ３３０（第57図）

Ｄ６～７、Ｅ６区にかけて検出した。ＳＤ－Ａ３０４を切る。調査区外に広がり、また撹乱に切られているため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.29ｍを測る。埋土は１層で暗灰色砂質土である。遺物は弥生前期土器片、土製品、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ａ３３１（第58図）

Ｄ８区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約0.8ｍ、短径約0.6ｍ、深さ約0.2ｍを測る。埋土は１層で暗灰色土である。遺物は弥生前期土器片、炭片などが出土している。

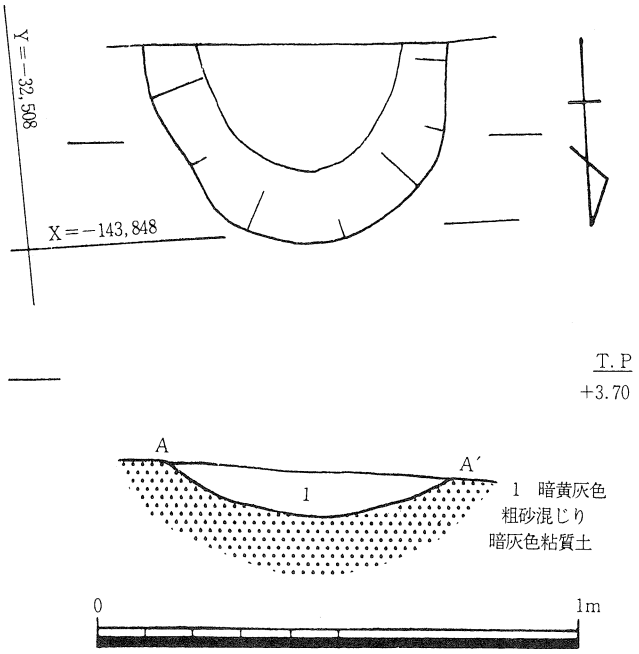
ＳＫ－Ａ３３３（第59図）

Ｃ８区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.28ｍを測る。埋土は２層で褐色粘質土、暗褐色粘質土である。遺物は比較的まとまって出土しており弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

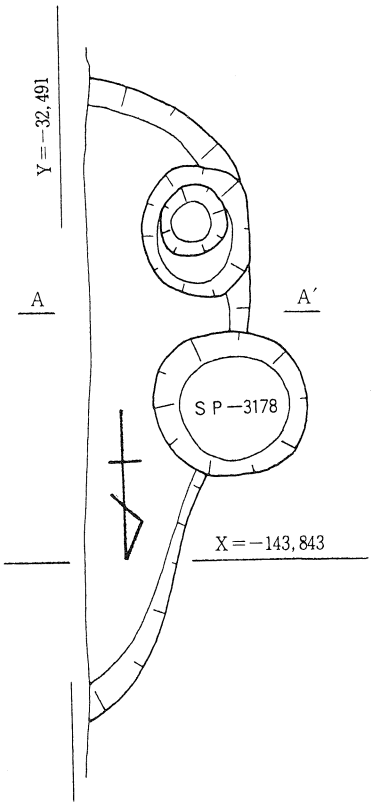
〔Ｂ地区〕

ＳＫ－Ｂ３０１（第60図）

Ａ７～Ａ８区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約1.45ｍ、短径約0.55ｍ、深さ約0.3ｍを測る。埋土は２層で暗灰色土、暗灰黒色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片な



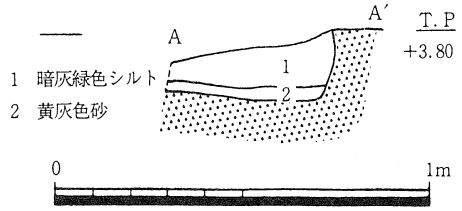
第52図　ＳＫ－Ａ３１９　平・断面図



どが出土している。

ＳＫ－Ｂ３０２（第61図）

Ａ８区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.5m、短径約0.2m、深さ約0.05mを測る。埋土は１層で灰緑色シルト混じり黒色粘質土である。遺物は骨が出土している。



第53図　ＳＫ－Ａ３２０　平・断面図

ＳＫ－Ｂ３０３（第62図）

Ａ８区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.6m、短径約0.35m、深さ約0.06mを測る。埋土は１層で灰黄色粗砂混じり灰緑色土である。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ｂ３０４（第63図）

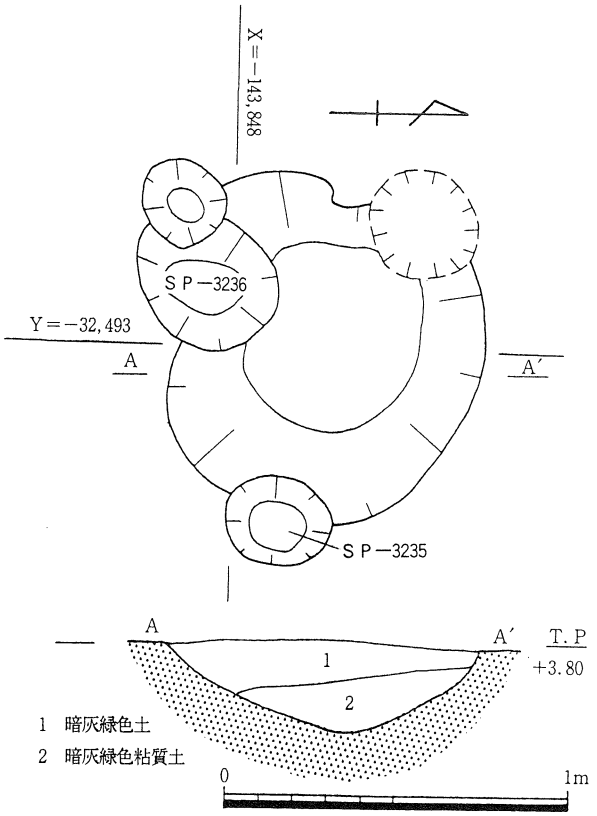
Ａ８区で検出した。形態はやや不定形な楕円形を呈し、規模は長径約0.75m、短径約0.55m、深さ約0.06mを測る。埋土は１層で暗灰黒色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ｂ３０５（第64図）

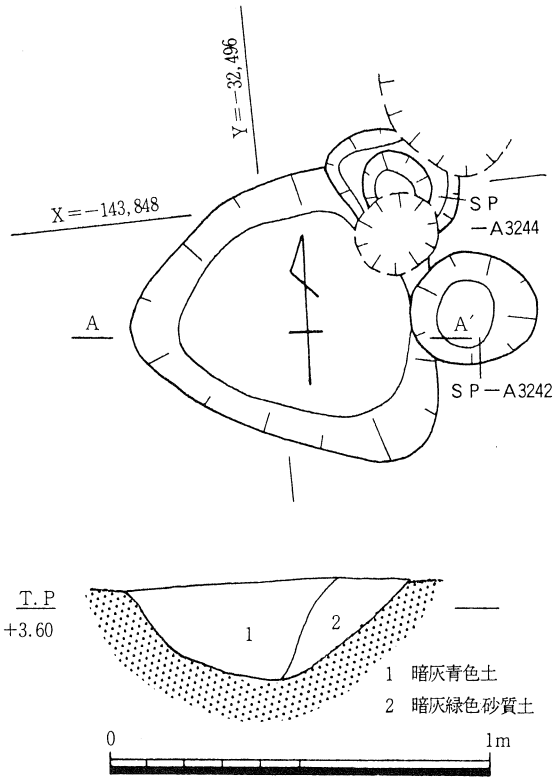
Ａ８～Ｂ８区にかけて検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.04mを測る。遺物は比較的まとまって出土しており弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。また、東側にはまとまった集石が見受けられた。

ＳＫ－Ｂ３０７

Ｂ８区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.16mを測る。埋土は１層で灰緑色シルト混じり暗灰色土である。遺物は弥生前期土器片が出土している。



第54図　ＳＫ－Ａ３２４　平・断面図



第55図　ＳＫ－Ａ３２５　平・断面図

〔Ｃ地区〕

ＳＫ－Ｃ３０１

Ｆ８区で検出した。他の遺構に切られているため形態、規模は明らかでない。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ｃ３０４（第65図）

Ｆ８区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.3mを測る。埋土は２層で暗灰緑色土、暗灰緑色砂質土である。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ｃ３０６（第66図）

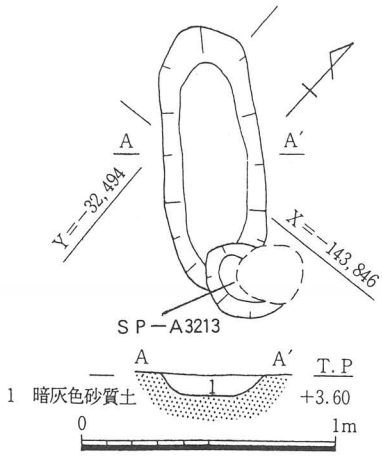
Ｆ６区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.24mを測る。埋土は１層で暗灰青色砂質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ｃ３０７

Ｆ６区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.24mを測る。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ－Ｃ３０８（第67図）

Ｆ５～６区にかけて検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.42mを測る。埋土は２層で緑灰色粘土混じり暗灰色土、灰緑色微砂である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。



第56図　ＳＫ−Ａ３２７
平・断面図

ＳＫ−Ｃ３１３

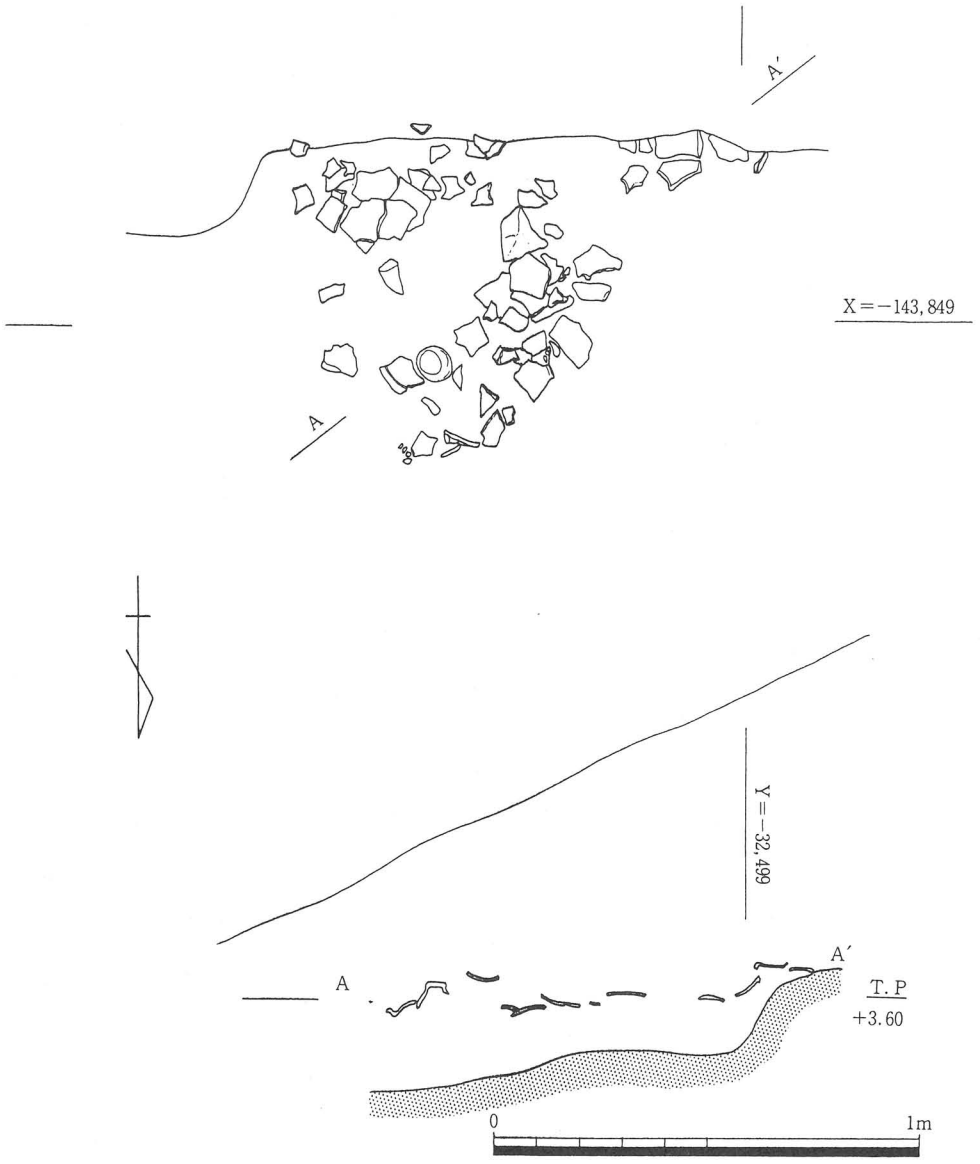
Ｆ３区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.35ｍを測る。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

ＳＫ−Ｃ３１４

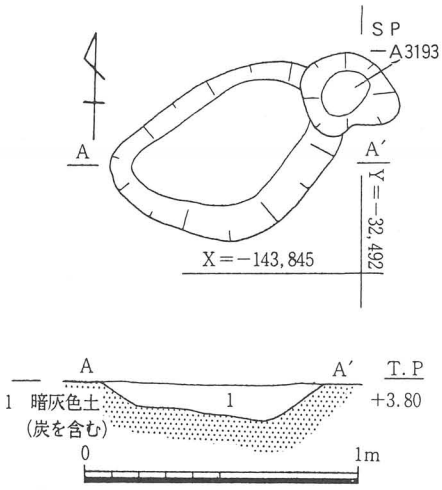
Ｆ３区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.17ｍを測る。埋土は２層で暗灰青色土、暗灰緑色砂質土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。

ＳＫ−Ｃ３１５（第68図）

Ｆ３区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.29ｍを測る。埋土は２層で暗灰青色砂質土、暗灰色砂質土である。遺物は弥生前期土器片が出土している。



第57図　ＳＫ−Ａ３３０　平・断・遺物出土状況図



第58図　ＳＫ－Ａ３３１　平・断面図

ＳＫ－Ｃ３１６（第69図）

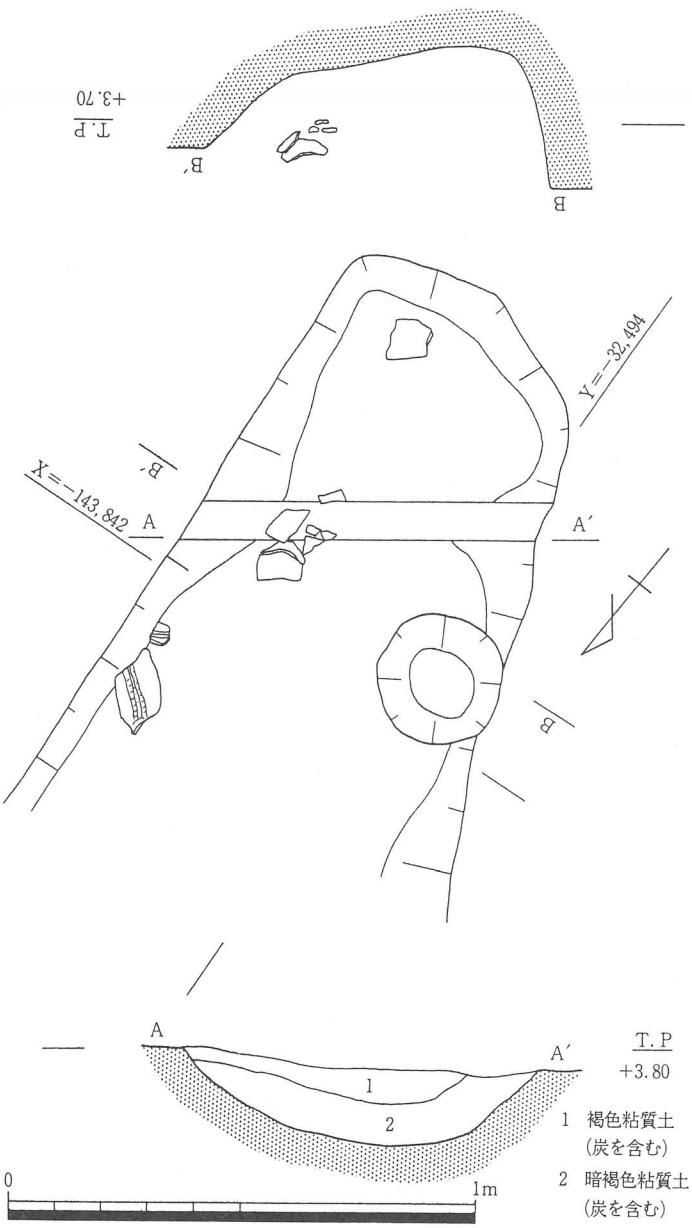
Ｆ２区で検出した。形態は楕円形を呈するものと思われ、規模は短径約0.7m、深さ約0.4mを測る。埋土は２層で暗灰色土、暗灰色砂質土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。

ＳＫ－Ｃ３１７（第69図）

Ｆ２区で検出した。調査区外に広がるため形態、規模は明らかでないが、最深部で約0.14mを測る。埋土は１層で暗灰色砂質土である。遺物は弥生前期土器片が出土している。

ＳＫ－Ｃ３１８（第70図）

Ｆ２区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約1.25m、短径約0.7m、深さ約0.33mを測る。埋土は１層で暗灰青色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。



第59図　ＳＫ－Ａ３３３　平・断面遺物状況図

２．不明遺構

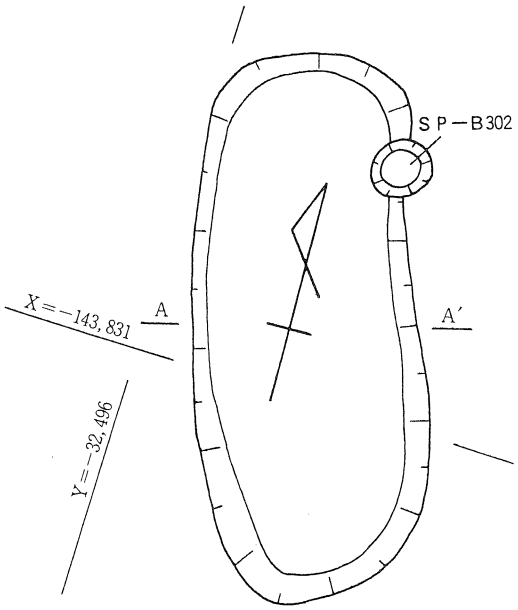
〔Ａ地区〕

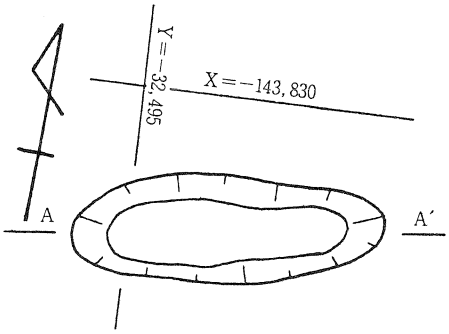
ＳＸ－Ａ３０１（第71図）

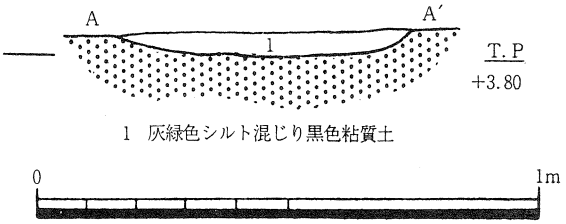
Ａ４～５区にかけて検出した炭状のものである。長さ約1.6m、幅約0.8mの範囲で弧状を描く状態であり、遺物も弥生前期土器片や骨などが見受けられた。焼失家屋の可能性も考えられるだろう。

ＳＸ－Ａ３０２（第72図）

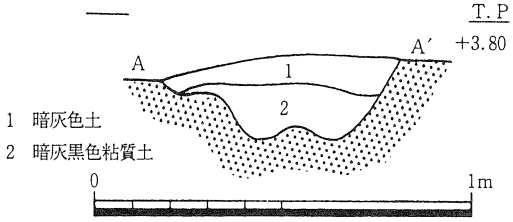
Ｄ８区で検出した不定形な土坑であった。規模は長径約1.5m、短径約0.9m、深さ約0.32mを測る。埋土は２層で褐色土、暗褐色土である。遺物は比較的まとまって出土しており弥生前期土器片、紡錘







第61図　ＳＫ－Ｂ３０２　平・断面図



第60図　ＳＫ－Ｂ３０１　平・断面図

車、サヌカイト剥片、骨、炭片などが出土している。

ＳＸ－Ａ３０３（第73図）

Ｄ８区で検出した不定形な土坑であった。規模は長径約1.75m、短径約1.25m、深さ約0.47mを測る。埋土は２層で暗灰緑色土、暗灰緑色砂質土である。遺物は比較的まとまって出土しており弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

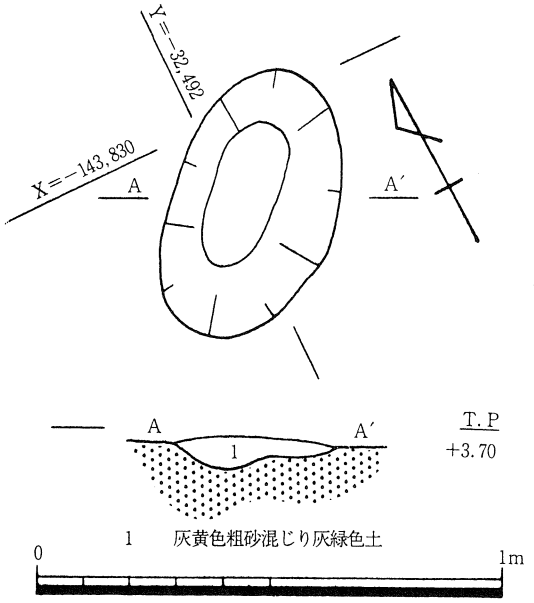
３．ピット（ＳＰ）

Ａ区で281基、Ｂ区で28基、Ｃ区で91基を検出した。柱材が遺存していたものとしてＳＰ－Ａ３１９、Ａ３２１、Ａ３７１、Ａ３９１、Ａ３９３、Ａ３１１７、Ａ３１６２の７基があり（第75図）、また根石が施されていたものにＳＰ－Ａ３７５（第74図）、Ｂ３２４などがあった。

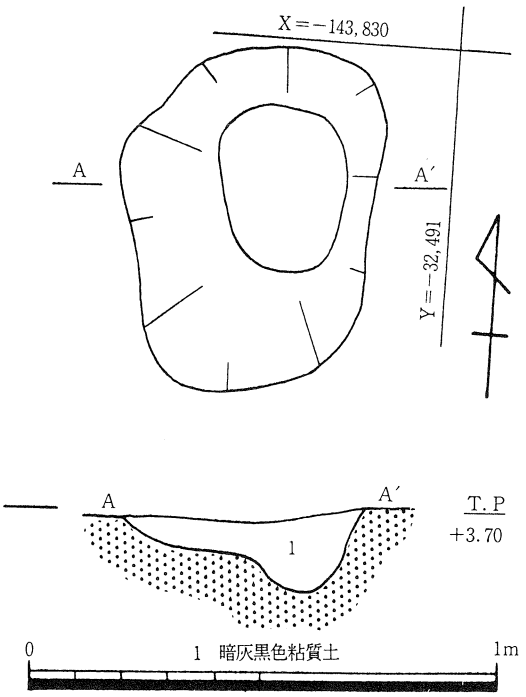
おそらく掘立柱建物が存在するものと思われ、調査時に第２遺構面と同様の概ね７棟ほどを想定したが[(1)]、再検討の結果、断定するには至らなかった。

註

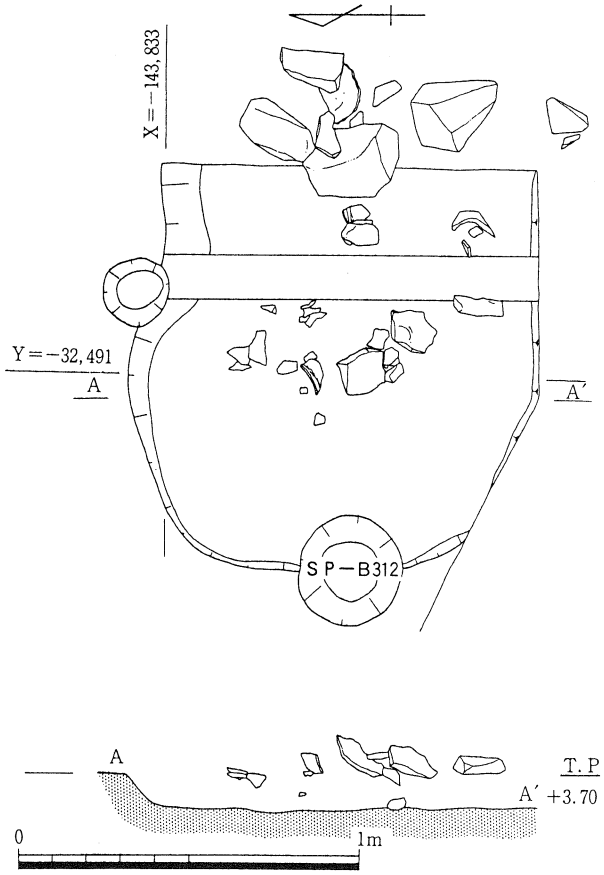
(1)『中垣内遺跡現地説明会資料』　大東市教育委員会　1992年10月



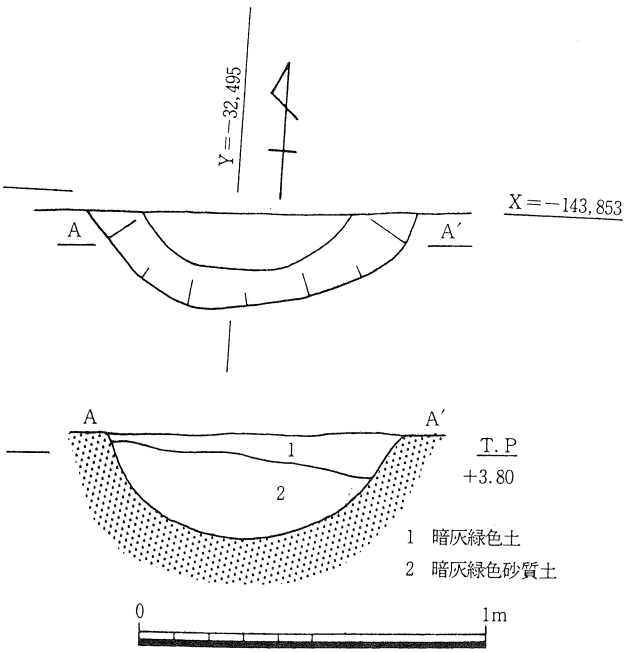
第62図　ＳＫ－Ｂ３０３　平・断面図



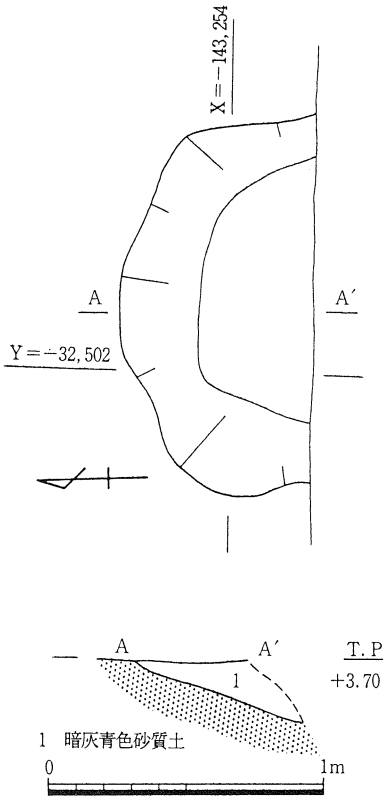
第63図　ＳＫ－Ｂ３０４　平・断面図



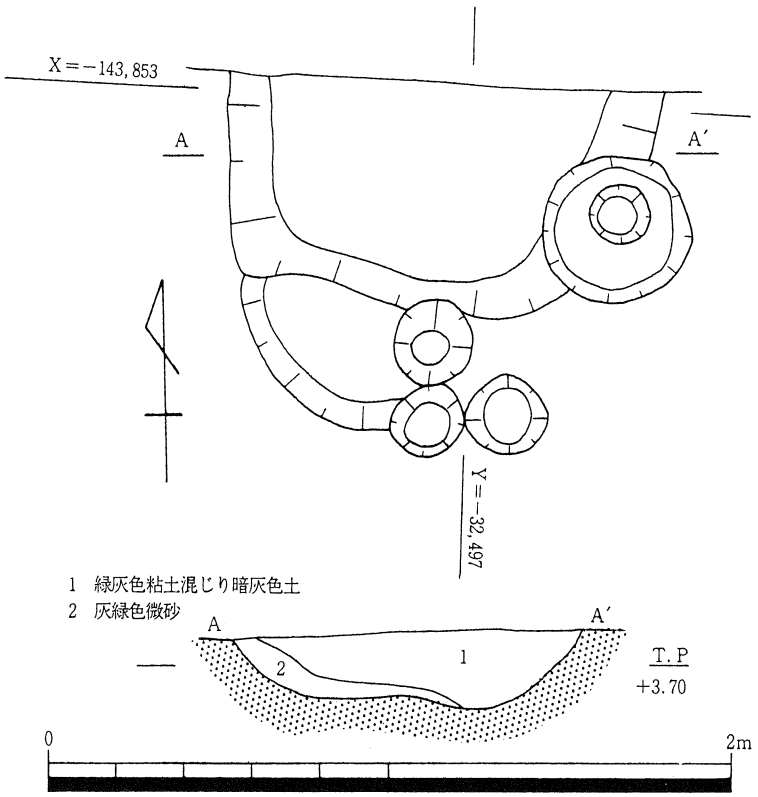
第64図　ＳＫ－Ｂ３０５　平・断面・遺物出土状況図



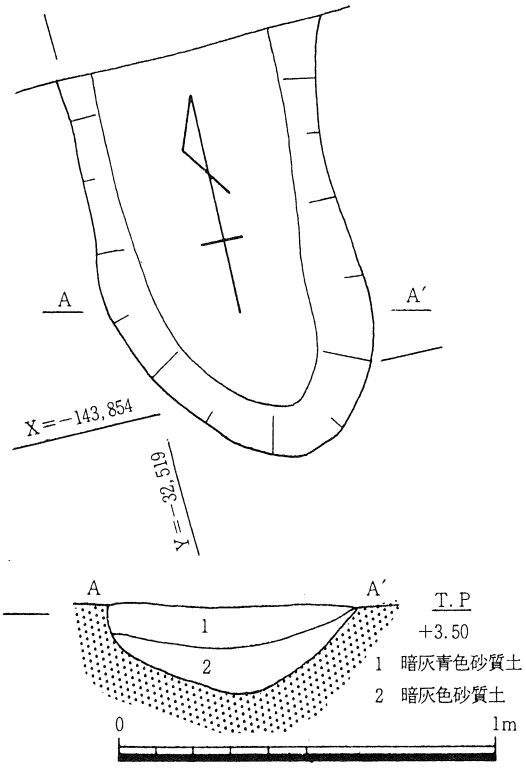
第65図　ＳＫ－Ｃ３０４　平・断面図



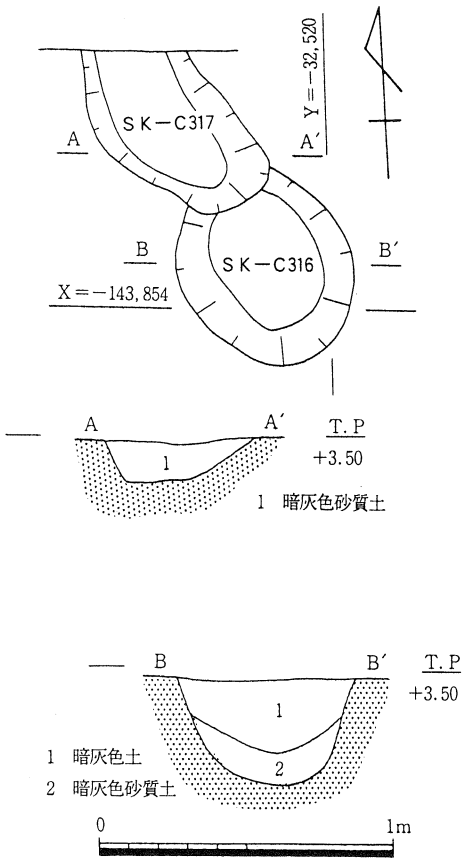
第66図　ＳＫ－Ｃ３０６
平・断面図



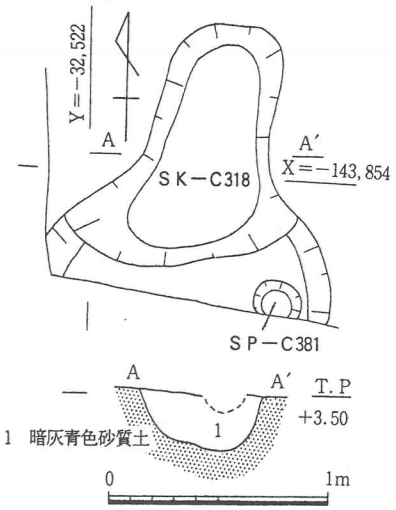
第67図　ＳＫ－Ｃ３０８　平・断面図



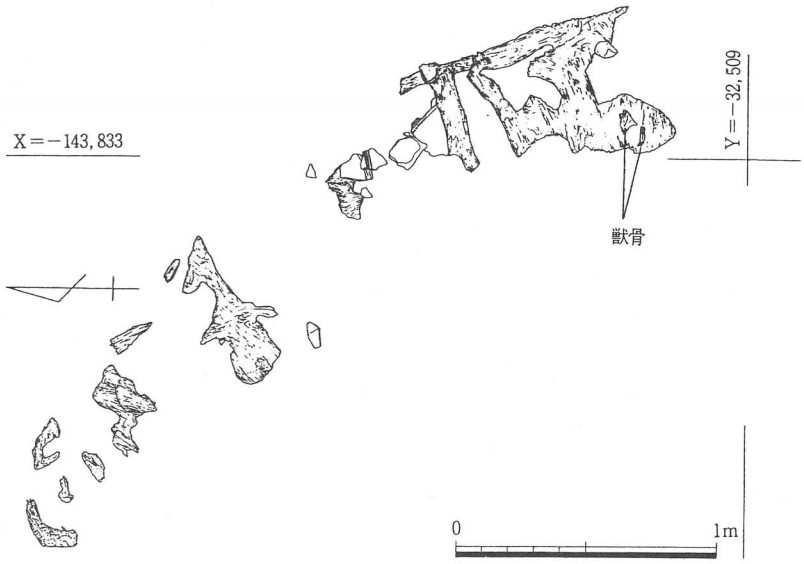
第68図　ＳＫ－Ｃ３１５　平・断面図



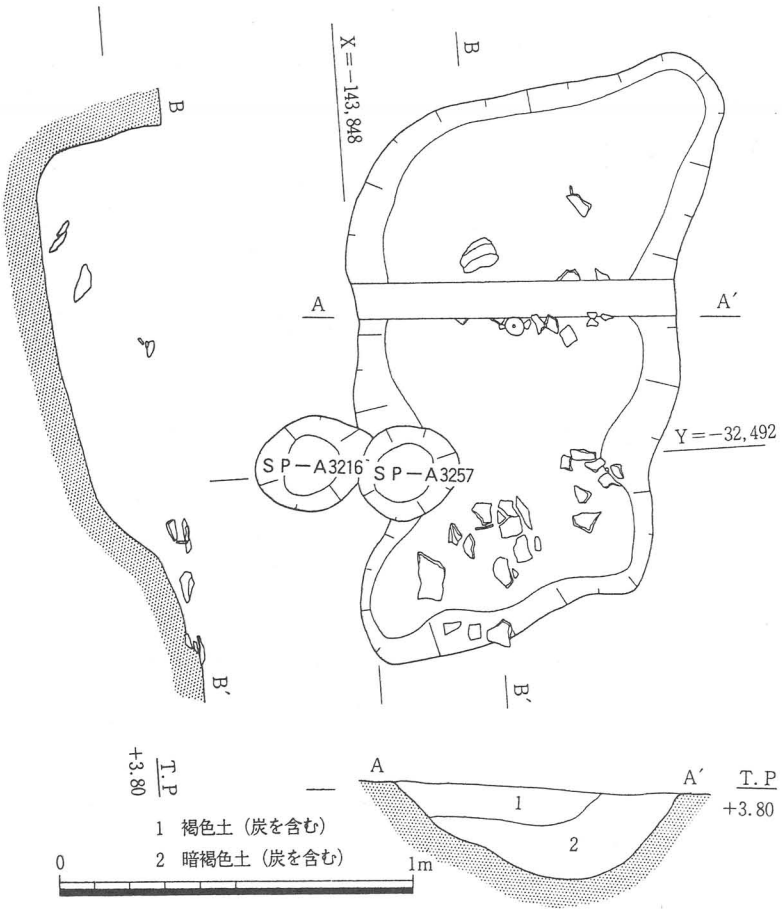
第69図　ＳＫ－Ｃ316・Ｃ317　平・断面図



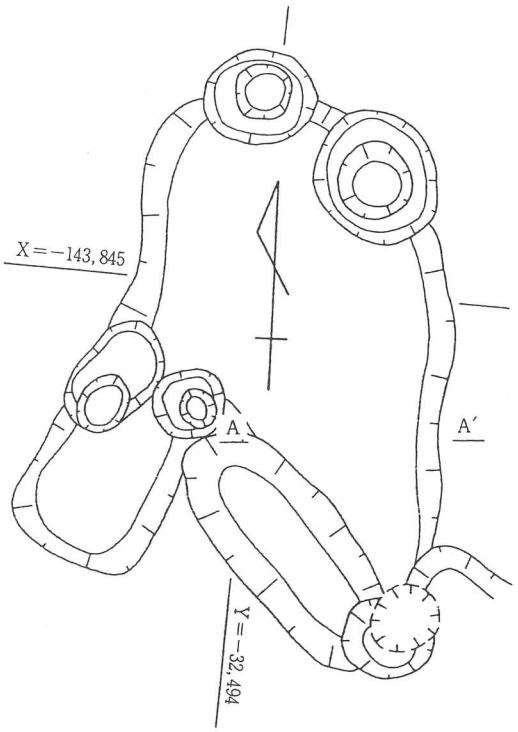
第70図　SK−C318
平・断面図

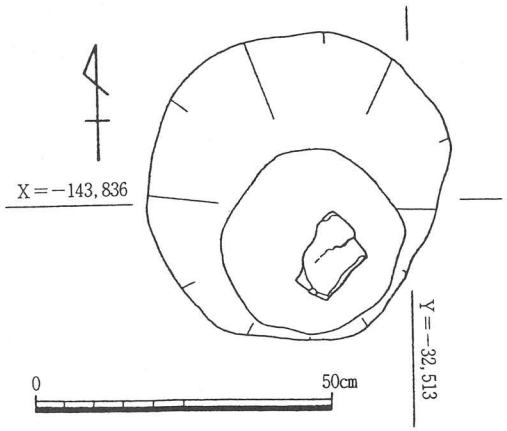


第71図　SX−A301　平面図

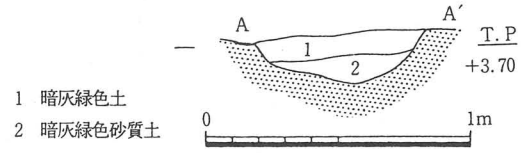


第72図　SX−A302　平・断面・遺物出土状況図

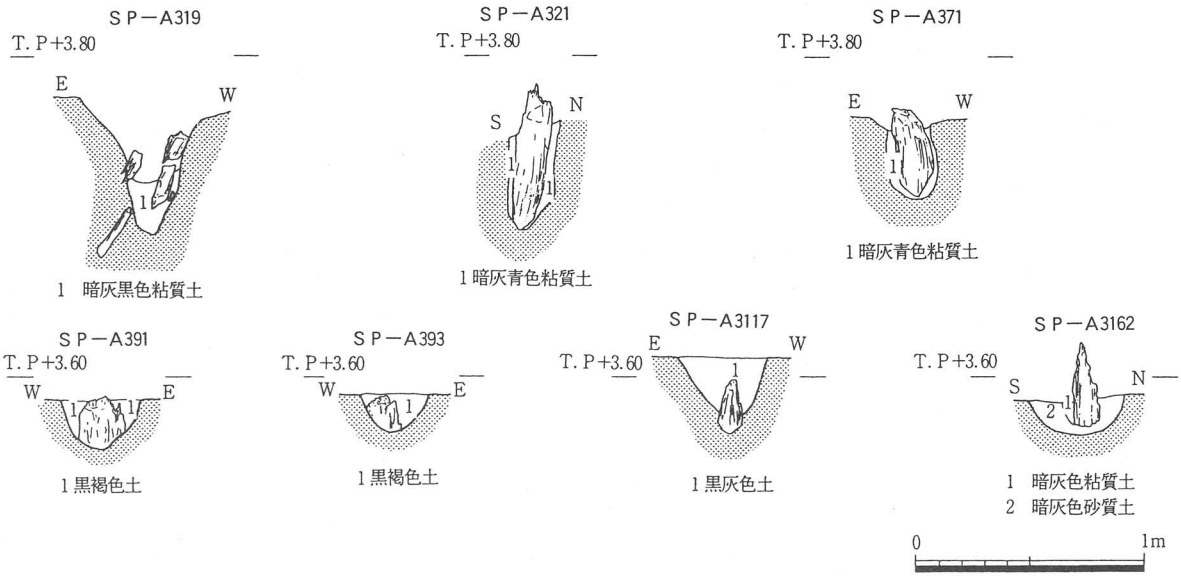




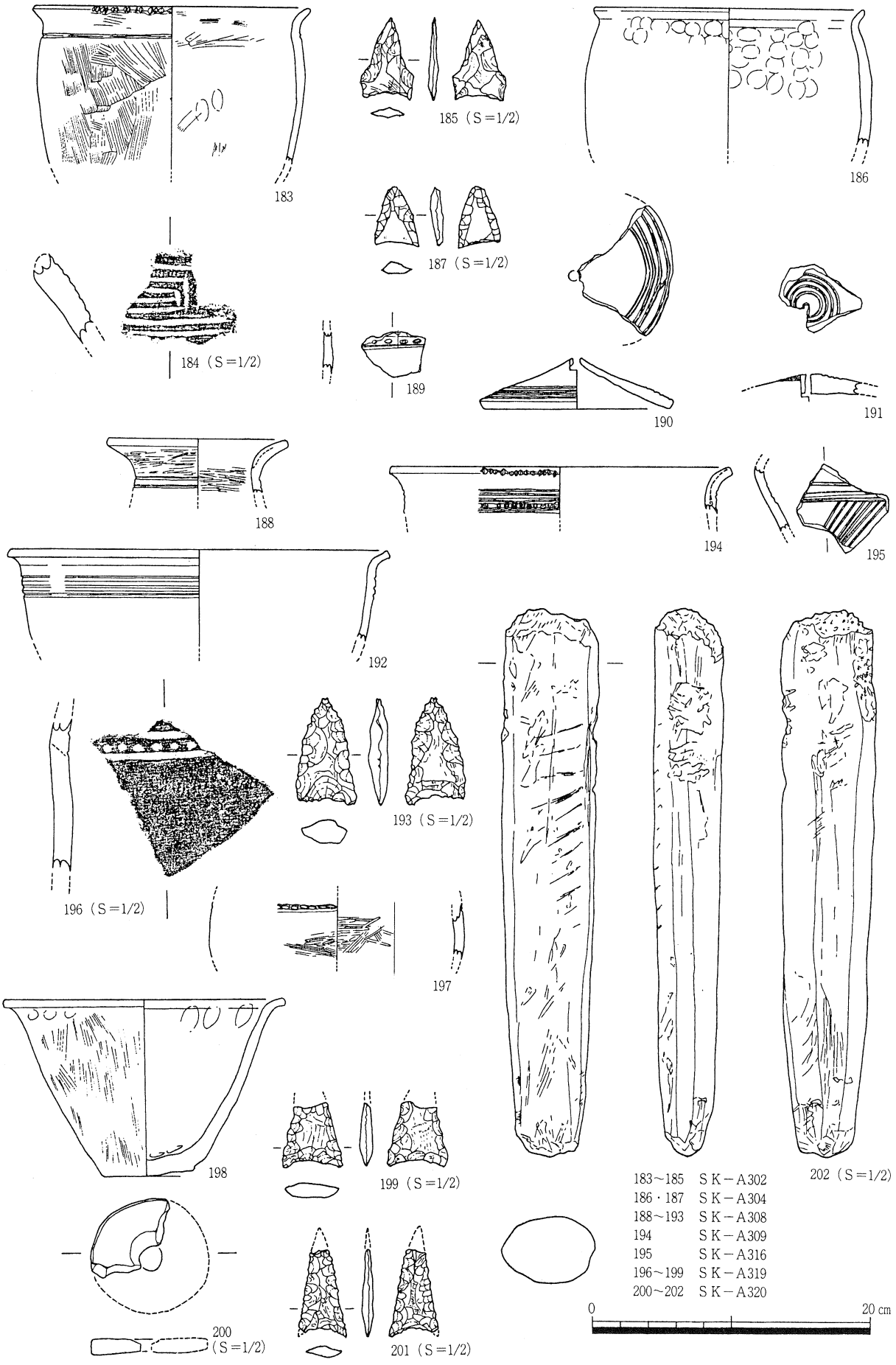
第74図　ＳＰ－Ａ３７５
平面図（根石）



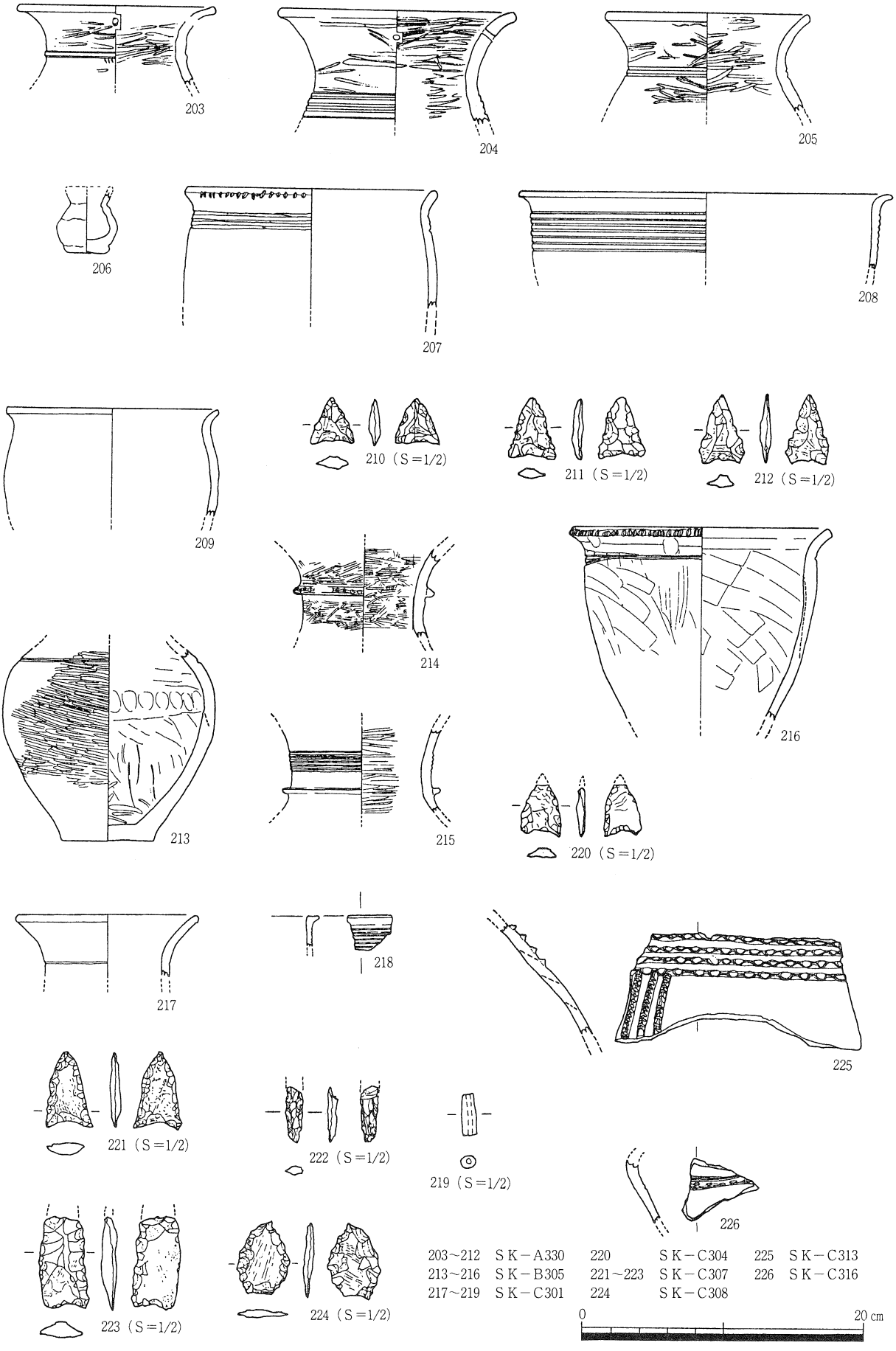
第73図　ＳＸ－Ａ３０３
平・断面図



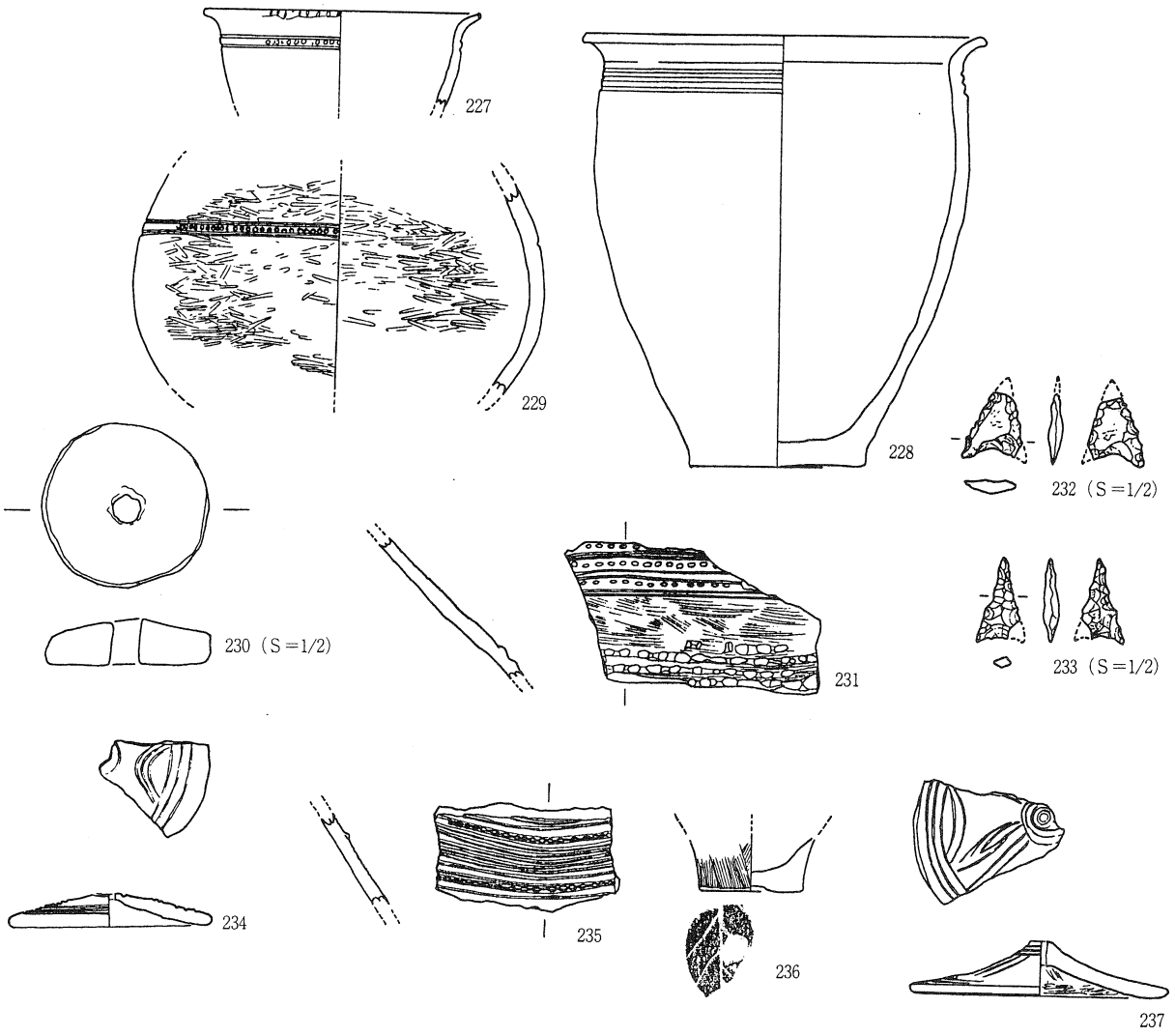
第75図　第３－ａ遺構面　ピット（ＳＰ）断面図



第76図　第３－ａ遺構面　土坑（ＳＫ）出土遺物（１）



第77図　第３－ａ遺構面　土坑（ＳＫ）出土遺物（２）



227・228　SX－A301
229・230　SX－A302
231～233　SX－A303
234　SP－A397
235　壁断面SP
236　SP－A3233
237　SP－C315
238　SP－A304
239　SP－A3198
240　SP－A3264
241　SP－A3190

第78図　第３－ａ遺構面　不明遺構（ＳＸ）・ピット（ＳＰ）出土遺物

第５節　第３－ｂ遺構面

検出状況については前節で述べたとおりである。ここでは溝について記述する（第80図）。

１．溝

〔Ａ地区〕

ＳＤ－Ａ３０１（第79図）

Ａ３～５、Ｂ３～４区にかけて検出した、ほぼ西南西に走る溝である。ＳＤ－Ｂ３０２に繋がるものと思われる。規模は幅約3.5m、深さ約0.6mを測る。断面形態は底部が約1.4mの平坦面を成して台形状を呈する。埋土は煩雑な堆積状況を呈するが、暗灰色系の砂質土～粘土、また砂の堆積も見受けられた。遺物はまとまって出土しており、弥生前期土器片、石製品、骨などが出土している。

ＳＤ－Ａ３０２（第82図）

Ｂ４、Ｃ３～４区にかけて検出した、ほぼ西南西に走る溝である。ＳＤ－Ａ３０１と平行に走り、またＳＤ－Ａ３０３、Ａ３０４に繋がるものと思われる。規模は幅約2.0m、深さ約0.8mを測る。断面形態はU字状を呈する。埋土は暗灰色系の砂質土～土が主体をなし、また下層にはシルト、砂の堆積も見受けられた。遺物はまとまって出土しており、弥生前期土器片、石製品、骨などが出土している。

ＳＤ－Ａ３０３（第83図）

Ｄ５～６、Ｅ５～６区にかけて検出した、ほぼ南北に走る溝である。ＳＤ－Ａ３０４と平行に走り、またＳＤ－Ａ３０２、Ｃ３０１に繋がるものと思われる。規模は幅約2.3m、深さ約0.9mを測る。断面形態は底部が約0.7mの平坦面を成して台形状を呈する。埋土は大きく２層に大別でき、上層は灰～灰緑色砂質土が主体をなし、下層は灰色～暗灰色の粗砂、粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、弥生前期土器片、石製品、骨などが出土している。

ＳＤ－Ａ３０４

Ｄ６～７、Ｅ６～７区にかけて検出した、ほぼ南北に走る溝である。ＳＤ－Ａ３０３と平行に走り、またＳＤ－Ａ３０２、Ｃ３０２に繋がるものと思われる。規模は撹乱に切られているため明らかではないが、壁面の断面から見ておよそ幅約2.8m、深さ約0.9mを測るものである。断面形態はU字状を呈するものと思われる。埋土は灰緑色砂質土～粘土が主体をなす。また最下層にはシルトの堆積も見受けられた。遺物はまとまって出土しており、弥生前期土器片、石製品、骨などが出土している。

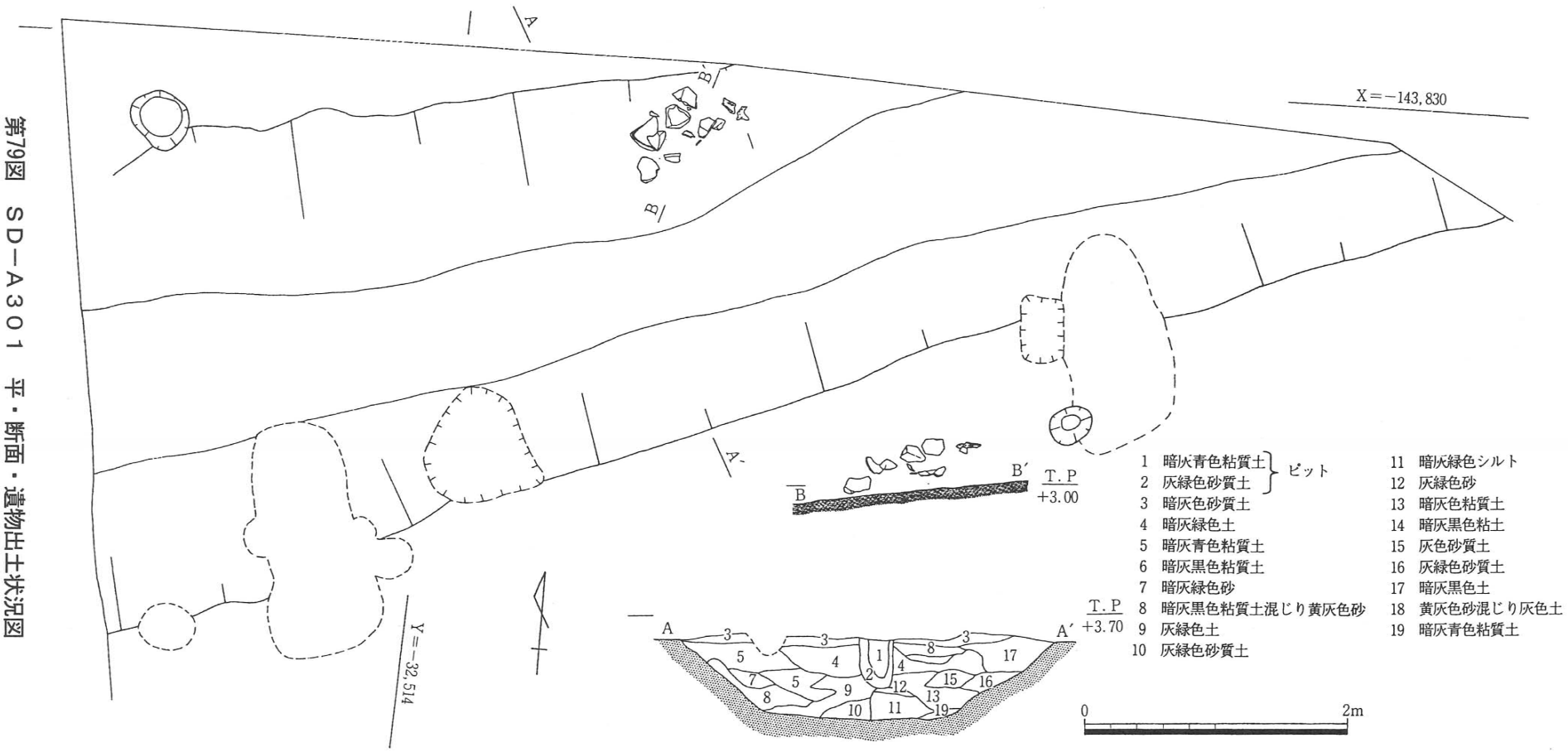
〔Ｂ地区〕

ＳＤ－Ｂ３０１

Ａ８区で検出した南西に走る溝である。ＳＤ－Ｂ３０２に切られる。規模は幅約0.6m、深さ約0.04mを測る。遺物は弥生前期土器片、骨などが出土している。

ＳＤ－Ｂ３０２（第86、87図）

ほぼ中央を東西に走る溝である。ＳＤ－Ａ３０１に繋がるものと思われる。規模は幅約2.8m前後、深さは約0.7mを測る。断面形態は底部が約1.0mの平坦面を成して台形状を呈する。埋土は大きく２層に大別でき、上層は暗灰緑色砂質土～土が主体をなし、下層は暗灰色砂質土～粘土が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、弥生前期土器片、石製品、木製品、骨などが出土している。特に、自然木の出土が目立つ。



第79図　ＳＤ−Ａ３０１　平・断面・遺物出土状況図

Y=−32,525　Y=−32,520　Y=−32,515　Y=−32,510　Y=−32,505　Y=−32,500　Y=−32,495　Y=−32,490　Y=−32,485　Y=−32,480

X=−143,828

X=−143,833

X=−143,838

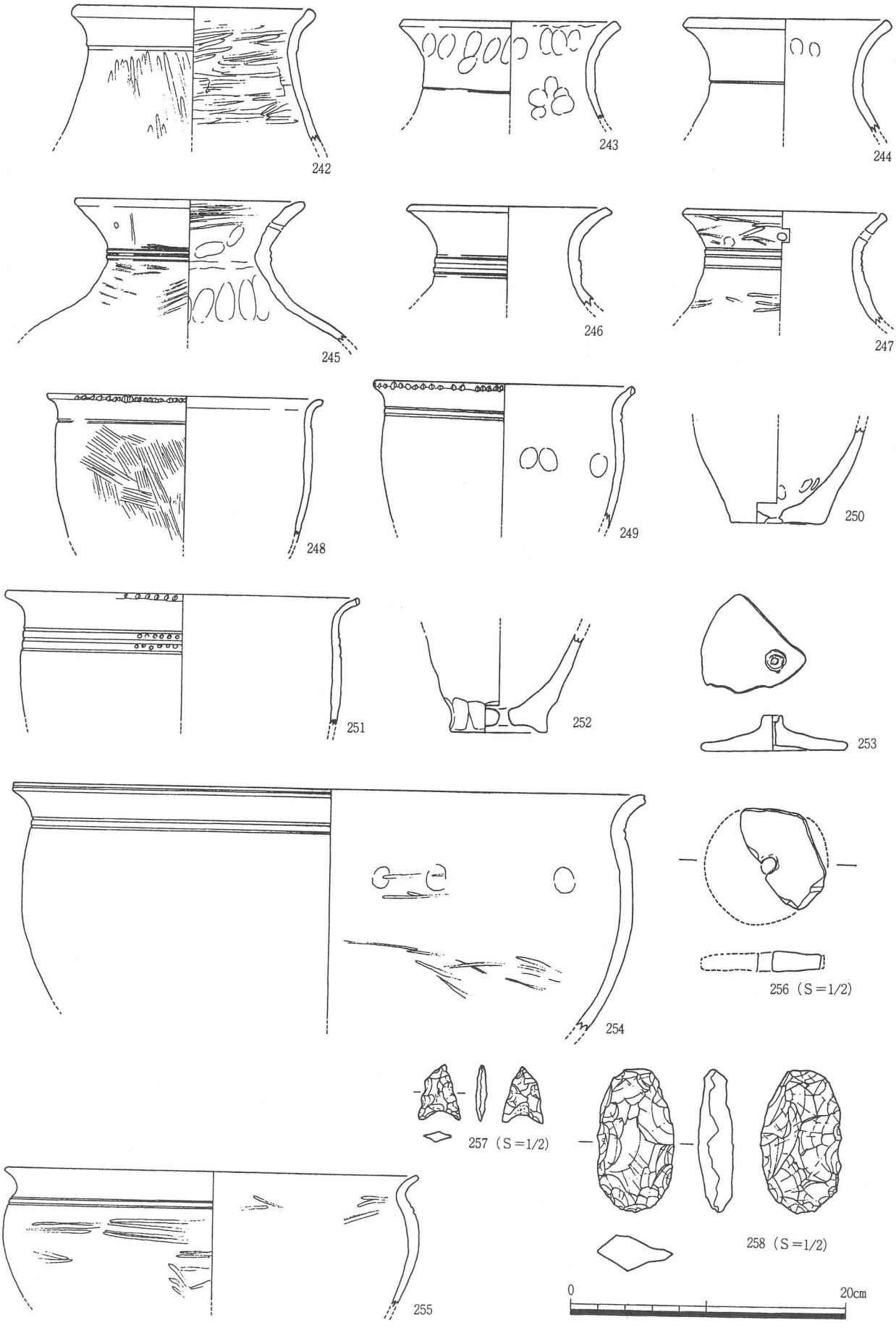
X=−143,843

X=−143,848

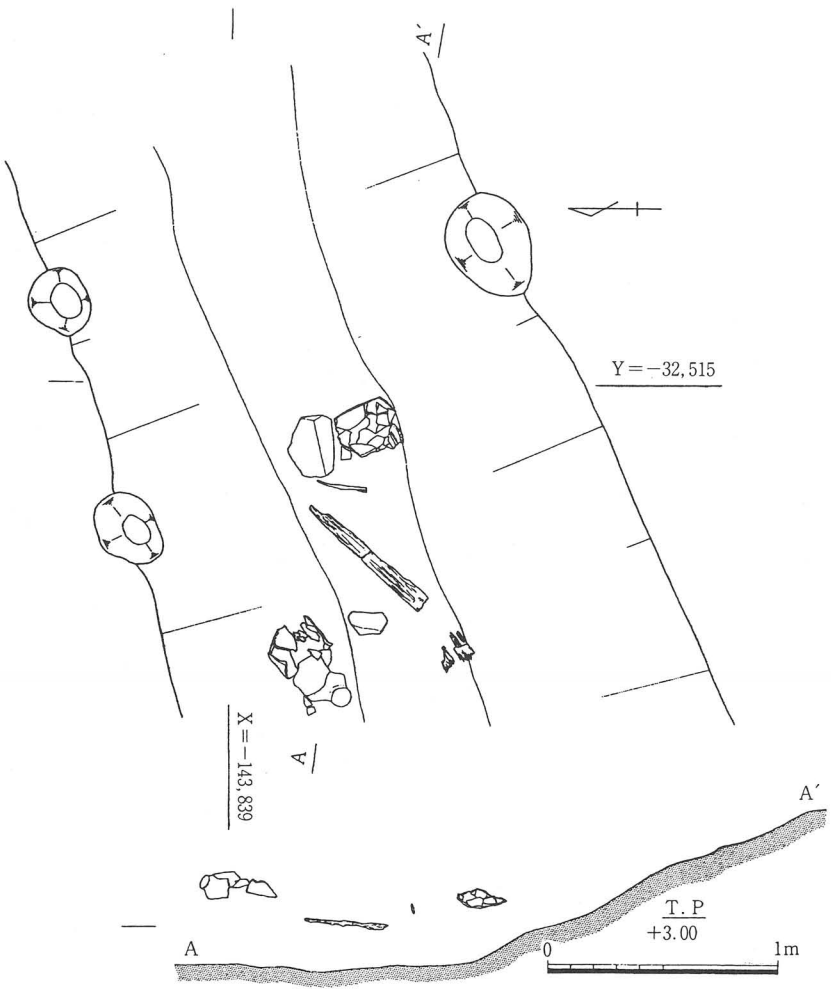
X=−143,853

X=−143,858

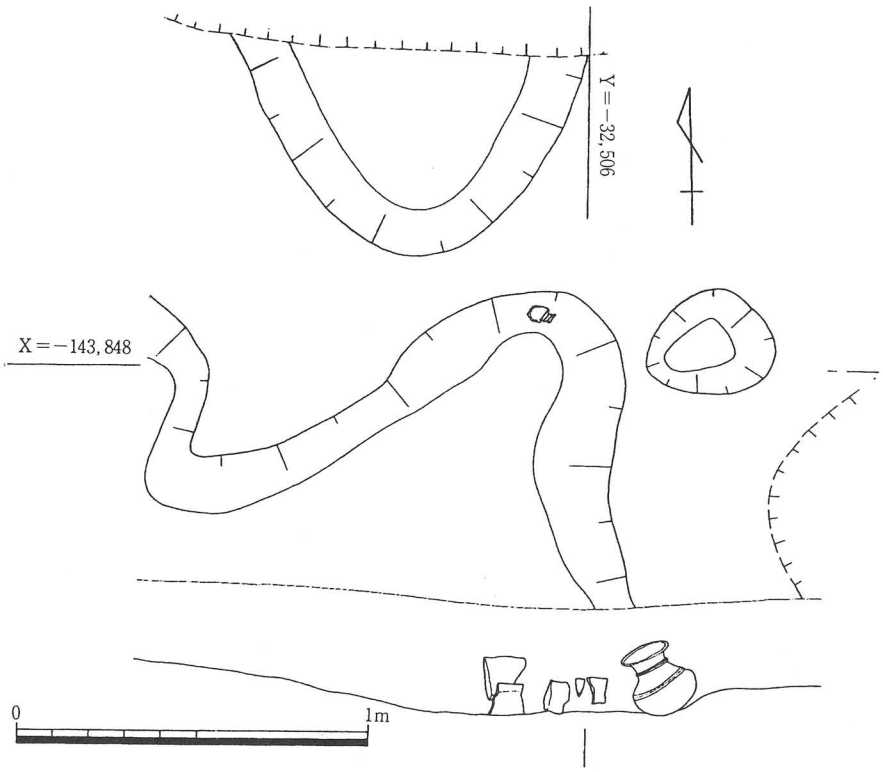
第80図　第３－ｂ遺構面全体図



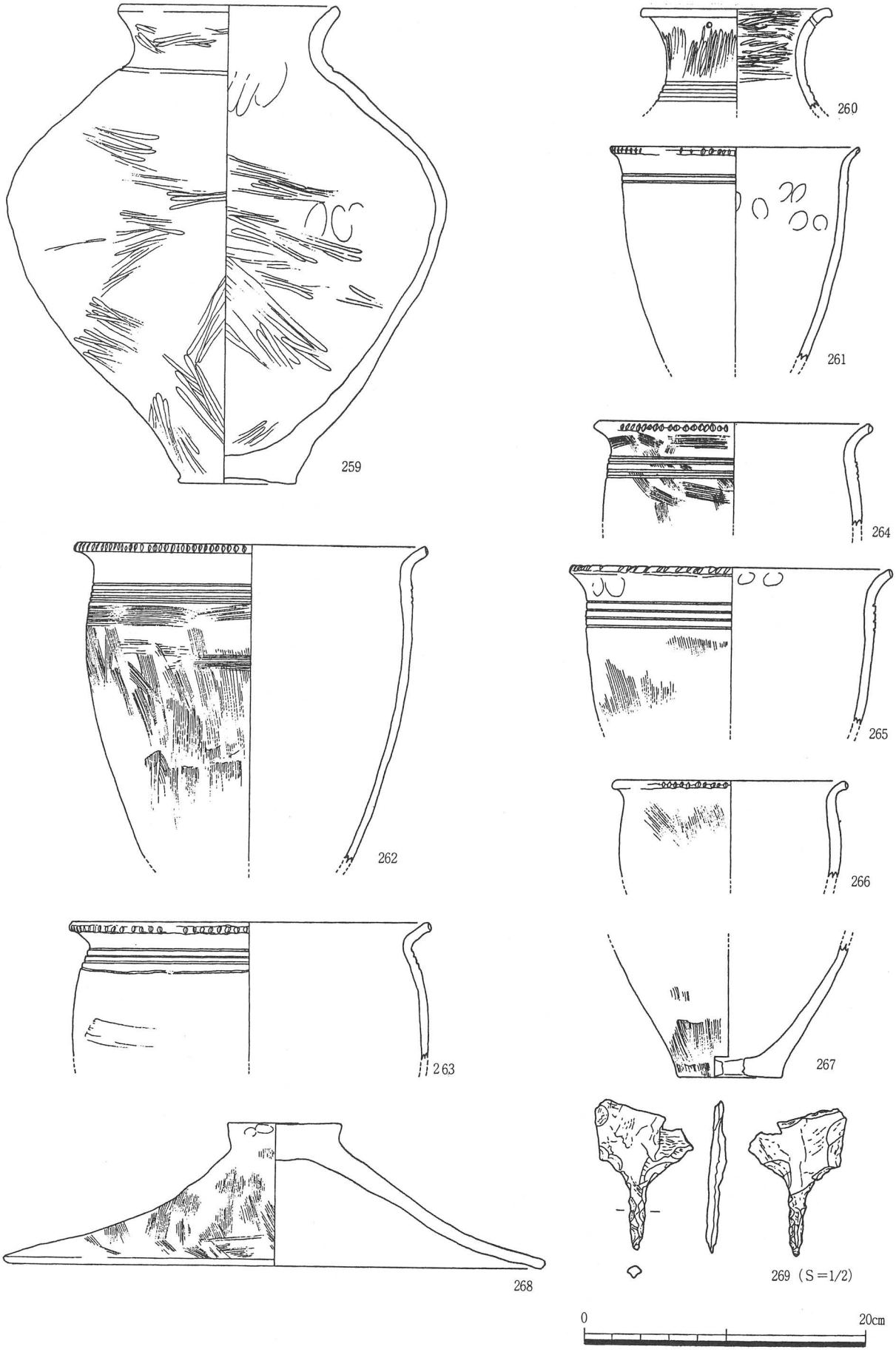
第81図　ＳＤ－Ａ３０１　出土遺物



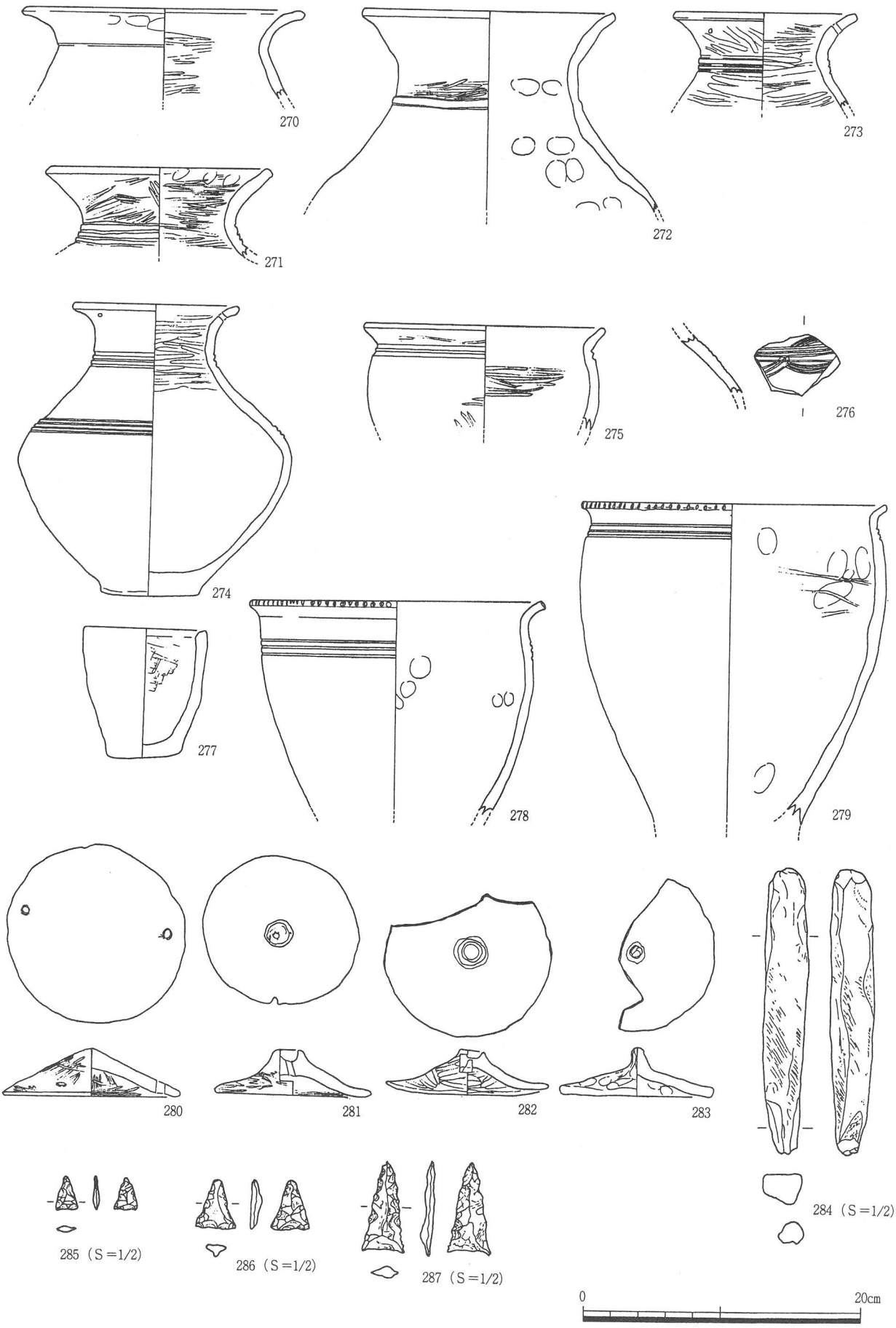
第82図　ＳＤ－Ａ３０２　遺物出土状況図



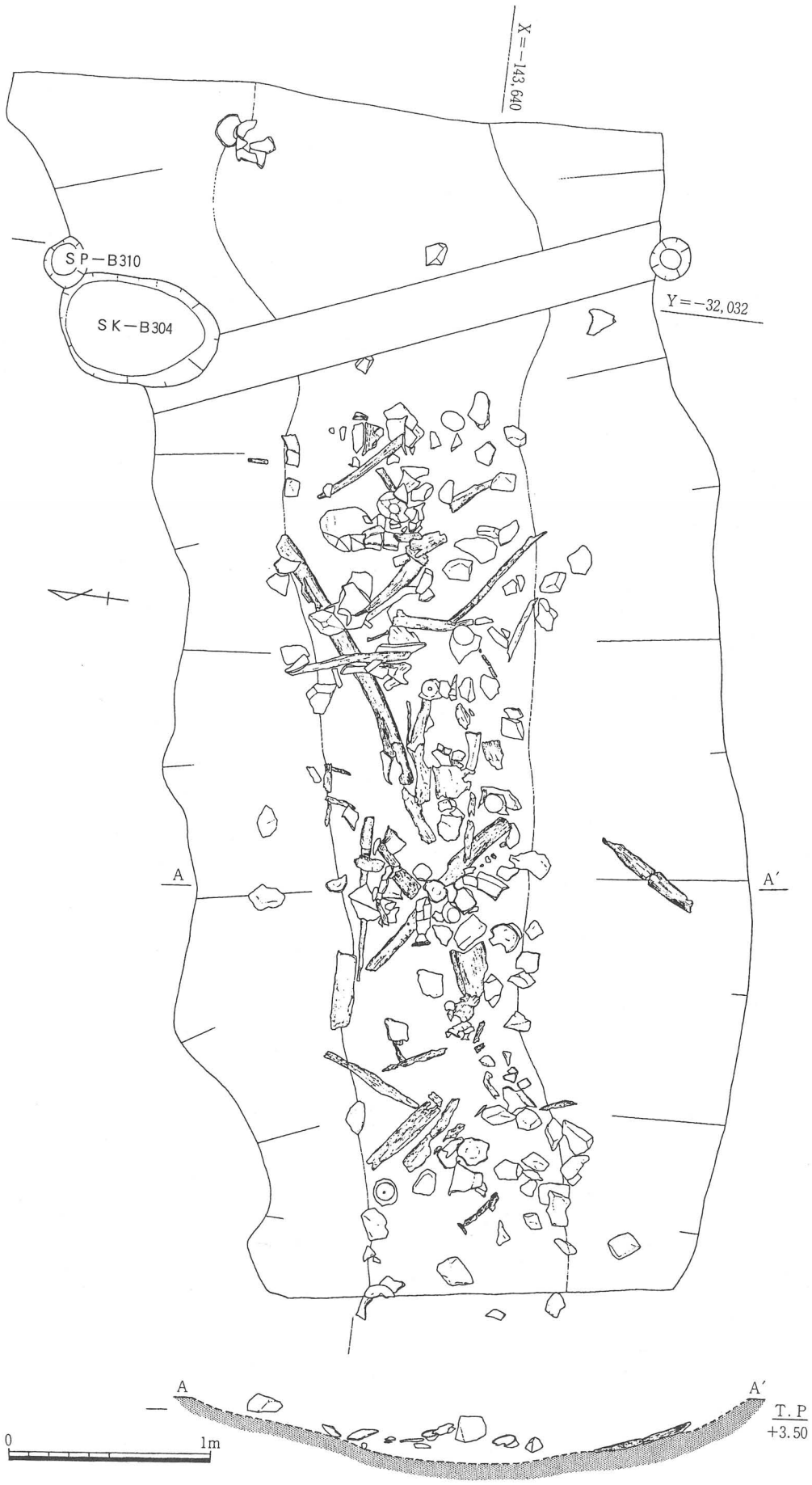
第83図　ＳＤ－Ａ３０３（側溝掘削時）遺物出土状況図



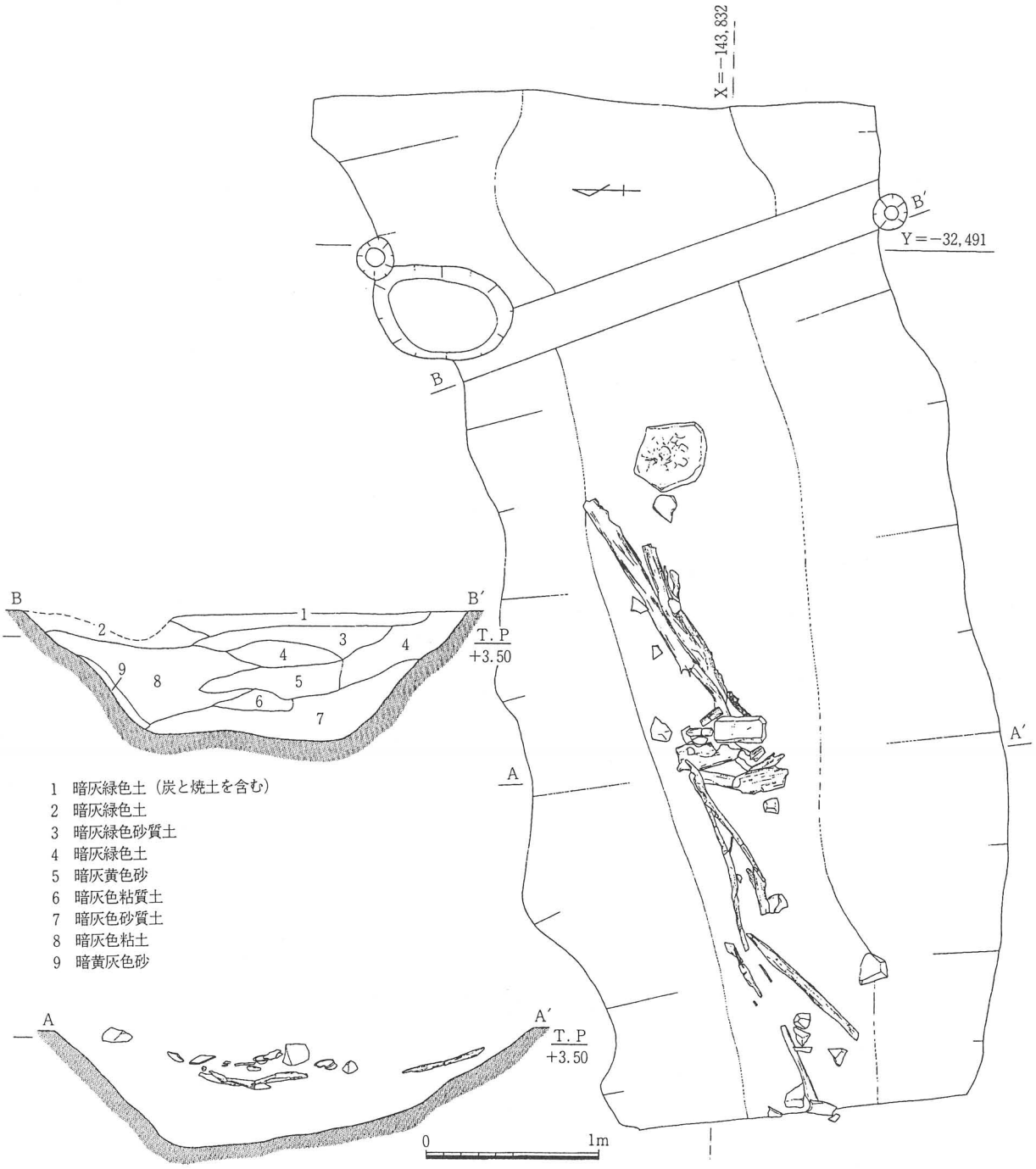
第84図　ＳＤ－Ａ３０２　出土遺物



第85図　ＳＤ－Ａ３０３　出土遺物



第86図　ＳＤ−Ｂ３０２　遺物出土状況図（上層）



第87図　ＳＤ－Ｂ３０２　平・断面・遺物出土状況図（下層）

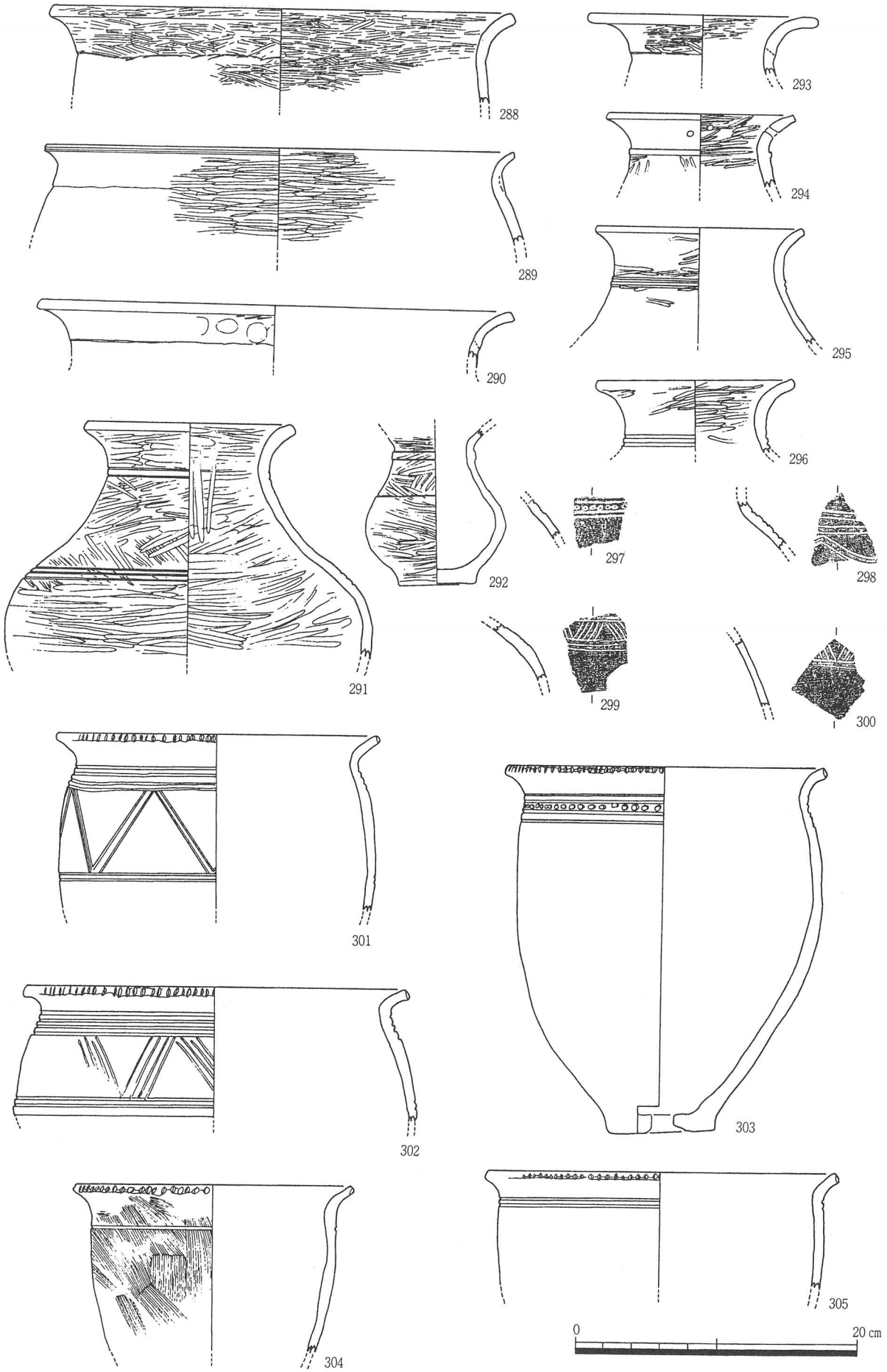
ＳＤ－Ｂ３０３

Ａ７区で検出した南西にはしる溝である。ＳＤ－Ｂ２０１と平行する。規模は調査区に広がるため明らかでない。埋土は１層で暗灰色粘質土である。遺物は弥生前期土器片、骨、炭片などが出土している。

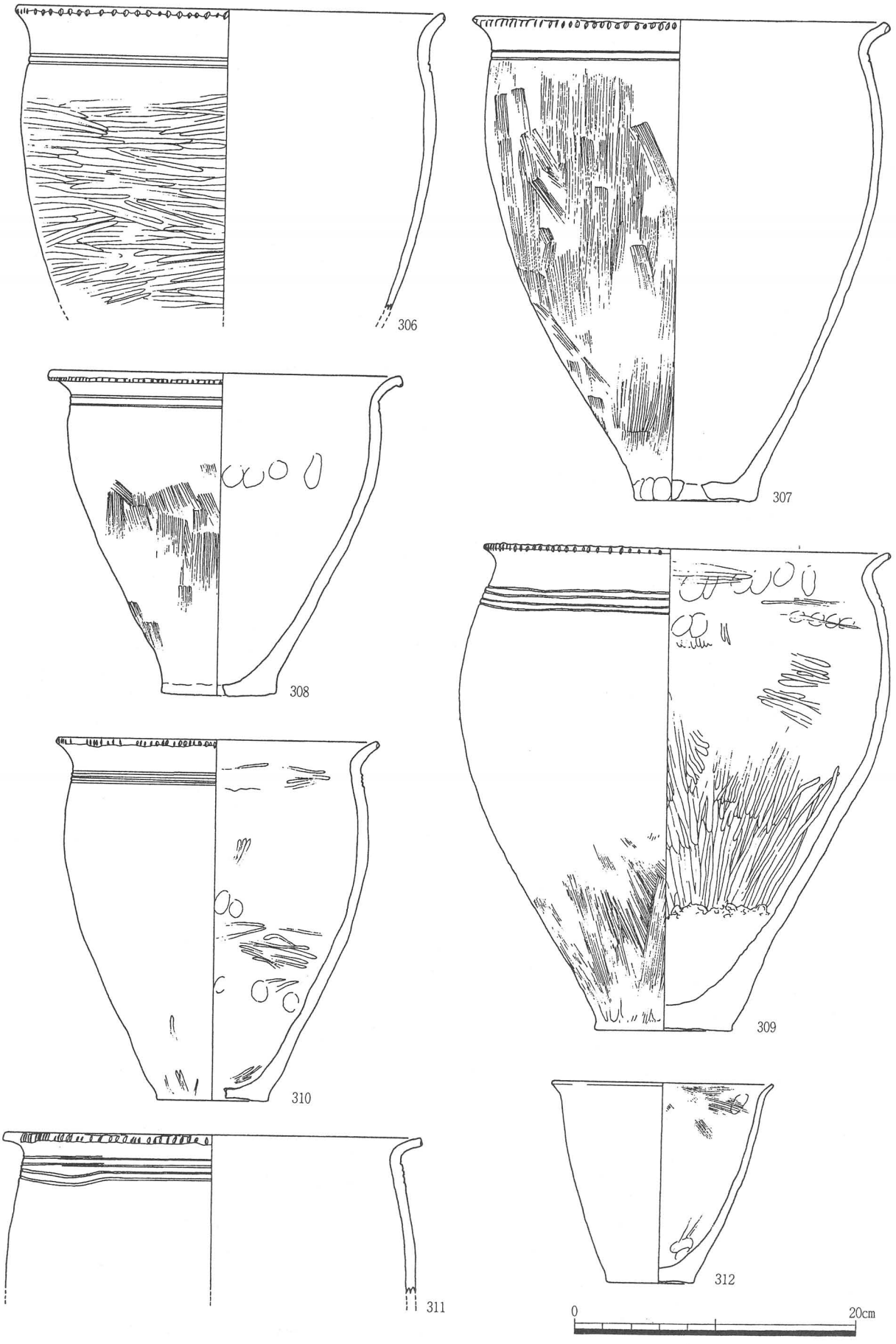
〔Ｃ地区〕

ＳＤ－Ｃ３０１（第91図）

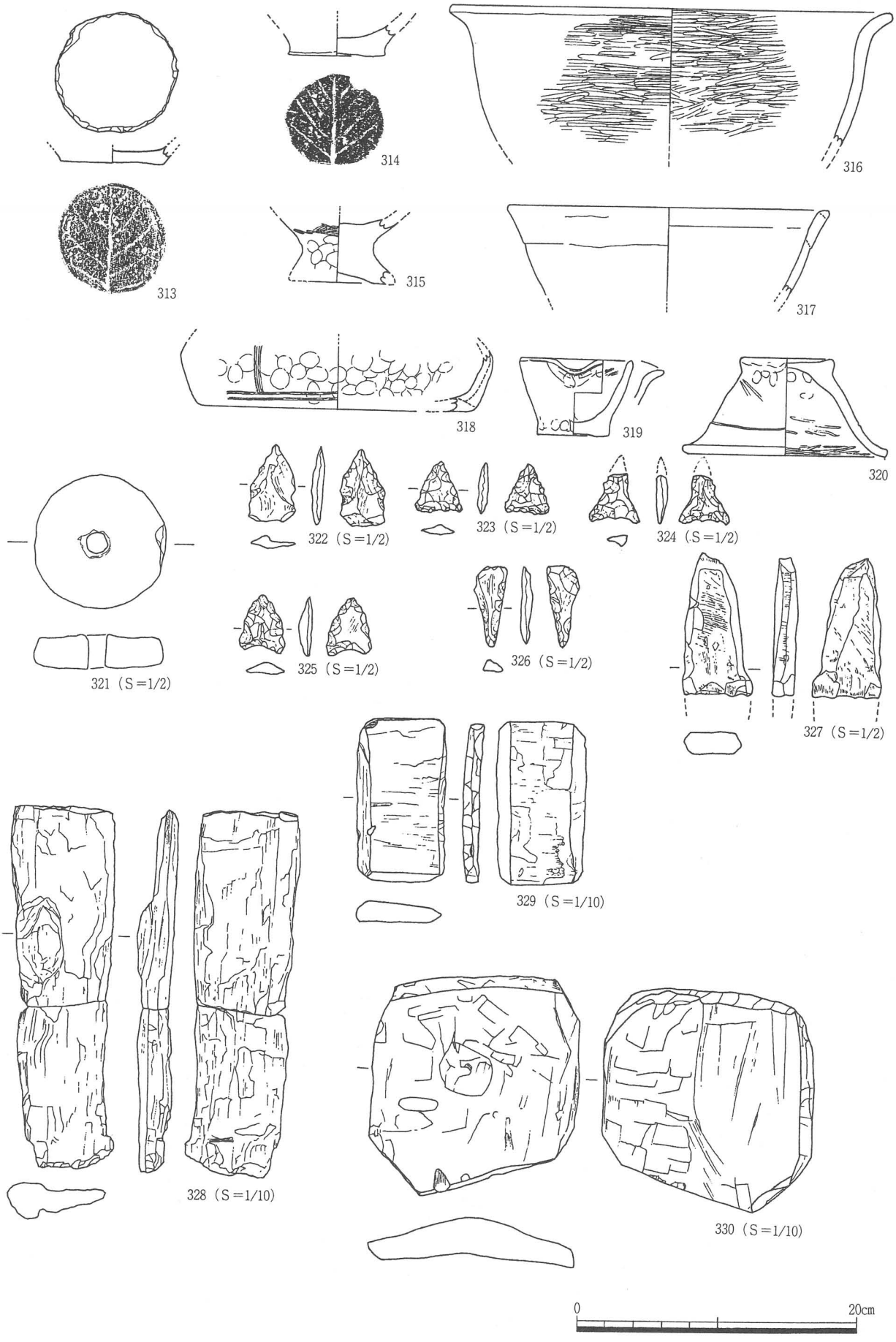
Ｆ５～６区にかけて検出した南北に走る溝である。ＳＤ－Ａ３０３に繋がる。規模は幅約2.6m前後、



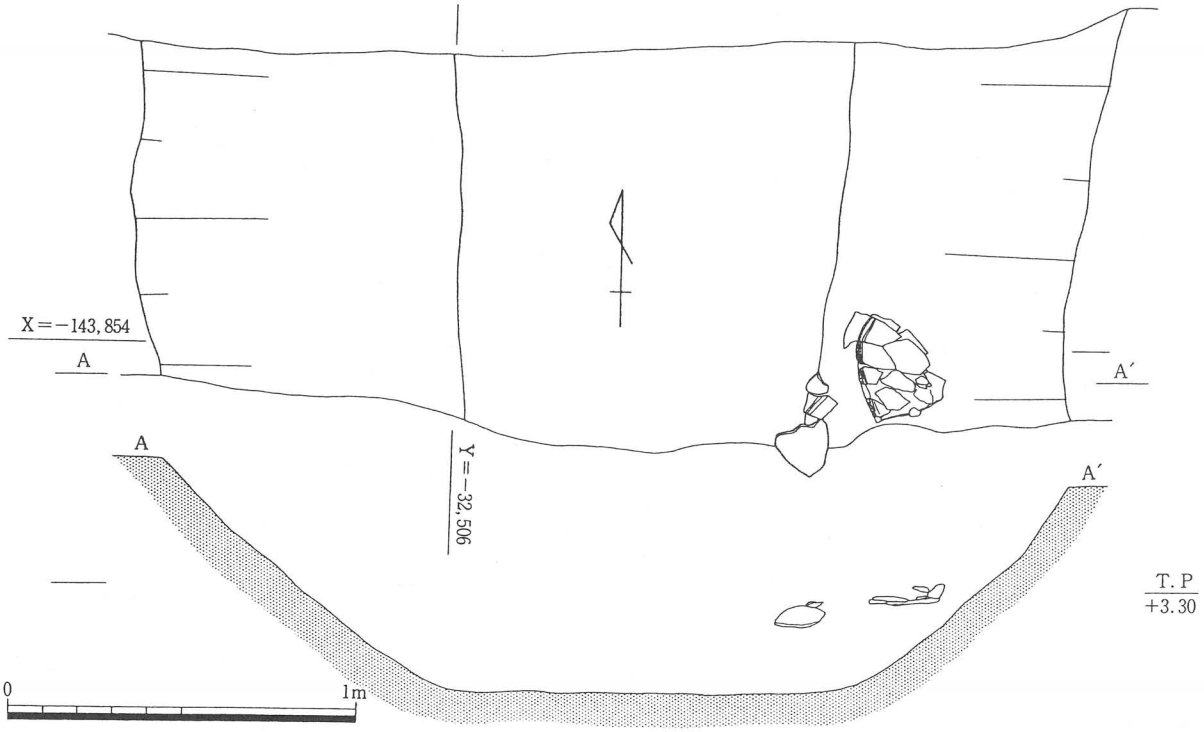
第88図　ＳＤ－Ｂ３０２　出土遺物（１）



第89図　ＳＤ－Ｂ３０２　出土遺物（２）

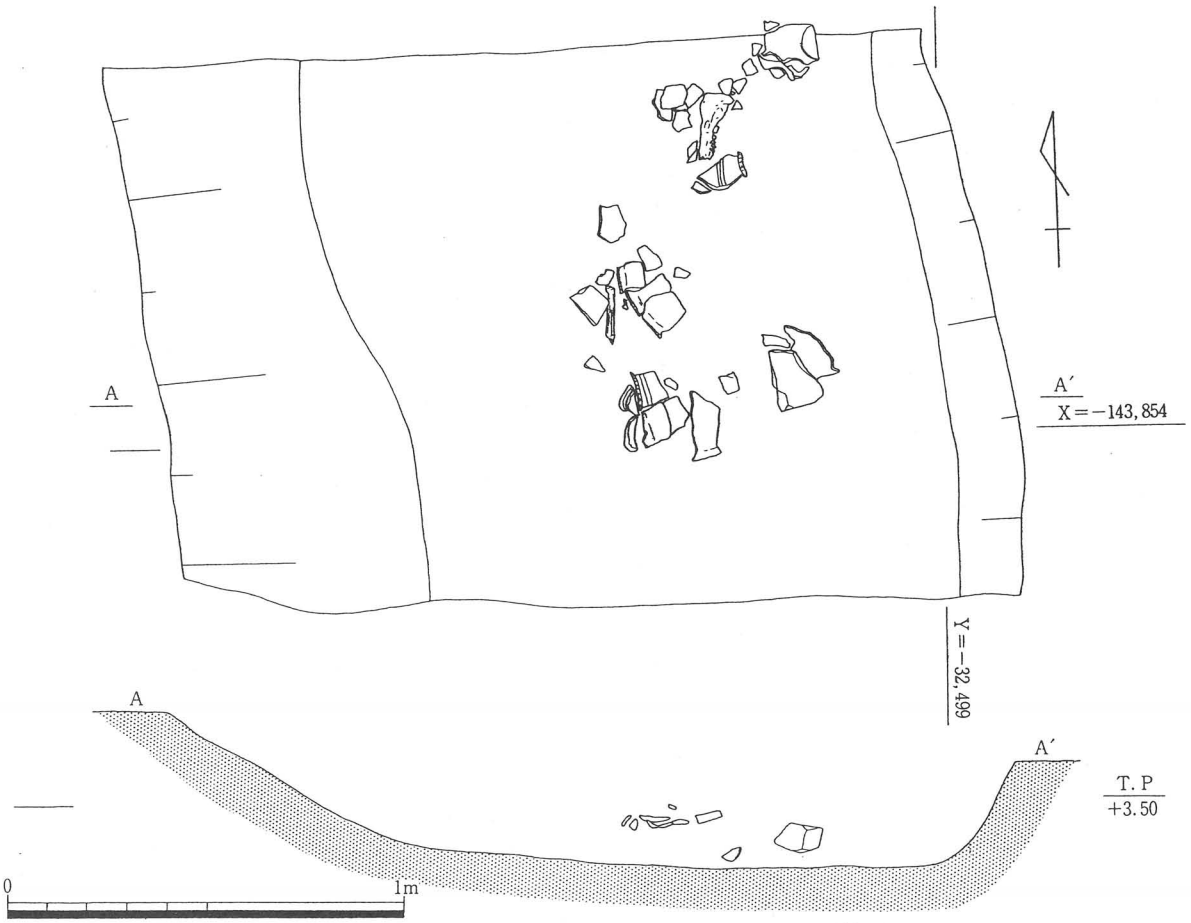


第90図　ＳＤ－Ｂ３０２　出土遺物（３）



第91図　ＳＤ−Ｃ３０１　遺物出土状況図

第92図　ＳＤ−Ｃ３０２　遺物出土状況図（１）

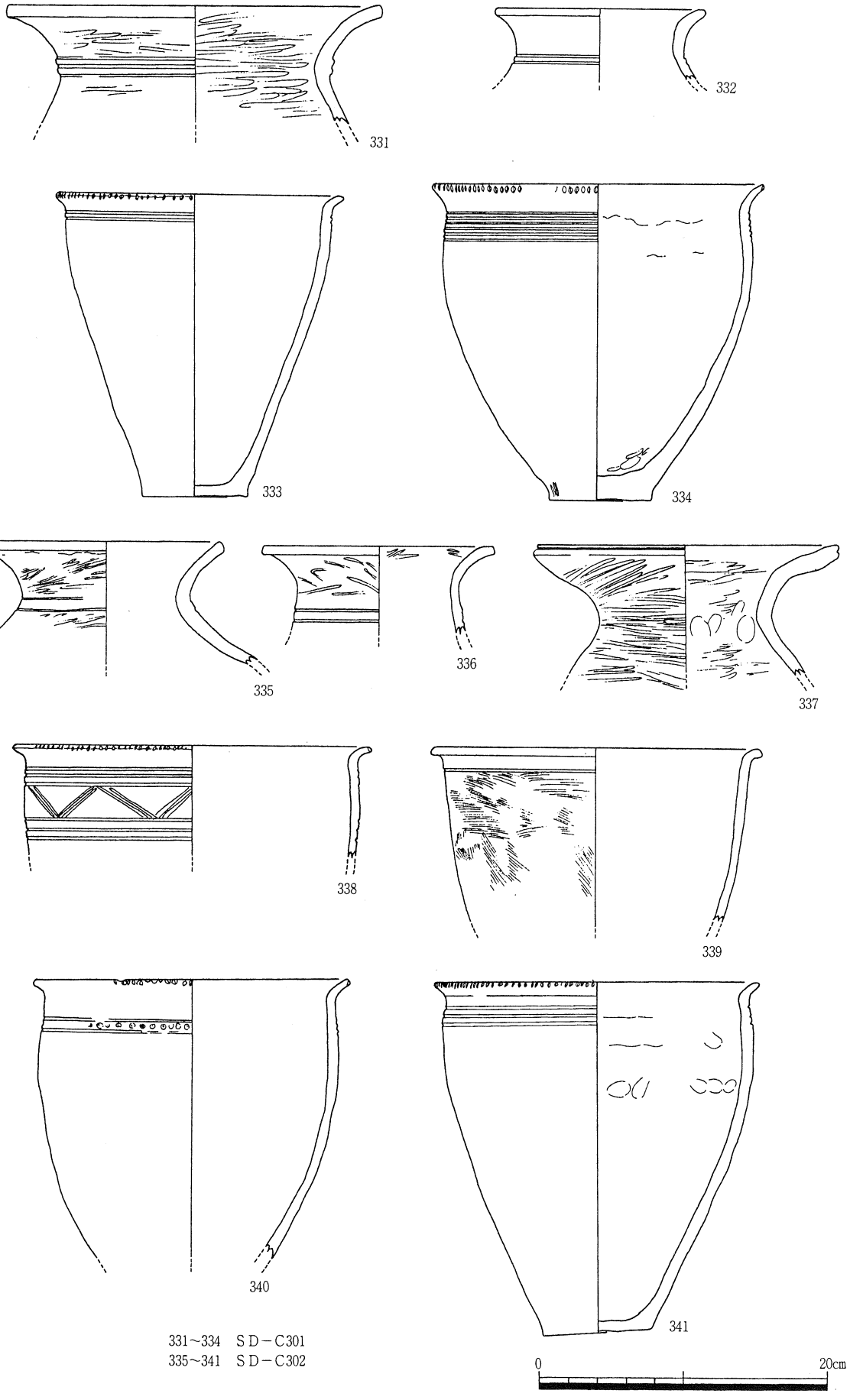


第93図　ＳＤ－Ｃ３０２　遺物出土状況図（２）

深さは約0.7mを測る。断面形態は底部が約1.0mの平坦面を成して台形状を呈する。埋土は暗灰色土～粘質土が主体をなし、最下層には暗灰色砂が見受けられた。遺物はまとまって出土しており、弥生前期土器片、石製品、木製品、骨などが出土している。

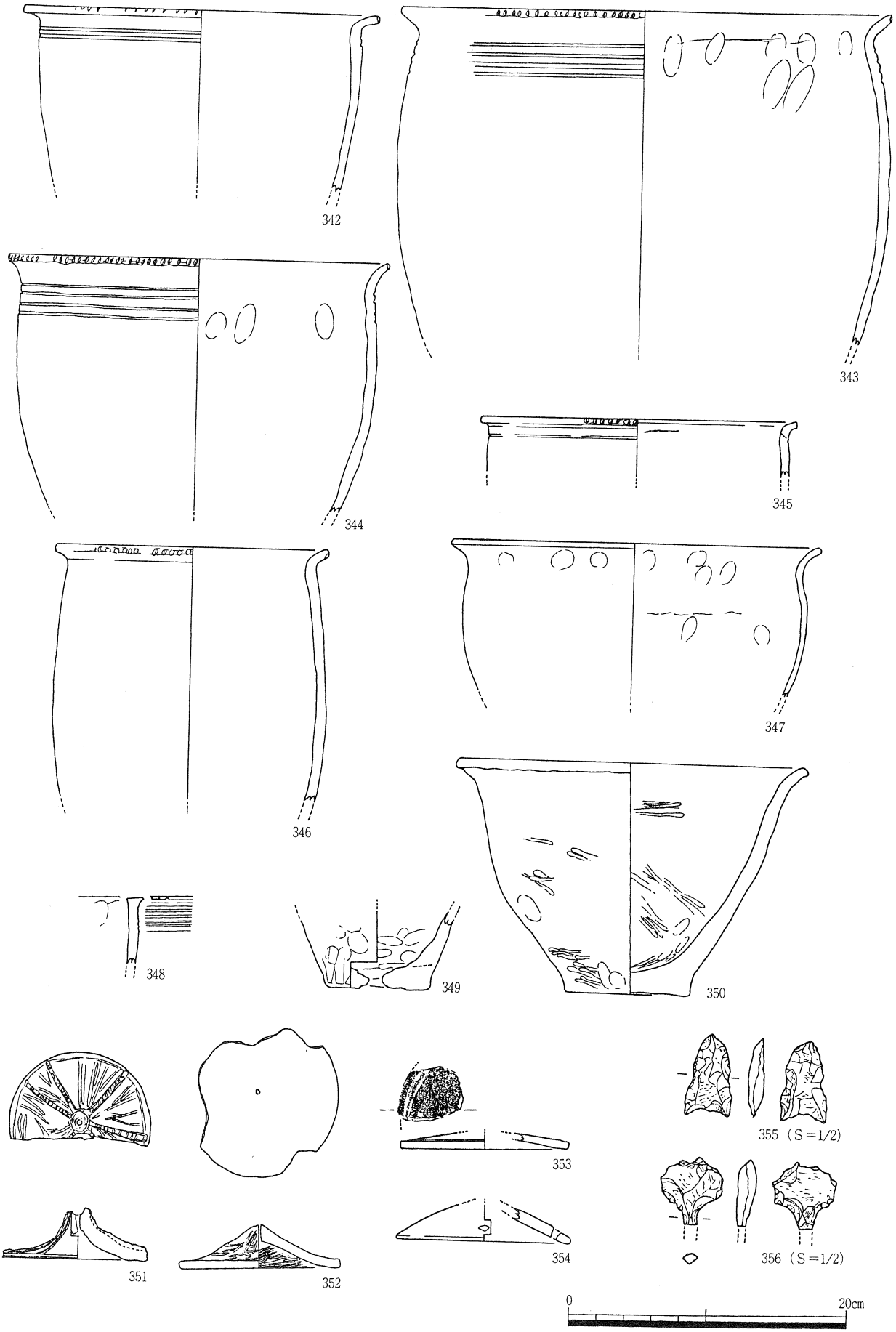
ＳＤ－Ｃ３０２（第92、93図）

Ｆ６～７区にかけて検出した南北に走る溝である。ＳＤ－Ａ３０４に繋がる。規模は幅約2.4m前後、深さは約0.6mを測る。断面形態は形が若干崩れてはいるものの底部が約1.0mの平坦面を成すもので、およそ台形状を呈するものである。埋土は大きく２層に大別でき、上層は暗灰砂質土～土が主体をなし、下層は灰色砂が主体をなす。遺物はまとまって出土しており、弥生前期土器片、石製品、木製品、骨などが出土している。



331～334　ＳＤ－Ｃ301
335～341　ＳＤ－Ｃ302

第94図　ＳＤ－Ｃ３０１・Ｃ３０２　出土遺物（１）



第95図　ＳＤ－Ｃ３０２　出土遺物（２）

第５章　まとめ

今回の調査では中期中～後葉の集落跡を初めて確認することができ、また前期の集落跡についてもより具体的な様相を明らかにすることができた。当遺跡の実態の解明はもちろんのこと鍋田川流域における弥生集落の様相、ひいては河内湖東岸部における弥生集落の動態を考察する上でも多大な成果を得たものであった。以下、今回の調査成果について概括し、まとめとしたい。

１．第１遺構面について

第１遺構面では鋤溝、不定形な土坑、ピットなどを検出した。

鋤溝など各遺構からは瓦器片などが出土することから、中世においては耕作地であった状況がうかがえる。また上層の包含層からは古墳時代の須恵器片なども多分に出土しており、おそらく古墳時代以降において耕作地などの土地利用状況であった可能性が推測されるものである。(1)

２．第２遺構面について

第２遺構面では弥生時代中期中～後葉に比定できる溝、土坑、また柱材が遺存するものや、根石を施したものも含む多数のピットなど、多くの遺構を検出した。またＣ区東端部の微高地を形成すると思われる地点では既に第３遺構面に対応する第Ⅶ層が確認され、弥生前期の遺構（ＳＸ－Ｃ２０２、Ｃ２０３）を検出する状況であった。

中でも注目される遺構としてＳＤ－Ａ２０１・Ｂ２０１の大溝が挙げられるが、南側に向かって弧状を呈しながら東方に振れるもので、一見したところ緩やかな弧を描く溝をうかがわせる。しかし、その南側部分では先にも述べたように微高地が形成されていた状況を呈し、すでにＳＸ－Ｃ２０２、２０３など第３遺構面に対応する弥生前期の遺構が検出されていることから、東方向に向かって大きく迂回する状況が考えられ、いわゆる通常の溝としては理解し難いものである。三好孝一氏は昭和34年の東大阪変電所建設の際に採集された中期弥生土器について、いわゆる供献土器としての様相がうかがえることから、その具体的遺構として方形周溝墓に代表される墓域、祭祀的様相をもつ何らかの遺構の存在が考えられると指摘されており(2)、そのような指摘状況と何らかの関連性をもつ可能性も想定できる。

しかし、今回の大溝からは大量の遺物が出土しているものの土器に関しては祭祀的要素をうかがうことはできなかった。ただ獣骨の出土の多さが注目されるところでもあり、特に人骨片が２点出土していることから何らかの溝の性格を反映しているものと思われるが、墓、祭祀的様相をもつ遺構などの特殊性を指摘するには無理があると思われ(3)、現段階では何らかの区画的要素を持った溝として捉えておきたい。

大溝の時期としては、第Ⅲ～Ⅳ様式の土器が大量に出土しており、中でも第Ⅲ様式後半から第Ⅳ様式前半の土器が主体をなすようである。一時期に一括廃棄された可能性も想定できるものであるが、現段階ではやはり中期中～後葉にかけて一定の機能を有していたものと考えておきたい。

以上、主な遺構について述べてきたが、中期集落跡については今回の調査以前における昭和34年の調査、および採集遺物(4)、また昭和62年～平成元年における調査(5)により、ある程度の存在が予測されていたものであるが、今回の調査により初めて具体的な中期集落跡を確認できたものである。

３．第３遺構面について

第３遺構面では弥生時代前期中～後葉に比定できる多くの遺構を検出し、その内容としては第２遺構面における集落の様相とほぼ同じ状況を示すものであった。

中でも注目されるものに比較的規模の大きい溝（以下、大溝）が挙げられる。各大溝の相関についてはＳＤ－Ａ３０１出土の土器がＳＤ－Ａ３０３、Ｂ３０２それぞれにおいて出土した土器と接合関係が認められ、またＳＤ－Ａ３０２出土の土器がＳＤ－Ａ３０４出土の土器と接合関係が認められる状況であることから、おそらくすべての溝がほぼ同時期に機能していたことが考えられるものである。

また溝の位置関係については結合部にあたる部分が残念ながら調査区外にあたることから明確にはしがたいが、規模などから推察するにＳＤ－Ａ３０１、Ｂ３０２が同一の溝としてほぼ西方向に蛇行しながら走り、ＳＤ－Ａ３０３・Ｃ３０１の溝とＳＤ－Ａ３０４・Ｃ３０２の溝についてはそれぞれＳＤ－Ａ３０２につながるものと思われ、大きく迂回しながら西方向に走ると考えるのが妥当なものと思われる。Ｃ区東端からほぼ南東方向一帯においては微高地を形成する状況がうかがえることから、おそらくその周辺を巡っていた溝の可能性が高いものと考えられる。

また、同一の溝と考えたＳＤ－Ａ３０１、Ｂ３０２については調査段階において環濠の可能性を示唆するものであった[6]が、蛇行する状況や時期をあまり隔てない遺構が大溝の埋没直後、その上部に形成されるなど、通常の環濠としての形態、機能から考えると現状では妥当でないものと考えている。北方約130ｍの地点には現在の鍋田川が東西に流れており、その付近には当該期の旧河川の存在も想定される[7]ことから、おそらく河川を利用した用水路的な溝であった可能性も考えられる。

各大溝の時期としては段を形成する土器や削出突帯第Ⅰ種が見られるものの、削出突帯第Ⅱ種少条が主体をなすことから前期中葉でも古い段階の時期と捉えておきたい。

また、その他に注目される遺構としてＳＫ－Ａ３０９が挙げられる。形態、規模、またその検出状況から見て土坑墓の可能性を示唆するものである。また、ＳＫ－Ａ３０８、Ａ３１０においても、特徴的なものは見出されなかったものの形態、規模、またＳＫ－Ａ３０９との列をなすような位置関係の状況から、やはり同様の可能性は示唆しておきたい。ただ、居住域と墓域という集落構造といった観点からすれば多々の問題点を含むものであり、今後の調査事例に期待するところでもある。

以上、主な遺構について述べてきたが、中垣内遺跡における前期の集落については、前期中葉以降に集落が形成されたいたという認識は持たれていたものの[8]、以後の調査内容から前期中葉の様相はうかがえるものの前期後葉以降に集落が本格的に形成されたという認識が強かったように思われる。そのような中、今回の調査によって前期中葉の段階で本格的に集落が形成されていた様相を明確に確認することができたものである。

４．弥生集落の変遷について

まず集落の出現については今回の調査地一帯に前期中葉の早い段階には成立したようであり、後葉の前半まで最盛期を迎え、以降、前期末にかけて徐々に衰退していく様子が遺物の出土状況からもうかがえる。その後、この地域一帯での集落はいったん廃絶され、若干の空白を経て中期前葉の集落が出現するものであるが、その状況としては今回調査地から北西に約250ｍの地点（87－1調査）で壺棺が出土している[9]ほか、北に約170ｍの地点（94－1調査）[10]、北北東に約370ｍの地点（94－2調査）[11]、また東北東に約370ｍの元粉遺跡内[12]、さらに東北東に約500ｍの鍋田川遺跡内[13]、それぞれにおいて遺構、遺物などがわずかながら出土しているといった状況である。このことから、中期前葉に関しては具体的な集落の様相については明らかではないものの、非常に散在する状況がうかがえるものである。87－1調査では壺棺の出土であることから墓域と居住域を考慮しなければいけないが、それにしても大きく見積って東西約400ｍの居住域を考えるにはこれまでの調査状況において到底受け入れられないものであり、やはり小規

模な集落が数ヶ所において点在していたことを示すものであろう。

そして、中期中葉になるとまた今回の調査地一帯に再び集落が形成されるようになり、中期前葉の集落が集約された様相をうかがわせる。それは中期後葉まで存続するものであるが、規模については遺構密度、遺物の出土量、またその広がり程度からみて前期集落の規模とあまり大差のない感を受ける。

後期に至っては今回調査地において遺構、遺物はまったく見られなくなり、一気に廃絶される様相を示している。そして、東に約 500mに位置する鍋田川遺跡において後期の土器が比較的まとまって出土することから[14]、集落が完全に移動する様相を示すものであった[15]。

以上、簡単ではあるが、弥生集落の変遷を辿ってきた。その内容は前期から後期にいたる弥生時代全般にわたるものであるが、地域的には鍋田川流域内において展開するものであった。東方には生駒山系が間近に迫るものであり、その地域的特異性も念頭に置くべきものではあるが、中小河川を中心に展開する弥生集落の動態について示した良好な一例をなすものと思われる。

今回の調査成果は、中垣内遺跡の弥生集落が拠点的集落の一つであることをあらためて確認させるものであった。今後の課題としては集落構造に対する評価、また集落の出現や廃絶、その移動といった各事象に対する意義付けが挙げられるが、これらの点については他の代表的な弥生集落個々の実態、また周辺地域における弥生集落の動態との関連性など多岐にわたる比較、検討の中で包括的に検証していきたいと思う。

註

（1）北東に約 250mの地点で、古墳時代前期の水田跡を確認している。
大東市教育委員会　2004 年　『中垣内遺跡』大東市埋蔵文化財調査報告第 21 集

（2）三好孝一　1988 年　「河内潟東辺部における弥生時代集落」－中垣内遺跡採集遺物を中心として－
『考古学論集』第 2 集　考古学を学ぶ会

（3）大阪市立大学大学院医学研究科、安部みき子氏よりご教示を得た。

（4）昭和 34 年当時の調査については註（2）に詳しい。また、大東市史にも若干触れられている。
大東市教育委員会　1973 年　『大東市史』

（5）大東市教育委員会　1990 年　『中垣内遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第 7 集

（6）大東市教育委員会　1992 年　『中垣内遺跡現地説明会資料』
新聞報道による各紙（平成 4 年 10 月 2 日付朝刊他）

（7）現鍋田川の北方約 40mの地点で、東西に流れる弥生時代後期の自然河川が確認されていることから、前～中期の自然河川も近隣に存在するものと思われる。
大東市教育委員会　2004 年　『中垣内遺跡』大東市埋蔵文化財調査報告第 21 集

（8）註（2）と同じ

（9）1987 年調査（未報告）

（10）1994 年調査（未報告）

（11）大東市教育委員会　1997 年　『中垣内遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第 11 集

（12）大東市教育委員会　2004 年　『元粉遺跡Ⅰ』大東市埋蔵文化財調査報告第 19 集

（13）鍋田川遺跡で採集されたとある。
大東市教育委員会　1987 年　『寺川・北条遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第 1 集

（14）1992・1998 年調査。（未報告）
大阪府教育委員会　1992 年　『鍋田川遺跡発掘調査概要・Ⅰ』
大阪府教育委員会　1994 年　『鍋田川遺跡発掘調査概要・Ⅱ』

（15）このような状況についてはすでに指摘されていることでもある。
濱田延充　2001 年　「北河内地域における弥生時代遺跡群の動態」『市史紀要（第 8 号）』寝屋川市教育委員会

附章　中垣内遺跡出土動物遺体について

大阪市立大学大学院医学研究科　　安部みき子
大阪市立大学大学院文学研究科　　高志こころ

大東市中垣内に位置する中垣内遺跡の動物遺体は弥生時代前期から中期の層と中近世の層から出土している。出土した骨片数は1214であったが、出土表（表1）は哺乳類では種と部位が同定できたもののみ、また、鳥類ではフクロウとキジ以外はトリ、爬虫類ではスッポン以外はカメ、魚類ではタイ以外はサカナと記載した。出現頻度や最小個体数の集計は出土表（表1）に記載されているものでおこなった。イヌ、シカとイノシシは各時期の遺構ごとに部位の出現頻度表を作成し、遺構ごとの最小個体数を求めた。遺構については、土坑・不明遺構・ピットと溝は時期ごとにまとめ、考古学的に意味があるものは分けて表記した（表2）。骨計測ができたものを表3に示した。

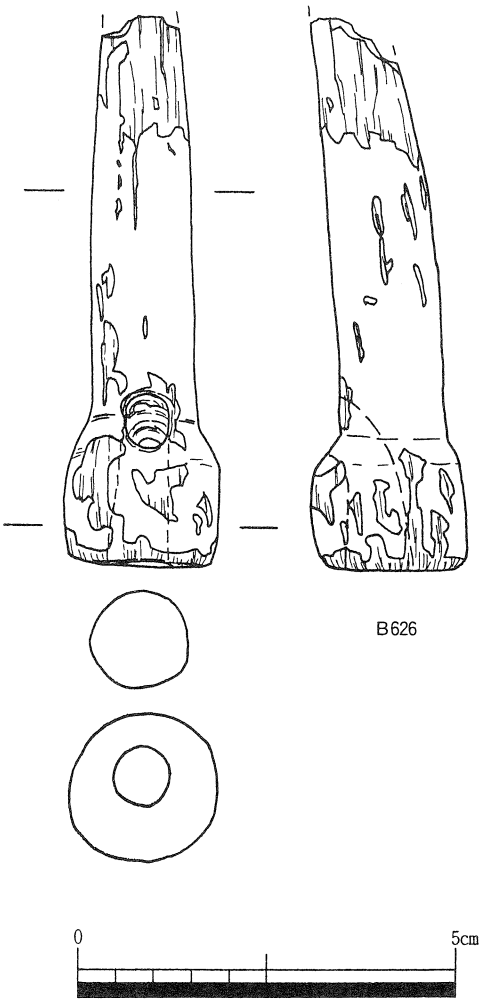
弥生時代前期（Ⅰ）

出土動物遺体はイノシシ、シカ、イヌ、テン、ウサギ、ムササビ、鳥類、スッポンとタイなどの魚類で、この時期は通して種数と出土量が最も多い。イノシシとシカはほぼ全ての遺構から出土している。

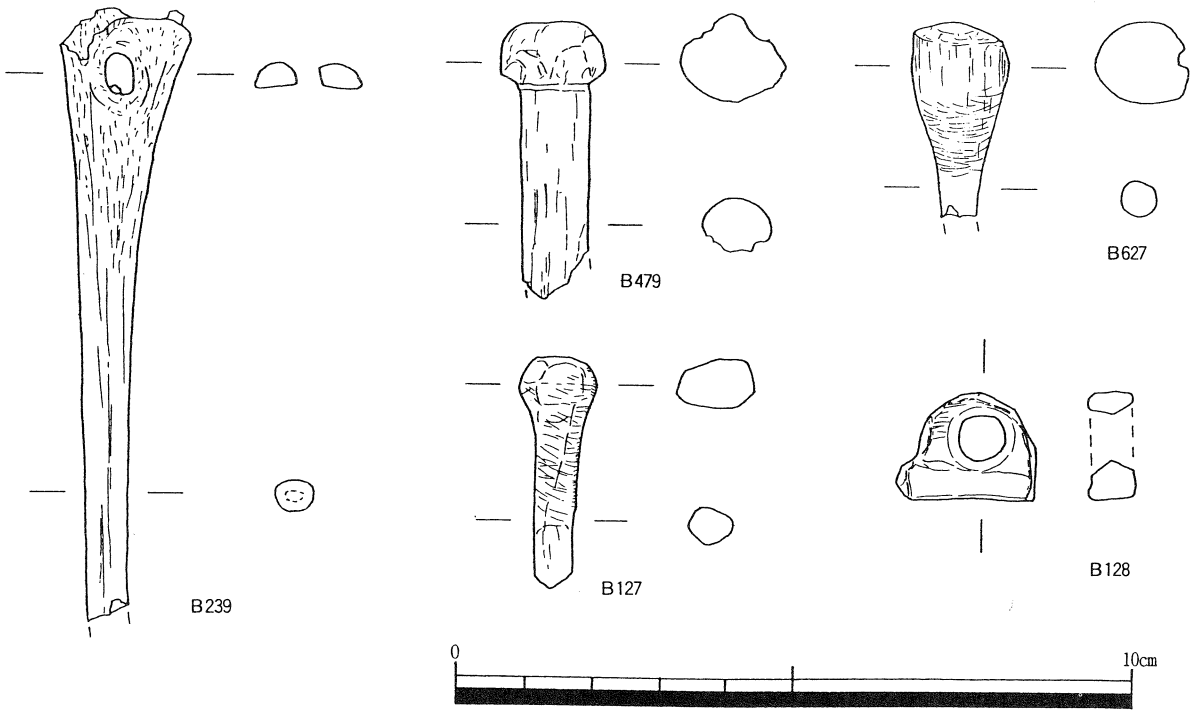
<u>各遺構の出土状況</u>

溝から出土した動物遺体は種数、出土量ともに最も多く、特にイノシシとシカは出土数が122と79（うち鹿角は24）で出土骨の大半を占め、最小個体数は前者が5、後者が4である。出土部位はイノシシがほぼ全身が出土しているのに対し、シカは角、上顎臼歯と四肢骨が多い。鹿角は、加工品（第97図、B127・B128）や骨角器を作成した痕跡があるものが多く、落角も混在している。野生小型哺乳類は、テンの左下顎骨、ウサギの右踵骨、ムササビの左下顎骨と右下顎第1切歯が各1点出土している。イヌの出土は比較的少なく、左下顎骨と下顎第4小臼歯と犬歯が出土しているが、この犬歯は人工的に切断されたと思われる。鳥類は数点出土しているが種の特定はできなかった。それらは骨針に加工された骨片（第97図、B239）やカルガモ程度の大きさの左肩甲骨である。爬虫類の出土数は少ないがスッポンが遺存している。サカナは同定できたものがタイの顎骨の3点のみである。

第3面の土抗・不明遺構・ピットから出土したイノ



第96図　出土骨角製品（1）



第97図　出土骨角製品（２）

シシとシカは溝に次いで出土量が多く、最小個体数はイノシシで２、シカで１である。しかし、出土数はイノシシ39、シカ17（うち鹿角は6）でイノシシのほうが約２倍多く、最小個体数も２と１である。出土部位は両者ともに歯と四肢骨の出土が多い。

土坑ＳＫ－Ａ３２１からは焼かれた鹿角の破片が１点のみ出土している。

土坑ＳＫ－Ａ３２４からは小型のツル目と思われる鳥類の手の近位第３指骨が出土している。

土坑ＳＫ－Ａ３３０からはイノシシがシカよりやや多い。これらのイノシシのうち下顎骨の犬歯歯槽の形態がニホンイノシシと異なるものが出土し、弥生ブタの可能性が示唆される。このイノシシ（弥生ブタ？）は犬歯の形態からオスと推定され、歯の磨耗状態から４歳以上の成体と推側された。また、鹿角は焼骨や切断された角先も遺存している。

ＳＫ－Ａ３０８（土坑墓？）からはイノシシ、シカとイヌ科の頚椎の椎体が出土し、最小個体数はいずれも１である。出土数はシカのほうが多く、鹿角の角先も遺存している。

ＳＫ－Ａ３０９（土坑墓？）からはシカの中足骨とムササビの第１切歯が出土しており、イノシシは遺存していない。

焼失家屋跡と推測されている遺構のＳＸ－Ａ３０１からはイノシシの臼歯が２本出土している。

遺構の性格が不明であるＳＸ－Ｃ２０２からはイヌの左下顎犬歯が出土し、歯の大きさから小型犬で、歯の咬耗が進んでいることより比較的老齢であると推測される。

弥生時代前期から中期（Ⅰ～Ⅲ）

第Ⅵ層として一括された層からの出土数は少なく、イノシシもシカも出土量はほぼ同数であり、最小個体数はいずれも２である。イノシシは頭骨の出土数が多いがシカは角と四肢骨が遺存している。人骨

の下顎骨の一部が出土しているが、由来は不明である。

弥生時代中期（Ⅲ～Ⅳ）

イノシシとシカの出土数が多いが、イヌ、タヌキ、モグラ、フクロウ、キジ、スッポンとカメなどが出土し、人骨も遺存している。

各遺構の出土状況

溝から出土したイノシシとシカは出土数が61と38（うち鹿角は7）で、最小個体数は前者が3、後者が2である。イノシシは全身の骨格から出土しているのに対し、シカは鹿角を除くと四肢骨が多い。鹿角で作成した釘状製品（第97図、B479）が出土している。少数ではあるがタヌキやモグラ、フクロウ、キジやスッポンが出土している。イヌは幼体の肩甲骨と咬耗が大きな小臼歯も遺存していることから、最小個体数は2である。ヒトは胸椎の椎体や手根骨の大菱形骨が出土し、大菱形骨の形状は若い個体と推測される。これらの人骨の由来は不明である。

土坑・不明遺構・ピットからはイノシシとシカのみが若干出土している。土坑ＳＫ－Ａ２２０からは漆を塗布したと思われる鹿角（第96図）と釘状の鹿角製品（第97図、B627）が遺存している。

第Ⅴ層では出土数は少ないが、この層ではシカがイノシシよりわずかに多い。

中世（第Ⅳ層）

シカの角片と上腕骨の骨頭のみが出土している。

中近世（第Ⅱ層）

イノシシの中手骨または中足骨の近位端とウマの右の大臼歯が出土している。

ま と め

1．弥生時代の遺構の大半からはイノシシとシカが出土し、その出土比はイノシシの方が多い。
2．各時期を通してイノシシの頭骨は出現頻度が高いのに対しシカは低い。その理由のひとつとして、シカの頭骨の骨質が関係していると思われる。
3．前期の土坑墓と考えられている地点からイノシシやシカなどが見られるが埋土に混入していたと考えられる。イヌは椎骨の一部が出土しているだけであり埋葬したかどうかは分からない。
4．また、弥生ブタと思われる下顎骨が出土している土坑ＳＫ－Ａ３３０はイノシシとシカのみ出土していることより、この土坑の性格を検討する必要がある。
5．弥生時代中期は前期より動物遺体の種、量ともに少ないが、前期同様イノシシとシカが大半を占めている。
6．中期の溝からはモグラ、キジやフクロウなどの小動物が出土し人骨も混在しているが、人骨の由来は不明である。
7．中世と近世の層は撹乱を受けている可能性が高い。
8．層位不明の側溝からウシの大臼歯が出土している。

表１－（１）　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
弥生Ⅰ						
B01		イヌ	左	下顎 第4小臼歯	咬頭磨耗あり	
B02		イヌ	不明	犬歯	縦に切断されている	加工痕あり
B03		テン	左	下顎骨	第1小臼歯～第1大臼歯まで遺存、第1小臼歯～第4小臼歯まで釘植、咬頭磨耗	臼歯列長 Pm4-M後縁 19.3
B04		ウサギ	右	踵骨		表3
B05		イノシシ	―	頭頂骨	左側の項線とラムダ状縫合が遺存	
B06		イノシシ	―	後頭骨	左の外側部が遺存	
B07		イノシシ	右	上顎骨	第2大臼歯～第3大臼歯釘植、第1大臼歯近位側の上顎骨が破損	表3
B08		イノシシ	右	上顎 第1乳切歯	欠損が著しい	
B09		イノシシ	右	上顎 第3乳臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B10		イノシシ	右	上顎 第3小臼歯	未萌出	表3
B11		イノシシ	左	上顎 第4小臼歯	咬頭の磨耗が小さい	表3
B12		イノシシ	右	上顎 第4小臼歯	歯冠のみ	表3
B13		イノシシ	左	上顎 第1大臼歯		表3
B14		イノシシ	左	上顎 第1大臼歯	咬頭磨耗	表3
B15		イノシシ	左	上顎 第1大臼歯	咬頭磨耗	表3
B16		イノシシ	左	上顎 第2大臼歯	咬頭磨耗あり	
B17		イノシシ	左	上顎 第3大臼歯	咬頭磨耗あり	表3
B18		イノシシ	右	上顎 第3大臼歯		表3
B19		イノシシ	左	下顎骨		
B20		イノシシ	左右	下顎骨	第 1、2切歯の歯槽部が遺存	
B21		イノシシ	右	下顎骨	下顎角が遺存	
B22		イノシシ	左	下顎 第1切歯		
B23		イノシシ	左	下顎 第1切歯	咬頭磨耗	表3
B24		イノシシ	右	下顎 第1切歯	咬頭磨耗	表3
B25		イノシシ	右	下顎 第2切歯	咬頭磨耗	
B26		イノシシ	不明	下顎 第1or第2切歯		
B27		イノシシ	右	下顎 犬歯		
B28		イノシシ	左	下顎 第1小臼歯		表3
B29		イノシシ	右	下顎 第3小臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B30		イノシシ	左	下顎 第4小臼歯		表3
B31		イノシシ	右	下顎 第4小臼歯		表3
B32		イノシシ	左	下顎 第2大臼歯		表3
B33		イノシシ	左	下顎 第2大臼歯	歯冠のみ遺存	
B34		イノシシ	左	下顎 第3大臼歯	近位側欠損	
B35		イノシシ	右	下顎 第3大臼歯	未萌出	
B36		イノシシ	不明	下顎 第3大臼歯	未萌出	表3
B37		イノシシ	不明	犬歯		
B38	SD-A301	イノシシ	不明	第3大臼歯	歯根のみ	
B39		イノシシ	不明	大臼歯	頬側のみ遺存	
B40		イノシシ	不明	大臼歯	欠損が著しい	
B41		イノシシ	不明	大臼歯	未萌出、欠損が著しい	
B42		イノシシ	不明	大臼歯		
B43		イノシシ	不明	臼歯		
B44		イノシシ	―	頚椎	左側の椎体と横突孔周辺が遺存	
B45		イノシシ	―	腰椎		
B46		イノシシ	―	腰椎	後関節突起が遺存	焼骨
B47		イノシシ	右	肩甲骨	関節窩周辺遺存	
B48		イノシシ	左	上腕骨		
B49		イノシシ	左	中手骨Ⅲ	近位関節面周辺が遺存	表3
B50		イノシシ	左	大腿骨	骨幹中央～遠位部遺存、骨端欠損	
B51		イノシシ	左	大腿骨	遠位端が遺存	
B52		イノシシ	不明	大腿骨	骨幹近位～中央遺存	
B53		イノシシ	左	距骨	距骨滑車の外側部のみ遺存	
B54		イノシシ	右	距骨		表3
B55		イノシシ	不明	中手骨or中足骨ⅢorⅣ	遠位関節部が遺存	
B56		イノシシ	不明	基節骨		表3
B57		イノシシ	不明	基節骨or 中節骨	遠位関節面が遺存	
B58		イノシシ	不明	基節骨or 中節骨	遠位関節面が遺存	
B59		イノシシ	不明	中節骨or末節骨	近位関節面が遺存	
B60		シカ	右	角	落角	
B61		シカ	不明	角	9	
B62		シカ	不明	角	3	
B63		シカ	不明	角	2	焼骨1
B64		シカ	右	上顎 第2小臼歯	咬頭磨耗	表3
B65		シカ	右	上顎 第3小臼歯	咬頭磨耗	表3
B66		シカ	左	上顎 第4小臼歯		
B67		シカ	左	上顎 第1大臼歯	遠位側のみ遺存	
B68		シカ	左	上顎 第1大臼歯	咬頭磨耗	表3
B69		シカ	右	上顎 第1大臼歯	咬頭磨耗	表3
B70		シカ	左	上顎 第2大臼歯	頬側のみ遺存	表3
B71		シカ	右	上顎 第2大臼歯	舌側のみ遺存	表3
B72		シカ	右	上顎 第2大臼歯	咬頭磨耗	表3
B73		シカ	右	上顎 第2大臼歯	咬頭磨耗	表3
B74		シカ	左	上顎 第2or第3大臼歯		
B75		シカ	左	上顎 第3or第4小臼歯	咬頭磨耗あり	
B76		シカ	左	上顎 第3or第4小臼歯	未萌出、近位側のみ遺存	
B77		シカ	不明	上顎 大臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（２）　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
B78	SD-A301	シカ	左	下顎骨	下顎結合部、オトガイ孔より遠位が遺存	
B79		シカ	右	下顎 第1or第2大臼歯		
B80		シカ	右	下顎 第3大臼歯	近位側欠損	
B81		シカ	右	下顎 大臼歯	舌側のみ遺存	
B82		シカ	不明	下顎 大臼歯	咬頭の磨耗が小さい	
B83		シカ	不明	歯		
B84		シカ	不明	歯	上顎歯、欠損が著しい	
B85		シカ	—	第1胸椎		
B86		シカ	—	腰椎		表3
B87		シカ	左	中手骨Ⅲ+Ⅳ	近位端が遺存	
B88		シカ	左	脛骨	近位骨端が遺存する（腓骨破損）	
B89		シカ	右	距骨		焼骨
B90		シカ	不明	中手骨or中足骨	近位骨端が遺存	加工痕あり
B91		シカ	不明	基節骨		表3
B92		シカ	不明	基節骨		同一固体,表3
B93		シカ	不明	中節骨		
B94		シカ	不明	基節骨		同一固体,表3
B95		シカ	不明	中節骨		
B96		シカ	不明	中節骨		表3
B97		シカ	右	足の舟状骨+立方骨		
B98		シカ	右	足の舟状骨+立方骨		
B99		シカ？	不明	角	2	焼骨
B100		タイ	不明	顎骨片		
B101		タイ	左	上顎骨		
B102	SD-A302	イノシシ	左	前頭骨+頭頂骨	前頭骨頬骨突起周辺と縫合している前頭骨の一部が遺存	
B103		イノシシ	右	下顎 第2切歯		
B104		イノシシ	右	上顎 第1大臼歯	咬頭磨耗	表3
B105		イノシシ	右	上顎 第2大臼歯	咬頭の磨耗が小さい	表3
B106		イノシシ	右	上顎 第3大臼歯	咬頭の磨耗が小さい	表3
B107		イノシシ	左	上顎 第4小臼歯	咬頭の磨耗が小さい	表3
B108		イノシシ	不明	大臼歯	咬頭の磨耗が大きい	
B109		イノシシ	左	大臼歯	近位側のみ遺存	
B110		イノシシ	右	肩甲骨	肩甲棘と前縁の一部が遺存	
B111		イノシシ	左	尺骨	滑車切痕周辺遺存	焼骨
B112		イノシシ	右	寛骨	寛骨臼周辺が遺存	
B113		イノシシ	左	踵骨	踵骨隆起を欠損	加工痕あり表3
B114		シカ	不明	角	2	焼骨1
B115		シカ	不明	角		
B116		シカ	—	腰椎	椎体と右側の後関節突起周辺が遺存	
B117		シカ	—	腰椎	椎体と左側の後椎切痕が遺存	
B118		シカ	—	腰椎	椎体が遺存	
B119		シカ	不明	大腿骨	大腿骨頭が遺存	
B120		シカ	左	踵骨	載距突起周辺が遺存	焼骨
B121	SD-A303	イヌ	左	下顎骨	犬歯～第3大臼歯遺存、第1小臼歯が欠損、第2大臼歯は釘植	表3
B122		イノシシ	—	胸椎	椎体と棘突起の一部が遺存、骨端未癒合	
B123		イノシシ	左	尺骨	肘頭～骨幹1/2遺存、肘頭の近位端が未癒合	
B124		イノシシ	不明	末節骨		最大長　11.97
B125		イノシシ	不明	末節骨	近位端周辺遺存	焼骨
B126		シカ	不明	角		加工痕あり（漆付
B127		シカ	不明	角		釘状角製品、第97図
B128		シカ	不明	角		加工品、第97図
B129		シカ	左	上顎 第2小臼歯	舌側のみ遺存、咬頭の磨耗が小さい	
B130		シカ	左	踵骨	踵骨隆起と載距突起を破損	
B131		シカ	不明	中手骨or中足骨ⅢorⅣ	ⅢorⅣの骨端のみ遺存、骨端未癒合、遊離骨端	
B132	SD-B302	イノシシ	—	後頭骨+側頭骨+頭頂骨+前頭骨	右側が遺存、後頭骨に解体痕あり	加工痕あり
B133		イノシシ	右	側頭骨	錐体	
B134		イノシシ	—	蝶形骨	蝶形骨体が遺存	
B135		イノシシ	右	上顎 第1切歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B136		イノシシ	左	上顎 第3切歯	咬頭の磨耗が小さい	表3
B137		イノシシ	右	上顎 犬歯		メス
B138		イノシシ	右	上顎 第2小臼歯	咬頭磨耗	表3
B139		イノシシ	左	上顎 第3小臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B140		イノシシ	左	上顎 第1大臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B141		イノシシ	左	下顎骨	関節突起が遺存	
B142		イノシシ	左	下顎骨	下顎角が遺存	
B143		イノシシ	左	肋骨		
B144		イノシシ	右	上腕骨	骨幹中央～遠位が遺存、内側上顆が未癒合	
B145		イノシシ	右	上腕骨	遠位部が遺存	加工痕あり
B146		イノシシ	不明	橈骨	骨端が遺存	
B147		イノシシ	右	寛骨	坐骨+恥骨と腸骨の一部が遺存、骨端未癒合	腸骨体に加工痕あり、表3
B148		イノシシ	左	膝蓋骨		
B149		イノシシ	右	腓骨	骨端未癒合、骨幹中央～遠位部が遺存	
B150		シカ	右	頬骨		焼骨
B151		シカ	左	上顎骨	臼歯の歯槽部が遺存	
B152		シカ	左	上顎 第2小臼歯		表3
B153		シカ	右	上顎 第2小臼歯～第3大臼歯	第2小臼歯～第3大臼歯まで釘植	表3

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（３） 動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備考
			左右	部位	詳細	
B154	SD-B302	シカ	不明	大臼歯		
B155		シカ	不明	大臼歯		
B156		シカ	不明	歯		
B157		シカ	―	第5頚椎		表3
B158		シカ	右	橈骨	近位端～骨幹2/3遺存	表3
B159		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	掌側縦溝or背側縦溝が遺存	
B160		イノシシorシカ	不明	長骨片		焼骨
B161		サカナ	不明	骨片		
B162		ムササビ	左	下顎骨		表3
B163		イノシシ	―	後頭骨	左側の顆旁突起が遺存	
B164		イノシシ	―	後頭骨	右側の顆旁突起が遺存	
B165		イノシシ	左	側頭骨	岩様部（錐体）	
B166		イノシシ	左	側頭骨	錐体	
B167		イノシシ	右	側頭骨	錐体	焼骨
B168		イノシシ	右	側頭骨	錐体	
B169	SD-B302上層	イノシシ	左	前頭骨+頭頂骨	眼窩後縁+前頭骨類骨突起が遺存	焼骨
B170		イノシシ	左	上顎 第1切歯	咬頭磨耗	表3
B171		イノシシ	右	上顎 第1切歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B172		イノシシ	右	上顎 第1切歯	欠損が著しい	
B173		イノシシ	右	上顎 第1切歯	咬頭の磨耗	表3
B174		イノシシ	左	上顎 第2乳臼歯		表3
B175		イノシシ	右	上顎 犬歯		オス、加工痕あり、表
B176		イノシシ	右	上顎 犬歯		オス、表3
B177		イノシシ	右	上顎 犬歯	咬頭欠損	
B178		イノシシ	右	上顎 犬歯	咬頭磨耗	表3
B179		イノシシ	右	上顎骨	第1小臼歯～第4小臼歯釘植、第3小臼歯および第4小臼歯は咬頭磨耗	メス、表3
B180		イノシシ	左	上顎 第2切歯	咬頭磨耗	表3
B181		イノシシ	右	上顎 第2切歯	歯根部の大部分を欠損、咬頭の磨耗が小さい	表3
B182		イノシシ	右	上顎 第2切歯		表3
B183		イノシシ	左	上顎 第2乳切歯	咬頭の磨耗が小さい	表3
B184		イノシシ	右	上顎 第3小臼歯	類側欠損	
B185		イノシシ	左	上顎第4小臼歯		
B186		イノシシ	左	上顎 第1大臼歯		表3
B187		イノシシ	左	上顎 第2or第3大臼歯	歯冠のみ、未萌出	
B188		イノシシ	左	下顎骨	第4小臼歯～第1大臼歯まで遺存、第4小臼歯、第1大臼歯は釘植しているが、歯冠部欠損	
B189		イノシシ	左	下顎骨	関節突起周辺が遺存	
B190		イノシシ	右	下顎骨	下顎角が遺存	
B191		イノシシ	左	下顎 第1切歯	咬頭欠損	
B192		イノシシ	左	下顎 犬歯	遠位側欠損	
B193		イノシシ	左	下顎 第2乳切歯	咬頭磨耗	表3
B194		イノシシ	不明	大臼歯		
B195		イノシシ	不明	臼歯		
B196		イノシシ	不明	臼歯		
B197		イノシシ	不明	臼歯		
B198		イノシシ	不明	臼歯	未萌出	
B199		イノシシ	不明	歯		
B200		イノシシ	不明	歯	1	
B201		イノシシ	―	環椎	右の外側塊が遺存	
B202		イノシシ	右	肩甲骨		
B203		イノシシ	左	上腕骨	遠位部遺存、内側上顆と外側上顆を切断	加工痕あり
B204		イノシシ	右	上腕骨	遠位部が遺存	表3
B205		イノシシ	右	上腕骨	上腕骨顆が遺存	加工痕あり
B206		イノシシ	左	尺骨	肘頭のみ遺存、遊離骨端	
B207		イノシシ	左	尺骨	肘頭未癒合、遠位部欠損	表3
B208		イノシシ	右	尺骨	肘頭の先端を切断している	加工痕あり、表3
B209		イノシシ	右	尺骨	肘頭～骨幹1/2が遺存、肘頭に内側から楔状の利器を打ち込んだ痕跡あり	加工痕あり、表3
B210		イノシシ	不明	尺骨	遠位骨端のみ遺存、遊離骨端	加工痕あり
B211		イノシシ	右	橈骨		
B212		イノシシ	左	大腿骨	小転子より下方、骨幹2/3が遺存	
B213		イノシシ	左	膝蓋骨		焼骨
B214		イノシシ	右	踵骨	踵骨隆起周辺が遺存、骨端未癒合	焼骨
B215		イノシシ	不明	中手骨or中足骨	骨端未癒合	新生児？
B216		イノシシ	左	基節骨Ⅳ	近位関節面が遺存	焼骨
B217		イノシシ	不明	中節骨		表3
B218		シカ	不明	角		加工痕あり
B219		シカ	不明	角		加工痕あり、焼骨
B220		シカ	左	上顎骨	4、歯槽部が遺存	
B221		シカ	左	上顎 第2小臼歯	咬頭磨耗	表3
B222		シカ	左	上顎 第3小臼歯	咬頭磨耗	表3
B223		シカ	左	上顎 第4小臼歯		表3
B224		シカ	左	上顎 第2大臼歯		表3
B225		シカ	左	上顎 第3大臼歯		表3
B226		シカ	不明	下顎骨	下顎角が遺存	加工痕あり
B227		シカ	不明	歯	欠損が著しい	
B228		シカ	―	頚椎（下位）	後関節突起が遺存	
B229		シカ	左	肩甲骨	肩峰と内側縁を欠損	表3
B230		シカ	左	上腕骨	骨幹中央から遠位部が遺存	表3

＊ 詳細欄の数値は骨片数　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（４）　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
B231	SD-B302上層	シカ	左	上腕骨	骨幹中央から遠位部が遺存、遠位骨端破損	
B232		シカ	左	橈骨	骨幹中央から遠位部が遺存	表3
B233		シカ	左	小菱形骨+有頭骨	若年	
B234		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	掌側縦溝or背側縦溝が遺存	
B235		シカ	不明	中手骨or中足骨ⅢorⅣ	ⅢorⅣ、遠位骨端のみ遺存	焼骨
B236		シカ	不明	基節骨		焼骨、表3
B237		タイ	左	上顎骨		
B238		トリ	―	頚椎		
B239		トリ	―	骨片	端部に穿孔、骨針	第97図
B240	SD-B302下層	イノシシ	右	肋骨		焼骨
B241		イノシシ	不明	中足骨Ⅴ	近位端周辺が遺存	
B242		シカ	―	第4頚椎	椎体の前関節面と右側の前関節突起を切断	加工痕あり
B243	SD-B303	イノシシ	左	大腿骨	骨幹遠位部が遺存、遠位骨端は欠損	解体痕あり？
B244		イノシシ	右	手の舟状骨		
B245		シカ		長骨片	1	解体痕あり
B246	SD-C301	イノシシ	右	側頭骨	錐体部が遺存	
B247		イノシシ	左	下顎 第2乳切歯	歯根部欠損	
B248		イノシシ	右	下顎 第1切歯		表3
B249		イノシシ	左	下顎 第2切歯		表3
B250		トリ（カモ？）	左	肩甲骨	関節艇～3cm遺存	焼骨、カルガモ程の大きさ
B251		スッポン				
B252	SD-C302	イノシシ	―	後頭骨+蝶形骨	斜台が遺存	
B253		イノシシ	左	寛骨	寛骨臼	
B254		イノシシ	右	大腿骨	小転子をはさんで5cmほど遺存、大転子を切断	加工痕あり
B255		シカ	右	頬骨		
B256		シカ	左	肩甲骨	肩甲棘周辺　肩甲棘破損	
B257		シカ	右	上腕骨	上腕骨顆が遺存	焼骨
B258		シカ	左	手の舟状骨	一部欠損（切断？）	焼骨
B259		シカ	右	月状骨		焼骨
B260		シカ	右	月状骨		
B261		シカ	右	小菱形骨+有頭骨		
B262		シカ	不明	豆状骨		
B263		シカ	左	寛骨	寛骨臼	
B264		シカ	左	膝蓋骨		
B265		シカ	左	脛骨	近位骨端のみ遺存、骨端未癒合、遊離骨端	
B266		シカ	左	脛骨	骨幹中央から遠位端まで遺存	表3
B267		シカ	右	脛骨	骨幹中央から遠位端まで遺存	表3
B268		シカ	左	距骨		焼骨、表3
B269		シカ	不明	中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位足根管～遠位部が遺存	加工痕あり、表3
B270		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	背側縦溝が遺存、骨角器	加工品
B271		シカ	不明	中手骨or中足骨ⅢorⅣ	遠位端が遺存、ⅢorⅣが破損、骨端未癒合	焼骨
B272		シカ	不明	基節骨	近位関節面の一部が遺存	
B273	SD-C302下層	イノシシ	左	下顎骨	第2小臼歯～第2大臼歯まで遺存、第4小臼歯～第2大臼歯釘植、第3大臼歯は未萌出	表3
B274		イノシシ	右	下顎 第3小臼歯		
B275		イノシシ	右	下顎 第4小臼歯		
B276		シカ	右	下顎 第2大臼歯		表3
B277		シカ	右	脛骨	骨幹1/3～遠位部遺存、骨端未癒合	表3
B278		シカ	右	距骨		表3
B279	SK-A301	イノシシ	不明	上顎骨	1、歯槽部が遺存	
B280	SK-A302	イノシシ	右	上顎 第1切歯		
B281		イノシシ	不明	上顎 第3大臼歯	遠位側の一部が遺存	
B282		イノシシ	不明	中節骨		表3
B283		シカ	左	上顎 第1or第2大臼歯	咬頭磨耗	
B284	SK-A303	イノシシ	左	前頭骨+側頭骨	眼窩周辺が遺存	
B285		イノシシ	左	上顎 第2大臼歯		表3
B286		イノシシ	右	下顎骨	第3切歯～犬歯の歯槽部が遺存	
B287		イノシシ	左	下顎骨	第2小臼歯～第3大臼歯遺存、第4小臼歯と第3大臼歯は釘植、咬頭磨耗	オス、表3
B288		イノシシ	左	下顎骨	下顎角が遺存	
B289		イノシシ	左	下顎骨	関節突起が遺存	
B290		イノシシ	左	下顎骨	犬歯の歯槽部周辺が遺存	
B291		イノシシ	不明	上顎骨or下顎骨	2、歯槽部が遺存	
B292		イノシシ	右	寛骨	坐骨が遺存	焼骨
B293		シカ	不明	角		
B294		シカ	左	落角	角座	
B295	SK-A304	イノシシ	―	前頭骨	左の眼窩周辺遺存	
B296		イノシシ	左	上顎 第3小臼歯	咬頭磨耗	表3
B297		イノシシ	右	上顎 第1大臼歯	咬頭磨耗	表3
B298		シカ	左	上顎 第2大臼歯	頬側に異常あり（エナメル質が変形）	表3
B299		シカ	右	下顎 第3大臼歯	遠位側のみ遺存	
B300		シカ	―	腰椎	椎体と椎弓が遺存	
B301	SK-A304	シカ	不明	基節骨		表3
B302	SK-A308（土坑墓？）	イヌ科	―	頚椎	椎体が遺存	
B303		イノシシ	不明	歯	歯冠のみ	
B304		イノシシ	不明	下顎 犬歯		オス、加工痕あり
B305		イノシシ	左	手の舟状骨		焼骨、加工痕あり
B306		シカ	不明	角	先端が遺存	

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（５）　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
B307	SK-A308（土坑墓？）	シカ	左	側頭骨	錐体が遺存	
B308		シカ	右	上顎 第3or第4小臼歯	咬頭の磨耗が小さい	
B309		シカ	右	上顎 第2大臼歯	遠位側の歯根部を欠損	表3
B310		シカ	左	上顎 第1～第2大臼歯	第1大臼歯は釘植、第2大臼歯は近位側のみ遺存、咬頭の磨耗が小さい	表3
B311		シカ	—	第7頚椎	椎体の前方を切断	
B312		シカ	左	坐骨	寛骨臼の月状面が遺存	焼骨
B313		シカ	左	踵骨		表3
B314		シカ	左	恥骨	寛骨臼の月状面が遺存	焼骨
B315		シカorイノシシ	不明	基節骨	近位関節面のみ遺存、骨端未癒合	
B316		シカorイノシシ	不明	基節骨or中節骨	遠位関節面が遺存	
B317	SK-A309（土坑墓？）	ムササビ	右	下顎 第1切歯		
B318		シカ	左	中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位関節面が遺存	
B319	SK-A319	イノシシ	不明	切歯片	1	
B320		イノシシ	不明	大臼歯	歯冠のみ、欠損が著しい	
B321		シカ	—	後頭骨	左側後頭顆が遺存	
B322		シカ	—	後頭骨	外後頭隆起と左側の項線が遺存	
B323		シカ	左	側頭骨	錐体が遺存	
B324		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位側の一部が遺存	
B325	SK-A321	シカ	不明	角	1	焼骨
B326	SK-A324	イノシシ	—	頭頂骨	右側が遺存、未縫合	1才前後
B327		トリ（小型ツル目？）	不明	手の近位第3指骨		
B328	SK-A328	イノシシ	左	下顎 第2大臼歯		表3
B329		イノシシ	不明	大臼歯	歯冠のみ	
B330		イノシシ	左	脛骨	遠位骨端周辺が遺存	表3
B331		シカ	—	胸椎	前関節面周辺 が遺存	焼骨
B332		シカ	—	腰椎	右側の前関節突起が遺存	
B333		シカ	右	膝蓋骨		焼骨
B334	SK-A329	イノシシ	右	尺骨	滑車切痕～肘頭が遺存、肘頭近位端を破損	
B335		シカ	不明	角	4	
B336	SK-A330	イノシシ(ブタ)	左右	下顎骨	左犬歯歯槽より後部破損、右下顎枝破損　第1大臼歯から第3大臼歯までは歯冠が破損	オス、犬歯歯槽の形がニホンイノシシと異なることよりヤヨイブタの可能性が高い　4才以上 、表3
B337		イノシシ	左	頬骨		
B338		イノシシ	左	頬骨	眼窩部が遺存	
B339		イノシシ	左	上顎 第2大臼歯	歯冠のみ、咬頭磨耗	
B340		イノシシ	右	上顎 第3大臼歯	歯冠のみ、咬頭の磨耗が小さい	表3
B341		イノシシ	左	上顎骨	第1大臼歯歯槽後半から第3大臼歯の歯槽突起まで	
B342		イノシシ	右	下顎 第3小臼歯	近位側欠損、咬頭の磨耗が小さい	
B343		イノシシ	不明	歯	1	切断痕有？
B344		イノシシ	不明	歯	1	
B345		イノシシ	—	胸椎	椎体のみ遺存	焼骨
B346		イノシシ	—	腰椎	後関節面周辺の椎弓が遺存	
B347		イノシシ	右	上腕骨	近位骨端のみ遺存、骨端未癒合	
B348		イノシシ	右	上腕骨	遠位部のみ遺存、関節部は破損	2才のものより小さい
B349		イノシシ	左	中手骨Ⅴ		表3
B350		イノシシ	左	中足骨Ⅲ	近位骨端周辺遺存	
B351		イノシシ？	不明	歯	2	
B352		シカ	右	角	切断痕 角先にもあり	切断痕あり
B353		シカ	不明	角	2	焼骨1
B354		シカ	右	上顎 小臼歯	咬頭の磨耗が大きい、近位側欠損	
B355		シカ	右	上顎 小臼歯	咬頭の磨耗が大きい、頬側欠損	表3
B356		シカ	右	上顎 小臼歯	咬頭の磨耗が大きい、歯根のみ遺存	
B357		シカ	不明	上顎 第1or第2大臼歯	咬頭の磨耗が大きい、頬側欠損	
B358		シカ	右	上顎 第1大臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B359		シカ	右	上顎 第2大臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B360		シカ	右	下顎骨	関節突起が遺存	
B361		シカ		舌骨	大角	
B362		シカ	—	第4頚椎		
B363		シカ	—	仙骨	左側の前関節突起と仙骨底周辺が遺存、骨端未癒合	
B364		シカ	右	橈骨	橈骨頭周辺遺存	焼骨
B365		シカ	左	距骨		表3
B366		シカ？	不明	歯	2、歯根部が遺存	
B367		シカ？	右	橈骨	橈骨頭周辺遺存	焼骨
B368		シカorイノシシ	不明	末節骨	近位関節部のみ遺存	
B369	SK-A332	イノシシ	左	肩甲骨	肩甲頚～内側8cm遺存	
B370	SK-B301	イノシシ	不明	中手骨Ⅳ	近位骨端周辺遺存	
B371		シカ	不明	基節骨	遠位端周辺が遺存	
B372	SK-B302	シカ	不明	下顎骨	下顎体の一部が遺存	
B373		イノシシ	右	下顎 第3大臼歯	歯冠のみ	表3
B374		イノシシ	右	下顎 第2大臼歯	咬頭の磨耗が小さい	
B375	SK-B304	シカ	右	肩甲骨	肩甲頚～5cm程遺存	解体痕あり
B376		シカ	不明	中節骨		焼骨
B377	SK-B305	シカ	不明	中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位部周辺遺存、骨端未癒合	

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（６） 動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備考
			左右	部位	詳細	
B378	SK-C301	イノシシ	不明	臼歯	1	
B379		イノシシ	左	撓骨	遠位骨端のみ遺存、骨端未癒合	2才前後
B380		イノシシ	左	尺骨	遠位骨端のみ遺存、骨端未癒合	2才前後
B381		イノシシ	不明	末節骨	1、幼体	
B382		シカ	不明	歯	1	
B383	SK-C306	イノシシ	右	上顎骨	第4小臼歯～第1大臼歯遺存、第4小臼歯、第1大臼歯は釘植しているが、第4小臼歯の近位側を欠損	表3
B384		イノシシ	左	上顎 第2大臼歯		表3
B385	SK-C316	イノシシ	右	下顎骨	関節突起周辺が遺存	焼骨
B386		シカ	—	胸椎	後関節突起周辺が遺存	
B387		シカ？	—	椎骨	椎体の一部が遺存	
B388	SP-A304	シカ	左	踵骨	踵骨隆起のみ遺存、近位骨端は未癒合	
B389	SP-A307	シカorイノシシ	不明	下顎骨	歯槽の外側面のみ遺存	
B390		イノシシ	左	下顎 第2大臼歯	咬頭磨耗なし	表3
B391	SP-A3199	シカ	右	上顎 第2大臼歯	舌側の歯根部欠損	表3
B392	SP-A3229	イノシシ	不明	下顎骨	下顎角と下縁が遺存	
B393	SP-A3253	シカor イノシシ	右	脛骨	遠位端の一部	
B394	SP-A3260	イノシシ	—	第5腰椎	右側の椎弓根周辺が遺存	
B395		イノシシ	—	腰椎	右側の前関節突起周辺が遺存、未癒合	
B396	SP-A329	イノシシ	右	上顎骨	第1大臼歯歯槽後半～第2大臼歯歯槽が遺存、第2大臼歯は釘植しているが歯冠は破損	
B397		シカorイノシシ	不明	大臼歯	歯根のみ遺存	
B398	SP-B301	イノシシ	左	下顎 第1切歯		
B399	SP-B324	シカ	右	上腕骨	近位端破損、遠位は骨端未癒合	
B400	SP-C309	イノシシ	不明	大臼歯	歯冠のみ、欠損が著しい	
B401		イノシシ	不明	大臼歯	歯冠のみ、欠損が著しい	
B402	SX-A301（焼失家屋？）	イノシシ	左	下顎 第4小臼歯		表3
B403		イノシシ	左	下顎 第1大臼歯	歯冠のみ	表3
B404	SX-A302	イノシシ	左	側頭骨	錐体が遺存	
B405		イノシシ	左	上顎 第2切歯		表3
B406		イノシシ	不明	歯		
B407		イノシシ	不明	歯	歯冠のみ	
B408		イノシシ	不明	肋骨		解体痕あり
B409		イノシシ	右	上腕骨	上腕骨顆の一部が遺存	
B410		イノシシ	右	肩甲骨	肩甲頚～内側8cmほど遺存	解体痕あり
B411		イノシシ	右	肩甲骨	肩甲頚～内側5cm程遺存	
B412		イノシシ	左	寛骨	坐骨が遺存	加工痕あり
B413		イノシシ	左	中足骨	骨幹1/2～近位部が遺存	
B414		シカ	—	胸骨片	1	
B415	SX-A303	イノシシ	不明	上顎 大臼歯		
B416		イノシシ	不明	上顎 犬歯		オス
B417		イノシシ	右	寛骨	寛骨臼周辺が遺存	
B418		イノシシ	左	外側楔状骨		
B419		シカ	左	距骨		焼骨、表3
B420	第Ⅵ層	イノシシ	左	上顎 第2小臼歯		表3
B421		イノシシ	不明	歯		
B422		イノシシ	左	撓骨		表3
B423		シカ	不明	歯		
B424		シカ	左	尺骨	遠位部が遺存	
B425		トリ？		骨片	1	
B426	C-2(SK-?)	シカ	不明	角		焼骨
弥生Ⅰ新						
B427	SX-C202	イヌ	左	下顎 犬歯	咬頭の摩耗が大きい	小型
B428		イノシシ	不明	第3大臼歯	未萌出 後方1/3遺存	
B429		シカ	左	下顎 第3大臼歯	未萌出 後方2/3遺存	
B430		シカ？	不明	臼歯片	1 未萌出？	
弥生Ⅰ中～新						
B431	第Ⅵ層	イノシシ	左	側頭骨	左の乳突部が遺存	
B432		イノシシ	—	後頭骨	左の顆旁突起が遺存	
B433		イノシシ	右	中手骨Ⅱ		加工痕あり、表3
B434		シカ	左	距骨		
弥生Ⅰ～Ⅲ						
B435	第Ⅵ層	イノシシ	左	後頭骨	顆旁突起	
B436		イノシシ	右	上顎 第1大臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B437		イノシシ	左	上顎 第3大臼歯	咬頭の磨耗が小さい	
B438		イノシシ	右	上顎 第4乳臼歯	乳臼歯、咬頭の磨耗が小さい	表3
B439		イノシシ	左	下顎骨	第2大臼歯～第3大臼歯周辺の歯槽内側部が遺存	
B440		イノシシ	左	下顎 第2大臼歯	咬頭の磨耗が小さい	表3
B441		イノシシ	左	下顎 第3大臼歯	遠位側のみ遺存、咬頭の磨耗が小さい	
B442		イノシシ	不明	大臼歯	未萌出	
B443		イノシシ	左	上腕骨	遠位端が遺存	
B444		イノシシ	不明	基節骨	近位骨端周辺が遺存	
B445		イノシシ	不明	中節骨		表3
B446		シカ	不明	角		
B447		シカ	不明	角		
B448		シカ	不明	角		
B449		シカ	不明	角		

＊ 詳細欄の数値は骨片数　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（７）　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
B450		シカ	不明	角		加工痕あり、円錐状を呈す
B451		シカ	不明	角	2	焼骨1
B452		シカ	左	下顎 第2切歯	咬頭磨耗	表3
B453		シカ	不明	大臼歯		
B454	第Ⅵ層	シカ	左	有鉤骨		
B455		シカ	左	中手骨Ⅲ+Ⅳ	近位骨端周辺が遺存	
B456		シカ	左	脛骨	遠位骨端周辺が遺存	表3
B457		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位端周辺遺存	加工痕あり
B458		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位骨端周辺が遺存	
B459		シカ	不明	中節骨	遠位骨端周辺が遺存	
弥生Ⅲ～Ⅳ						
B460		イヌ	右	下顎 第2小臼歯	咬頭の磨耗が大きい	表3
B461		イヌ科	不明	下顎 小臼歯		
B462		イヌ科	左	腸骨	大変若い	
B463		イノシシ	不明	頭骨片		切断痕あり
B464		イノシシ	不明	頭骨片	1	
B465		イノシシ	―	底蝶形骨	体部	
B466		イノシシ	右	上顎骨	第4小臼歯,第1大臼歯,第2大臼歯の歯槽部、歯は釘植、2歳位、第4小臼歯の咬頭は磨耗無、第1大臼歯の咬頭は磨耗あり、第2大臼歯は第1咬頭のみ磨耗	表3
B467		イノシシ	右	上顎 第1切歯	未萌出	
B468		イノシシ	左	上顎 第2大臼歯		表3
B469		イノシシ	右	上顎 第3乳臼歯	乳臼歯 咬頭の磨耗が大きい	表3
B470		イノシシ	右	下顎第2切歯		
B471		イノシシ	不明	臼歯片	1 咬頭の1つ	
B472		イノシシ	右	尺骨	滑車切痕から約10cm遺存	
B473		イノシシ	右	中手骨Ⅳ	遠位部	
B474		イノシシ	右	脛骨	近位端外側顆破損	
B475		イノシシ	右	踵骨	中関節面周辺	切断痕あり
B476		イノシシ	不明	踵骨	遠位の上部外側部のみ遺存	
B477		イノシシ	不明	踵骨	遠位の上部外側部のみ遺存	焼骨
B478		イノシシ	右	下顎 第2大臼歯	未萌出 歯冠のみ	
B479		シカ？	不明	角？		釘状製品、第97図
B480	SD-A201	シカ	左	上顎 第3大臼歯	未萌出	表3
B481		シカ	右	下顎 第2大臼歯	前方2/3破損、萌出完了したところ	
B482		シカ	不明	上腕骨	上腕骨小頭が遺存	
B483		シカ	右	橈骨	遠位端	表3
B484		シカ	右	尺骨	近位端のみ	表3
B485		シカ	左	小菱形骨～有頭骨	1	焼骨
B486		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位端の1つが遺存	
B487		シカ	不明	基節骨	1	
B488		シカorイノシシ	不明	下顎骨	歯槽が一つ遺存	
B489		シカorイノシシ	―	胸椎	椎弓	
B490		シカorイノシシ	―	胸椎or腰椎	椎体が遺存、椎体板未癒合	
B491		シカorイノシシ	不明	肋骨片	1	
B492		シカorイノシシ	不明	大腿骨	大腿骨頭が遺存	
B493		シカorイノシシ	不明	中節骨	1	大変若い
B614		フクロウ	左	中足骨	遠位端のみ遺存	遠位端横径15.08
B494		トリ		長骨	1	
B495		サカナ？		頭骨？		
B496		タヌキ	―	第5頚椎		
B497		タヌキ	左	脛骨	骨幹遠位1/3より遠位遺存	外顆切断痕あり、焼
B498		モグラ	右	上腕骨		
B499		イヌ	右	下顎 第1切歯	咬頭の磨耗は無し	表3
B500		イヌ	左	下顎 第3切歯		
B501		イヌ	右	肩甲骨	肩甲窩より約2cm遺存	表3,幼体
B502		イヌ科	不明	中節骨	1	
B503		イノシシ	左	上顎骨	第2大臼歯～第3大臼歯の歯槽部と頬骨突起、第3大臼歯釘植、第1と第2咬頭が磨耗	4才前後、表3
B504		イノシシ	不明	上顎骨	臼歯歯槽部	
B505		イノシシ	右	上顎 第1切歯		
B506		イノシシ	右	上顎犬歯		オス
B507		イノシシ	左	上顎 第1小臼歯		
B508		イノシシ	右	上顎 第3小臼歯	一部破損	
B509		イノシシ	右	上顎 第1大臼歯		表3
B510		イノシシ	左	上顎 第2大臼歯		表3
B511		イノシシ	右	上顎 第2大臼歯		表3
B512	SD-B201	イノシシ	左	上顎 第3大臼歯	前方1/2遺存	
B513		イノシシ	左	上顎 第3乳臼歯	乳歯	表3
B514		イノシシ	左右	下顎骨	左右の切歯の歯槽部	
B515		イノシシ	左	下顎骨	第2小臼歯から下顎孔まで遺存、第3大臼歯の摩耗は大きい、第1小臼歯が萌出の有無は不明	5才以上、表3
B516		イノシシ	左	下顎骨	第2大臼歯の歯槽部	
B517		イノシシ	右	下顎骨	第3小臼歯～第2大臼歯の前半分の歯槽部と第3小臼歯、第4小臼歯の歯冠が顎骨埋落で出土している	
B518		イノシシ	右	下顎骨	第1大臼歯歯槽後半から下顎孔まで遺存　萌出が完了していない第2大臼歯が釘植	2才ぐらい

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（８）　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
B519		イノシシ	右	下顎骨	第1大臼歯から下顎枝まで遺存，筋突起および関節突起は破損，第1大臼歯は釘植、第2大臼歯は歯根のみ釘植，第3大臼歯未萌出	2才前後
B520		イノシシ	右	下顎骨	大臼歯歯槽から下顎枝の一部と下顎角	
B521		イノシシ	右	下顎骨	第4小臼歯歯槽、第4小臼歯釘植	表3
B522		イノシシ？	不明	下顎骨？	歯槽の一部	
B523		イノシシ	左	下顎 第1切歯	未萌出	
B524		イノシシ	右	下顎 第1切歯	未萌出	
B525		イノシシ	不明	下顎 第1切歯	一部遺存	オス
B526		イノシシ	不明	下顎 切歯片	小片1	
B527		イノシシ	左	下顎 第1大臼歯	近位の半分が遺存	
B528		イノシシ	左	下顎 第2大臼歯		表3
B529		イノシシ	右	下顎 第3大臼歯	第1咬頭のみ磨耗	3～4才、表3
B530		イノシシ	不明	切歯片	1	
B531		イノシシ	不明	小臼歯	歯冠の半分が破損，未萌出	
B532		イノシシ	不明	臼歯	未萌出 歯冠	
B533		イノシシ	不明	臼歯片	少なくとも大臼歯1、小臼歯1	
B534		イノシシ	不明	臼歯片	1	
B535		イノシシ	不明	臼歯片	2	
B536		イノシシ	—	第2胸椎	下椎体板が外れており、棘突起の先端を破損	表3
B537		イノシシ	—	第10胸椎～第13胸椎	右下関節突起が遺存	
B538		イノシシ	—	第1腰椎or第2腰椎	椎体と左関節突起が遺存	
B539		イノシシ	—	第5腰椎	椎弓の左側	
B540		イノシシ	—	腰椎	右関節突起のみ	
B541		イノシシ	—	腰椎？	椎弓の一部	
B542		イノシシ	左	上腕骨	骨幹中央～遠位端	表3
B543		イノシシ	右	上腕骨	遠位端	
B544		イノシシ？	右	肩甲骨	関節窩から頸部（関節窩辺縁と頸部後縁は破損）	
B545		イノシシ	右	橈骨	近位端から骨幹1/3まで遺存	表3
B546		イノシシ	左	尺骨	滑車切痕の上部	
B547		イノシシ	右	尺骨	滑車切痕上部のみ遺存	
B548		イノシシ	右	尺骨	滑車切痕周辺	
B549		イノシシ	右	大腿骨	骨幹のみ	
B550		イノシシ	右	脛骨	遊離遠位端	
B551		イノシシ	左	踵骨	踵骨隆起のみ遺存	
B552		イノシシ	左	踵骨	踵骨隆起破損	表3
B553		イノシシ	左	距骨		表3
B554		イノシシ	右	距骨	近位の半分を破損	
B555		イノシシ	右	中足骨Ⅲ	近位～骨幹1/2まで遺存	
B556	SD-B201	イノシシ	左	中足骨Ⅳ		表3
B557		イノシシ	不明	中節骨		
B558		イノシシ	不明	基節骨		
B559		イノシシ	不明	基節骨		
B560		イノシシ	不明	基節骨	骨頭と骨幹1/2が遺存	
B561		イノシシ	不明	基節骨	遠位端遺存	
B562		イノシシ？	不明	末節骨		
B563		シカ	不明	角	分岐部、表面研磨	加工痕あり
B564		シカ	不明	角	先端	
B565		シカ	不明	角	主軸の一部	加工痕あり
B566		シカ	不明	角	分岐部	
B567		シカ	不明	角	2	
B568		シカ	不明	角	落角、角座の部分	
B569		シカ	不明	落角	角座から主軸約10cm遺存	
B570		シカ	—	前頭骨	左の角突起	
B571		シカ	左	上顎 第1切歯		
B572		シカ	右	上顎 第3or第4小臼歯		
B573		シカ	右	上顎 第1大臼歯？		表3
B574		シカ	左	下顎骨	第2大臼歯と第3大臼歯の歯槽が遺存，第2大臼歯歯根の一部と第3大臼歯が釘植、第3大臼歯は未咬耗	3歳未満
B575		シカ？	不明	下顎骨	歯槽の一部	
B576		シカ	右	下顎 第4小臼歯	近位舌側欠損 咬頭の磨耗が大きい	老齢？
B577		シカ	—	軸椎		表3
B578		シカ	左	上腕骨	骨幹遠位1/2から遠位端まで遺存	表3
B579		シカ	左	上腕骨	上腕骨顆	
B580		シカ	左	上腕骨	遠位部	表3
B581		シカ	右	上腕骨	遠位部のみ遺存，外側部破損	
B582		シカ	右	上腕骨	遠位部のみ遺存	表3
B583		シカ	右	上腕骨	橈骨頭窩とその周辺	
B584		シカ	左	肩甲骨	肩甲窩から肩甲棘の1/3まで遺存	
B585		シカ	左	肩甲骨	関節窩から約9cm遺存	表3
B586		シカ	右	橈骨	遠位部	
B587		シカ	右	尺骨	肘頭未癒合（遊離），鉤状突起より約2cmまで遺存	
B588		シカ	左	月状骨		
B589		シカ	右	寛骨	坐骨の寛骨臼の一部	
B590		シカ	左	坐骨	寛骨臼が遺存	
B591		シカ	右	大腿骨	遠位部遺存	
B592		シカ	右	脛骨	近位端のみ遺存	表3
B593		シカ	右	脛骨	遠位部遺存	表3
B594		シカ	左	踵骨	踵骨隆起破損	表3
B595		シカ	左	踵骨	踵骨隆起破損	表3

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－（９）　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
B596	SD-B201	シカ	左	踵骨	遊離した踵骨隆起、下半分破損	
B597		シカ	左	舟状骨～立方骨		
B598		シカ	左	舟状骨～立方骨		表3
B599		シカ	左	中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位端	加工痕あり、表3
B600		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位端の一部	
B601		シカ	不明	中手骨or中足骨ⅢorⅣ	遠位関節の1つ	
B602		シカ	不明	基節骨	1	
B603		シカ	不明	基節骨		焼骨
B604		シカ	不明	末節骨		
B605		シカorイノシシ	不明	内耳骨	1	
B606		シカorイノシシ	―	胸椎	椎弓の一部	
B607		シカorイノシシ	―	尾椎片		
B608		シカorイノシシ	―	椎弓片	1	
B609		シカorイノシシ	―	椎体片	1	
B610		シカorイノシシ	右	上腕骨	遠位の外側縁	
B611		シカorイノシシ	不明	寛骨	寛骨臼の一部	焼骨
B612		シカorイノシシ	不明	指骨	近位端のみ遺存	
B613		キジ	右	中手骨Ⅱ・Ⅲ		表3
B615		トリ	右	上腕骨	近位の外側縁	
B616		トリ		長骨片	1、中小型	
B617		スッポン	左	中腹骨板		
B618		スッポン	右	下腹骨板		
B619		スッポン	不明	腹甲板	腹甲板の一部	
B620		スッポン	不明	背中板	一部遺存	
B621		スッポン		骨片	6	
B622		サカナ		骨		
B623	SK-A203	シカ	左	橈骨	近位端外側半分遺存	切断痕あり
B624	SK-A209	イノシシ	右	上顎 第3大臼歯	未萌出	表3
B625	SK-A218	イノシシ	不明	基節骨	大変若い	
B626	SK-A220	シカ		角		漆塗り、鹿角製品、第96図
B627		シカ		角		釘状鹿角製品、第97図
B628	SK-A221	シカ	不明	角		骨角器
B629	SK-A224	イノシシ	右	尺骨	肘関節部	
B630	SK-A227	シカ	不明	中手骨or中足骨ⅢorⅣ	遠位端の骨頭の1つが2個	
B631	SP-A239	シカ	左	上腕骨	上腕骨顆のみ遺存	
B632	SP-A250	イノシシ	右	距骨	滑車関節面は削り取られている	加工痕あり
B633	SP-A293	シカ	不明	落角	基部	
B634	SX-A204	シカ		角片		
B635	第Ⅴ層	イノシシ		側頭骨	外耳孔周辺と燐部の一部が遺存	加工痕あり
B636		イノシシ	右	坐骨	寛骨臼のみ遺存	解体痕あり
B637		シカ	不明	角		加工痕あり
B638		シカ	不明	角	落角、角坐部を加工	加工痕あり
B639		シカ	不明	角	1	
B640		シカ	不明	角		焼骨
B641		シカ	不明	角		
B642		シカ	不明	角		
B643		シカ	不明	角	9	
B644		シカ	不明	角	1	焼骨
B645		シカ	不明	角		加工痕あり
B646		シカ	不明	角		加工痕あり（2条の沈線がめぐる）
B647		シカ	不明	大臼歯	大部分を欠損	
B648		シカ	左	上腕骨	遠位端のみ遺存	表3
B649		シカ	右	上腕骨	遠位端のみ遺存	
B650		シカ	右	脛骨	近位骨端、外側顆遺存	
B651		シカ	右	距骨	外側の一部が遺存	
B652		シカ	右	距骨	距骨体が遺存、後踵骨関節面に遠位から楔状に切断痕	焼骨
B653		シカ	不明	中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位骨端が遺存	焼骨
B654		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位端周辺遺存	解体痕あり、加工痕あり？
B655		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位骨端周辺が遺存	焼骨
B656		シカ	不明	基節骨		焼骨、表3
B657		シカ	不明	基節骨		焼骨、表3
B658		シカ	不明	中節骨		表3
B659		カメ	不明	腹甲板	一部が遺存	
B660	第Ⅵ層	イノシシ	左	上顎 第2大臼歯	舌側のみ遺存、咬頭の磨耗が小さい	焼骨
B661		イノシシ	不明	下顎骨	第2大臼歯～第3大臼歯周辺が遺存、第2大臼歯が釘植	焼骨
B662		イノシシ	不明	下顎 第3大臼歯	未萌出	
B663		イノシシ？	不明	歯		
B664		イノシシ	―	環椎	左側前関節窩から前弓の一部までが遺存	
B665		イノシシ	左	大腿骨	大腿骨頭の骨端部が遺存	
B666		イノシシ	左	大腿骨	骨幹1/3～近位部が遺存、大転子未癒合	大転子下に解体痕あり、骨頭を大腿骨頸部で切断
B667		イノシシ	右	脛骨	遠位端が遺存	
B668		シカ	不明	角		

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表１－(10)　動物遺体の出土表

資料番号	出土地点	種	出土部位			備　考
			左右	部　位	詳　細	
B669	第Ⅵ層	シカ	不明	歯		焼骨
B670		シカ	右	踵骨		表3
B671		シカ	左	距骨		焼骨、表3
B672		シカ	右	距骨	距骨頭が遺存	
B673		シカ	右	距骨		表3
B674		シカ	左	中手骨or中足骨	遠位部遺存	焼骨
B675		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位部遺存	
B676		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位部遺存	
中世						
B677	第Ⅳ層	シカ	不明	角		
B678		シカ	左	上腕骨	上腕骨頭遺存	
中近世						
B679	第Ⅱ層	イノシシ	不明	中手骨or中足骨ⅡorⅤ	近位端遺存	
B680		ウマ	右	下顎 第1or第2大臼歯		焼骨
B681		ウマ	右	下顎 第3大臼歯		焼骨、表3
時期不明						
B682	撹乱	イノシシ	右	下顎骨	第2大臼歯～第3大臼歯釘植、咬頭磨耗	表3
B683		イノシシ	左	下顎 犬歯	中央に半円孔を穿つ	加工痕あり
B684		イノシシ	不明	第3大臼歯	歯冠のみ、欠損が著しい	
B685		イノシシ	不明	大臼歯		
B686		シカ	右	距骨	距骨滑車の外側を欠損	切断痕あり、表3
B687		シカ	不明	中手骨or中足骨ⅢorⅣ	遠位端のみ遺存、骨端未癒合	若い
B688		シカ	右	中節骨	遠位関節面が遺存	
B689	側溝	ウシ	不明	大臼歯		
B690		ウシ	不明	大臼歯		
B691		イノシシ	―	側頭骨+後頭骨	左側が遺存	
B692		イノシシ	左	上顎骨	第1小臼歯～第3小臼歯が遺存、第2小臼歯は釘植、咬頭磨耗	焼骨
B693		イノシシ	右	下顎骨	第1大臼歯～第3大臼歯釘植	オス、表3
B694		イノシシ	不明	下顎 乳犬歯	歯根部のみ遺存	
B695		イノシシ	不明	大臼歯	歯冠のみ、大部分を欠損	
B696		イノシシ	不明	臼歯	1、咬頭磨耗	焼骨
B697		イノシシ	左	肩甲骨	肩甲頸部周辺が遺存	
B698		イノシシ	右	肩甲骨		
B699		イノシシ	右	尺骨	滑車の部分	
B700		イノシシ	左	大腿骨	遠位部が遺存	加工痕あり(海面質部に小穴？)
B701		シカ	不明	角		リング状に加工
B702		シカ	不明	角		加工痕あり
B703		シカ	不明	角		
B704		シカ	左	脛骨	遊離遠位端	表3
B705		シカ	左	踵骨	踵骨隆起のみ遺存 骨端は未癒合	解体痕あり
B706		シカ	不明	中手骨or中足骨Ⅲ+Ⅳ	近位関節面が遺存	
B707	壁面	イノシシ	右	側頭骨	右の頬骨突起周辺が遺存	
B708		イノシシ	右	上顎骨	第3小臼歯～第2大臼歯釘植、咬頭磨耗	表3
B709		イノシシ	左	下顎骨	第4小臼歯一第1大臼歯が遺存、第4小臼歯と第1大臼歯が釘植	表3
B710		イノシシ	不明	下顎 犬歯		オス
B711		イノシシ	不明	臼歯		
B712		イノシシ	不明	大臼歯	歯冠のみ、未萌出	
B713		イノシシ	不明	歯		
B714		イノシシ	左	肩甲骨	関節窩～8cm程遺存	
B715		イノシシ	右	踵骨	踵骨隆起が遺存	
B716		イノシシ	不明	基節骨ⅢorⅣ	遠位関節面が遺存	
B717		シカ	不明	角	先端部が遺存	
B718		シカ	不明	角		
B719		シカ	左	距骨	距骨滑車の内側が遺存	
B720		シカ	右	距骨		表3
B721	不明	イヌ	左	下顎骨	下顎頭が遺存	
B722		イノシシ	―	頚椎(下位)	左側の椎弓周辺が遺存、前後関節面が遺存	
B723		イノシシ	―	胸椎(中位)	後関節面と棘突起周辺が遺存	
B724		イノシシ	左	上顎 第3大臼歯	遠位側の一部のみ遺存	
B725		イノシシ	左	下顎 第3大臼歯	頬側の一部を欠損	表3
B726		イノシシ	不明	小臼歯	咬頭磨耗	
B727		イノシシ	不明	大臼歯	大部分を欠損	
B728		イノシシ	不明	大臼歯	2、咬頭磨耗	
B729		イノシシ？	不明	歯	5(2点に咬頭の磨耗が認められる)	
B730		シカ	不明	角	1	
B731		シカ	左	上顎 第1大臼歯	咬頭磨耗	表3
B732		シカ	左	上顎 第1or第2大臼歯	咬頭の磨耗が大きい	
B733		シカ	右	大腿骨	近位骨端周辺遺存	
B734		シカ	右	踵骨	踵骨隆起周辺が遺存	解体痕あり
B735		シカ	左	踵骨	載距突起が遺存	焼骨
B736		シカ	右	踵骨		表3
B737		シカ	不明	基節骨		表3
B738		シカ	不明	中節骨		表3
B739		シカorイノシシ	右	踵骨？	踵骨体近位部遺存	焼骨

＊ 詳細欄の数値は骨片数　　＊＊ 備考欄の計測値の単位はmm

表2-(1) イヌ・イノシシ・シカの出現頻度表

時期		弥生Ⅰ										弥生Ⅰ～Ⅲ		弥生Ⅲ～Ⅳ						中世	時期不明								
遺構		溝			SK-A308(土坑墓？)		SK-A309(土坑墓？)	SX-A301(焼失家屋？)	その他の遺構			第Ⅵ層		溝			その他の遺構		第Ⅴ層		第Ⅳ層	攪乱		側溝		不明			壁面	
種名		イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	シカ	イノシシ	イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	シカ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ
頭頂骨	左		2																											
	右		1							1																				
前頭骨	左		2							2						1														
	右		1																											
側頭骨	一																		1											
	左		2			1				1	1	1												1						
	右		4																										1	
後頭骨	一		1																											
	左		1								1	2												1						
	右		2																											
頬骨	左									2																				
	右			2																										
蝶形骨	一		1												1															
舌骨	一										1																			
上顎骨	左					1				1					1									1						
	右									2					1														1	
上顎 I1	左		1													1														
	右		4							1																				
上顎 I2	左		1							1																				
	右		2												2															
上顎 I3	左		1																											
上顎 C	左		1																											
	右		5												1															
上顎 Pm1	左														1															
	右		1																											
上顎 Pm2	左			2																										
	右		2	2																										
上顎 Pm3	左		1	1						1																				
	右		3	2											1															
上顎 Pm4	左		2	2																										
	右		2	1						1					1															
上顎 M1	左		5	2		1																								
	右		2	2						2	1	1			2	1												1		
上顎 M2	左		1	2		1				3	1	1			2															
	右		2	4		1				1	2				2															
上顎 M3	左			1								1			2	1											1			
	右		3							1							1													
上顎 i1	右		1																											
上顎 i2	左		1																											
上顎 p2	左		1																											
上顎 p3	左														1															
	右		1												1															
上顎 p4	右											1																		
下顎骨	左	1	2	1						1(1)		1			2	1											1		1	1
	右		2							1(1)	1				3							1		1						
下顎 I1	左		3							1					1															
	右		2											1	1															
下顎 I2	左		1										1																	
	右		2												1															
下顎 I3	左													1																
下顎 犬歯	左		1						1																					
	右		1																			1								
下顎 Pm1	左		1																											
下顎 Pm2	左											1																		
	右													1																
下顎 Pm3	右		2							1					1															
下顎 Pm4	左	1	3					1		1																				
	右		2												2	1														
下顎 M1	左		2					1							1															
	右									(1)																				
下顎 M2	左	1	3							2		1			1	1														
	右			1						1(1)					3	1														
下顎 M3	左		2							1	1	1				1											1			
	右		1	1						1(1)	1				2															
下顎 i2	左		2																											

＊ ()はブタの可能性がある骨

表2-(2) イヌ・イノシシ・シカの出現頻度表

時期		弥生Ⅰ										弥生Ⅰ～Ⅲ		弥生Ⅲ～Ⅳ							中世										
遺構		溝			SK-A308(土坑墓?)		SK-A309(土坑墓?)	SX-A301(焼失家屋?)	その他の遺構			第Ⅵ層		溝			その他の遺構		第Ⅴ層		第Ⅳ層	攪乱		側溝		不明			壁面	
種名		イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	シカ	イノシシ	イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	シカ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ	イヌ	イノシシ	シカ	イノシシ	シカ
環椎	一		1									1																		
軸椎	一															1														
第4頚椎	一			1							1																			
第5頚椎	一			1																										
第7頚椎	一					1																								
第1胸椎	一			1																										
第2胸椎	一														1															
第10胸椎	一														1															
第11胸椎	一														1															
第12胸椎	一														1															
第13胸椎	一														1															
第5腰椎	一									1					1															
肩甲骨	左			2						1						2								1					1	
	右		1							2	1			1	1									1						1
上腕骨	左		1	2								1			1	2		1		1	1									
	右		3	1						1	1				1	2				1										
尺骨	左		4							1			1		1															
	右		2							1					3	2	1							1						
橈骨	左			1						1		1						1												
	右		1	1							2				1	2														
手の舟状骨	左			1	1																									
	右		1																											
小菱形骨(小菱形+有頭骨)	左			1												1														
	右			1																										
月状骨	左															1														
	右			2																										
有鉤骨	左												1																	
中手骨Ⅱ	右											1																		
中手骨Ⅲ(Ⅲ+Ⅳ)	左		1	1						1			1																	
	右																													
中手骨Ⅳ	右														1															
中手骨Ⅴ	左									1																				
基節骨Ⅳ	左		1																											
寛骨	左		1	1						1																				
	右		2							2																				
腸骨	左					1																								
	右													1																
坐骨	左					1										1														
	右															1			1											
恥骨	左																													
大腿骨	左		3									2												1						
	右		1												1	1												1		
膝蓋骨	左		2	1																										
	右										1																			
脛骨	左			2						1			1												1					
	右			2								1			1	1				1										
腓骨	右		1																											
踵骨	左		1	2		1					1				2	2									1			1		
	右		1										1		1													1	1	
距骨	左		1	1							2		2		1															1
	右		1	2									2		1		1			2			1							1
足の舟状骨(舟状骨+立方骨)	左															2														
	右			2																										
外側楔状骨	左									1																				
中足骨Ⅲ(Ⅲ+Ⅳ)	左						1									1														
	右														1															
中足骨Ⅳ	左														1															
最小個体数		1	5	4	1	1	1	1	1	3	2	2	2	1	3	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総数		3	122	55	1	9	1	2	1	41	19	18	10	5	61	31	3	2	2	5	1	2	1	8	2	1	2	4	5	4

＊ ()はブタの可能性がある骨

表3-(1) 上顎歯の計測値

イノシシの上顎歯

遺構		SD-A301										SD-A302				SD-B302					SD-B302上層							
資料番号		B09	B10	B11	B12	B13	B14	B15	B07	B17	B18	B104	B105	B106	B107	B135	B136	B138	B139	B140	B170	71	B173	B174	B175	B176	B178	B179
左右		右	右	左	右	左	左	左	右	左	右	右	右	右	左	右	左	右	左	左	左	右	右	左	右	左	右	右
I1	ZT															7.68					60.31	6.53	8.20					
	PD															10.69					11.66	10.55	13.31					
I3	ZT																3.66	2.68										
	PD																8.50	7.13										
C	ZT																								13.83	13.82	7.30	11.50
	PD																								17.96	20.30	13.19	
P3	ZT		8.54																									
	PD		12.90																									
P4	ZT			12.12	11.61										13.00				9.80									
	PD			12.14	10.64										11.34				13.62									
M1	ZT					14.80	11.80	12.22				15.66																
	PD					17.21	17.07	14.51				18.18																
M2	ZT												19.98							14.91								
	PD												23.96							17.13								
M3	PD								28.90	35.25	31.28			31.80														
p2	ZT																							14.06				
	PD																							17.02				
p3	ZT	10.03																										
	PD	12.06																										

遺構		SD-B302上層					SK-A303	SK-A304		SK-A330	SK-C306	SX-A302	第VI層			SD-A201			SD-B201					SK-A209	壁面	不明
資料番号		B179	B180	B181	B182	B183	B285	B296	B297	B340	B384	B383	B405	B420	B436	B438	B468	B466	B469	B509	B510	B511	B503	B513	B624	B708	B731
左右		左	左	右	右	左	左	左	右	右	左	右	左	左	右	右	左	右	右	右	左	右	左	左	右	右	左
I1	ZT																										
	PD																										
I2	ZT		4.51	5.57									4.41														
	PD		8.80	10.08									7.72														
P2	ZT													6.63													
	PD													11.69													
P3	ZT							10.63																		9.14	
	PD							14.18																		13.01	
P4	ZT																	12.47								14.13	
	PD																	10.94								13.02	
M1	ZT	11.30							15.35			12.22			11.64			17.23		13.26						15.11	17.61
	PD	13.64							17.02			14.78			14.36			14.13		19.44						16.39	18.51
M2	ZT						17.79				17.27						18.51	20.87			16.81	15.07					
	PD						22.78				20.60						21.54	16.89			18.22	22.26					
M3	ZT									20.98																	
	PD									38.11								34.69		29.65			34.69		29.65		
i2	ZT				5.04	4.76																					
	PD				8.69	6.68																					
p3	ZT																		8.81					8.64			
	PD																		12.83					13.03			
p4	ZT															11.87											
	PD															13.88											

シカの上顎歯

遺構		SD-A301									SD-B302	SD-B302上層				SK-A304	SK-A308		SK-A330			SP-A3199	SD-A201	SD-B201
資料番号		B64	B65	B68	B69	B70	B71	B72	B73	B77	B152	B224	B225	B222	B221	B222	B298	B309	B310	B355	B358	B359	B391	B480	B587
左右		右	右	左	右	左	右	右	右	不明	左	左	左	左	左	左	左	右	左	右	右	右	右	左	右
P2	ZT	11.80									13.34				12.00										
	PD	15.27									12.02				11.97										
P3	ZT		13.11													14.09									
	PD		11.57													11.70									
P4	ZT													14.77											
	PD													12.17											
M1	ZT			16.51	16.87														15.44		11.46				10.91
	PD			15.07	15.49														16.69		11.29				17.72
M2	ZT					—	—	—	15.59			17.55					16.06	17.67				15.82	17.25		
	PD					19.56	17.87	18.41	17.64			18.50					16.55	19.05				16.56	18.13		
M3	ZT									14.36			18.19											15.70	
	PD									15.91			18.24											19.28	
Pm	ZT																			—					
	PD																			9.09					

*単位はmm

表3-(2) 下顎歯および顔面骨の計測値

	遺構		SD-A301								SD-B302 上層	SD-C302 下層	SD-C301	SD-C302	SK-A303	SK-A328	SK-B302	SP-A307	第Ⅵ層	SX-A301		SD-B201			攪乱		壁面	不明
	資料番号		B23	B24	B28	B29	B30	B31	B32	B36	B193	B273	B248	B249	B287	B328	B373	B390	B440	B403	B402	B529	B521	B528	B682	B693	B709	B725
	左右		左	右	左	右	左	右	左	不明	左	左	右	左	左	左	右	左	左	左	左	右	右	左	右	右	左	左
イノシシの下顎歯	I1	ZT	—	10.37									5.62															
		PD	7.08	6.98									4.24															
	I2	ZT												5.21														
		PD												4.95														
	P1	ZT			3.47																							
		PD			7.12																							
	P3	ZT				5.11																						
		PD				10.69																						
	P4	ZT					9.7	9.66							9.3						8.83		9.83				9.6	
		PD					14.22	14.52							14.6						18.68		15.03				14.81	
	M1	ZT										11.52								11.02							11.82	
		PD										17.54								16.24							16.34	
	M2	ZT							14.26			14.57				13.65		13.9	13.24					14.48	15.12			
		PD							21.36			21.18				21.3		21.29	19.99					20.27	20.35			
	M3	ZT								15.9					18.27		14.97					16.48			14.82	17.49		14.35
		PD								32.19					37.53		33.49					36.8			34.82	40.7		37.2
	i2	ZT									6.89																	
		PD									5.01																	

	遺構		SD-A301	SD-C302 下層	第Ⅵ層	SD-A201	SD-B201	第Ⅱ層	
	資料番号		B79	B276	B452	B460	B499	B681	B680
	種名		シカ	シカ	シカ	イヌ	イヌ	ウマ	ウマ
	左右		右	右	左	右	右	右	右
イノシシ以外の下顎歯	I1	ZT					7.81		
		PD					19.18		
	I2	ZT			5.01				
		PD			3.69				
	P2	ZT				4.41			
		PD				8.19			
	M1	ZT	*10.83						*14.36
		PD	*17.64						*25.73
	M2	ZT		12.11					
		PD		19.53					
	M3	ZT						13.01	
		PD						28.13	

*単位はmm

	遺構	SD-A303	SD-B302	SD-B302 上層	SD-C302 下層	SK-A303	SK-A330	SD-B201	攪乱
	資料番号	B121	B153	B179	B273	B287	B336	B515	B693
	種名	イヌ	シカ	イノシシ	イノシシ	イノシシ	イノシシ(ブタ)	イノシシ	イノシシ
	左右	左	右	右	左	左	右	左	右
		下顎	上顎	上顎	下顎	下顎	下顎	下顎	下顎
顔面骨	歯槽最大長						183.03		
	頬臼歯列長	58.05	87.71			112.70	103.94	107.86	
	小臼歯列長			45.58		37.18			
	小臼歯列長 Pm2-	29.45	37.23			74.87	33.40	35.98	
	大臼歯列長	30.14	53.41				71.38	72.87	76.65
	臼歯列長 Pm4-								57.03
	下顎体高(1) M後縁	21.76			39.67				53.82
	下顎体高(2) M1-Pm4	18.55							
	下顎体高(3) Pm2の前	16.32							
	下顎体厚 M1-M2	8.82							25.48
	下顎結合面幅	12.05							
	犬歯歯槽最大長						18.77		
	犬歯歯槽最大幅						24.46		

表3-(3) 四肢骨の計測値

イノシシの上肢

出土地点		SD-A301	SD-B302上層				SK-A330	第VI層		SD－B201	
資料番号		B49	B207	B208	B204	B209	B349	B422	B433	B545	B542
左右		左	左	右	右	右	左	左	右	右	左
上腕骨	遠位端横径				50.72						45.47
	遠位端前後径				42.43						41.16
橈骨	近位端横径							31.63		36.10	
	近位端前後径							21.42		24.57	
尺骨	肘頭～切痕上端		38.93	36.62		43.77					
中手骨 Ⅱ	最大長								64.15		
中手骨Ⅲ	近位端矢状径	16.35									
	近位端横径	15.33									
中手骨 Ⅴ	最大長						56.82				

イノシシの下肢

出土地点		SD-A301	SD-A302		SK-A328	SD－B201			撹乱
資料番号		B54	B113	B147	B330	B556	B552	B553	BB686
左右		右	左	右	左	左	左	左	右
寛骨	閉鎖孔内径			41.47					
	寛骨臼径			34.07					
脛骨	遠位端横径				34.15				
	遠位端前後径				24.37				
踵骨	最大幅		25.57						
	矢状径		32.99				21.60		
	高径						30.82		
距骨	外側最大長	41.76							
	内側最大長	38.12							35.84
	最大幅	25.43						26.40	
	前後径	23.70							
中足骨Ⅳ	最大長					98.47			
	全長					92.07			

指骨

出土地点		SD-A301				SD-B302上層	SK-A304	SD-A301		不明
資料番号		B56	B91	B92	B94	B236	B301	B656	B657	B737
種		イノシシ	シカ	シカ	シカ	シカ	シカ	シカ	シカ	シカ
左右		不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
基節骨	最大長	38.10	46.19	45.85	45.71	39.36	44.24	40.98		13.67
	近位端矢状径	19.60	19.65	19.64	17.72	12.51	19.61			
	近位端横径	19.76	15.70	14.92	15.10	8.61	14.98			
	近位関節面幅	18.46	13.81	12.90	13.39	6.38	13.86			
	中央矢状径	16.76	13.51	13.95	15.18	6.40	14.38			
	中央横径	15.86	12.90	12.02	12.94	3.41	11.94	11.32		11.75
	遠位端矢状径	11.78	12.75	11.83	12.15	4.57	12.58	11.25	11.79	10.89
	遠位端横径	17.54	13.97	12.98	12.61	5.77	13.43	12.58	12.18	12.18

出土地点		SD-A301		SK-A302	第VI層	第Ⅴ層	SD-A301	SD-B302上層	不明
資料番号		B93	B95	B282	B445	B658	B96	B217	B738
種		シカ	シカ	イノシシ	イノシシ	シカ	シカ	イノシシ	シカ
左右		不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
中節骨	最大長	34.50	33.79	23.54	22.90	36.91	36.14	14.73	42.79
	近位端矢状径	17.88	18.21	15.90	15.45	21.36	18.64	9.29	
	近位端横径	13.54	13.80	15.49	16.30	15.48	14.09	9.77	
	近位関節面幅	12.53	12.60	15.11	15.92	14.64	13.48	9.36	
	中央矢状径	12.96	12.80	10.52	10.42	16.18	13.71	9.53	12.51
	中央横径	11.66	11.46	12.77	13.39	12.29	12.85	7.97	11.80
	遠位端矢状径	14.96	15.21	13.36	14.72	17.60	15.62	7.29	12.00
	遠位端横径	10.74	10.51	12.25	14.69	12.18	11.58	6.94	12.87

*単位はmm

表3-(4) 四肢と体幹の計測値

シカの上肢

出土地点		SD-B302	SD-B302上層			SD-A201		SD－B201				第Ⅴ層
資料番号		B158	B230	B229	B232	B484	B483	B582	B585	B578	B580	B648
左右		右	右	左	左	右	右	右	左	左	左	左
肩甲骨	関節窩最大長			40.12								
	関節窩長			29.98								
	関節窩幅			27.30					28.27			
	頚部最小径			23.69								
上腕骨	遠位端横径		38.67					41.11		38.33	38.14	43.99
	遠位端前後径		36.77					36.38		35.26	39.13	36.91
橈骨	近位端横径	41.27										
	近位端前後径	21.82										
	遠位端横径				33.41		36.29					
	遠位端前後径				23.90							
尺骨	肘頭最小深					38.98						
	肘突起矢状径					21.17						

シカの下肢

出土地点		SD-C302				SD-C302下層		SK-A308	SK-A330	SX-A303	第Ⅵ層	SD－B201
資料番号		B268	B269	B266	B267	B277	B278	B313	B365	B419	B456	B594
左右		左	不明	左	右	右	右	左	左	左	左	左
脛骨	遠位端横径			31.98	35.34	35.77					26.30	
	遠位端前後径			25.55	28.20	30.07					36.37	
踵骨	最大長							86.72				31.40
	最大幅							24.77				
	矢状径							30.66				
	関節部横径											24.90
	高径											32.25
距骨	外側最大長	38.30					42.98		41.43	41.12		
	内側最大長	36.47					40.40		39.47			
	最大幅	23.44					27.08		26.53			
	前後径	20.92					24.26		22.69			
中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位端横径		27.02									

出土地点		SD－B201					第Ⅵ層			側溝	不明	壁面
資料番号		B592	B595	B593	B598	B599	B670	B671	B673	B704	B736	B720
左右		右	左	右	左	左	右	左	右	左	右	右
脛骨	近位端横径	53.34										
	近位端前後径	50.05										
	遠位端横径			30.88						33.79		
	遠位端前後径			26.05						27.25		
踵骨	最大長		37.48				84.60				82.47	
	最大幅						26.44				17.40	
	関節部横径		27.45									
	矢状径		31.04				29.82				32.81	
距骨	外側最大長							39.58	36.45			38.18
	内側最大長							37.28	33.09			35.94
	最大幅							24.57	22.48			24.38
	前後径							21.42	20.48			21.25
舟状骨+立方骨	横径				30.56							
	高径				28.94							
中足骨Ⅲ+Ⅳ	遠位端矢状径					21.79						
	遠位端横径					33.71						

イヌの上肢

出土地点		SD-B201
資料番号		B501
左右		右
肩甲骨	関節窩長	13.36
	関節窩幅	9.05

ウサギの下肢

出土地点		SD-A301
資料番号		B04
左右		右
踵骨	最大長	25.14
	最大幅	9.70
	矢状径	9.54

体幹

出土地点		SD-A301	SD-B302	SD－B201	
資料番号		B86	B157	B536	B577
種		シカ	シカ	イノシシ	シカ
軸椎	椎体長				79.63+
	椎弓長				79.27
第5頸椎	前関節 突起間幅		47.16		
	後関節 突起間幅		44.90		
	関節突起前後径		57.64		
第2胸椎	最大長			201.25+	
	全長			177.22+	
腰椎	椎体長	42.16			

*単位はmm

出土遺物一覧表

挿図番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
1	石器 石槍	A区 第Ⅱ層	長 8.6 幅 5.0 厚 1.75 重 66.0g					サヌカイト
2	土製品 土錘	B区 第Ⅲ層	長 6.5 最大径 4.0 孔径 0.85		良好	密		
3	石器 石錐	A区 第Ⅲ層	長 5.4 幅 1.6 厚 0.4 重 2.5g					サヌカイト
4	土製品	A区 第Ⅴ層	長 2.25 幅 2.4 厚 1.3	外)灰 内) - 断) -	やや不良	やや粗		
5	弥生土器 ミニチュア土器	A区 第Ⅴ層	口径(復) 6.6 底径 3.6 器高 4.2	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)灰	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	外面に黒斑
6	弥生土器 ミニチュア土器	A区 第Ⅴ層	底径 3.0 器高(残) 2.0	外)灰白 内)灰黄 断)暗灰	やや不良	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
7	弥生土器 ミニチュア土器	A区 第Ⅴ層	口径(復) 5.0 底径 3.0 器高 3.8	外)にぶい褐 内)にぶい橙 断)にぶい橙	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
8	弥生土器 蓋	A区 第Ⅴ層	口径(復) 13.1 器高(残) 3.3	外)オリーブ黒 内)暗灰褐 断) -	良好	密	外面：ナデ、弧状の沈線文 内面：ナデ、ヘラミガキ	頂部に孔
9	石器 石鏃	B区 第Ⅴ層	長(残) 32.5 幅 1.0 厚 0.35 重 1.65g					粘板岩 磨製
10	石器 石鏃	A区 第Ⅴ層	長 2.3 幅 1.7 厚 0.35 重 1.5g					サヌカイト
11	石器 石鏃	A区 第Ⅴ層	長 3.3 幅 1.8 厚 0.4 重 2.4g					サヌカイト
12	石器 石鏃	A区 第Ⅴ層	長 2.8 幅 2.2 厚 0.6 重 2.05g					サヌカイト
13	石器 石槍	B区 第Ⅴ層	長(残) 7.3 幅 2.9 厚 1.15 重 27.3g					サヌカイト
14	石器 石槍	B区 第Ⅴ層	長 3.2 幅 1.0 厚 0.6 重 33.0g					サヌカイト
15	石器 石錐	A区 第Ⅴ層	長(残) 3.35 幅 2.3 厚 0.55 重 4.3g					サヌカイト
16	石器 石錐	A区 第Ⅴ層	長 3.1 幅 1.8 厚 0.35 重 2.05g					サヌカイト
17	石器 石錐	B区 第Ⅴ層	長 3.0 幅 1.8 厚 0.6 重 2.45g					サヌカイト
18	石器 石錘	A区 第Ⅴ層	長 3.55 幅 1.6 厚 0.41 重 2.3g					サヌカイト
19	石器 石剣？	B区 第Ⅴ層	長(残) 5.95 幅(残) 3.8 厚 0.9 重 22.5g					粘板岩 磨製
20	石器 掻器？	A区 第Ⅴ層	長 4.45 幅 1.7 厚 0.95 重 7.2g					サヌカイト
21	石器 掻器	B区 第Ⅴ層	長 6.9 幅 3.2 厚 1.8 重 39.45g					サヌカイト
22	石器 掻器	A区 第Ⅴ層	長 8.4 幅 5.2 厚 0.9 重 70.3g					サヌカイト
23	石器 石鎌	A区 第Ⅴ層	長 4.05 幅 6.3 厚 1.38 重 30.3g					サヌカイト
24	石器 石庖丁	A区 第Ⅴ層	長 3.7 幅(残) 6.3 厚 0.8 重 29.65g					粘板岩 紐孔間隔1.7cm
25	石器 石庖丁	A区 第Ⅴ層	長 4.4 幅(残) 8.1 厚 0.8 重 36.7g					緑色片岩
26	石器 敲石	A区 第Ⅴ層	長 7.7 幅 4.6 厚 4.3 重 221.8g					砂岩 敲打痕
27	石製品 石棒？	B区 第Ⅴ層	長(残) 4.25 幅 2.35 厚(残) 0.8 重 10.7g					緑色片岩
28	軽石	A区 第Ⅴ層	長(残) 10.65 幅 5.9 厚 3.2					
29	弥生土器 壺	A区 第Ⅵ層	口径(復) 15.0 器高(残) 5.8	外)にぶい黄褐 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、頸部に段 内面：ヘラミガキ	
30	弥生土器 壺	C区 第Ⅵ層	最大径(復) 17.7 器高(残) 5.0	外)にぶい黄褐 内)灰黄褐 断)にぶい黄褐	良好	密	外面：磨滅のため調整不明、胴部に突帯 内面：ナデ	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
31	弥生土器 壺	A区 第VI層	胴部径(復) 45.4 器高(残) 19.2	外)黒褐 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、流水文、円形浮文 内面：ナデ	
32	弥生土器 甕	A区 第VI層	口径(復) 17.6 器高(残) 5.6	外)にぶい黄褐 内)にぶい黄褐 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ、口縁部に弧状の沈線文 内面：磨滅のため調整不明	
33	弥生土器 甕	C区 第VI層	器高(残) 5.0	外)にぶい黄褐 内)灰黄褐 断)にぶい黄褐	良好	密	外面：磨滅のため調整不明 内面：ナデ、指頭痕	瀬戸内系
34	弥生土器 鉢	A区 第VI層	口径 11.1 器高 6.4	外)灰黄 内)にぶい黄 断)にぶい黄	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
35	弥生土器 ミニチュア 土器	A区 第VI層	口径(復) 7.0 底径(復) 4.6 器高 5.15	外)にぶい黄橙 内)灰黄褐 断)にぶい褐	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ、指頭痕	外面に黒斑
36	弥生土器 ミニチュア 土器	A区 第VI層	口径(復) 9.4 底径 3.75 器高 5.65	外)灰白 内)灰黄 断)黄褐	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ、指頭痕	外面に黒斑 底部に2ヶ所の孔
37	弥生土器 蓋	C区 第VI層	口径(復) 12.8 器高 2.5	外)にぶい黄褐 内)にぶい黄褐 断)にぶい黄褐	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ、指頭痕	頂部に孔
38	土製品 紡錘車	A区 第VI層	径 3.2 孔径 0.7 厚 0.6		良好	密		
39	石器 石鏃	A区 第VI層	長 2.6 幅 1.4 厚 0.3 重 0.85g					サヌカイト
40	石器 石鏃	A区 第VI層	長 3.1 幅 1.6 厚 0.6 重 3.4g					サヌカイト
41	石器 石鏃	A区 第VI層	長(残) 3.1 幅 1.65 厚 0.6 重 2.8g					サヌカイト
42	石器 石鏃	A区 第VI層	長 5.65 幅 1.25 厚 1.0 重 6.95g					サヌカイト
43	石器 石鏃	A区 第VI層	長 3.6 幅 1.6 厚 0.55 重 2.6g					サヌカイト
44	石器 石錐	A区 第VI層	長 2.2 幅 1.5 厚 0.5 重 0.75g					サヌカイト
45	石器 石錐	A区 第VI層	長 2.85 幅 1.1 厚 0.54 重 1.8g					サヌカイト
46	石器 石錐	A区 第VI層	長(残) 3.89 幅 1.69 厚 0.35 重 2.5g					サヌカイト
47	石器 石庖丁	A区 第VI層	長 5.3 幅 7.4 厚 1.0 重 46.9g					流紋岩？ 両刃 紐孔間隔2.8cm
48	石器 石庖丁	C区 第VI層	長 3.8 幅(残) 8.0 厚 0.8 重 39.85g					粘板岩 片刃
49	弥生土器 壺	A区 撹乱	器高(残) 4.3	外)黒褐 内)黒色 断)灰黄褐	良好	密	外面：ヘラ描沈線文、刻目突帯 内面：ナデ	内面に煤付着
50	弥生土器	側溝	底径(復) 7.8 器高(残) 1.8	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)褐灰	良好	密	外面：板ナデ 内面：ナデ	底部外面に木の葉圧痕
51	弥生土器 鉢	A区 撹乱	口径 12.5 底径 6.1 器高 9.2	外)暗灰黄 内)黒褐 断)灰	やや不良	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：ナデ、接合痕	
52	弥生土器 ミニチュア 土器	C区 側溝	底径 5.9 器高(残) 2.7	外)灰黄 内)灰黄 断)にぶい黄褐	良好	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：絞り痕	対で円形の孔
53	石器 石鏃	A区 側溝	長 5.5 幅 3.3 厚 0.55 重 7.1g					サヌカイト
54	石器 石槍	側溝	長 10.7 幅 3.1 厚 1.5 重 51.2g					サヌカイト
55	石器 石錐	側溝	長(残) 2.05 幅 1.15 厚 0.41 重 1.0g					サヌカイト
56	石器 石剣	A区 側溝	長 6.4 幅 2.7 厚 0.65 重 1.33g					粘板岩 磨製
57	石器 石槍	撹乱	長 5.4 幅 3.4 厚 1.35 重 36.0g					サヌカイト
58	石器 柱状片刃石斧	B区 側溝	長 5.5 幅 1.1 厚 1.5 重 18.9g					粘板岩？
59	石製品 砥石	A区 側溝	長 3.7 幅 3.35 厚 1.7 重 27.2g					
60	石器 石庖丁	側溝	長 5.0 幅 8.6 厚 0.6 重 47.95g					粘板岩

挿図番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
61	石器 石庖丁	不明	長 5.3 幅 7.4 厚 1.0 重 46.9g					緑色片岩 片刃、紐孔間隔2.1cm、両面ともに未貫通の穿孔痕
62	石器 石庖丁	A区 撹乱	長 5.3 幅（残） 9.3 厚（残） 0.4 重 32.55g					紐孔間隔2.6cm、B面剥離のため両刃か片刃か不明
63	石器 石庖丁	C区 側溝	長（残 4.85 幅（残） 6.1 厚 0.53 重 1.6g					擦痕
64	石器 太型蛤刃石斧	A区 側溝	長 16.4 幅 7.3 厚 5.2 重					
65	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径 24.0 頸部径 10.7 胴部径 26.0 器高 41.15	外）灰黄褐 内）灰黄褐 断）灰黄褐	良好	密	外面：ナデ、ヘラミガキ、9条の直線文、扇形文 内面指：ナデ、指頭痕、接合痕	口縁端部、体部に黒斑
66	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径（復） 22.6 頸部径（復） 14.3 器高（残） 27.4	外）灰黄褐 内）灰黄褐 断）灰黄褐	良好	密	外面：ヘラミガキ、簾状文、列点文、扇形文 内面：ハケメ、ナデ、指頭痕	
67	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径（復） 20.4 頸部（復） 11.6 器高（残） 21.5	外）にぶい褐 内）にぶい黄褐 断）にぶい褐	良好	密	外面：簾状文 内面：ナデ	
68	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径（復） 19.8 器高（残） 8.8	外）にぶい黄橙 内）にぶい黄橙 断）にぶい黄橙	良好	密	外面：扇形文、簾状文 内面：ハケメ	
69	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径（復） 23.4 器高（残） 14.3	外）灰黄 内）灰黄 断）灰黄	良好	密	外面：簾状文、口縁部に刺突文 内面：ナデ	頸部に黒斑
70	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径 10.0 頸部径 8.4 胴部径 32.8 底径 9.0 器高 45.5	外）暗灰褐 内）暗灰褐 断）暗灰褐	良好	密	外面：簾状文、円形浮文、ヘラミガキ 内面：ハケメ	体部下半に黒斑
71	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径（復） 21.0 胴部径（復） 26.2 底径（復） 6.8 器高（残） 32.9	外）にぶい黄橙 内）暗褐 断）	良好	密	外面：ハケメ、ヘラミガキ、直線文、口縁部に列点文 内面：ハケメ	体部下半に黒斑 口縁外面に煤付着
72	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径（復） 19.0 底径（復） 8.9 器高（残） 37.0	外）赤 内）褐灰 断）灰	良好	密	外面：タタキメ、ナデ、刻目文、半截竹管文、列点文 内面：ハケメ、指頭痕	
73	弥生土器 甕	A区 SD-A201	口径（復） 15.0 頸部径（復） 13.1 胴部径（復） 14.5 器高（残） 20.6	外） 内） 断）	良好	密	外面：ナデ、ヘラミガキ 内面：ナデ	外面全体に煤付着
74	弥生土器 甕	A区 SD-A201	口径（復） 13.6 頸部径（復） 12.2 胴部径（復） 16.0 器高（残） 21.7	外）褐灰 内）灰黄褐 断）灰黄褐	良好	密	外面：ナデ、ヘラミガキ、ヘラケズリ、指頭痕 内面：ナデ、ハケメ	
75	弥生土器 壺	A区 SD-A201	口径（復） 12.4 器高（残） 11.3	外）暗灰黄 内）にぶい黄 断）灰	やや不良	密	外面：ハケメ 内面：板ナデ、指頭痕、接合痕	
76	弥生土器 甕	A区 SD-A201	口径（復） 14.0 器高（残） 3.8	外）にぶい黄褐 内）灰黄褐 断）暗灰黄	良好	密	外面：ナデ、ハケメ、口縁端部に1条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
77	弥生土器 甕	A区 SD-A201	口径（復） 12.8 器高（残） 7.8	外）暗褐 内）暗褐 断）暗灰黄	良好	密	外面：板ナデ、口縁端部に刻目文 内面：ハケメ、ナデ、指頭痕	
78	弥生土器 甕	A区 SD-A201	口径（復） 14.6 頸部径（復） 12.2 胴部径（復） 13.6 器高（残） 8.9	外）褐灰 内）にぶい黄橙 断）褐灰	良好	密	外面：板ナデ 内面：ナデ	
79	弥生土器 甕	A区 SD-A201	口径（復） 17.5 頸部（復） 18.8 器高（残） 10.1	外）にぶい黄橙 内）明黄褐 断）灰白	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	外面に煤付着
80	弥生土器 甕	A区 SD-A201	口径（復） 29.2 頸部径（復） 27.7 胴部径（復） 34.0 底径（復） 8.3 器高（残） 44.0	外）にぶい黄褐 内）にぶい黄褐 断）灰黄褐	良好	密	外面：ハケメ、ヘラミガキ 内面：ハケメ、ヘラミガキ、ナデ	外面に煤付着
81	弥生土器	A区 SD-A201	底径 6.3 器高（残） 3.3	外）黄灰 内）にぶい黄褐 断）灰黄褐	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	底部付近に穿孔
82	弥生土器	A区 SD-A201	底径 6.4 器高（残） 5.0	外）暗灰黄 内）暗灰黄 断）黄灰	良好	密	外面：ハケメ 内面：板ナデ	底部に穿孔
83	弥生土器	A区 SD-A201	底径 5.9 器高（残） 4.0	外）暗灰黄 内）暗灰黄 断）暗灰黄	良好	密	外面：ハケメ 内面：ナデ	底部未貫通の穿孔痕
84	弥生土器 鉢	A区 SD-A201	口径（復） 16.8 器高（残） 6.2	外）暗灰褐 内）暗灰褐 断）暗灰褐	良好	密	外面：ヘラミガキ、列点文 内面：ヘラミガキ	
85	弥生土器 鉢	A区 SD-A201	口径（復） 16.6 器高（残） 4.1	外）にぶい褐 内）暗灰黄 断）灰	やや不良	密	外面：列点文、口縁端部に刻目文 内面：ハケメ	
86	弥生土器 鉢	A区 SD-A201	口径（復） 23.2 器高（残） 7.2	外）にぶい黄 内）にぶい黄橙 断）灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、6～7条の波状文 内面：ヘラミガキ	
87	弥生土器 鉢	A区 SD-A201	口径（復） 17.8 胴部径（復） 19.8 器高（残） 6.7	外）黄褐 内）黄褐 断）暗オリーブ	良好	密	外面：ヘラミガキ、簾状文 内面：ヘラミガキ	
88	弥生土器 鉢	A区 SD-A201	口径（復） 30.0 器高（残） 9.4	外）にぶい黄褐 内）にぶい黄褐 断）にぶい黄褐	良好	密	外面：ヘラミガキ、粗雑な簾状文 内面：ヘラミガキ	
89	弥生土器 鉢	A区 SD-A201	口径（復） 26.8 器高（残） 9.0	外）明褐 内）明赤褐 断）	良好	密	外面：8条の直線文、ヘラミガキ、口縁端部に扇形文 内面：ヘラミガキ	
90	弥生土器 鉢	A区 SD-A201	口径（復） 27.7 器高（残） 13.7	外）黄褐 内）黄褐 断）黄褐	良好	密	外面：ナデ、凹線文 内面：ナデ、ヘラケズリ	体部外面に黒斑
91	弥生土器 高杯	A区 SD-A201	口径（復） 21.0 器高（残） 7.5	外）にぶい黄 内）にぶい黄 断）にぶい黄	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	口縁部外面に黒斑
92	弥生土器 高杯	A区 SD-A201	口径（復） 28.0 器高（残） 7.5	外）浅黄 内）にぶい黄橙 断）	良好	密	外面：ナデ 内面：ヘラミガキ	

挿図番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
93	弥生土器 高杯	A区 SD-A201	底径(復) 11.2 器高(残) 7.2	外)灰黄褐 内)にぶい黄褐 断)褐灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、3条のヘラ描沈線文 内面：ヘラケズリ	脚部外面に黒斑
94	弥生土器 水差形土器	A区 SD-A201	口径 9.0 器高(残) 8.3	外)にぶい橙 内)黄灰 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：簾状文 内面：ナデ、指頭痕	
95	弥生土器 蓋	A区 SD-A201	口径(復) 11.6 器高 2.4	外)にぶい黄 内)にぶい黄 断)にぶい黄	良好	やや粗	外面：ナデ、ヘラ描沈線 内面：ナデ	頂部に孔
96	弥生土器 ミニチュア 土器	A区 SD-A201	口径 6.9 器高 3.5	外)灰オリーブ 内)灰オリーブ 断) －	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
97	土製品 土製円盤	A区 SD-A201	径 3.5 厚 0.5				周囲を打ち欠いて成形	
98	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 2.15 幅 1.4 厚 0.5 重 1.05g					サヌカイト
99	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 3.3 幅 1.5 厚 0.55 重 2.4g					サヌカイト
100	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 3.0 幅 1.5 厚 0.45 重 1.7g					サヌカイト
101	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 3.3 幅 1.5 厚 4.0 重 2.05g					サヌカイト
102	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 5.3 幅 1.4 厚 0.5 重 3.35g					サヌカイト
103	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 3.9 幅 1.8 厚 0.5 重 2.5g					サヌカイト
104	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 4.5 幅 1.7 厚 0.4 重 2.15g					サヌカイト
105	石器 石鏃	A区 SD-A201	長 6.0 幅 2.8 厚 0.8 重 11.5g					サヌカイト
106	石器 石庖丁	A区 SD-A201	長 4.0 幅(残) 5.4 厚 0.7 重 19.1g					片刃
107	石製品 投弾	A区 SD-A201	長径 5.1 中径 3.7 短径 3.0 重 69.65g					中央断面やや円形
108	石器 太型蛤刃 石斧	A区 SD-A201	長 6.2 幅 4.0 厚 3.2 重 55.7g					
109	石器 柱状片刃 石斧	A区 SD-A201	長(残) 3.1 幅(残) 1.2 厚(残) 2.2 重 9.0g					
110	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 18.0 器高(残) 5.5	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)黄灰	やや不良	密	外面：ハケメ、直線文 内面：ハケメ、口縁端部に列点文	
111	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 24.5 器高(残) 16.0	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)灰	良好	密	外面：簾状文 内面：ナデ	
112	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 23.0 器高(残) 16.5	外)黄褐 内)黄褐 断)灰黄	良好	密	外面：ハケメ、簾状文、直線文 内面：ナデ	
113	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 23.6 器高(残) 5.9	外)黄灰 内)黄褐 断)オリーブ黒	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、口縁部に斜格子の直線文 内面：ハケメ	
114	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 22.4 器高(残) 6.5	外)灰黄 内)灰黄 断)灰	良好	密	外面：ナデ、直線文 内面：ナデ、口縁端部に扇形文	
115	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 13.5 器高(残) 20.0	外)灰黄褐 内)暗灰黄 断)暗灰黄	良好	密	外面：簾状文、扇形文 内面：ナデ、指頭痕	
116	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 14.2 器高(残) 10.9	外)暗灰褐 内)黄灰 断)灰	良好	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：ナデ	
117	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 11.1 底径(復) 5.6 器高(残) 14.9	外)にぶい黄 内)にぶい黄 断)黄灰	良好	密	外面：ナデ 内面：ヘラミガキ	口縁部に紐孔
118	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 15.5 胴部径(復) 18.1 器高(残) 12.0	外)黄灰 内)暗灰黄 断)黄灰	良好	密	外面：粗いハケメ、口縁端部に刻目文 内面：粗いハケメ	内外面に煤付着
119	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 27.6 器高(残) 25.5	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)	良好	密	外面：ヘラミガキ、指頭痕 内面：ナデ、指頭痕、接合痕	底部外面に籾痕
120	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 23.2 器高(残) 41.5	外)浅黄 内)浅黄 断)浅黄	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	体部外面に煤付着 全体につくりは粗雑
121	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 15.2 頸部径(復) 13.0 胴部径(復) 16.2 底径(復) 5.2 器高(残) 21.1	外)灰黄褐 内)にぶい黄橙 断)	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	
122	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 12.8 胴部径(復) 15.0 底径(復) 4.5 器高(残) 20.1	外)にぶい黄 内)黄褐 断)黄灰	良好	密	外面：ハケメ、ヘラミガキ 内面：ナデ	
123	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 14.0 器高(残) 9.0	外)灰黄褐 内)灰黄 断)灰白	良好	密	外面：ハケメ 内面：ハケメ、指頭痕	口縁部内外面に鉄分付着 内面に煤付着
124	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 15.2 器高(残) 8.7	外)暗灰黄 内)黄灰 断)黄灰	良好	密	外面：ハケメ 内面：ハケメ、指頭痕	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
125	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 12.4 器高(残) 4.7	外)褐灰 内)にぶい褐 断)灰	やや不良	密	外面：ナデ 内面：ナデ、指頭痕	
126	弥生土器 甕	B区 SD-B201	口径(復) 35.6 器高(残) 12.6	外)灰黄 内)にぶい黄褐 断)暗灰	不良	密	外面：板ナデ、指頭痕 内面：板ナデ	
127	弥生土器	B区 SD-B201	底径(復) 5.6 器高(残) 6.9	外)灰黄 内)灰 断)灰	不良	密	外面：ヘラミガキ 内面：板ナデ	底部に円孔
128	弥生土器	B区 SD-B201	脚径 9.2 器高(残) 4.7	外)灰黄褐 内)褐灰 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：不明	
129	弥生土器 鉢	B区 SD-B201	口径(復) 24.9 底径(復) 8.2 器高(残) 22.1	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断) －	良好	密	外面：ヘラミガキ、口縁端部に沈線？ 内面：ヘラケズリ、ヘラミガキ	
130	弥生土器 鉢	B区 SD-B201	口径(復) 25.3 底径(復) 7.4 器高(残) 15.0	外)灰黄褐 内)にぶい黄褐 断) －	良好	密	外面：ナデ、ヘラミガキ 内面：ナデ	
131	弥生土器 鉢	B区 SD-B201	口径(復) 10.6 底径 5.0 器高 7.7	外)にぶい黄橙 内)黄灰 断)灰	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：板ナデ	外面に黒斑
132	弥生土器 鉢	B区 SD-B201	口径(復) 13.0 底径(復) 6.0 器高(残) 11.5	外)灰黄褐 内)灰黄褐 断)灰黄褐	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	
133	弥生土器 鉢	B区 SD-B201	口径(復) 32.0 器高(残) 12.2	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)灰黄	良好	密	外面：ハケメ、ヘラミガキ、粗雑な簾状文、直線文、扇形文、口縁端部に刻目文 内面：板ナデ、ハケメ、指頭痕	内外面に鉄分付着
134	弥生土器 鉢	B区 SD-B201	口径(復) 25.6 器高(残) 8.4	外)黄灰 内)暗灰黄 断)黄灰	良好	密	外面：ハケメ、ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	
135	弥生土器 高杯	B区 SD-B201	口径(復) 21.0 器高(残) 8.8	外)灰黄 内)淡黄 断)灰白	良好	密	外面：ヘラミガキ、凹線文 内面：ヘラミガキ	
136	弥生土器 高杯	B区 SD-B201	口径(復) 11.1 器高(残) 3.95	外)灰黄 内)灰黄 断)灰	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、7条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	
137	弥生土器 水差形土器	B区 SD-B201	口径(復) 11.8 器高(残) 9.0	外)にぶい黄 内)にぶい黄 断)灰	良好	密	外面：ハケメ、簾状文 内面：ナデ、ハケメ	内外面に鉄分付着
138	弥生土器 水差形土器	B区 SD-B201	口径(復) 9.0 頸部径(復) 7.7 器高(残) 9.8	外)暗灰褐 内)黄灰 断)黄灰	良好	密	外面：列点文、簾状文、ヘラミガキ 内面：ハケメ、接合痕	口縁部内面に鉄分付着
139	弥生土器 壺	B区 SD-B201	口径(復) 25.3 底径(復) 7.4 器高(残) 15.0	外)灰黄 内)暗灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ハケメ、指頭痕	2対の紐孔
140	石器 石鏃	B区 SD-B201	長 2.0 幅 1.6 厚 0.2 重 0.65g					サヌカイト
141	石器 石鏃	B区 SD-B201	長 3.7 幅 1.8 厚 0.5 重 2.75g					サヌカイト
142	石器 石鏃	B区 SD-B201	長 5.4 幅 1.6 厚 0.6 重 3.95g					サヌカイト
143	石器 石鏃	B区 SD-B201	長 3.25 幅 2.15 厚 0.6 重 3.65g					サヌカイト
144	石器 石鏃	B区 SD-B201	長(残) 2.6 幅 1.1 厚 0.5 重 1.0g					サヌカイト
145	石器 石鏃	B区 SD-B201	長 6.3 幅 3.05 厚 0.9 重 14.75g					サヌカイト
146	石器 石鏃	B区 SD-B201	長 6.4 幅 3.3 厚 1.2 重 9.85g					サヌカイト
147	石器 石錐	B区 SD-B201	長 3.8 幅 1.6 厚 0.55 重 2.1g					サヌカイト
148	石器 掻器	B区 SD-B201	長(残) 6.0 幅 3.4 厚 1.1 重 30.4g					サヌカイト
149	石器 石庖丁	B区 SD-B201	長(残) 8.5 幅 3.75 厚 0.7 重 29.25g					粘板岩 片刃、紐孔間隔2.0cm
150	弥生土器 壺	A区 SK-A203	口径(復) 9.7 器高(残) 6.3	外)にぶい褐 内)にぶい褐 断)灰黄褐	良好	やや粗	外面：口縁端部に波状文、体部に直線文　内面：ナデ	
151	弥生土器 甕	A区 SK-A203	口径(復) 14.2 器高(残) 11.2	外)黄褐 内)黄褐 断)黄褐	良好	密	外面：ハケメ、指頭痕 内面：ハケメ、指頭痕	
152	弥生土器 鉢	A区 SK-A203	口径(復) 20.8 底径 8.0 器高 14.1	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断) －	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ナデ	外面に黒斑
153	弥生土器 台付き鉢	A区 SK-A203	口径 16.0 頸部径 3.6 器高 19.0	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ、脚台内面ハケメ	
154	弥生土器 鉢	A区 SK-A203	口径(復) 20.6 器高(残) 6.6	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)黄灰	良好	密	外面：ハケメ、口縁端部に刻目文 内面：ハケメ	
155	石製品 扁平片刃石斧	A区 SK-A217	長 3.5 幅 1.05 厚 0.75 重 3.2g					
156	弥生土器 甕	A区 SX-A201	口径(復) 16.4 器高(残) 16.0	外)にぶい黄 内)暗灰 断)暗灰	不良	粗	外面：ナデ、ハケメ 内面：ナデ、指頭痕	体部内面と口縁部に煤付着

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
157	石器 石鏃	A区 SX-A201	長 3.8 幅 1.4 厚 0.45 重 2.35g					サヌカイト
158	土製品 紡錘車	A区 SX-A202	径 4.5 孔径 0.8 厚 0.5					
159	弥生土器 蓋	A区 SX-A204	口径 14.3 器高 8.2	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ナデ、ヘラナデ 内面：ナデ、板ナデ	
160	弥生土器 壺	C区 SX-C201	口径(復) 24.0 器高(残) 2.5	外)明赤褐 内)にぶい赤褐 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
161	弥生土器 壺	C区 SX-C201	口径(復) 12.5 器高(残) 7.3	外)灰黄褐 内)にぶい黄褐 断)灰黄褐	良好	密	外面：簾状文、直線文、円形浮文 内面：ナデ	
162	弥生土器 壺	C区 SX-C202	口径(復) 18.1 器高(残) 13.2	外)浅黄 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ハケメ、7～10条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	
163	弥生土器 壺	C区 SX-C202	底径 7.6 器高(残) 12.8	外)にぶい橙 内)黄灰 断)にぶい橙	やや不良	やや粗	外面：ハケメ、３条の刻目突帯 内面：ナデ、指頭痕	外面に煤付着
164	弥生土器 甕	C区 SX-C202	口径(復) 38.2 器高(残) 8.1	外)黄灰 内)灰黄 断)黄灰	良好	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、平行斜線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
165	弥生土器 甕	C区 SX-C202	口径(復) 36.4 器高(残) 6.2	外)にぶい黄橙 内)暗灰黄 断)黄褐	良好	密	外面：8条のヘラ描沈線文、平行斜線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
166	弥生土器 甕	C区 SX-C202	口径 20.5 底径 6.5 器高 14.6	外)灰黄褐 内)灰黄褐 断)灰黄褐	やや不良	密	外面：ハケメ、5条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	底部に穿孔
167	弥生土器 甕	C区 SX-C202	口径(復) 12.1 底径(復) 5.3 器高(残) 14.1	外)にぶい黄褐 内)褐灰 断) －	良好	密	外面：ハケメ 内面：ナデ、ヘラオサエ痕	体部内外面上部から口縁にかけて煤付着
168	弥生土器 甕	C区 SX-C202	口径(復) 17.6 頸部径 15.2 器高(残) 15.6	外)灰黄 内)灰黄 断)黄灰	良好	密	外面：ハケメ、3条のヘラ描沈線文 内面：ナデ、指頭痕	口縁部から胴部外面中半にかけて煤付着、体部内面に鉄分付着
169	弥生土器 鉢	C区 SX-C202	口径(復) 48.0 器高(残) 11.4	外)にぶい灰黄褐 内)褐灰 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ハケメ、刻目突帯 内面：ハケメ	
170	弥生土器 鉢	C区 SX-C202	口径(復) 34.4 器高(残) 9.4	外)灰黄褐 内)暗灰黄 断)暗灰黄	良好	密	外面：ハケメ 内面：板ナデ	内外面に煤付着
171	石器 石鏃	C区 SX-C202	長 2.8 幅 2.0 厚 0.55 重 1.65g					サヌカイト
172	石器 石鏃	C区 SX-C202	長 2.9 幅 1.7 厚 0.2 重 1.05g					サヌカイト
173	石器 石鏃	C区 SX-C202	長 2.85 幅 2.0 厚 0.5 重 2.05g					サヌカイト
174	石器 石錐	C区 SX-C202	長 3.3 幅 1.5 厚 0.9 重 3.45g					サヌカイト
175	弥生土器 壺	C区 SX-C203	口径(復) 19.6 頸部径(復) 12.8 胴部径(復) 39.6 底径(復) 8.8 器高(残) 37.3	外)灰褐 内)灰褐 断)灰褐	良好	密	外面：ヘラミガキ、口縁端部に1条の沈線、頸部は削出突帯に2条のヘラ描沈線文、肩部は6条のヘラ描沈線文 内面：ナデ、ヘラミガキ、指頭痕	体部下半に黒斑
176	弥生土器 壺	C区 SX-C203	胴部径(復) 37.4 器高(残) 11.0	外)暗灰黄 内)灰黄橙 断)にぶい黄橙	やや不良	密	外面：ナデ、ヘラ描沈線文 内面：ナデ、指頭痕	蕨手状の浮文
177	弥生土器 甕	C区 SX-C203	口径(復) 22.4 器高(残) 7.3	外)にぶい黄橙 内)灰白 断)灰白	良好	やや粗	外面：ナデ、頸部と胴部に4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
178	弥生土器 鉢	C区 SX-C203	口径(復) 20.4 器高(残) 9.1	外)橙 内)褐灰 断)灰黄褐	良好	やや粗	外面：ナデ 内面：ナデ	
179	紡錘車	A区 SP-A2143	径(推) 5.0 孔径(推) 0.8 厚 1.1					
180	石器 石鏃	A区 SP-A249	長 3.5 幅 1.4 厚 0.6 重 2.65g					サヌカイト
181	石器 石鏃	A区 SP-A270	長 5.9 幅 1.55 厚 0.85 重 5.55g					サヌカイト
182	石器 石槍？	A区 SP-A290	長 6.6 幅 2.85 厚 1.0 重 25.25g					サヌカイト
183	弥生土器 甕	A区 SK-A302	口径(復) 19.0 器高(残) 9.9	外)暗褐 内)灰 断)灰	やや不良	密	外面：ハケメ 内面：板ナデ、指頭痕	
184	弥生土器 鉢？	A区 SK-A302	器高(残) 3.3	外)にぶい黄褐 内)にぶい赤褐 断)灰褐	良好	密	外面：ヘラ描沈線文 内面：ナデ	
185	石器 石鏃	A区 SK-A302	長 3.0 幅 1.9 厚 0.4 重 1.45g					サヌカイト
186	弥生土器 甕	A区 SK-A304	口径(復) 器高(残)	外)暗灰 内)灰 断)灰	良好	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：ナデ、指頭痕	
187	石器 石鏃	A区 SK-A304	長 2.2 幅 15.5 厚 4.1 重 1.25g					サヌカイト
188	弥生土器 壺	A区 SK-A308	口径(復) 12.8 器高(残) 3.8	外)にぶい赤褐 内)にぶい赤褐 断)黒	良好	密	外面：ヘラミガキ、ヘラ描直線文 内面：ヘラミガキ	
189	弥生土器	A区 SK-A308	器高(残) 3.2	外)灰白 内)にぶい褐 断)にぶい黄橙	やや不良	密	外面：ナデ、刺突文 内面：ナデ	外面に煤付着

挿図番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
190	弥生土器 蓋	A区 SK-A308	口径(復) 13.2 器高 3.65	外)にぶい褐 内)褐灰 断)褐灰	良好	密	外面：ナデ、端部付近に4条のヘラ描沈線文 内面：ナデ、指頭痕	頂部に孔
191	弥生土器 蓋	A区 SK-A308	器高(残) 1.5	外)灰 内)黒 断)黒	良好	やや粗	外面：ナデ、頂部付近に4条のヘラ描沈線文内面：ナデ	頂部に孔
192	弥生土器 甕	A区 SK-A308	口径(復) 27.2 器高(残) 6.5	外)灰黄 内)にぶい黄橙 断)灰黄褐	良好	密	外面：ナデ、3条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	外面に煤付着
193	石器 石鏃	A区 SK-A308	長 3.7 幅 2.1 厚 0.8 重 4.9g					サヌカイト
194	弥生土器 甕	A区 SK-A309	口径(復) 24.3 器高(残) 3.3	外)にぶい黄褐 内)黄灰 断)灰白	やや不良	密	外面：ナデ、ヘラ描沈線文、刺突文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
195	弥生土器	A区 SK-A316	器高(残) 4.8	外)にぶい黄褐 内)にぶい黄褐 断)暗灰黄	良好	密	外面：ナデ、ヘラ描沈線文、平行斜線文　内面：ナデ	
196	弥生土器	A区 SK-A319	器高(残) 5.5	外)黒褐 内)黄灰 断)黄灰	やや不良	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、刺突文　内面：ナデ	
197	弥生土器 壺	A区 SK-A319	器高(残) 3.9	外)にぶい橙 内)灰 断)灰	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、ヘラ描直線文、刺突文　内面：ヘラミガキ	
198	弥生土器 鉢	A区 SK-A319	口径(復) 20.2 底径 6.4 器高 12.45	外)灰白 内)灰白 断)灰白	良好	密	外面：ハケメ、指頭痕 内面：ナデ、指頭痕	体部下部から底部にかけて煤付着
199	石器 石鏃	A区 SK-A319	長(残) 2.35 幅 2.2 厚 0.5 重 2.75g					サヌカイト
200	土製品 紡錘車	A区 SK-A320	径(推) 4.0 孔径(推) 0.7 厚 0.55					
201	石器 石鏃	A区 SK-A320	長(残) 3.1 幅 1.7 厚 0.4 重 1.0g					サヌカイト
202	石器 石棒	A区 SK-A320	長 19.6 幅 3.4 厚 2.4 重					緑色片岩
203	弥生土器 壺	A区 SK-A330	口径(復) 13.9 器高(残) 5.55	外)橙 内)橙 断)にぶい橙	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯 内面：ヘラミガキ	口縁部に紐孔
204	弥生土器 壺	A区 SK-A330	口径(復) 16.8 器高(残) 7.8	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯に3条以上のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	口縁部に紐孔
205	弥生土器 壺	A区 SK-A330	口径(復) 15.6 器高(残) 6.7	外)にぶい黄橙 内)オリーブ黄 断)オリーブ黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	
206	弥生土器 ミニチュア土器	A区 SK-A330	底径 3.4 器高(残) 4.1	外)暗灰褐 内)黄灰 断)暗灰褐	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
207	弥生土器 甕	A区 SK-A330	口径(復) 16.6 器高(残) 8.4	外)灰オリーブ 内)黒褐 断)黄灰	やや不良	密	外面：ナデ、口縁端部に刻目文、頸部に3条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
208	弥生土器 甕	A区 SK-A330	口径(復) 24.4 器高(残) 7.0	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)にぶい黄橙	やや不良	密	外面：ナデ、頸部に7条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
209	弥生土器 甕	A区 SK-A330	口径(復) 14.6 器高(残) 7.7	外)にぶい褐 内)にぶい黄褐 断)灰	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	
210	石器 石鏃	A区 SK-A330	長 1.7 幅 1.5 厚 0.4 重 0.7g					サヌカイト
211	石器 石鏃	A区 SK-A330	長 2.2 幅 1.65 厚 0.35 重 0.9g					サヌカイト
212	石器 石鏃	A区 SK-A330	長 2.5 幅 1.6 厚 0.4 重 0.95g					サヌカイト
213	弥生土器 壺	B区 SK-B305	胴部径(復) 15.2 底径 6.6 器高(残) 13.7	外)にぶい黄橙 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、肩部に1条のヘラ描沈線文 内面：板ナデ、指頭痕	
214	弥生土器 壺	B区 SK-B305	器高(残) 6.35	外)灰 内)青灰 断)灰	良好	密	外面：細かいヘラミガキ、頸部に刻目突帯内面：細かいヘラミガキ	
215	弥生土器 壺	B区 SK-B305	器高(残) 6.0	外)にぶい黄橙 内)灰白 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ナデ、頸部に5条のヘラ描き沈線と突帯 内面：ヘラミガキ	
216	弥生土器 甕	B区 SK-B305	口径(復) 18.6 器高(残) 13.7	外)黒 内)暗灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：板ナデ、頸部に1条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：板ナデ	
217	弥生土器 壺	C区 SK-C301	口径(復) 13.0 器高(残) 4.4	外)灰黄褐 内)にぶい黄橙 断)にぶい黄橙	良好	やや粗	外面：ナデ、頸部に段 内面：磨滅のため調整不明	
218	弥生土器 甕	C区 SK-C301	器高(残) 2.45	外)黒褐 内)黒褐 断)黄灰	やや不良	密	外面：ナデ、6条以上のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
219	石製品 管玉	C区 SK-C301	長 1.4 孔径 0.25 直径 0.55 重 0.45g					
220	石器 石鏃	C区 SK-C304	長 1.8 幅 1.3 厚 0.35 重 0.6g					サヌカイト
221	石器 石鏃	C区 SK-C307	長 2.6 幅 1.65 厚 0.4 重 1.45g					サヌカイト
222	石器 石錐	C区 SK-C307	長(残) 3.89 幅(残) 1.69 厚 0.35 重 2.6g					サヌカイト

挿図番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
223	石器 掻器	C区 SK-C307	長(残) 3.3 幅 1.6 厚 0.5 重 3.1g					サヌカイト
224	石器 石鏃	C区 SK-C308	長 2.6 幅 1.9 厚 0.3 重 1.8g					サヌカイト
225	弥生土器 壺	C区 SK-C313	器高(残) 7.7	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)にぶい黄橙	良好	やや粗	外面：ナデ、ヨコとタテ方向の刻目突帯文　内面：ナデ	
226	弥生土器 壺	C区 SK-C316	器高(残) 4.7	外)褐灰 内)黄灰 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、刺突文　内面：ナデ	
227	弥生土器 甕	A区 SX-A301	口径(復) 15.0 器高(残) 5.2	外)黒褐 内)暗灰黄 断)暗灰黄	良好	密	外面：ナデ、口縁端部に刻目文、頸部に2条のヘラ描沈線文、刺突文 内面ナデ	
228	弥生土器 甕	A区 SX-A301	口径(復) 21.2 底径(復) 9.5 器高(残) 24.0	外)灰黄 内)灰黄 断)灰黄	やや不良	粗	外面：ナデ、頸部に3条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	体部に煤付着
229	弥生土器 壺	A区 SX-A302	器高(残) 11.7	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)灰	やや不良	密	外面：細かいヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文、刺突文 内面：細かいヘラミガキ	
230	土製品 紡錘車	A区 SX-A302	径 4.5 孔径 0.85 厚 1.2					丁寧に磨いている
231	弥生土器 壺	A区 SX-A303	器高(残) 7.9	外)にぶい黄褐 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ハケメ、ヘラ描沈線文、刺突文、刻目を施す貼付突帯 内面：ナデ	
232	石器 石鏃	A区 SX-A303	長 1.9 幅 1.5 厚 0.4 重 0.95g					サヌカイト
233	石器 石鏃	A区 SX-A303	長 2.3 幅 1.0 厚 0.4 重 0.55g					サヌカイト
234	弥生土器 蓋	A区 SP-A397	口径(復) 13.4 器高(残) 3.0	外)にぶい黄褐 内)暗灰黄 断) －	良好	やや粗	外面：ナデ、線刻文 内面：ナデ	頂部に孔
235	弥生土器 壺	C区 壁断面SP	器高(残) 5.0	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)灰・にぶい黄褐	良好	密	外面：ナデ、ヘラ描沈線文、刻目を施す貼付突帯 内面：ナデ	
236	弥生土器	A区 SP-A3233	底径(復) 5.5 器高(残) 2.9	外)灰黄 内)灰 断)橙	やや不良	密	外面：ハケメ 内面：ナデ	底部外面に木の葉圧痕
237	弥生土器 蓋	C区 SP-C315	口径(復) 11.0 器高 1.1	外)灰黄 内)浅黄 断)黄灰	良好	密	外面：ナデ、線刻文 内面：ヘラミガキ	頂部に孔
238	石器 太型蛤刃石斧	A区 SP-A304	長 9.2 幅 5.4 厚 3.4 重					粘板岩？ 両刃
239	石製品 皿	A区 SP-A3198	長(残) 9.9 幅(残) 8.4 厚 5.5 重 548.9g					砂岩
240	石製品 台石	A区 SP-A3264	長(残) 17.4 幅 6.6 厚 6.7 重 1468.1g					砂岩
241	石器 石鏃	A区 SP-A3190	長 3.8 幅 2.4 厚 0.55 重 5.45g					サヌカイト
242	弥生土器 甕	A区 SD-A301	口径(復) 17.7 器高(残) 9.4	外)にぶい黄橙 内)灰黄褐 断)暗灰褐	良好	密	外面：ヘラミガキ、頸部に段 内面：ヘラミガキ	
243	弥生土器 壺	A区 SD-A301	口径(復) 16.2 頸部径(復) 12.8 器高(残) 7.0	外)暗灰黄 内)灰黄褐 断)灰	良好	密	外面：ナデ、指頭痕、頸部に段 内面：ナデ、指頭痕	
244	弥生土器 壺	A区 SD-A301	口径(復) 器高(残)	外)暗灰黄 内)灰黄褐 断)灰	良好	密	外面：ナデ、頸部に段 内面：ナデ、指頭痕	
245	弥生土器 壺	A区 SD-A301	口径(復) 16.4 頸部径(復) 12.0 器高(残) 10.3	外)にぶい黄 内)にぶい黄 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯に1条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ、指頭痕	口縁部に紐孔、外面に煤付着、内外面に鉄分付着
246	弥生土器 壺	A区 SD-A301	口径(復) 14.4 器高(残) 7.1	外)暗灰黄 内)暗灰黄 断)黄灰	やや不良	やや粗	外面：ナデ、削出突帯に1条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
247	弥生土器 壺	A区 SD-A301	口径(復) 14.1 器高(残) 8.1	外)にぶい橙 内)灰黄 断)灰黄	不良	やや粗	外面：ヘラミガキ、3条のヘラ描沈線文 内面ナデ	口縁部に紐孔
248	弥生土器 甕	A区 SD-A301	口径(復) 19.6 器高(残) 10.65	外)暗灰 内)灰 断)灰	不良	密	外面：ハケメ、1条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	外面に煤付着
249	弥生土器 甕	A区 SD-A301	口径(復) 19.2 頸部径(復) 17.4 器高(残) 10.4	外)灰黄 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕	
250	弥生土器	A区 SD-A301	底径(復) 6.5 器高(残) 7.0	外)褐 内)にぶい黄褐 断)褐灰	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ、指頭痕	底部に穿孔
251	弥生土器 甕	A区 SD-A301	口径(復) 25.4 器高(残) 9.2	外)暗灰黄 内)黄灰 断)灰黄	良好	やや粗	外面：ナデ、3条のヘラ描沈線文と刺突文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
252	弥生土器	A区 SD-A301	底部 6.9 器高(残) 7.25	外)にぶい黄褐 内)にぶい黄褐 断)灰	やや不良	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：ナデ	外面一部に煤付着 底部に穿孔
253	弥生土器 蓋	A区 SD-A301	口径(復) 10.7 器高 2.6	外)灰黄 内)にぶい黄 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	頂部に孔
254	弥生土器 鉢	A区 SD-A301	口径 46.6 器高(残) 17.3	外)灰黄褐 内)灰黄褐 断)黄灰	やや不良	密	外面：ナデ、2条のヘラ描き沈線文 内面：ヘラミガキ、指頭痕	
255	弥生土器 鉢	A区 SD-A301	口径(復) 28.0 器高(残) 9.3	外)灰オリーブ 内)灰オリーブ 断)灰オリーブ	良好	密	外面：ヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ(磨滅著しい)	
256	土製品 紡錘車	A区 SD-A301	径(推) 4.5 孔径(推) 0.6 厚 0.75					

挿図番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
257	石器 石鏃	A区 SD-A301	長 2.0 幅 1.5 厚 0.35 重 0.75g					サヌカイト
258	石器 掻器	A区 SD-A301	長 5.2 幅 2.9 厚 0.13 重 19.8g					サヌカイト
259	弥生土器 壺	A区 SD-A302	口径(復) 15.3 底径(復) 8.4 器高(残) 34.5	外)暗灰黄 内)暗灰黄 断)暗灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、1条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	外面下半に黒斑
260	弥生土器 壺	A区 SD-A302	口径(復) 13.4 器高(残) 7.2	外)にぶい黄橙 内)灰黄 断)灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、3条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	口縁部に紐孔
261	弥生土器 甕	A区 SD-A302	口径(復) 18.0 頸部径(復) 16.2 器高(残) 15.4	外)灰黄褐 内)にぶい橙 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕	口縁部外面から体部外面上半にかけて煤付着
262	弥生土器 甕	A区 SD-A302	口径(復) 24.6 器高(残) 22.5	外)灰黄褐 内)灰黄褐 断)灰オリーブ	良好	密	外面：ハケメ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	体部外面に黒斑、口縁ぶ内面から体部内面に煤付着
263	弥生土器 甕	A区 SD-A302	口径(復) 26.0 頸部径(復) 23.0 器高(残) 9.9	外)暗灰黄 内)暗灰黄 断)黄灰	良好	密	外面：板ナデ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	口縁部から体部下半にかけて煤付着
264	弥生土器 甕	A区 SD-A302	口径(復) 19.3 器高(残) 7.2	外)黄灰 内)黄灰 断)黄灰	良好	密	外面：ハケメ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
265	弥生土器 甕	A区 SD-A302	口径(復) 23.2 頸部径(復) 20.8 器高(残) 11.1	外)黄褐 内)暗灰黄 断)暗灰黄	良好	密	外面：ハケメ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	頸部と体部内面上半に煤付着
266	弥生土器 甕	A区 SD-A302	口径(復) 14.4 器高(残) 6.7	外)暗灰褐 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ハケメ、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
267	弥生土器	A区 SD-A302	底径 9.4 器高(残) 5.4	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)灰黄褐	良好	密	外面：ハケメ 内面：ナデ	底部に穿孔
268	弥生土器 蓋	A区 SD-A302	口径(復) 39.0 器高(残) 10.0	外)灰黄褐 内)にぶい黄橙 断) －	良好	密	外面：ハケメ 内面：ナデ	
269	石器 石錐	A区 SD-A302	長 5.4 幅 3.5 厚 0.6 重 5.4g					サヌカイト
270	弥生土器 壺	A区 SD-A303	口径(復) 19.3 器高(残) 6.4	外)にぶい橙 内)にぶい黄橙 断)灰	不良	やや粗	外面：ナデ、指頭痕、頸部に段 内面：ヘラミガキ	
271	弥生土器 壺	A区 SD-A303	口径(復) 14.5 器高(残) 5.3	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄 断)にぶい黄橙	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯に2条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ、指頭痕	
272	弥生土器 壺	A区 SD-A303	口径(復) 18.0 頸部径(復) 13.2 器高(残) 14.4	外)灰黄 内)灰黄 断)黄灰	良好	密	外面：ナデ、ヘラミガキ、削出突帯 内面：ナデ、指頭痕	口縁外面一部に鉄分付着
273	弥生土器 壺	A区 SD-A303	口径(復) 13.4 頸部径(復) 9.5 器高(残) 7.0	外)にぶい赤褐 内)にぶい赤褐 断)黄灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯に1条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	口縁部に紐痕
274	弥生土器 壺	A区 SD-A303	口径 11.6 器高 21.5	外)にぶい黄橙 内)橙 断) －	良好	密	外面：ナデ、頸部に3条・肩部に4条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	口縁に1ヶ所紐孔、体部中半～下半にかけて黒斑
275	弥生土器 甕	A区 SD-A303	口径(復) 17.1 器高(残) 7.5	外)暗灰褐 内)暗灰褐 断)灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	
276	弥生土器 壺	A区 SD-A303	器高(残) 4.5	外)にぶい橙 内)黄灰 断)灰黄	良好	やや粗	外面：ナデ、4条のヘラ描沈線文、連弧文　内面：ナデ	
277	弥生土器 鉢	A区 SD-A303	口径 8.7 器高 9.3	外)にぶい黄褐 内)にぶい褐 断)オリーブ褐	良好	やや粗	外面：剥離著しく調整不明 内面：板ナデ	
278	弥生土器 甕	A区 SD-A303	口径(復) 20.9 器高(残) 15.0	外)暗灰黄 内)黄褐 断)黄灰	良好	やや粗	外面：ナデ、3条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕	体部外面全体に煤付着
279	弥生土器 甕	A区 SD-A303	口径(復) 21.8 器高(残) 23.6	外)黒褐 内)暗灰黄 断)灰オリーブ	良好	密	外面：ナデ、3条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ヘラミガキ、指頭痕	
280	弥生土器 蓋	A区 SD-A303	口径 12.5 器高 3.4	外)灰黄 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	紐孔2ヶ所
281	弥生土器 蓋	A区 SD-A303	口径 11.2 器高 3.2	外)にぶい黄 内)にぶい黄 断)にぶい黄	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	頂部に孔
282	弥生土器 蓋	A区 SD-A303	口径(復) 11.8 器高 3.2	外)黄褐 内)黄褐 断) －	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	内外面に鉄分付着
283	弥生土器 蓋	A区 SD-A303	口径(復) 11.4 器高 3.4	外)灰オリーブ 内)灰オリーブ 断) －	良好	密	外面：ナデ、ヘラミガキ、指頭痕 内面：ナデ、指頭痕	
284	石器 石棒？	A区 SD-A303	長(残) 14.0 幅 1.5 厚 1.1 重 28.7g					粘板岩 磨製
285	石器 石鏃	A区 SD-A303	長 1.2 幅 0.8 厚 0.23 重 0.15g					サヌカイト
286	石器 石鏃	A区 SD-A303	長 1.8 幅 1.45 厚 0.4 重 0.75g					サヌカイト
287	石器 石鏃	A区 SD-A303	長 3.3 幅 1.5 厚 0.45 重 1.85g					サヌカイト
288	弥生土器 壺	B区 SD-B302	口径(復) 32.5 器高(残) 6.4	外)暗灰 内)灰オリーブ 断)灰	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、頸部に段 内面：ヘラミガキ	
289	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 33.5 器高(残) 6.7	外)にぶい橙 内)にぶい橙 断)にぶい褐	良好	密	外面：ヘラミガキ、頸部に段、口縁端部に沈線 内面：ヘラミガキ	
290	弥生土器 壺	B区 SD-B302	口径(復) 33.6 器高(残) 4.0	外)暗青灰 内)黄褐 断)黄褐	やや不良	やや粗	外面：ナデ、頸部に段 内面：ナデ	

挿図番号	器種	出土地点	法量（cm）	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
291	弥生土器 壺	B区 SD-B302	口径(復) 14.8 頸部径(復) 11.0 器高(残) 16.6	外)にぶい黄橙 内)灰オリーブ 断)灰オリーブ	良好	密	外面：ヘラミガキ、2、3条のヘラ描沈線文内面：ヘラミガキ	外面に黒斑、内外面に鉄分付着
292	弥生土器 壺	B区 SD-B302	胴部径(復) 10.0 底径(復) 5.5 器高(残) 11.3	外)黄灰 内)黄灰 断)黄灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯、胴部に段 内面：ナデ	底部に籾痕、外面に黒斑
293	弥生土器 壺	B区 SD-B302	口径(復) 15.6 器高(残) 4.35	外)灰黄 内)灰黄褐 断)灰	やや不良	やや粗	外面：ヘラミガキ、頸部に段 内面：ヘラミガキ	
294	弥生土器 壺	B区 SD-B302	口径(復) 13.1 器高(残) 5.2	外)にぶい褐 内)にぶい褐 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯 内面：ヘラミガキ	口縁部に紐孔
295	弥生土器 壺	B区 SD-B302	口径(復) 14.5 器高(残) 8.2	外)暗灰黄 内)暗灰黄 断)暗灰黄	良好	やや粗	外面：ヘラミガキ、削出突帯に1条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
296	弥生土器 壺	B区 SD-B302	口径(復) 13.7 器高(残) 5.1	外)黒褐 内)灰 断)灰オリーブ	やや不良	密	外面：ヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	
297	弥生土器 壺	B区 SD-B302	器高(残) 2.7	外)にぶい褐 内)灰黄 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ナデ、3条のヘラ描沈線文、竹管文 内面：ナデ	
298	弥生土器 壺	B区 SD-B302	器高(残) 3.7	外)橙 内)にぶい橙 断)灰黄褐	良好	密	外面：ハケメ、ヘラ描沈線文 内面：ナデ	
299	弥生土器 壺	B区 SD-B302	器高(残) 4.0	外)暗灰黄 内)灰 断)灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、ヘラ描沈線文、平行斜線文 内面：ナデ	
300	弥生土器 壺	B区 SD-B302	器高(残) 2.8	外)黄灰 内)灰 断)灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、ヘラ描沈線文、平行斜線文 内面：ナデ	
301	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 23.0 器高(残) 12.5	外)黄灰 内)にぶい黄 断)にぶい橙	やや不良	やや粗	外面：ナデ、4条のヘラ描沈線文、平行斜線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
302	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 27.2 器高(残) 9.3	外)灰黄 内)黄灰 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ、4条のヘラ描沈線文、平行斜線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
303	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 22.7 器高(残) 26.2	外)橙 内)にぶい褐 断)橙	良好	密	外面：ナデ、4条のヘラ描沈線文、刺突文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
304	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 20.0 器高(残) 11.7	外)灰黄褐 内)黄灰 断)黄灰	良好	密	外面：ハケメ、1条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	全体に煤付着
305	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 25.0 器高(残) 8.2	外)黄灰 内)暗灰黄 断)灰オリーブ	良好	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
306	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 30.6 器高(残) 21.4	外)暗灰黄 内)暗灰黄 断)暗灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	内面に鉄分付着
307	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 29.0 器高(残) 34.9	外)にぶい橙 内)灰褐 断) －	やや不良	密	外面：ハケメ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	底部に穿孔、籾痕
308	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 24.2 器高(残) 23.2	外)灰オリーブ 内)灰黄 断)灰黄	良好	やや粗	外面：ハケメ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕	底部に穿孔、煤付着
309	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 29.2 器高(残) 34.4	外)オリーブ黄 内)にぶい黄 断)灰	良好	密	外面：ハケメ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ヘラミガキ、指頭痕	底部内面に炭化物付着
310	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 22.6 胴部径(復) 20.75 底径(復) 7.7 器高(残) 25.9	外)灰白 内)灰オリーブ 断)灰白	良好	密	外面：ヘラミガキ、3条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ヘラミガキ、指頭痕	体部に鉄分付着
311	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 30.0 器高(残) 11.0	外)黒 内)黄褐 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	外面全体に煤付着
312	弥生土器 甕	B区 SD-B302	口径(復) 15.6 底径(復) 6.1 器高(残) 14.4	外)黄灰 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ 内面：ハケメ、指頭痕	内外面に鉄分付着
313	土製円板	B区 SD-B302	最大径 8.8 厚(残) 1.3	外)灰黄 内)灰黄 断)黄灰	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	弥生土器壺か甕の転用(打ち欠いて円盤化)、底部に木の葉圧痕
314	弥生土器	B区 SD-B302	底径 7.0 器高(残) 2.3	外)暗灰黄 内)灰黄 断)灰	良好	密	外面：ナデ 内面：ナデ	底部外面に木の葉圧痕
315	弥生土器 高杯？	B区 SD-B302	底径 7.6 器高(残) 4.7	外)灰黄 内)黄灰 断)灰	やや不良	やや粗	外面：ヘラミガキ、指頭痕 内面：ナデ、指頭痕	甕蓋？
316	弥生土器 鉢	B区 SD-B302	口径(復) 31.7 器高(残) 9.7	外)灰黄褐 内)にぶい褐 断)灰黄褐	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	外面に黒斑
317	弥生土器 鉢	B区 SD-B302	口径(復) 22.8 器高(残) 6.5	外)明赤褐 内)にぶい褐 断)明黄褐	やや不良	密	外面：ナデ、口縁部に段？ 内面：剥離のため調整不明	外面に黒斑
318	弥生土器 不明	B区 SD-B302	底径(復) 19.5 器高(残) 4.6	外)青灰 内)灰黄 断)にぶい黄	良好	密	外面：ナデ、指頭痕、タテとヨコ方向の2条のヘラ描沈線文 内面：ナデ、指頭痕	
319	弥生土器 鉢	B区 SD-B302	口径(復) 8.0 底径(復) 5.2 器高(残) 5.6	外)にぶい黄 内)にぶい黄 断)にぶい黄	良好	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：ナデ、細かいヘラミガキ	片口、外面に黒斑
320	弥生土器 蓋	B区 SD-B302	頂部(径) 6.4 口径(復) 14.4 器高(残) 7.1	外)にぶい黄褐 内)黄褐 断) －	良好	やや粗	外面：ヘラミガキ、指頭痕、1条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ、指頭痕	
321	土製品 紡錘車	B区 SD-B302	径 4.7 孔径 0.8 厚 1.3					丁寧に磨いている
322	石器 石鏃	B区 SD-B302	長 2.1 幅 1.6 厚 0.4 重 1.1g					サヌカイト
323	石器 石鏃	B区 SD-B302	長 1.3 幅 1.6 厚 0.4 重 0.75g					サヌカイト
324	石器 石鏃	B区 SD-B302	長 1.7 幅 1.8 厚 0.4 重 1.0g					サヌカイト
325	石器 石鏃	B区 SD-B302	長 2.8 幅 1.7 厚 0.55 重 1.7g					サヌカイト

挿図番号	器種	出土地点	法量(cm)	色調	焼成	胎土	技法の特徴	備考
326	石器 石錐	B区 SD-B302	長 2.8 幅 1.2 厚 0.4 重 1.05g					サヌカイト
327	石器 不明	B区 SD-B302	長(残) 5.05 幅 2.5 厚 0.8 重 16.5g					粘板岩 磨製
328	木製品	B区 SD-B302	長 65.0 幅 19.0 厚 6.5					鍬未製品
329	木製品	B区 SD-B302	長 29.6 幅 16.0 厚 10.0					板材
330	木製品	B区 SD-B302	長 38.5 幅 36.4 厚 6.15					鼠返し未製品？
331	弥生土器 壺	C区 SD-C301	口径(復) 26.2 器高(残) 8.0	外)にぶい黄 内)にぶい黄 断)灰黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、削出突帯に1条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	
332	弥生土器 甕	C区 SD-C301	口径(復) 14.5 器高(残) 4.8	外)灰黄 内)灰黄 断)灰黄	良好	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
333	弥生土器 甕	C区 SD-C301	口径(復) 19.4 底径(復) 7.4 器高(残) 21.1	外)黒褐 内)灰黄褐 断)灰黄褐	不良	やや粗	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	体部内面上半に黒斑、内外面とも体部上半に煤付着
334	弥生土器 甕	C区 SD-C301	口径(復) 22.8 胴部径(復) 21.2 底径(復) 7.0 器高(残) 22.2	外)灰黄褐 内)黄褐 断)黄褐	良好	密	外面：ナデ、6条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕、接合痕	
335	弥生土器 壺	C区 SD-C302	口径(復) 16.0 頸部径 11.8 器高(残) 8.9	外)黄褐 内)浅黄 断)浅黄	良好	密	外面：細かいヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
336	弥生土器 壺	C区 SD-C302	口径(復) 16.2 器高(残) 6.0	外)にぶい黄 内)オリーブ黄 断)灰オリーブ	良好	密	外面：ヘラミガキ、2条のヘラ描沈線文 内面：ヘラミガキ	
337	弥生土器 壺	C区 SD-C302	口径(復) 21.0 頸部径(復) 12.0 器高(残) 8.8	外)にぶい黄 内)灰黄 断)にぶい黄	良好	密	外面：ヘラミガキ、口縁短部に1条の沈線 内面：ヘラミガキ、指頭痕	
338	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 24.6 器高(残) 7.5	外)暗灰褐 内)にぶい褐 断)暗灰黄	不良	密	外面：ナデ、3条のヘラ描沈線文2帯、平行斜線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
339	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径 22.6 器高(残) 11.9	外)黄灰 内)褐灰 断)灰黄	良好	やや粗	外面：ハケメ、1条のヘラ描沈線文 内面：ナデ	
340	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 21.9 器高(残) 18.9	外)にぶい黄橙 内)にぶい黄橙 断)にぶい黄橙	良好	やや粗	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、竹管文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
341	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 22.3 底径(復) 7.4 器高(残) 24.3	外)灰黄褐 内)にぶい黄 断)にぶい黄	良好	やや粗	外面：ナデ、3条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕	
342	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 25.8 器高(残) 12.8	外)にぶい黄 内)浅黄 断)にぶい黄	良好	密	外面：ナデ、2条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
343	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 35.4 器高(残) 24.1	外)にぶい橙 内)にぶい黄橙 断)にぶい黄橙	良好	密	外面：ナデ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕	
344	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 27.8 頸部径 26.0 器高(残) 18.0	外)褐灰 内)褐灰 断)灰黄褐	良好	密	外面：ナデ、4条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ、指頭痕	体部外面全体に煤付着
345	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 22.6 器高(残) 4.05	外)にぶい黄橙 内)灰白 断)灰白	やや不良	やや粗	外面：ナデ、1条のヘラ描沈線文、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	
346	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 25.0 器高(残) 8.2	外)黄褐 内)暗灰褐 断)黄褐	良好	密	外面：ナデ、口縁端部に刻目文 内面：ナデ	外面に黒斑
347	弥生土器 甕	C区 SD-C302	口径(復) 27.0 頸部径(復) 24.4 器高(残) 10.8	外)橙 内)黄灰 断)灰	良好	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：ナデ、指頭痕	口縁から体部下半に煤付着
348	弥生土器 甕	C区 SD-C302	器高(残) 4.9	外)灰黄褐 内)褐灰 断)にぶい黄橙	やや不良	密	外面：ナデ、8条のヘラ描沈線文 内面：ナデ、指頭痕	
349	弥生土器	C区 SD-C302	底径 7.2 器高(残) 5.6	外)橙 内)にぶい黄 断)黄灰	やや不良	密	外面：ナデ、指頭痕 内面：ナデ、指頭痕	底部に穿孔
350	弥生土器 鉢	C区 SD-C302	口径(復) 25.0 底径(復) 9.1 器高(残) 16.65	外)浅黄橙 内)浅黄橙 断)褐灰	良好	密	外面：ヘラミガキ、指頭痕 内面：ヘラミガキ、指頭痕	底部に黒斑、口縁から胴部にかけて煤付着
351	弥生土器 蓋	C区 SD-C302	口径(復) 10.5 器高 3.8	外)黄灰 内)黒褐 断) －	良好	密	外面：ヘラミガキ、6条の装飾突帯 内面：ナデ	頂部に孔
352	弥生土器 蓋	C区 SD-C302	口径(復) 11.9 器高 3.05	外)暗灰黄 内)にぶい黄 断)にぶい黄	良好	密	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	頂部に孔、内面に黒斑
353	弥生土器 蓋	C区 SD-C302	口径(復) 12.0 器高(残) 1.15	外)青灰 内)灰白 断)浅黄	やや不良	密	外面：ナデ、端部に2条の沈線 内面：ナデ	
354	弥生土器 蓋	C区 SD-C302	底径(復) 12.0 器高(残) 2.6	外)にぶい橙 内)にぶい橙 断)にぶい橙	やや不良	やや粗	外面：ナデ 内面：ナデ	端部に紐孔
355	石器 石鏃	C区 SD-C302	長 2.9 幅 1.65 厚 0.6 重 1.95g					サヌカイト
356	石器 石錐	C区 SD-C302	長(残) 2.4 幅 2.3 厚 0.65 重 2.65g					サヌカイト

写　真　図　版

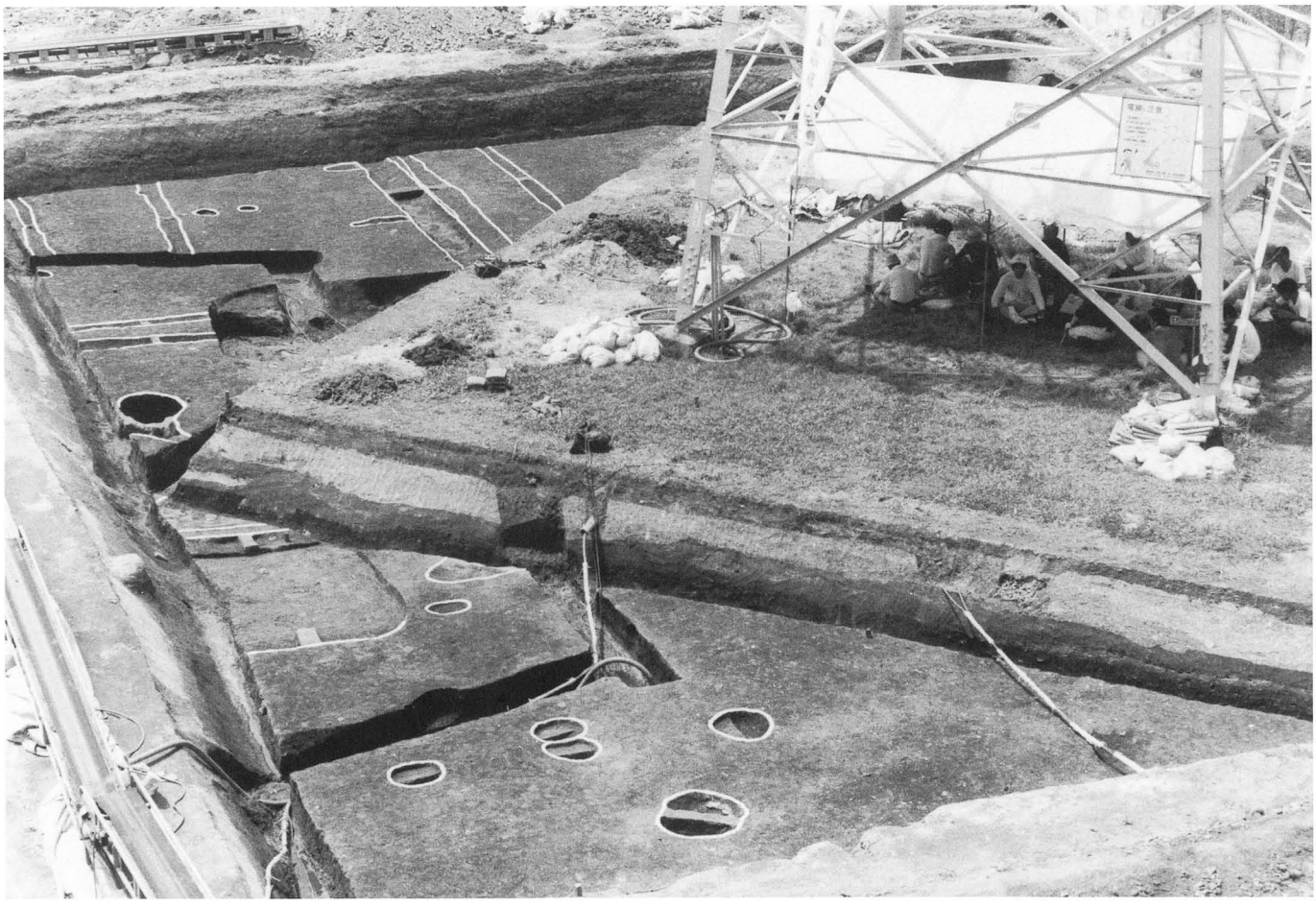
図版1　遺構(1)

1．第１遺構面全景（南より）

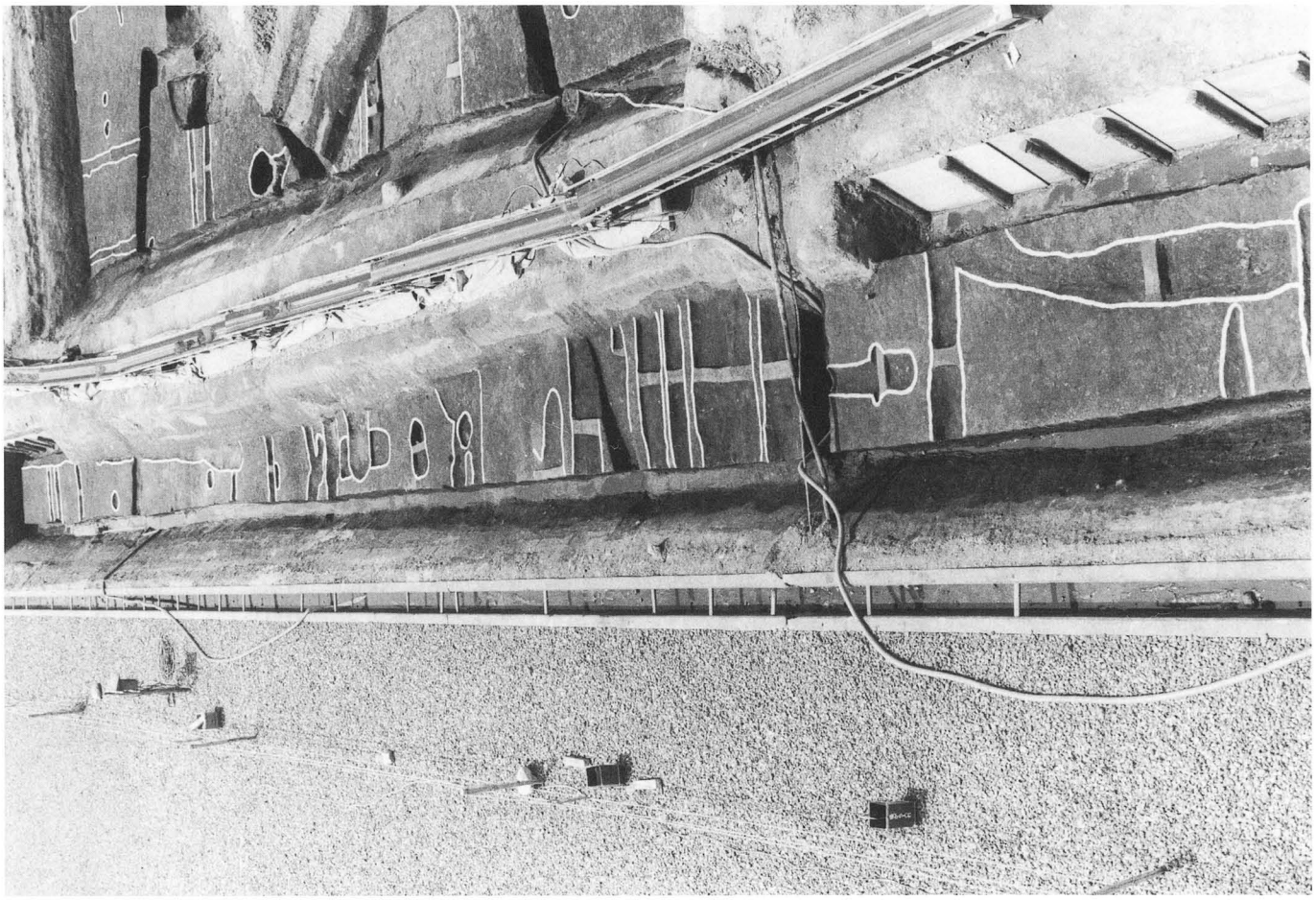
2．第１遺構面全景（西より）

図版2　遺構(2)

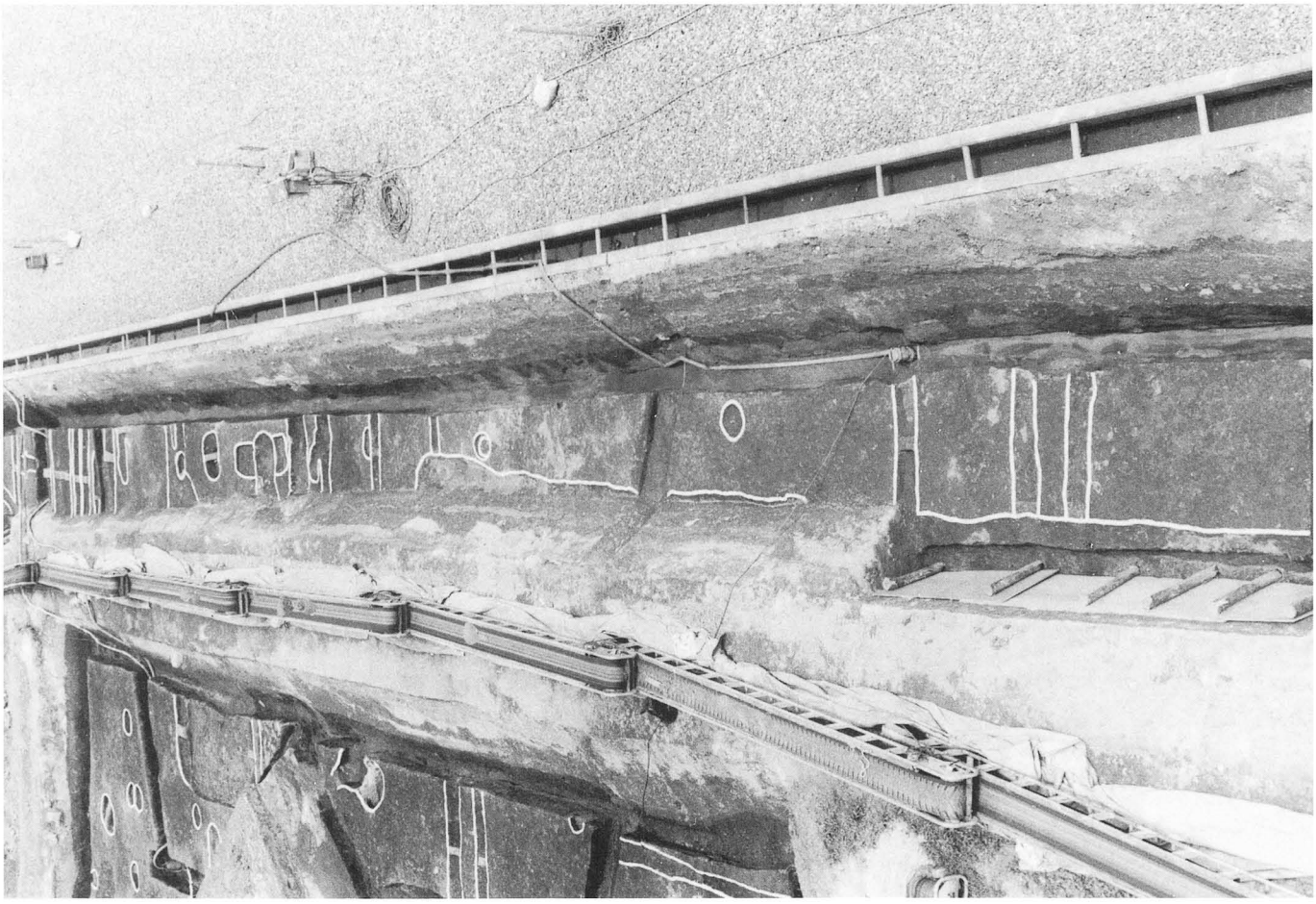
1．第１遺構面全景（東より）



2．第１遺構面・Ａ区（東より）



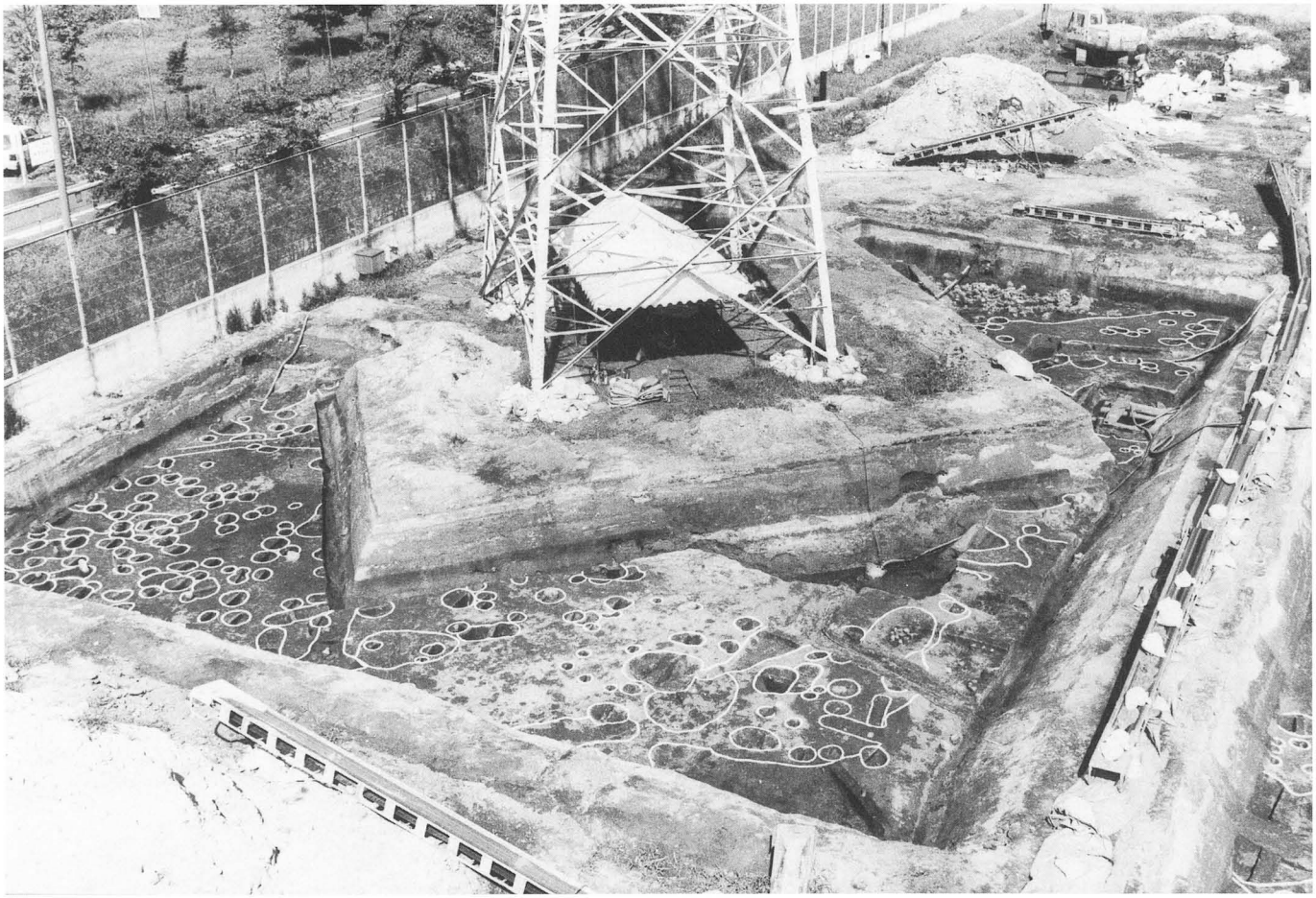
1．第１遺構面・Ｃ区（東より）



2．第１遺構面・Ｃ区（西より）

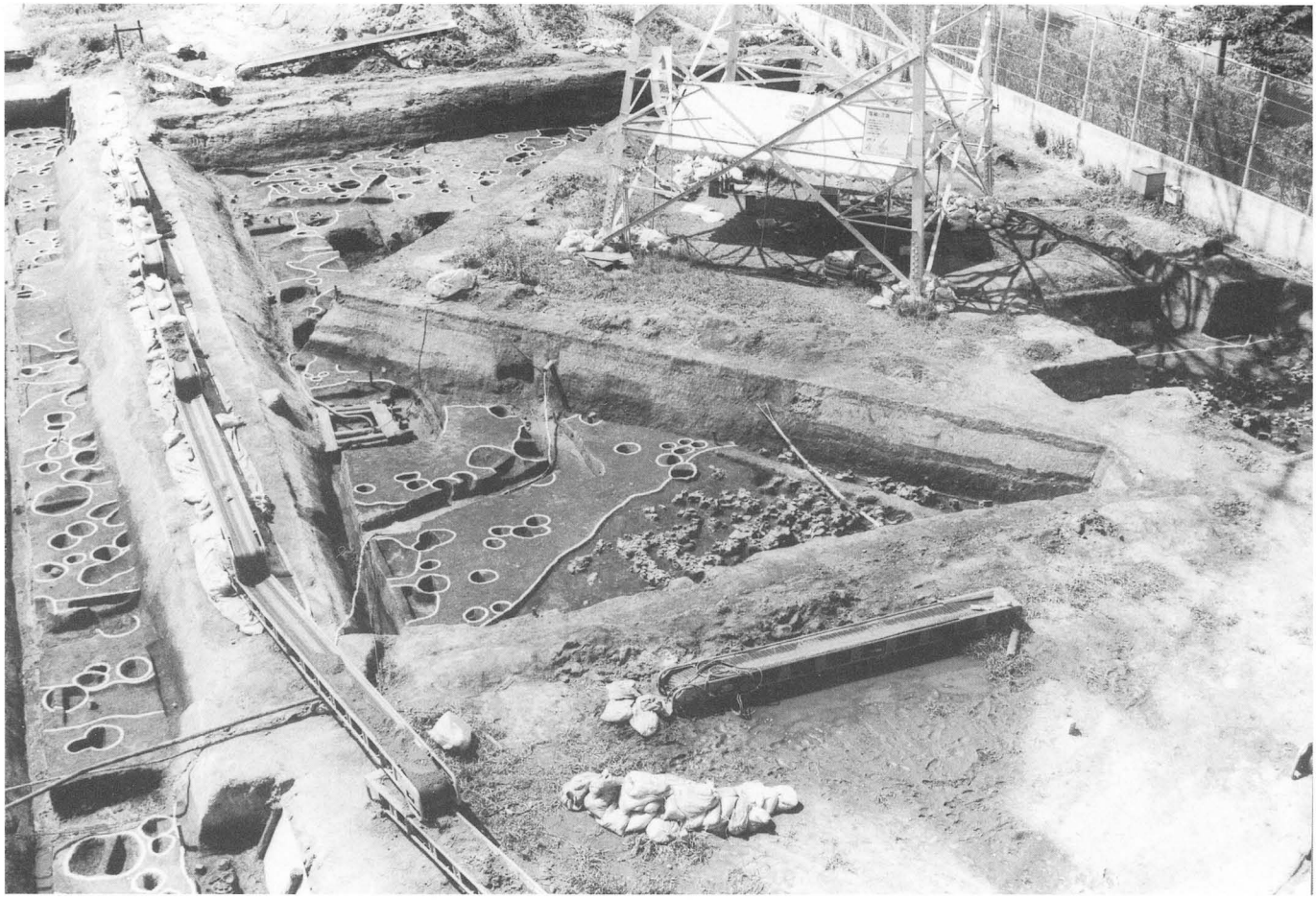
図版4　遺構(4)

1．第２遺構面全景（南より）

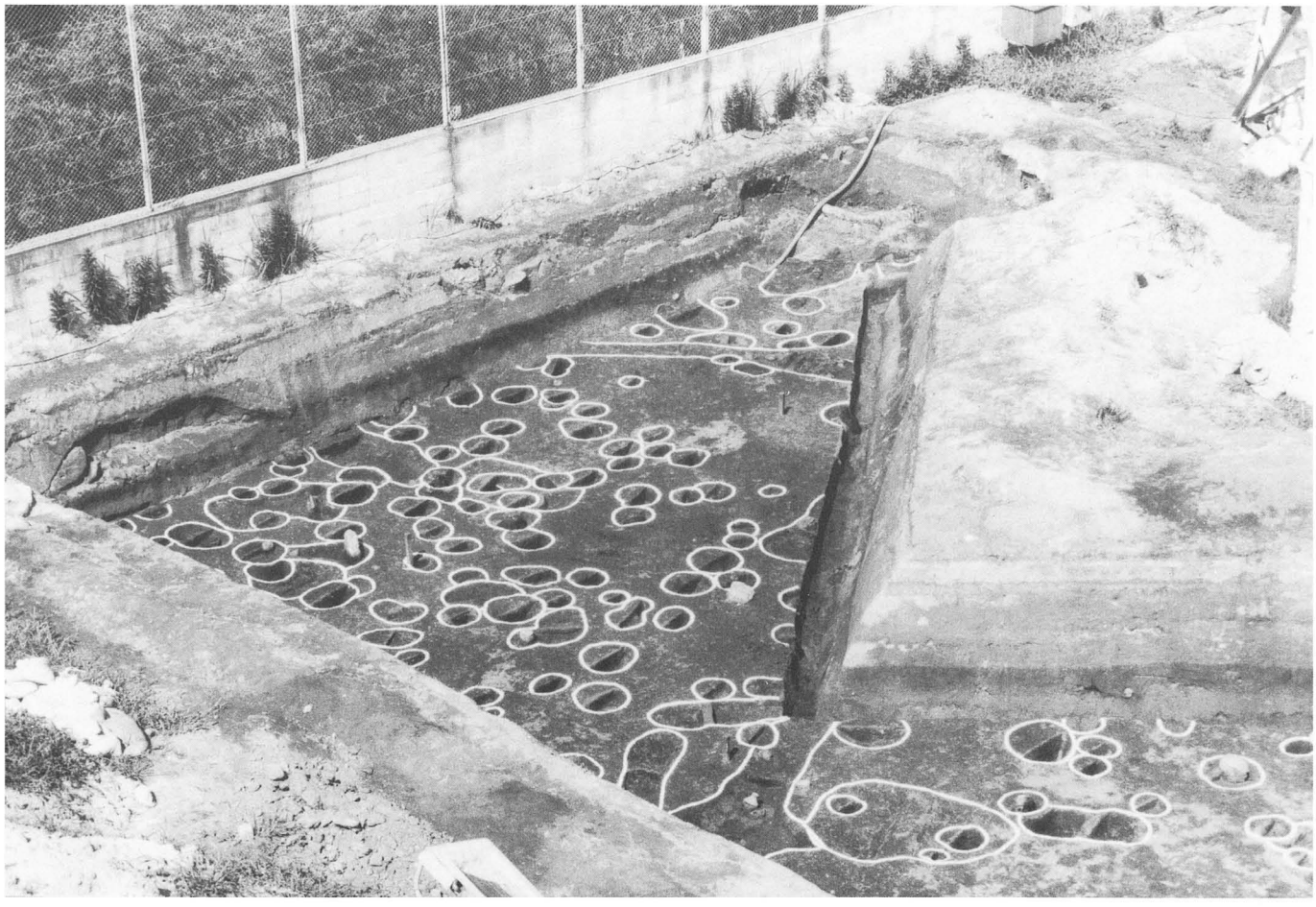


2．第２遺構面全景（西より）

図版5　遺構(5)

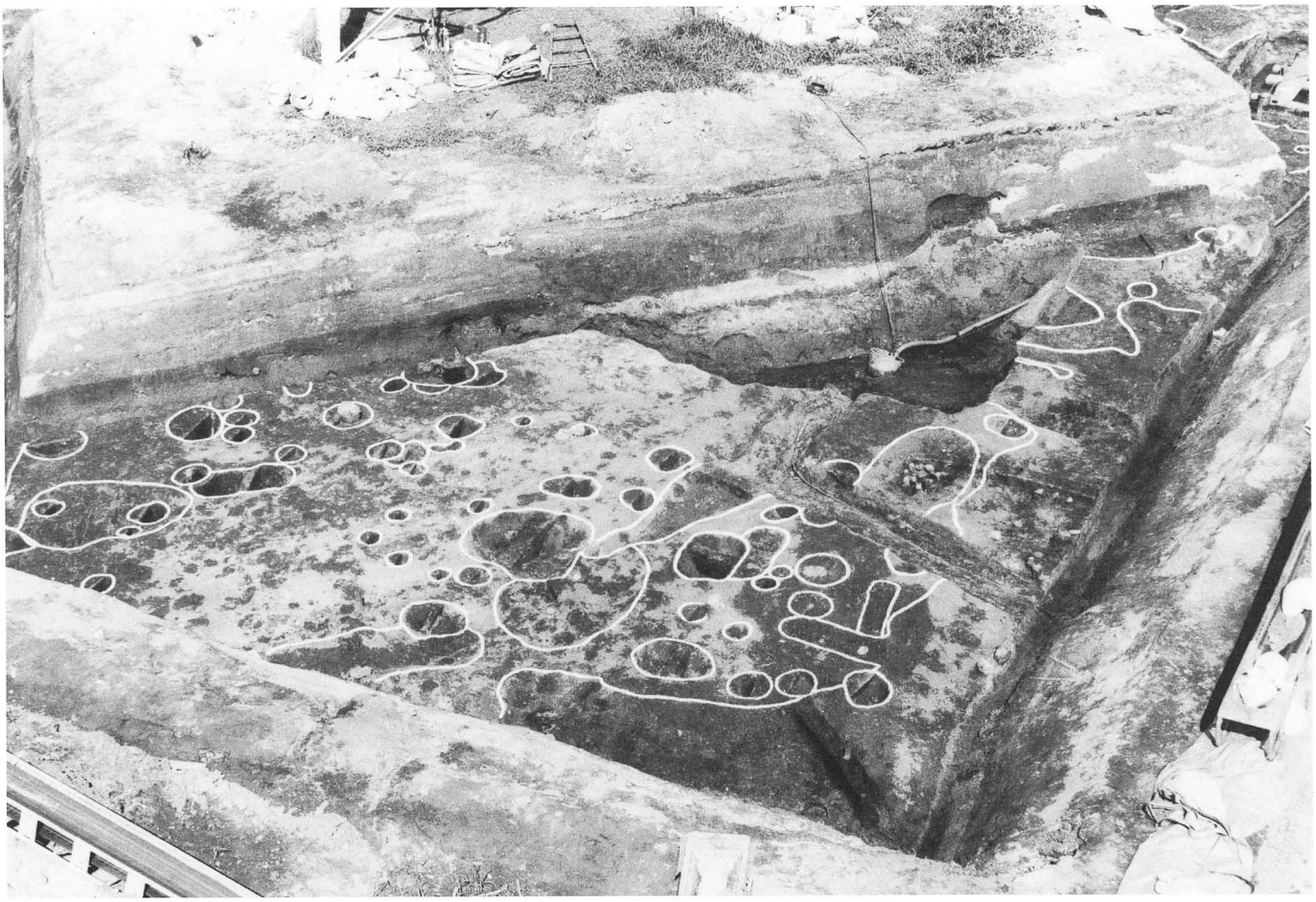


1．第２遺構面全景（東より）

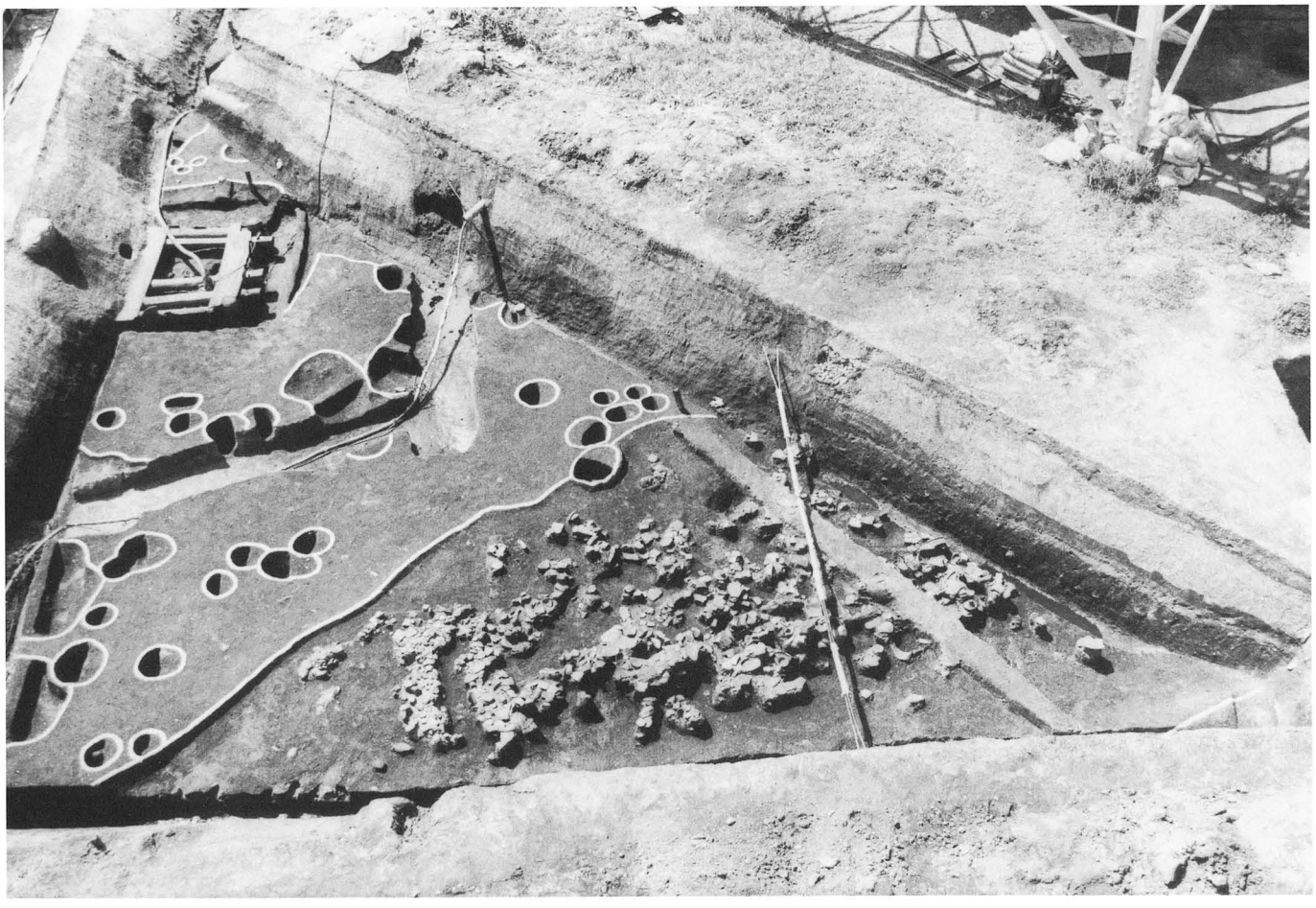


2．第２遺構面・Ａ区北西部（南西より）

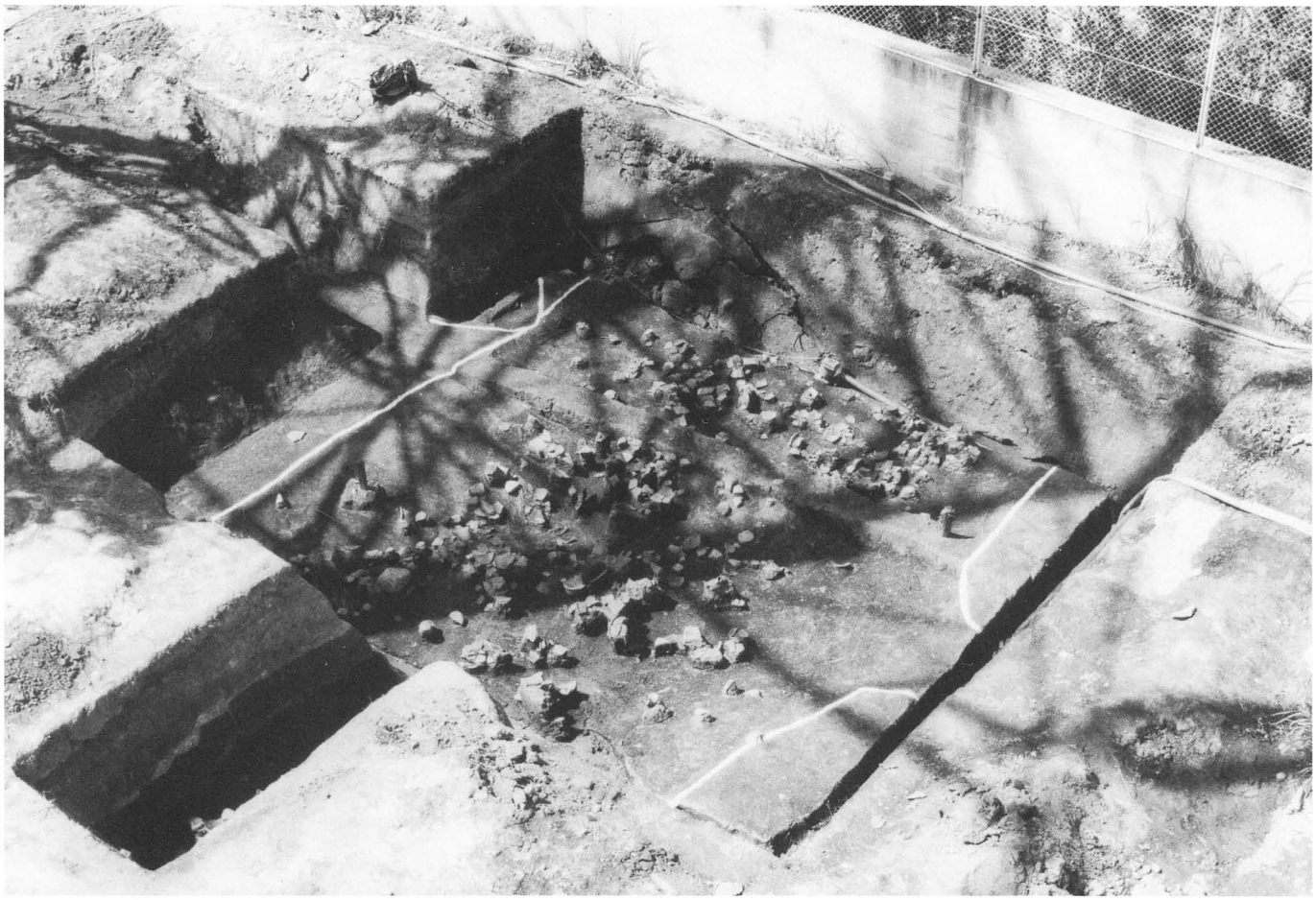
図版6　遺構(6)



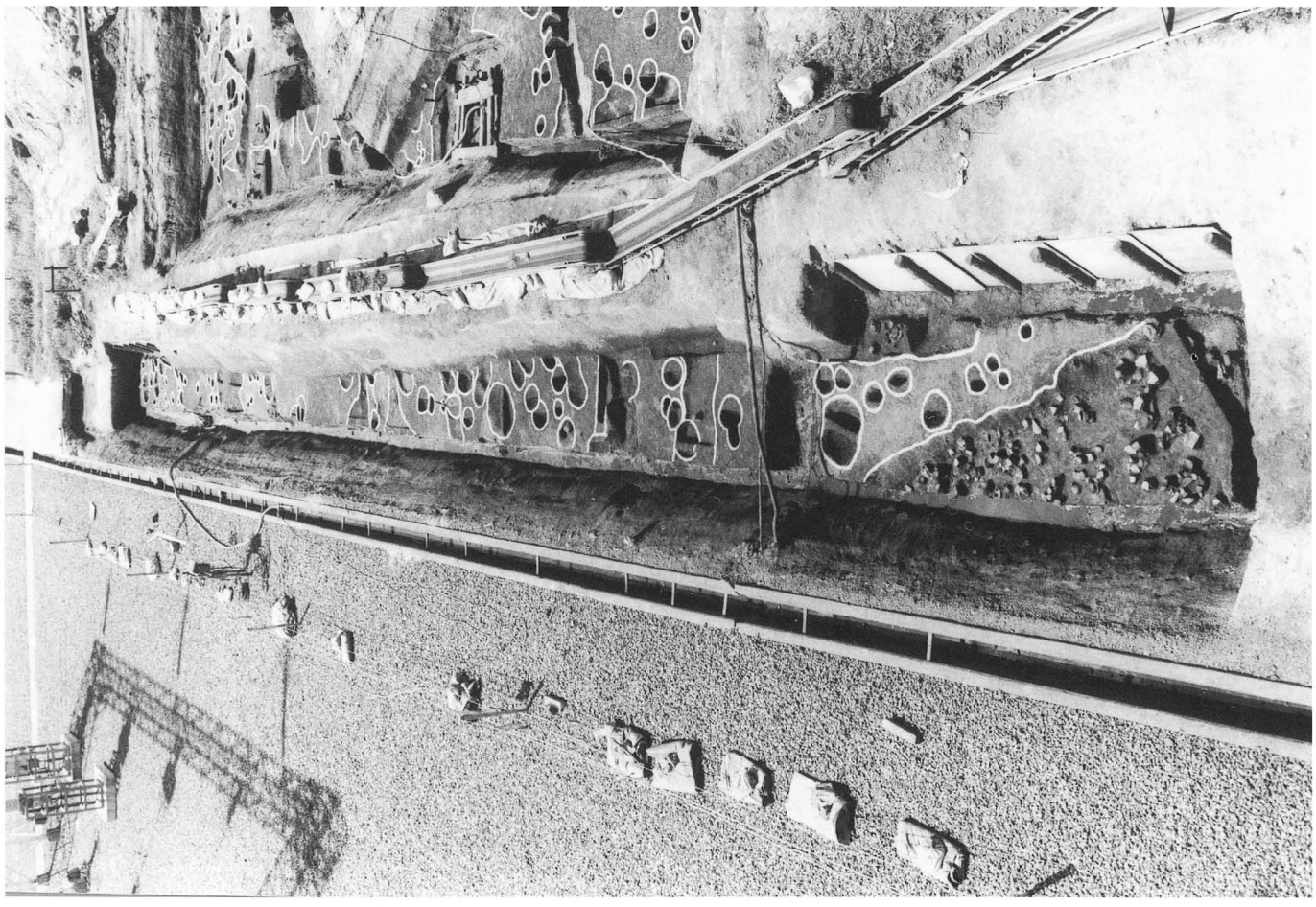
1．第２遺構面・Ａ区南西部（西より）



2．第２遺構面・Ａ区南東部（東より）

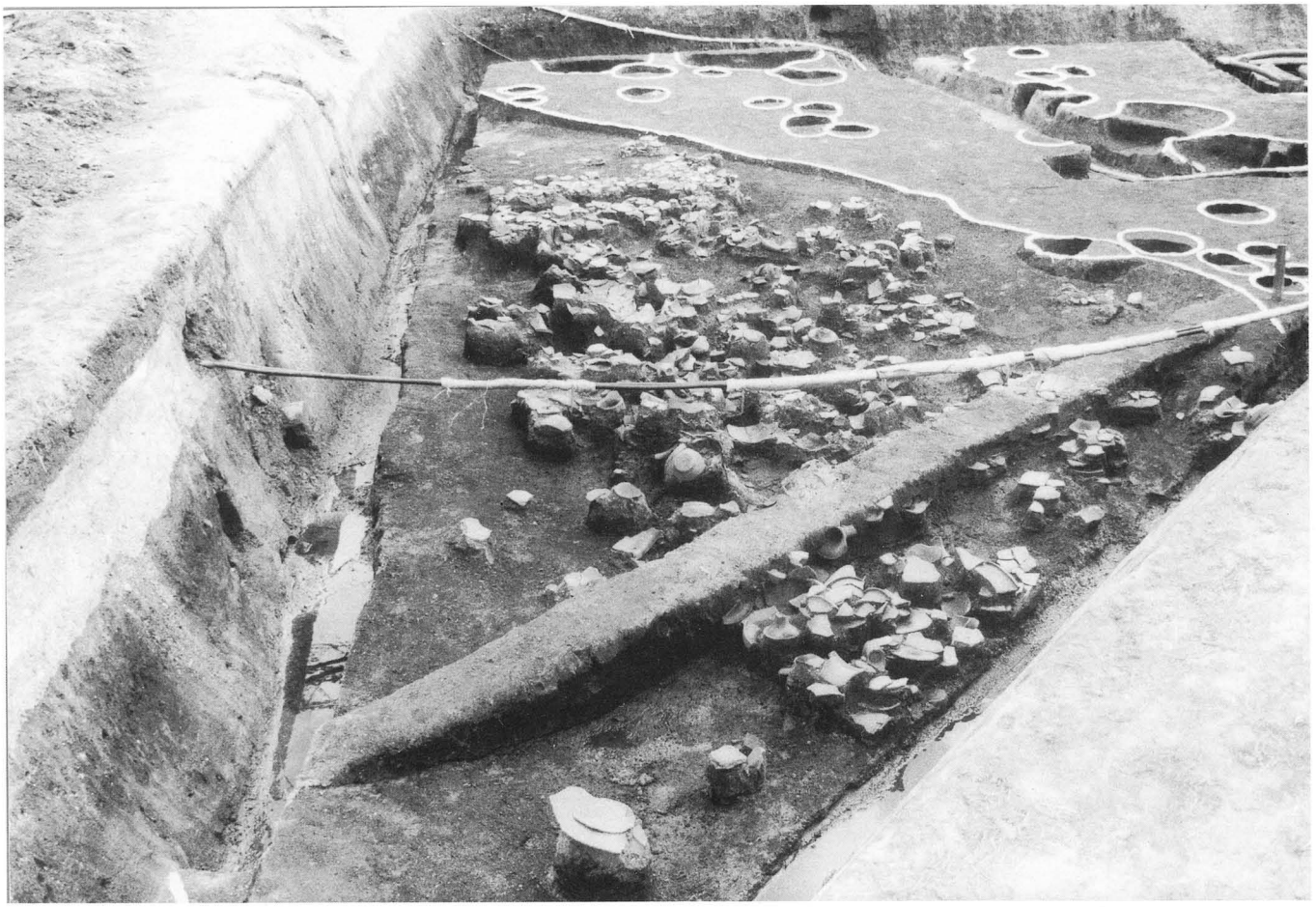


1．第２遺構面・Ｂ区（南東より）



2．第２遺構面・Ｃ区（東より）

図版8　遺構(8)



1．ＳＤ－Ａ201（北より）

2．ＳＤ－Ａ201遺物出土状況①

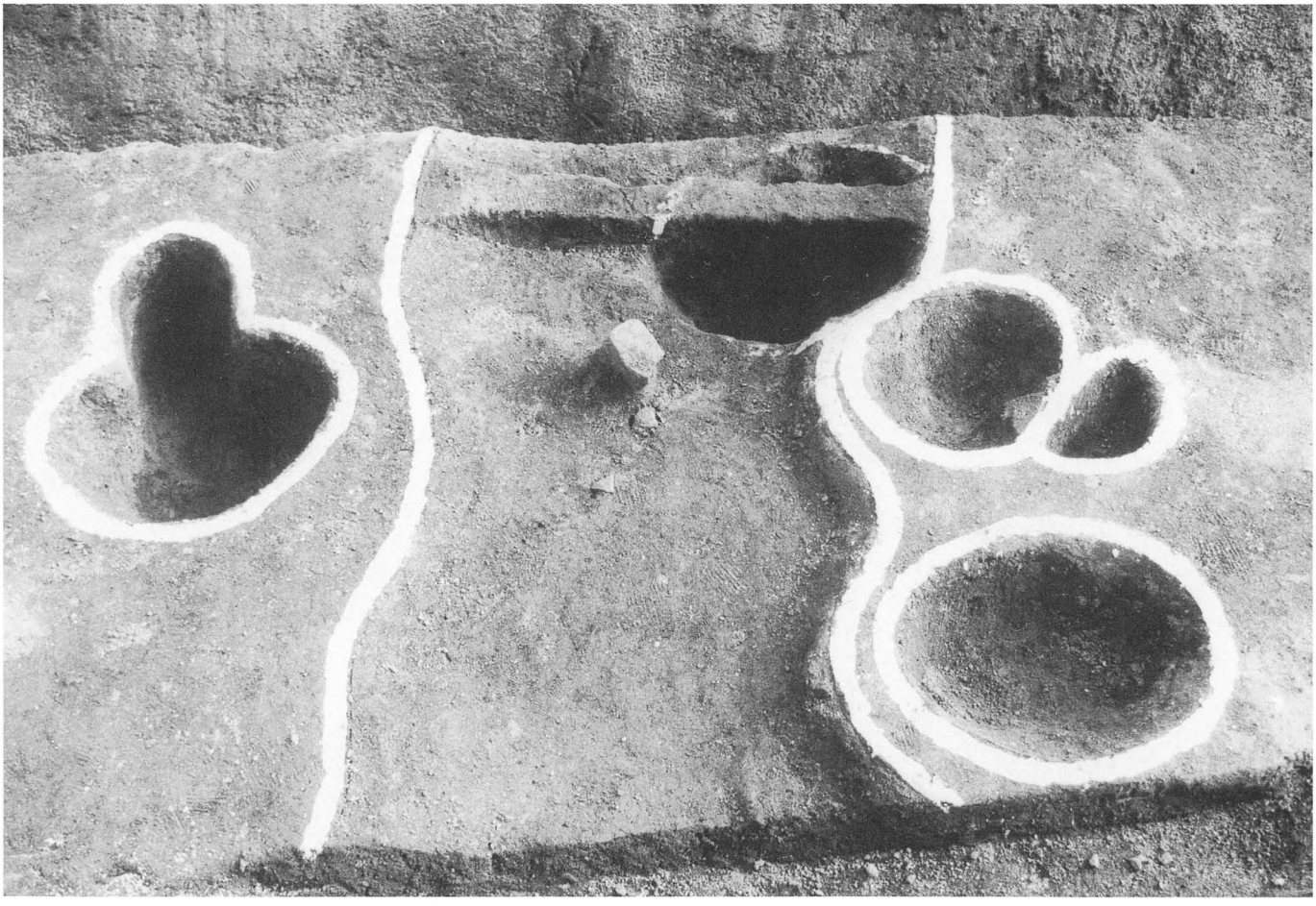
1．ＳＤ－Ａ201遺物出土状況②

2．ＳＤ－Ｂ201（北東より）

1．ＳＤ－Ｂ201遺物出土状況①

2．ＳＤ－Ｂ201遺物出土状況②

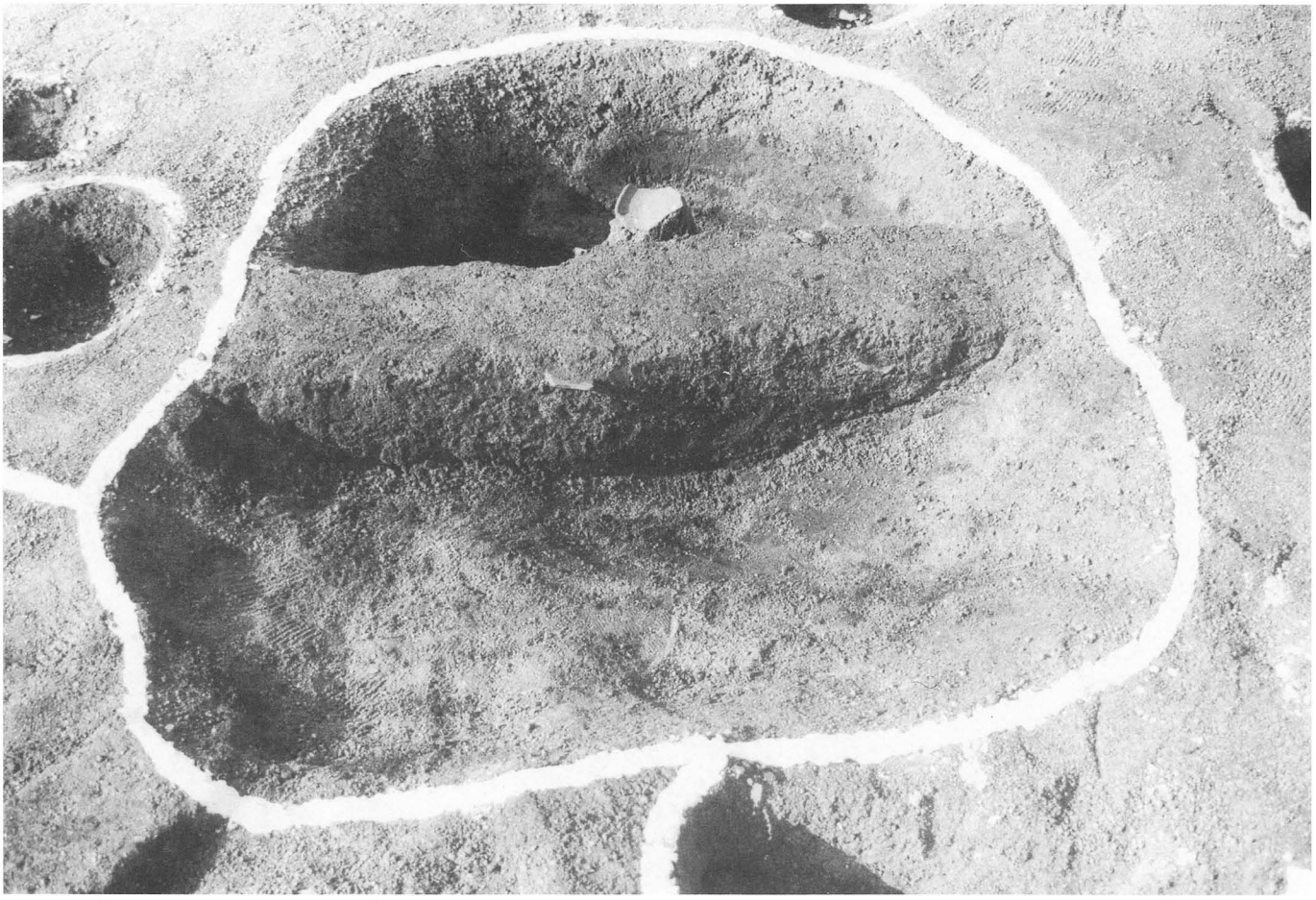
1．ＳＤ－Ａ201・Ｂ201（南東より）



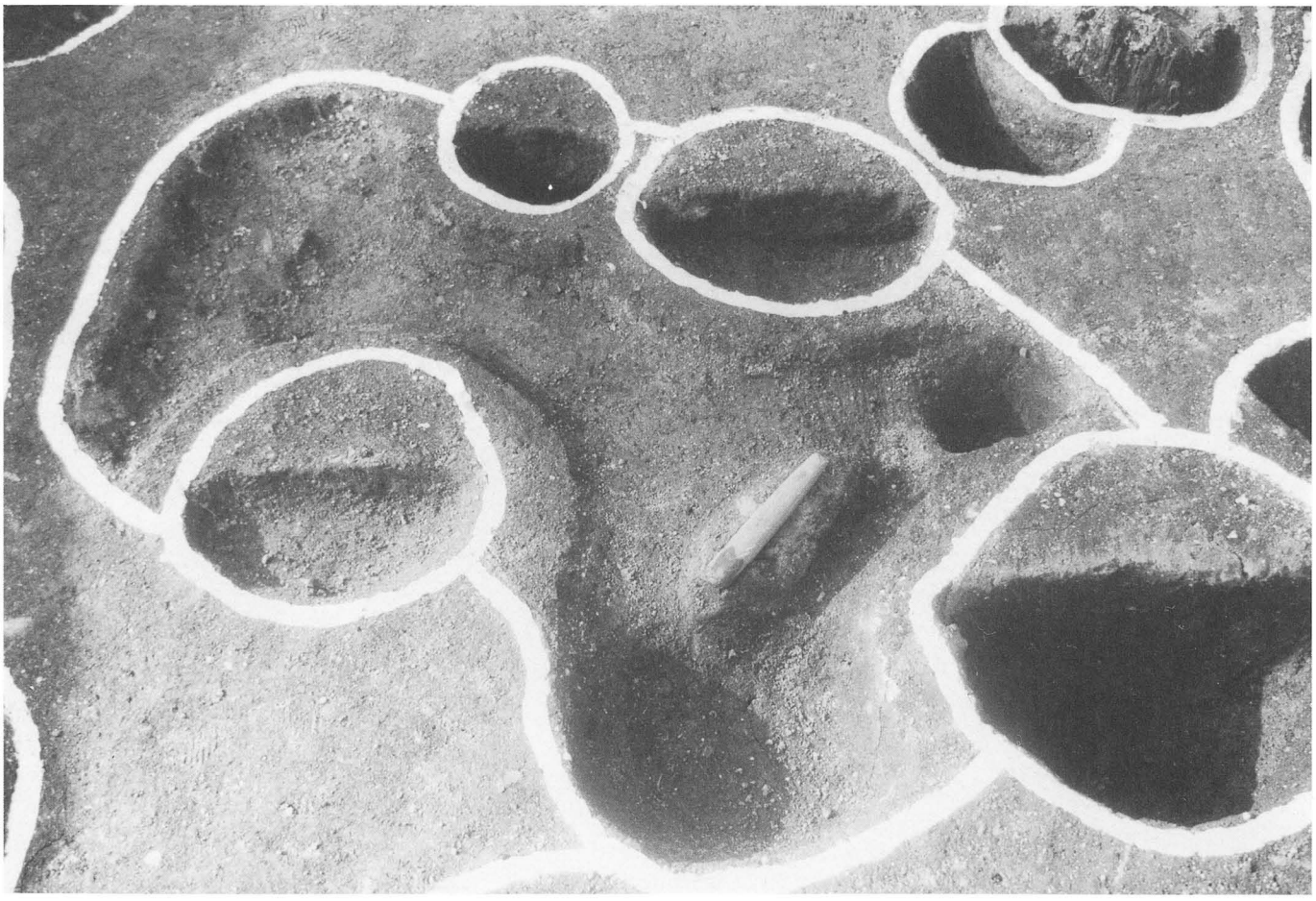
2．ＳＤ－Ｃ201（南より）

1．ＳＫ－Ａ203（北西より）

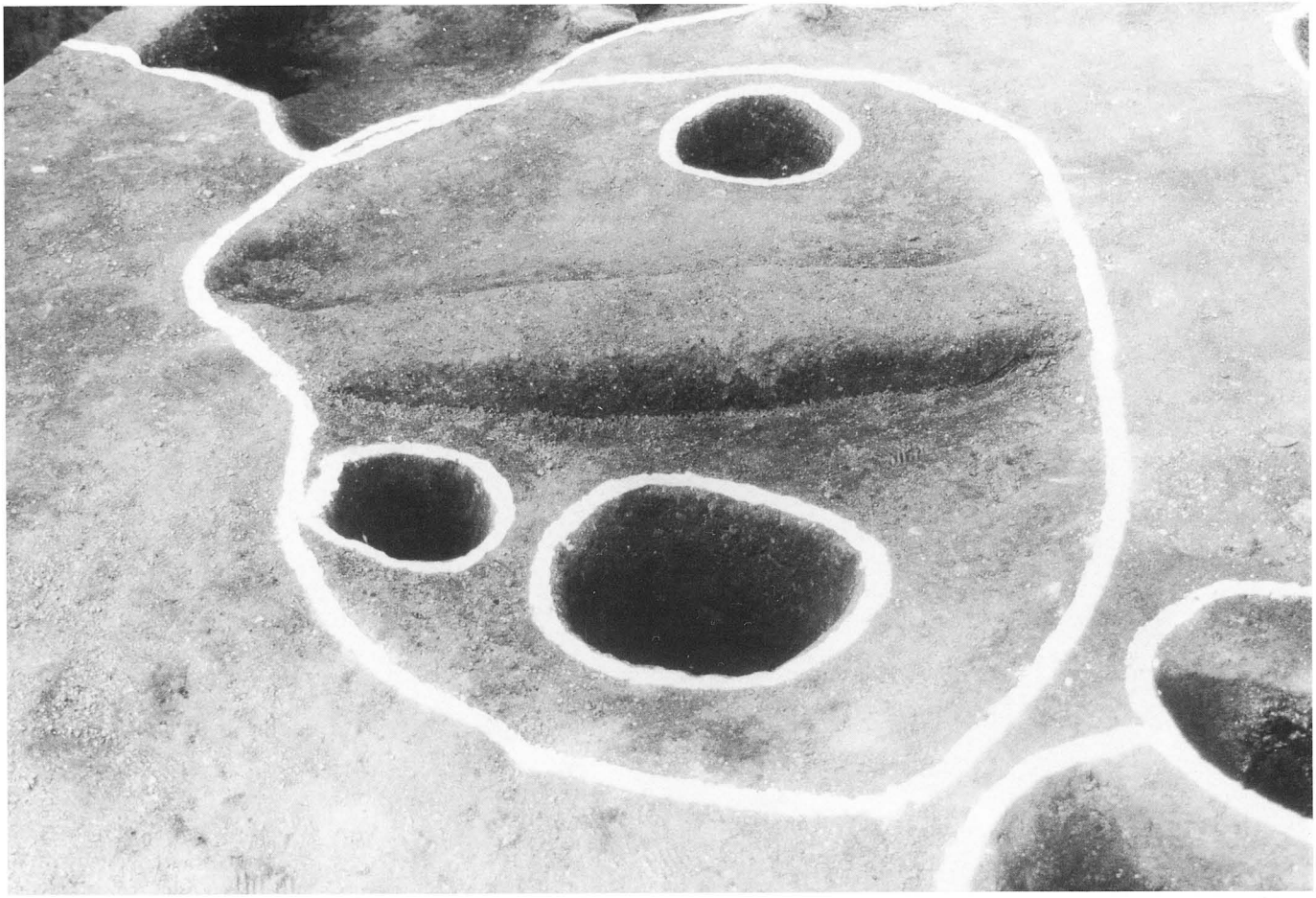
2．ＳＫ－Ａ203遺物出土状況（北西より）



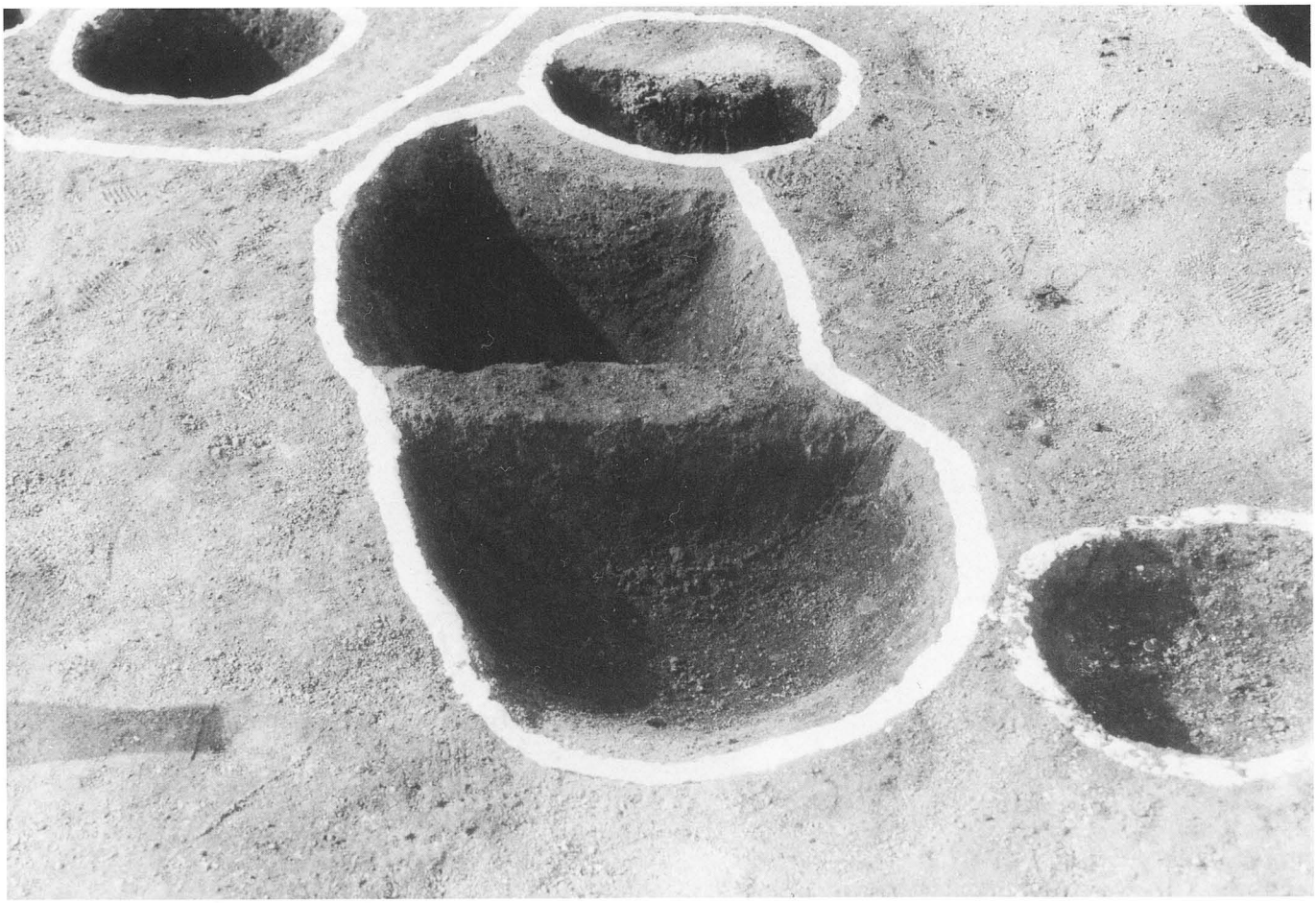
1．ＳＫ－Ａ204（南より）



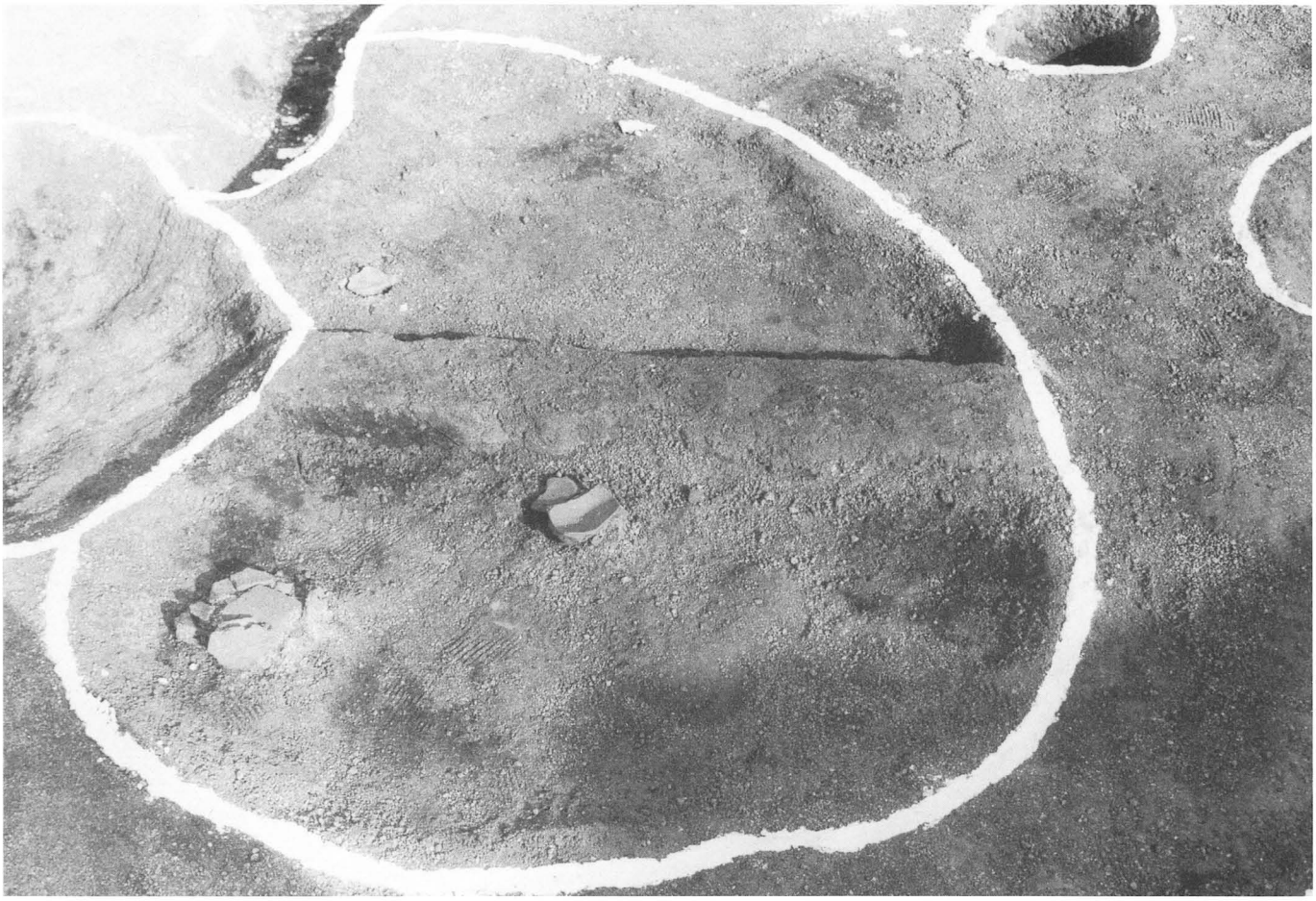
2．ＳＫ－Ａ220（南西より）



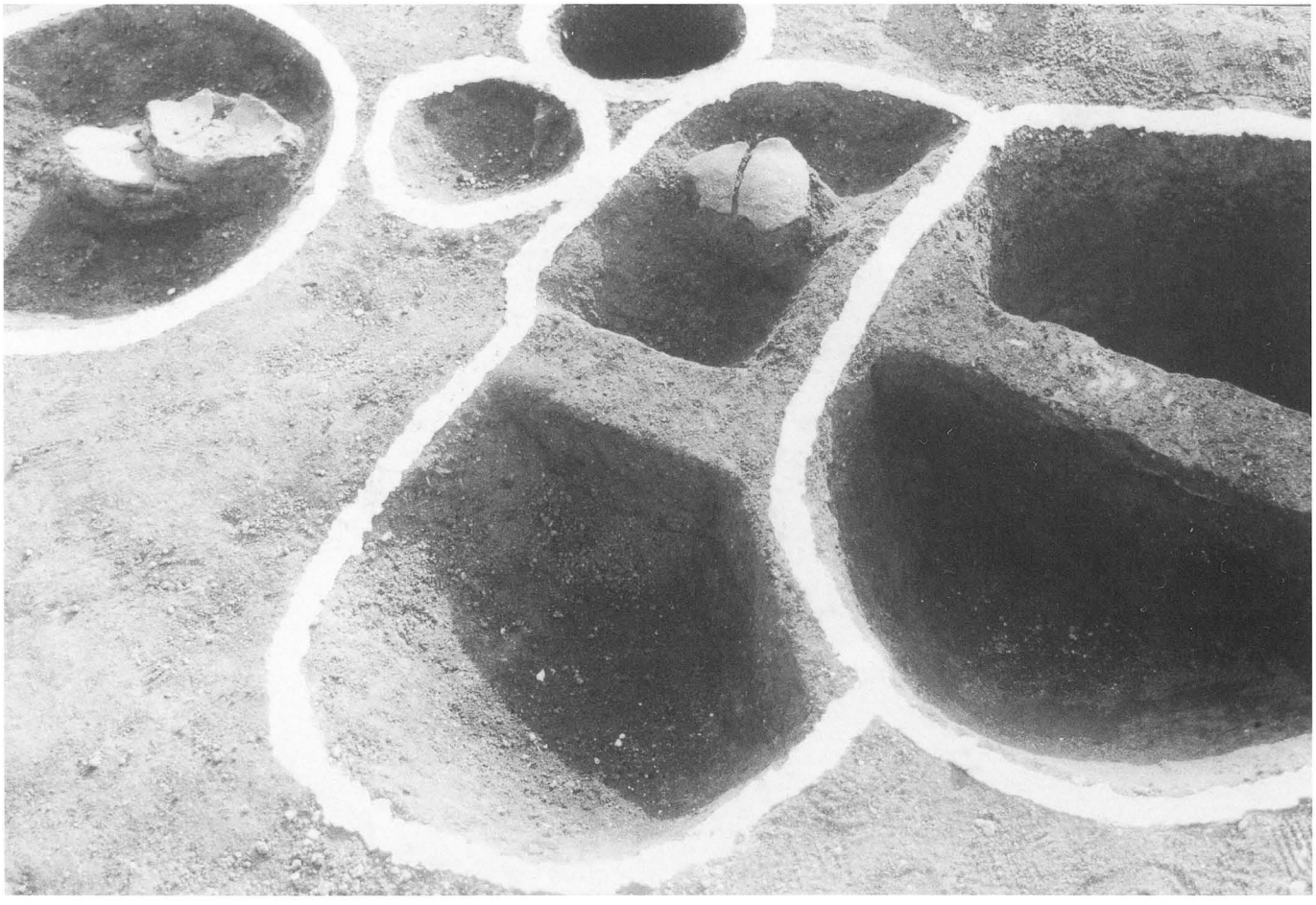
1．ＳＫ－Ａ229（南より）



2．ＳＫ－Ａ230（南より）



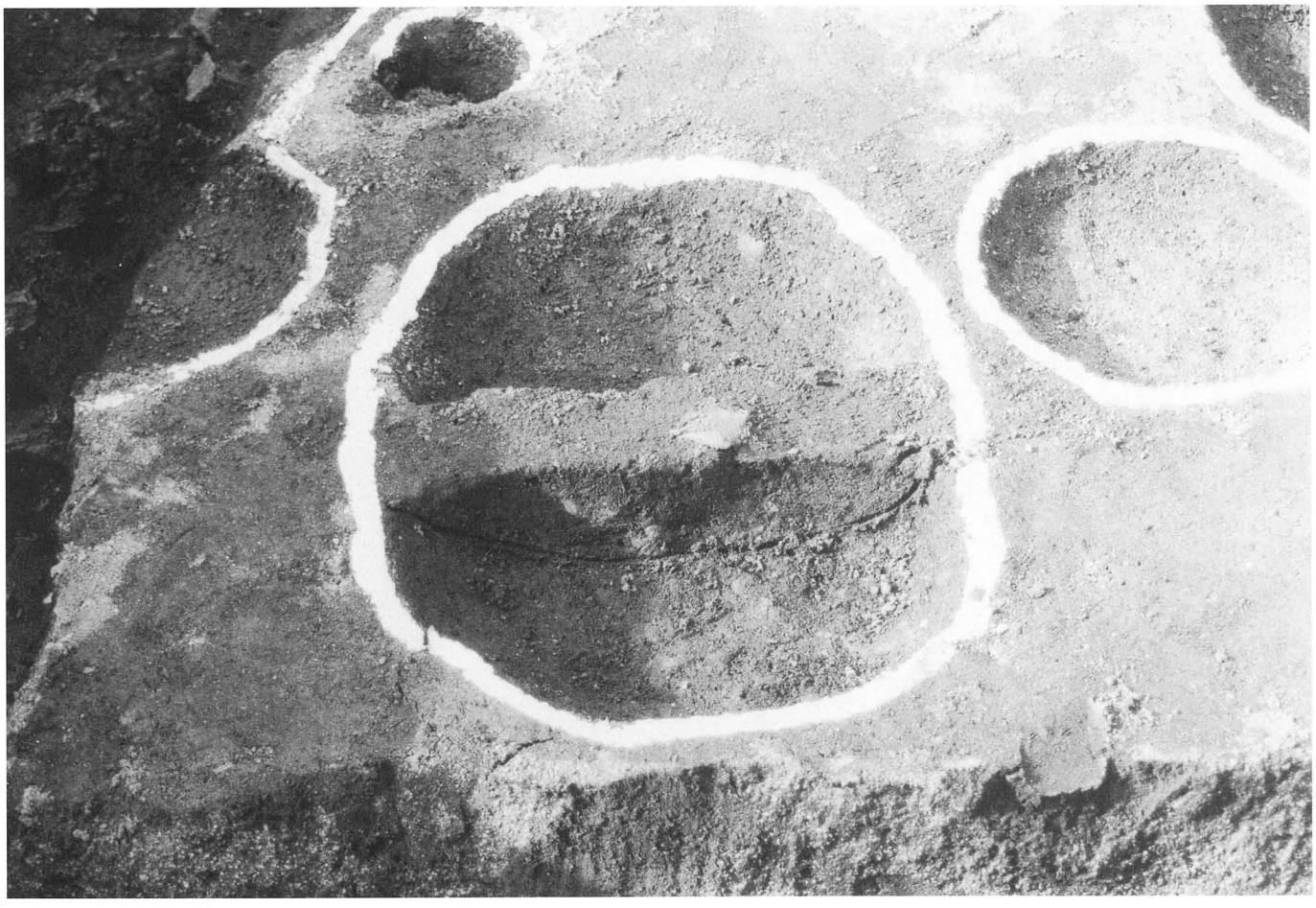
1．ＳＫ－Ａ232（西より）



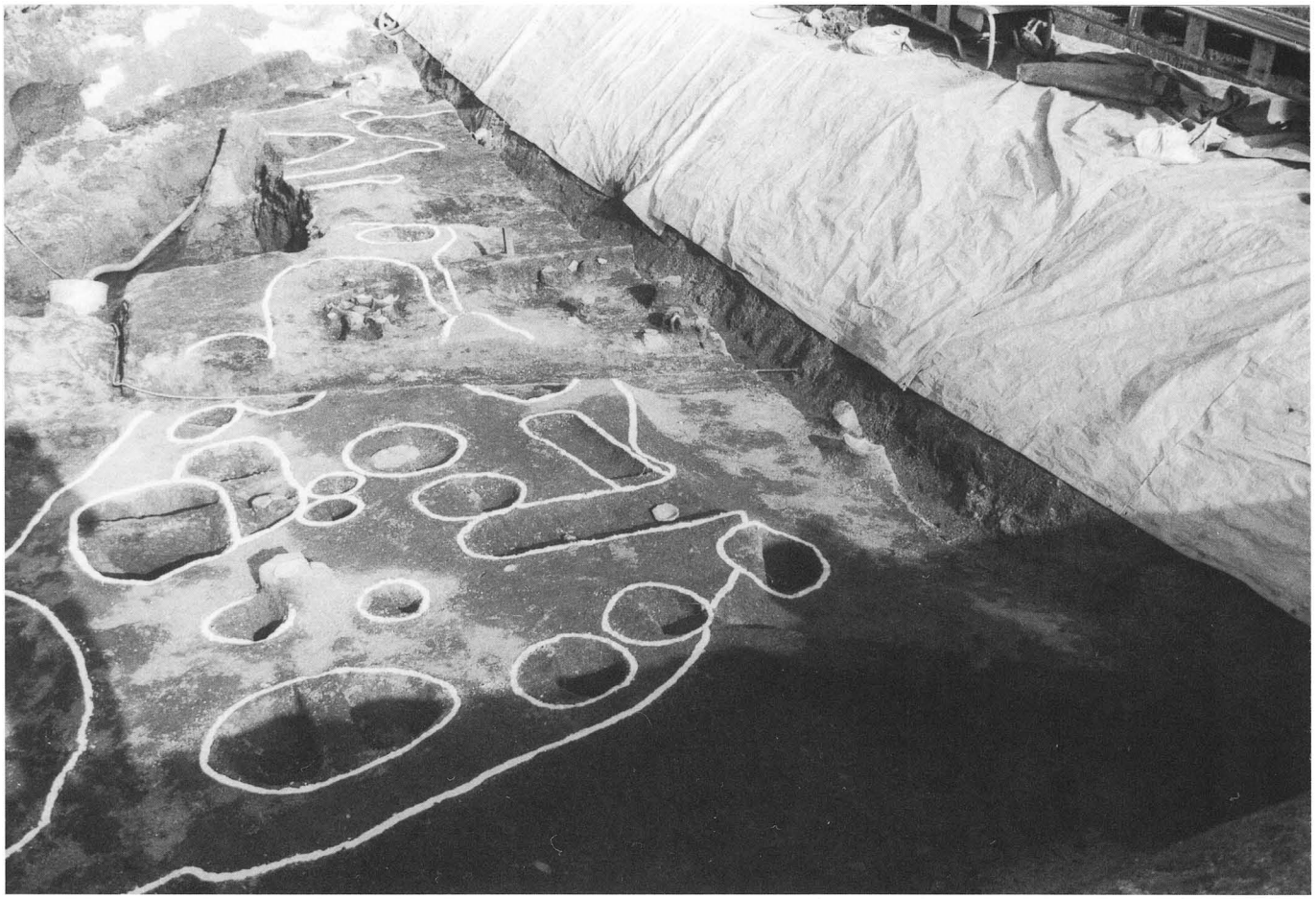
2．ＳＫ－Ａ233（東より）

図版16　遺構(16)

1．ＳＫ－Ｃ202（西より）



2．ＳＫ－Ｃ211（南より）



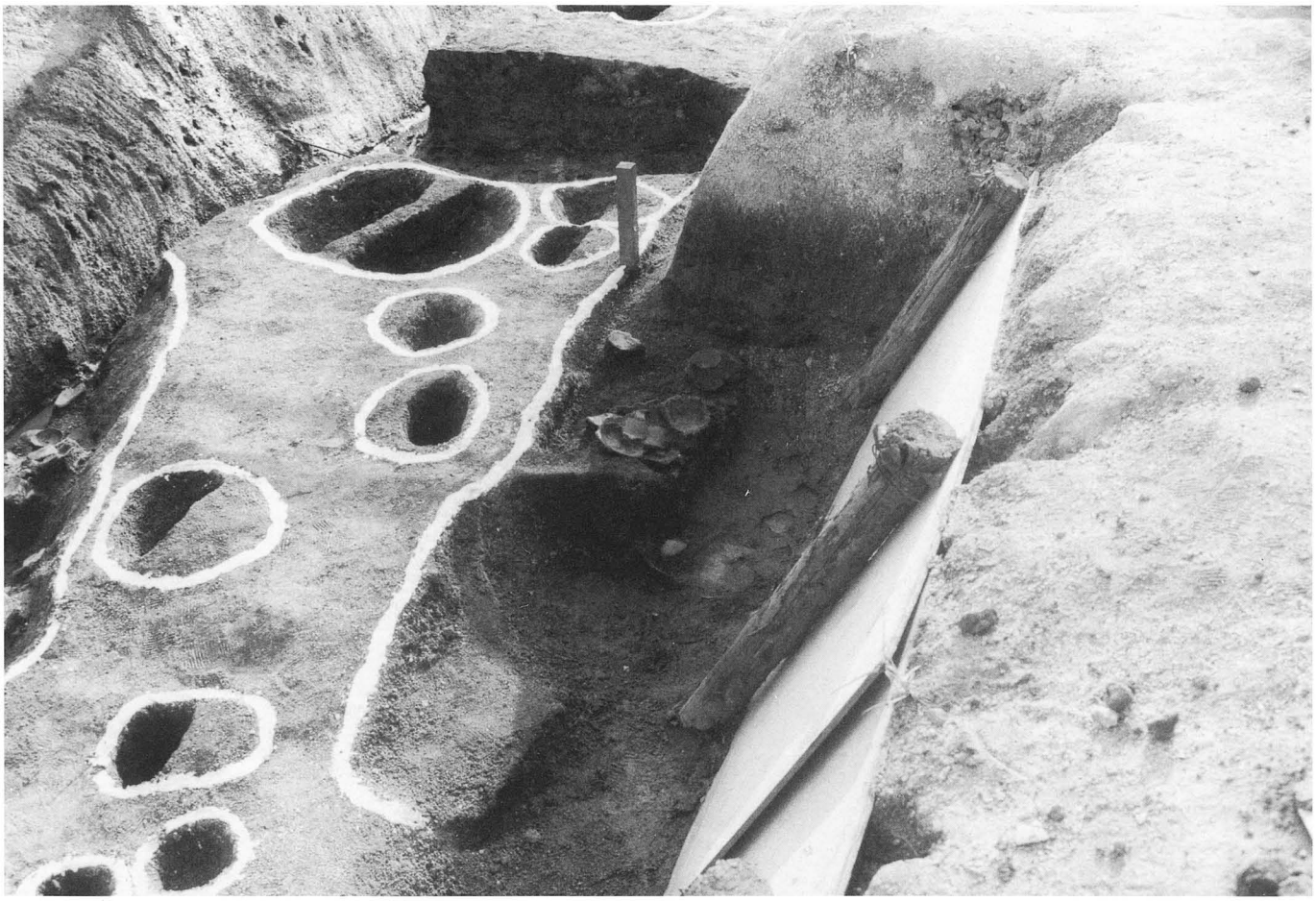
1．ＳＸ－Ａ201（西より）

2．ＳＸ－Ａ204（南より）

図版18　遺構(18)

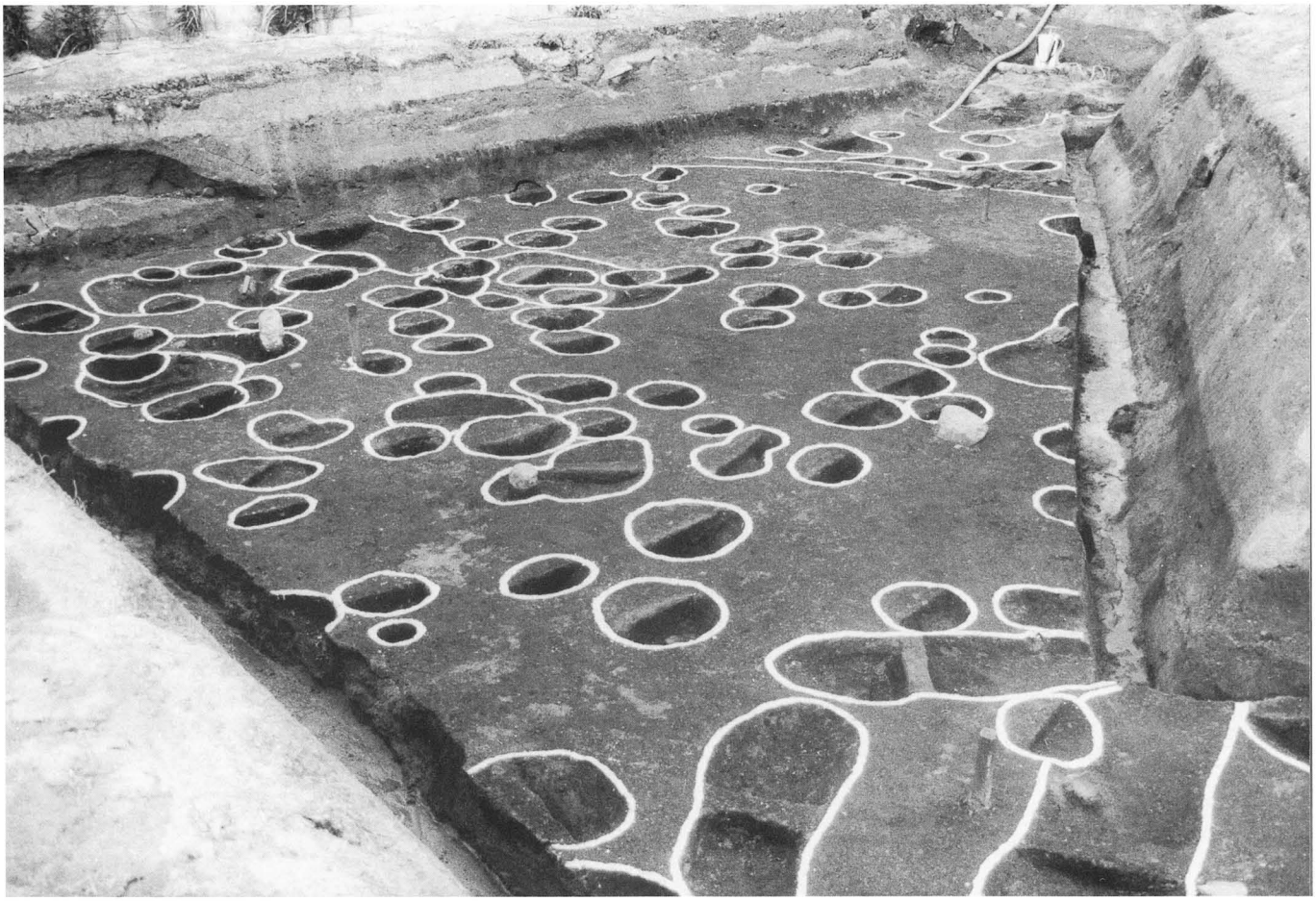
1．ＳＸ－Ｃ202（南西より）

2．ＳＸ－Ｃ202遺物出土状況（北東より）



1．ＳＸ－Ｃ203（東より）

2．ＳＸ－Ｃ203遺物出土状況（東より）



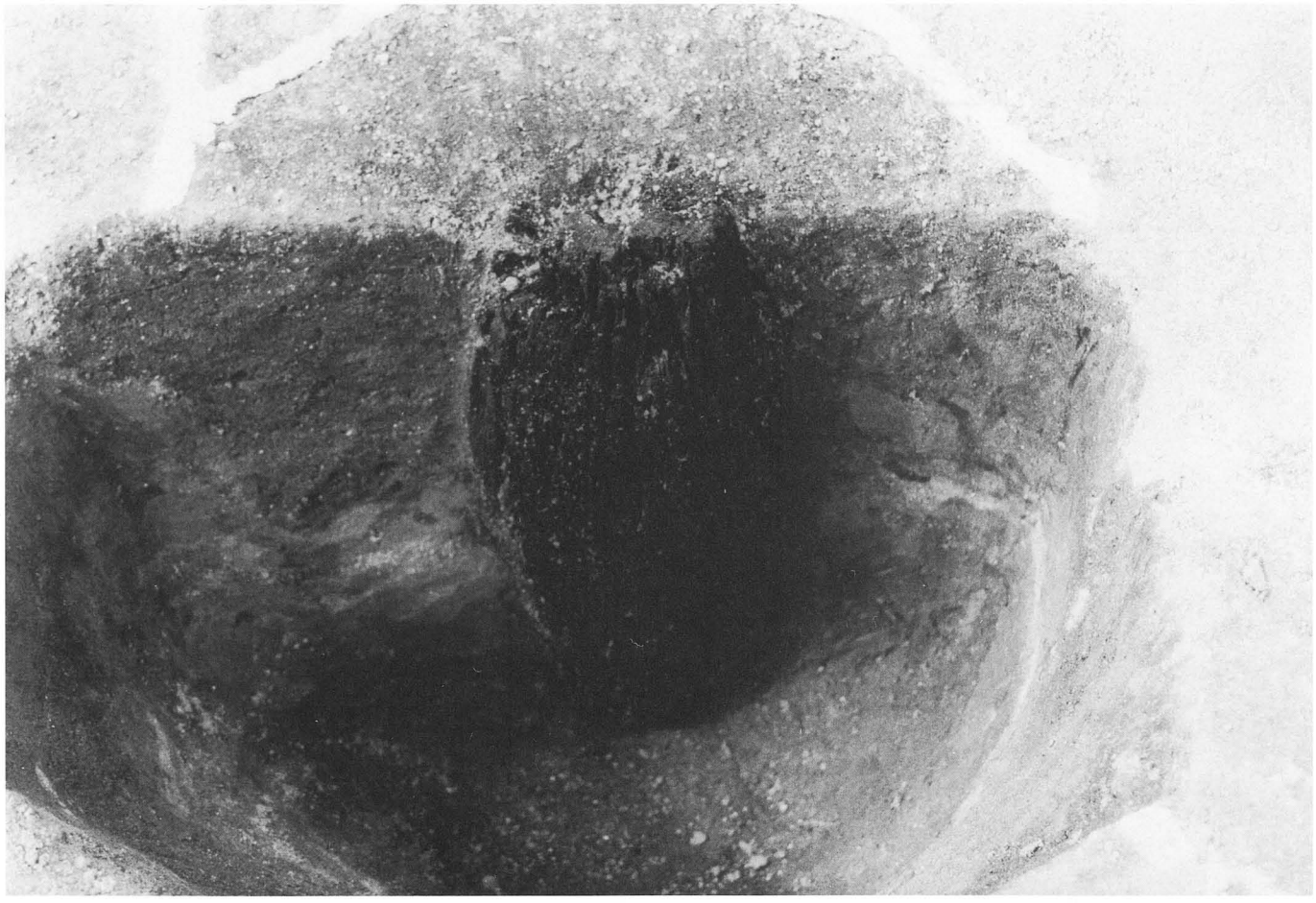
1．A区北西部　ピット群（南西より）

2．A区南西部　ピット群（北西より）

1．ＳＰ－Ａ242（西より）

2．ＳＰ－Ａ275（東より）

1．ＳＰ－Ａ227（南より）



2．ＳＰ－Ａ2136（北西より）

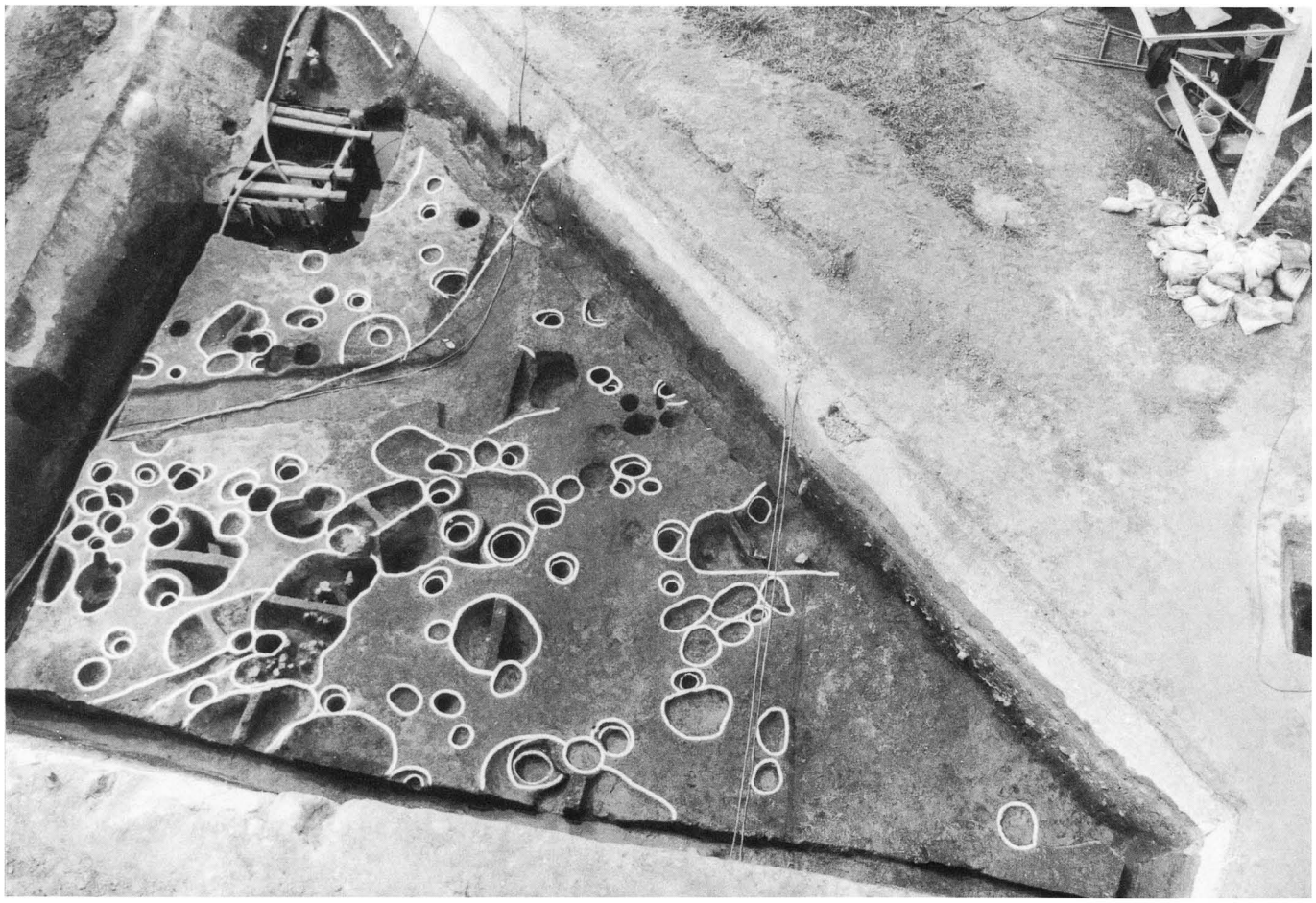
1．第３－ａ遺構面全景（南より）

2．第３－ａ遺構面全景（西より）

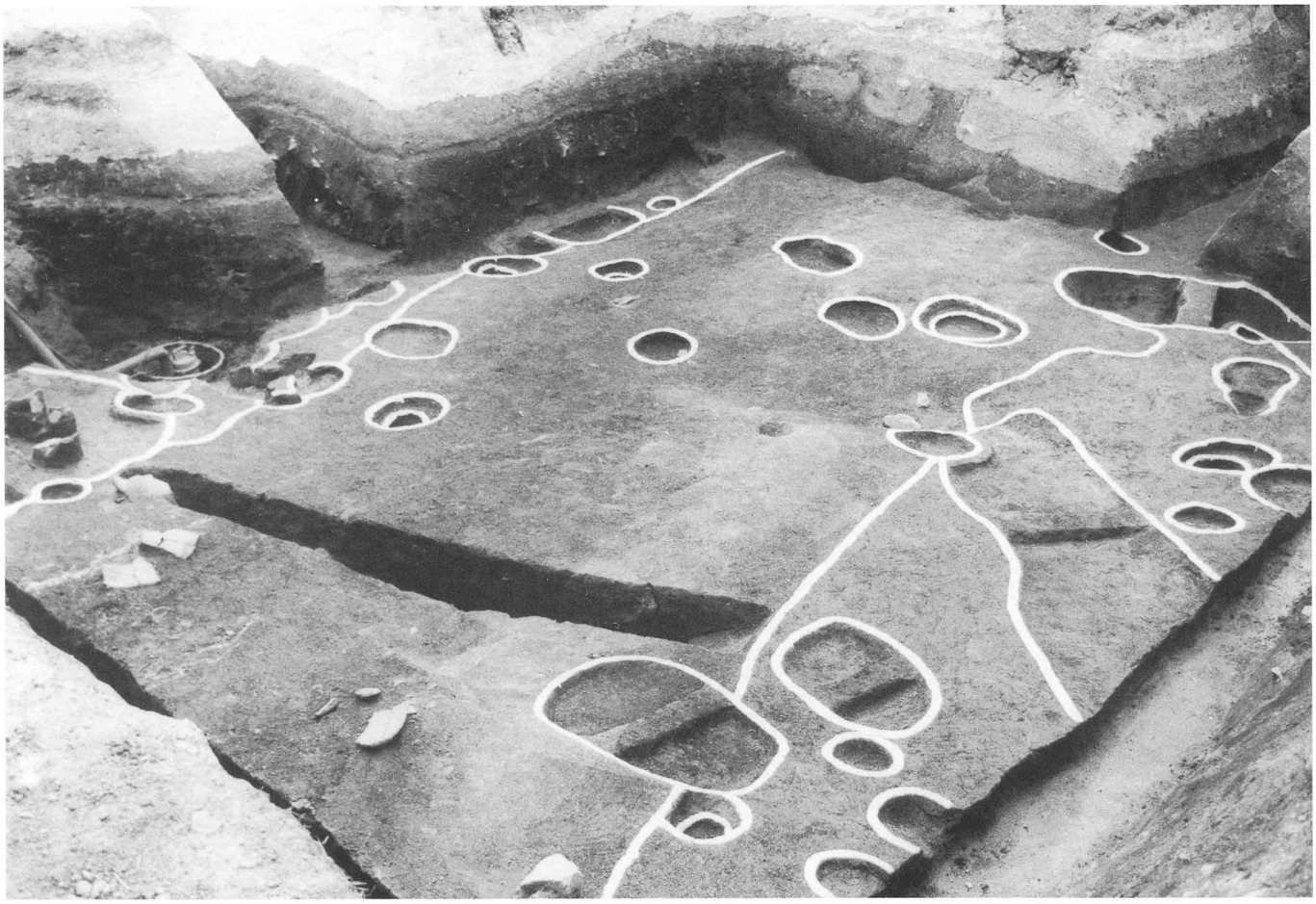
1．第３－ａ遺構面全景（東より）

1．第３－ａ遺構面・Ａ区北西部（南西より）

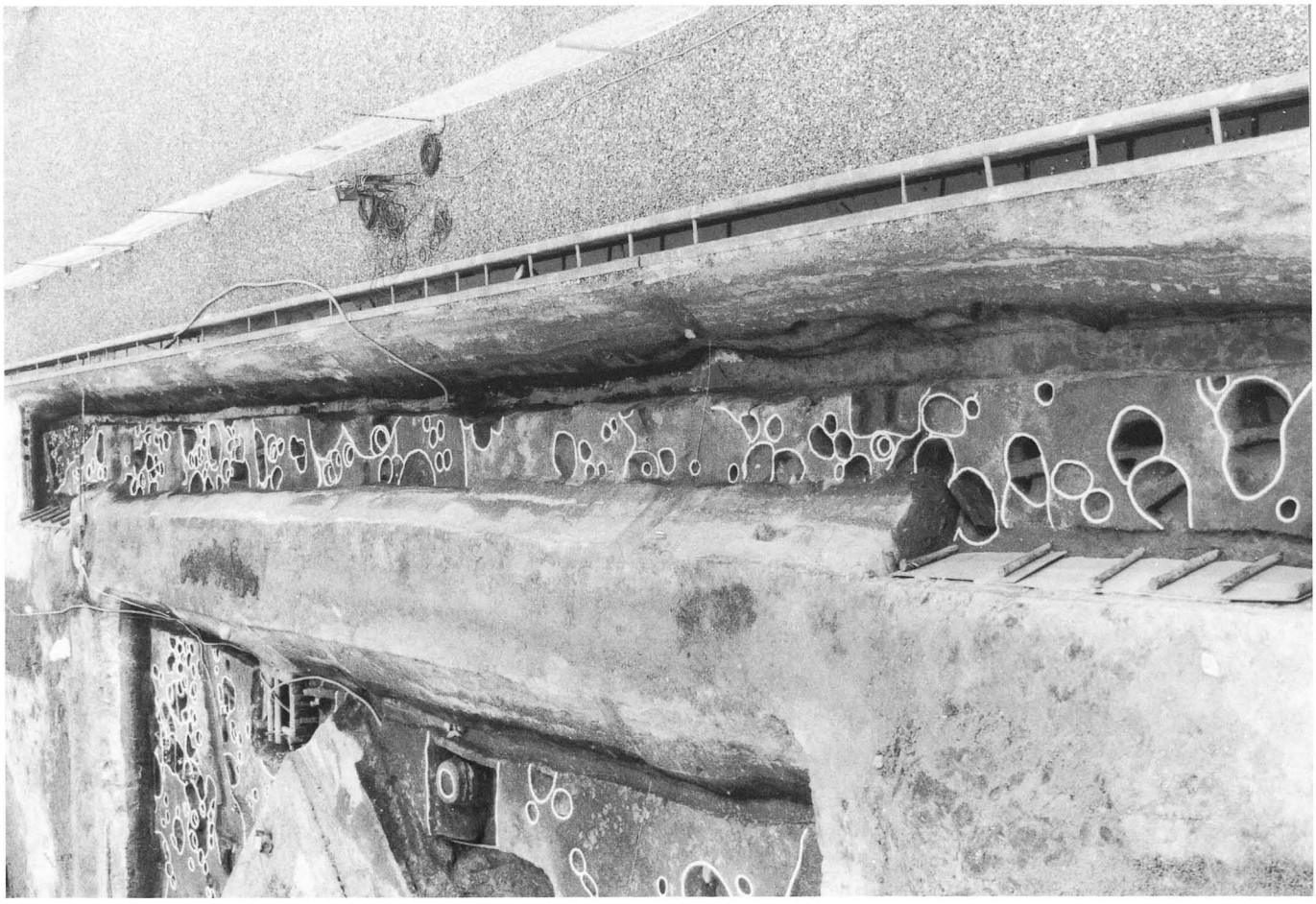
1．第３－ａ遺構面・Ａ区南西部（南東より）



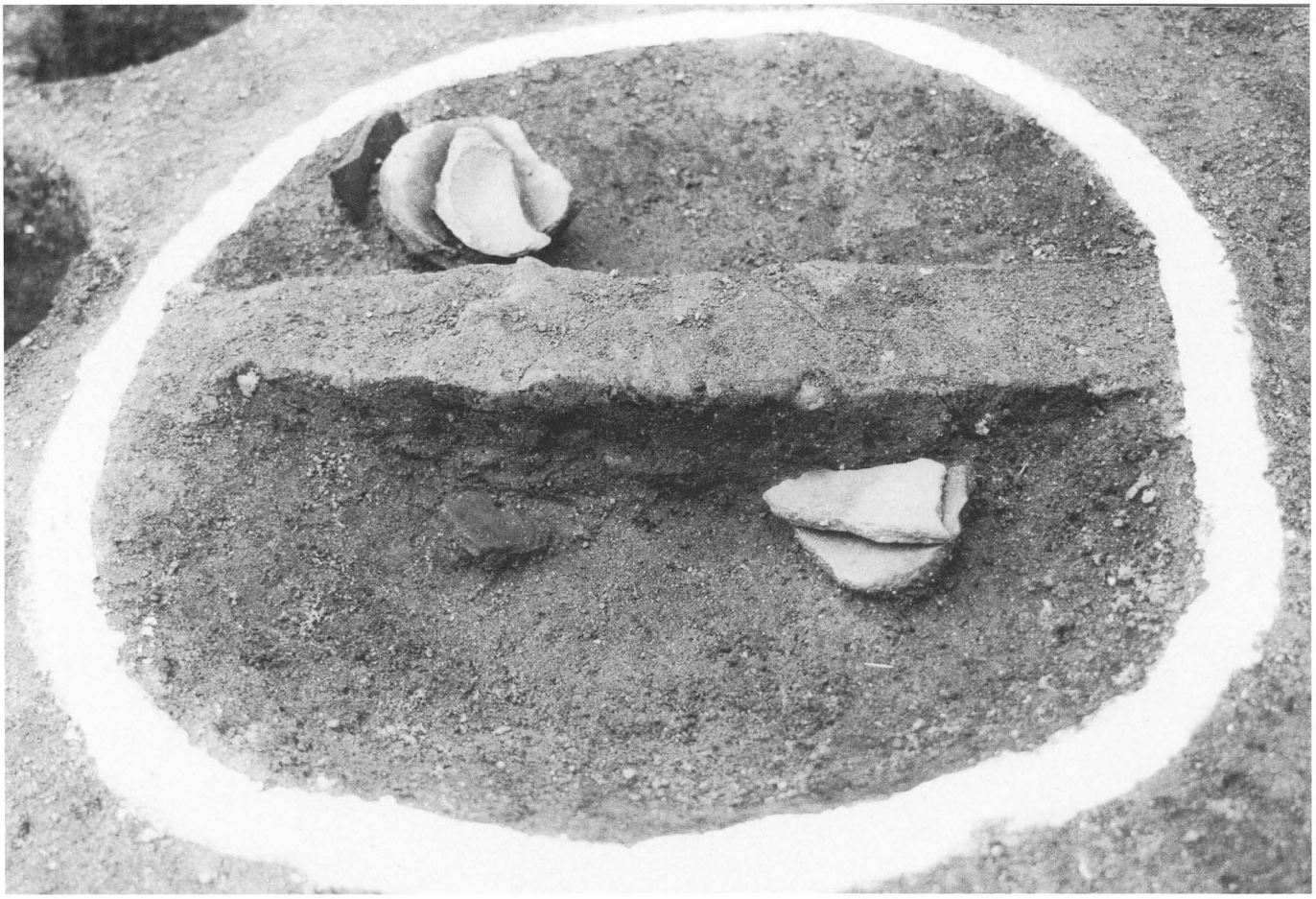
2．第３－ａ遺構面・Ａ区南東部（東より）



1．第３－ａ遺構面・Ｂ区（北東より）



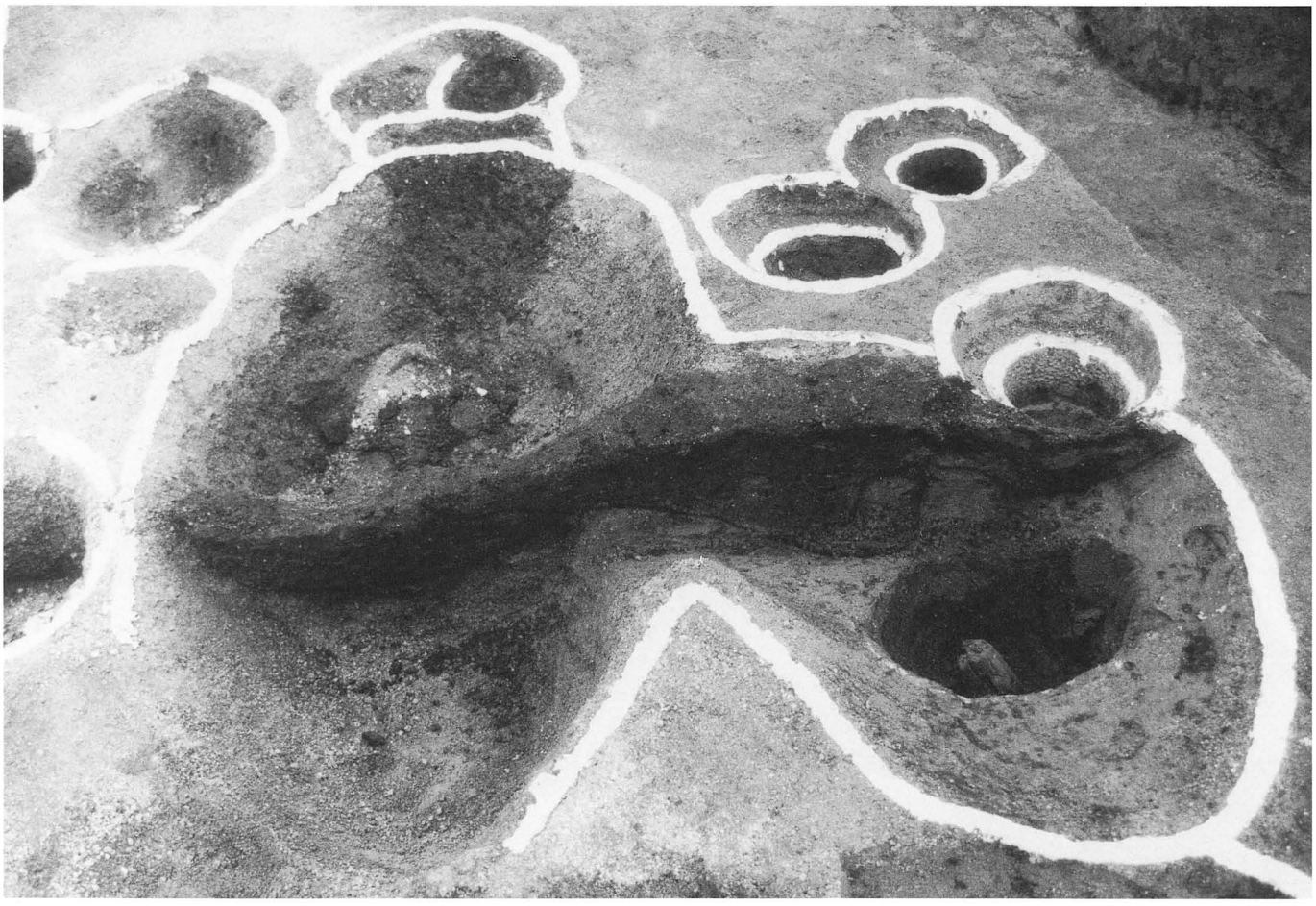
2．第３－ａ遺構面・Ｃ区（西より）



1．ＳＫ－Ａ302（南より）

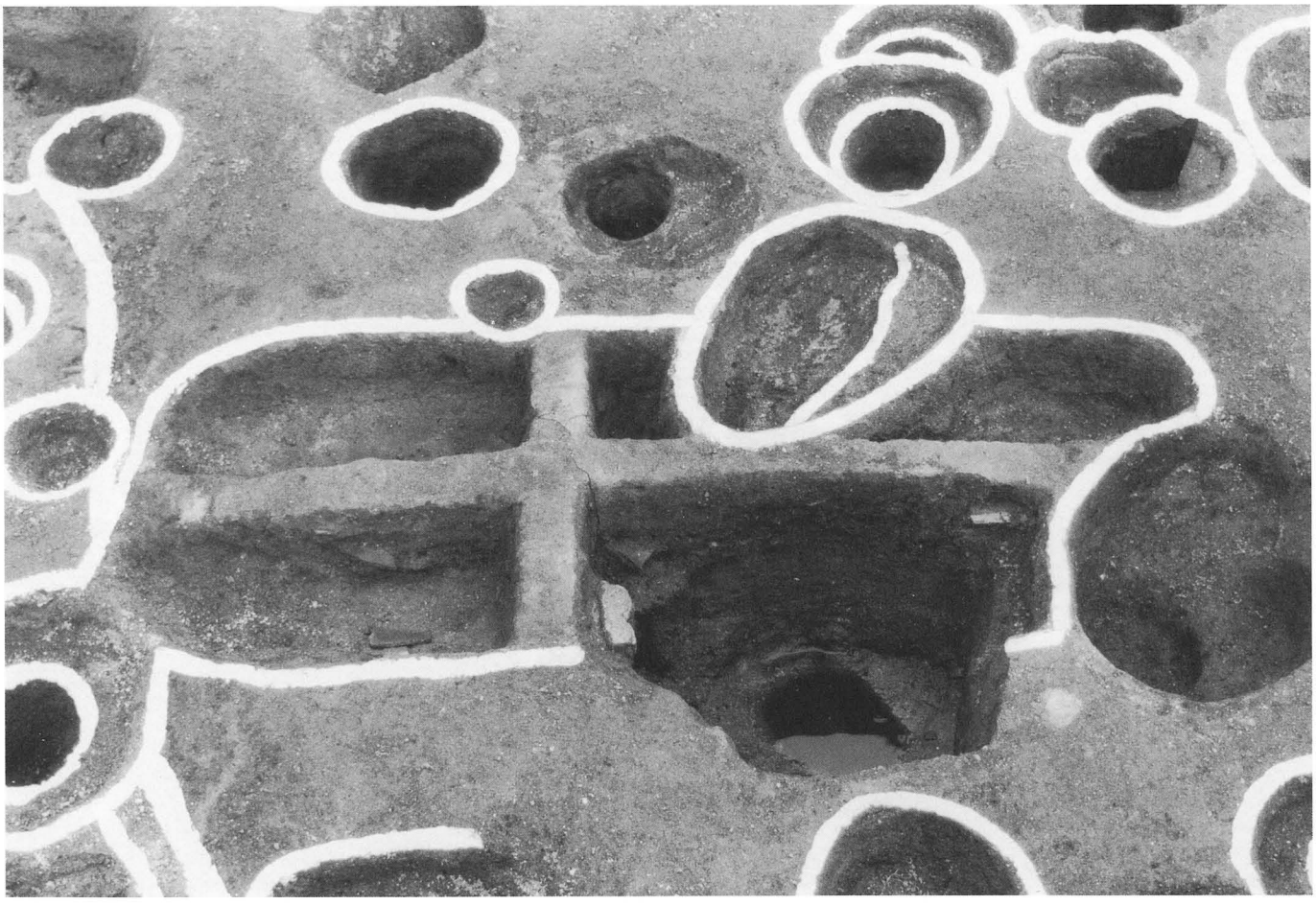
2．ＳＫ－Ａ303（北西より）

1．ＳＫ－Ａ303遺物出土状況（北東より）

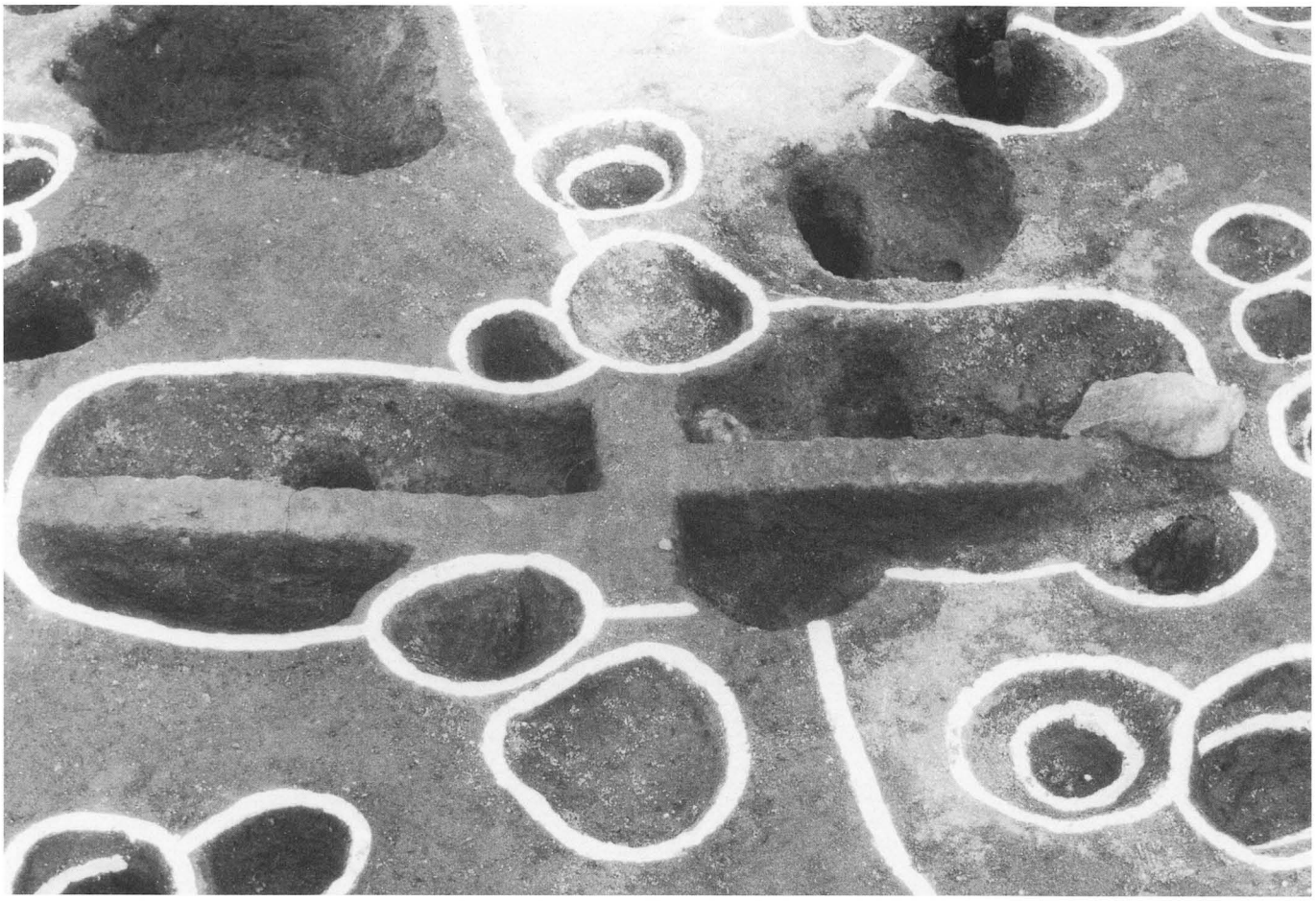


2．ＳＫ－Ａ304（西より）

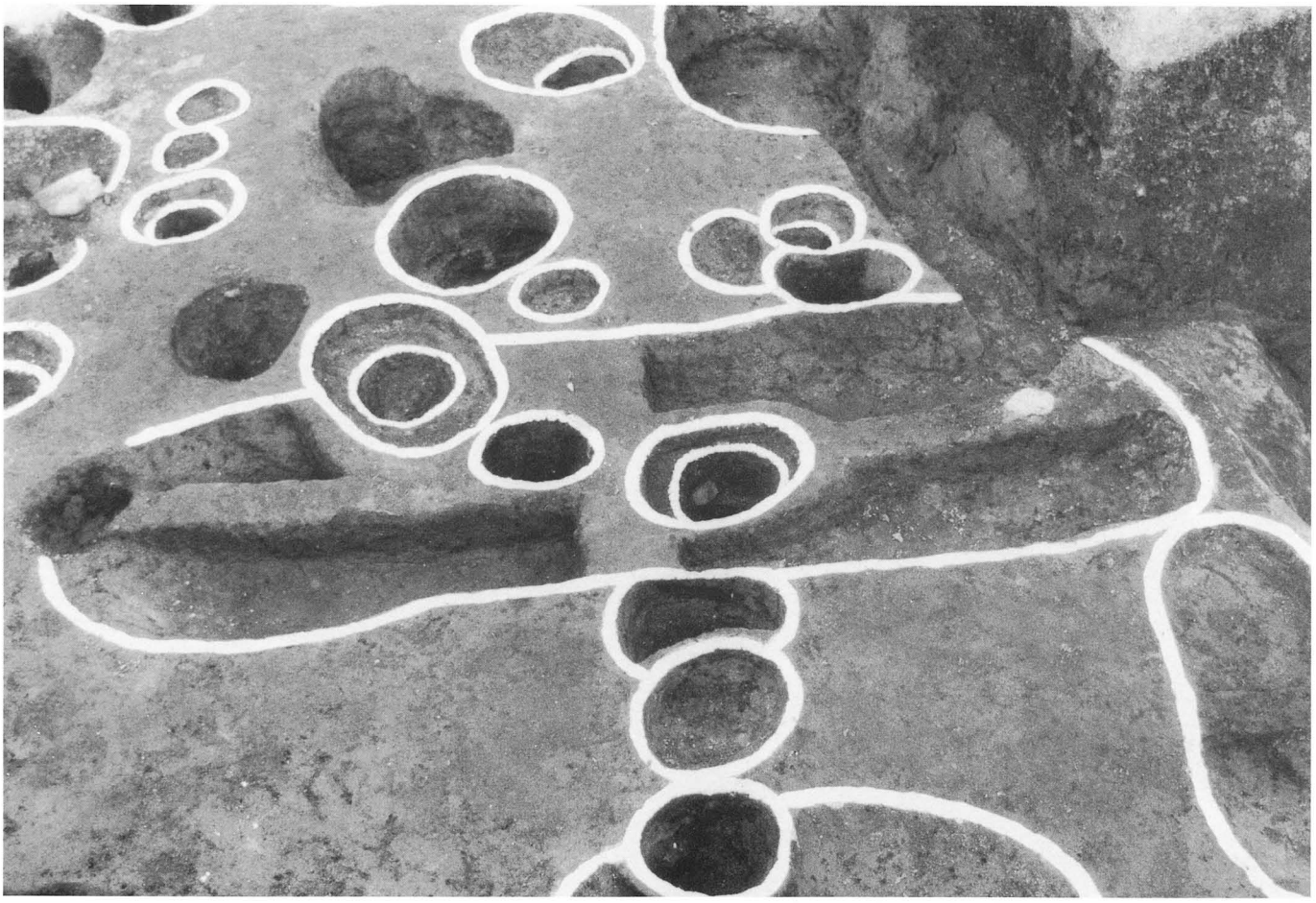
1．ＳＫ－Ａ306（北より）



2．ＳＫ－Ａ308（西より）

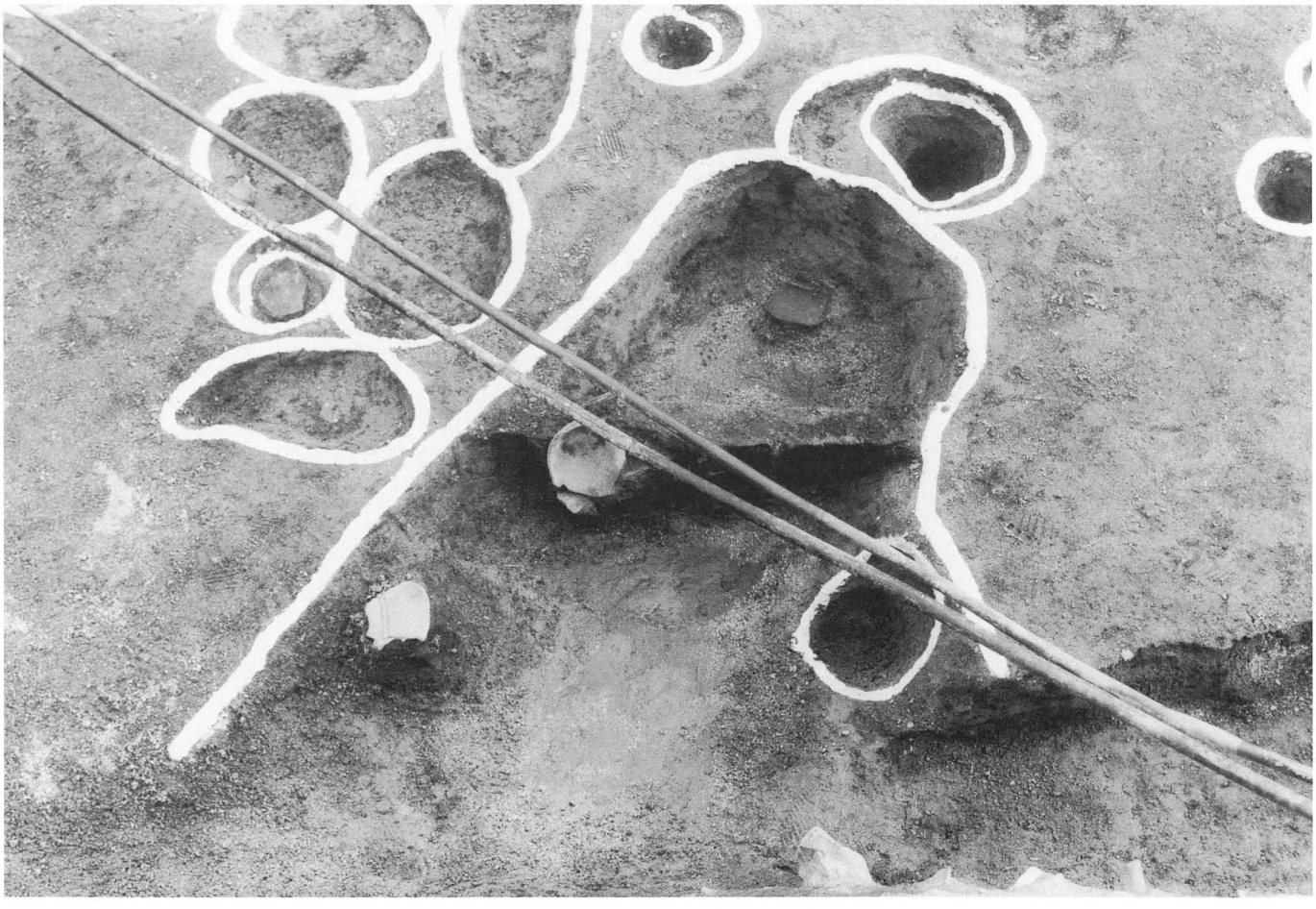


1．ＳＫ－Ａ309（西より）



2．ＳＫ－Ａ310（南西より）

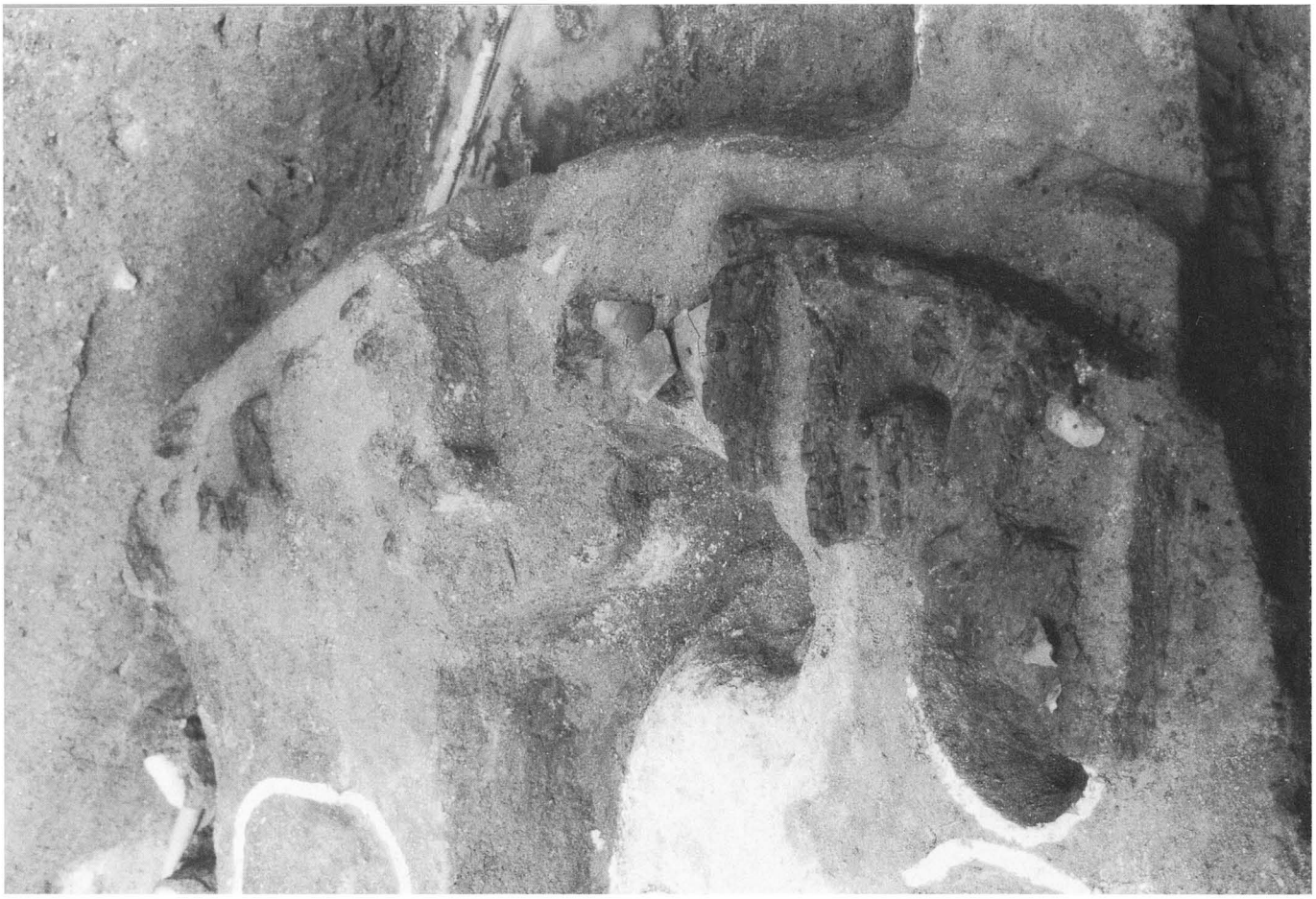
1．ＳＫ－Ａ330（南より）



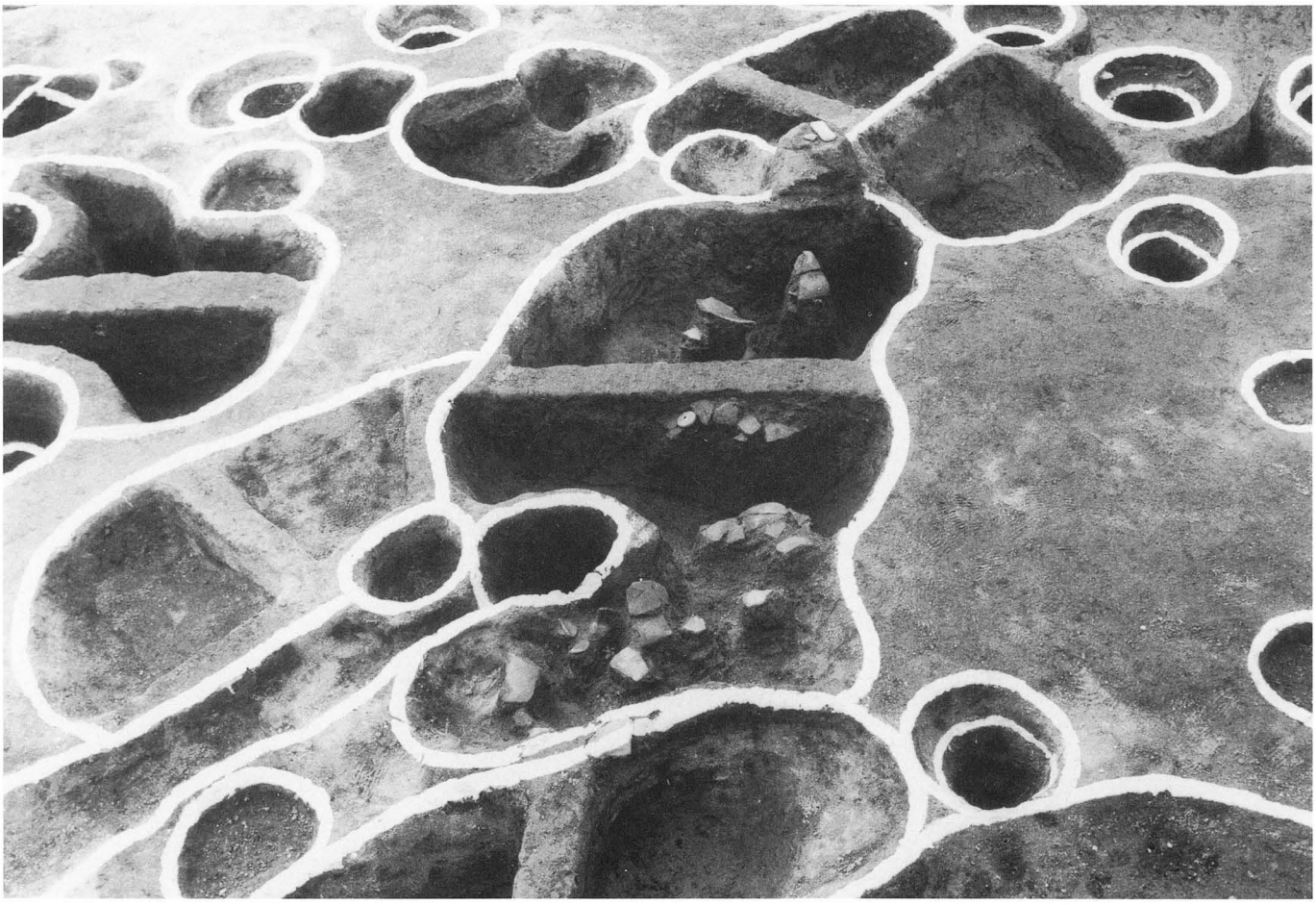
2．ＳＫ－Ａ333（北西より）

1．ＳＫ－Ｂ305（西より）

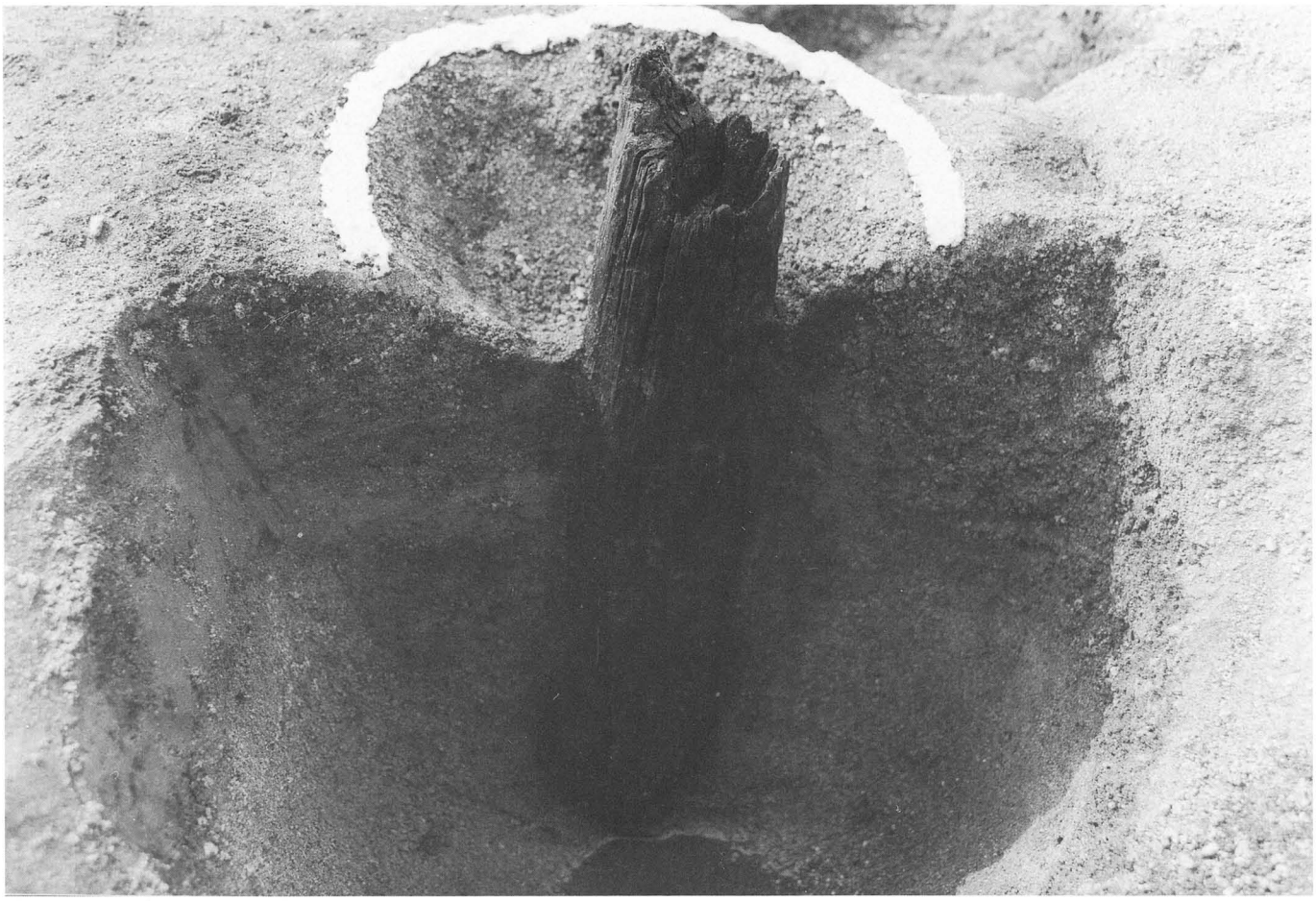
1．ＳＫ－Ｃ314（南西より）



1．ＳＸ－Ａ301（南東より）

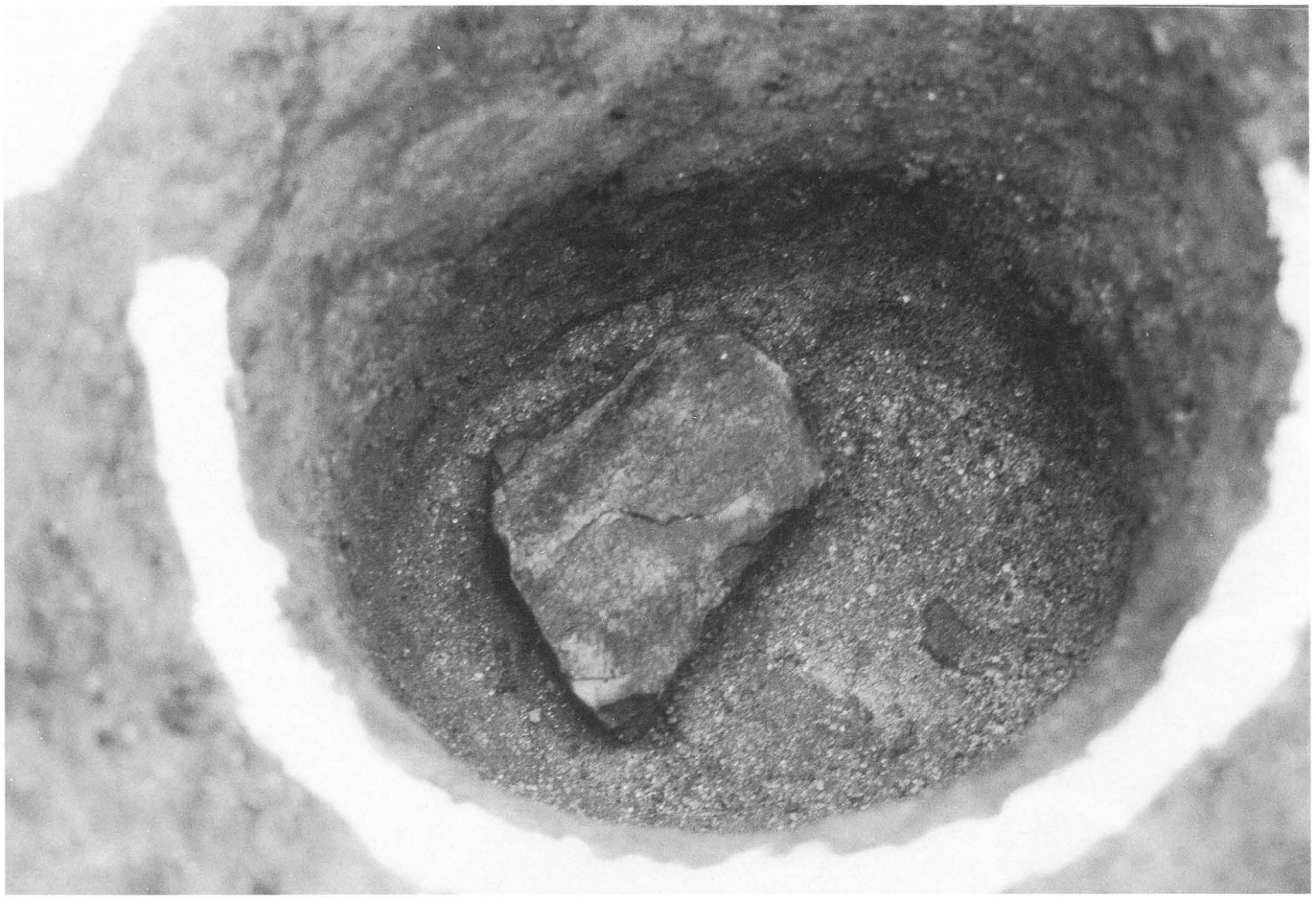


2．ＳＸ－Ａ302（東より）

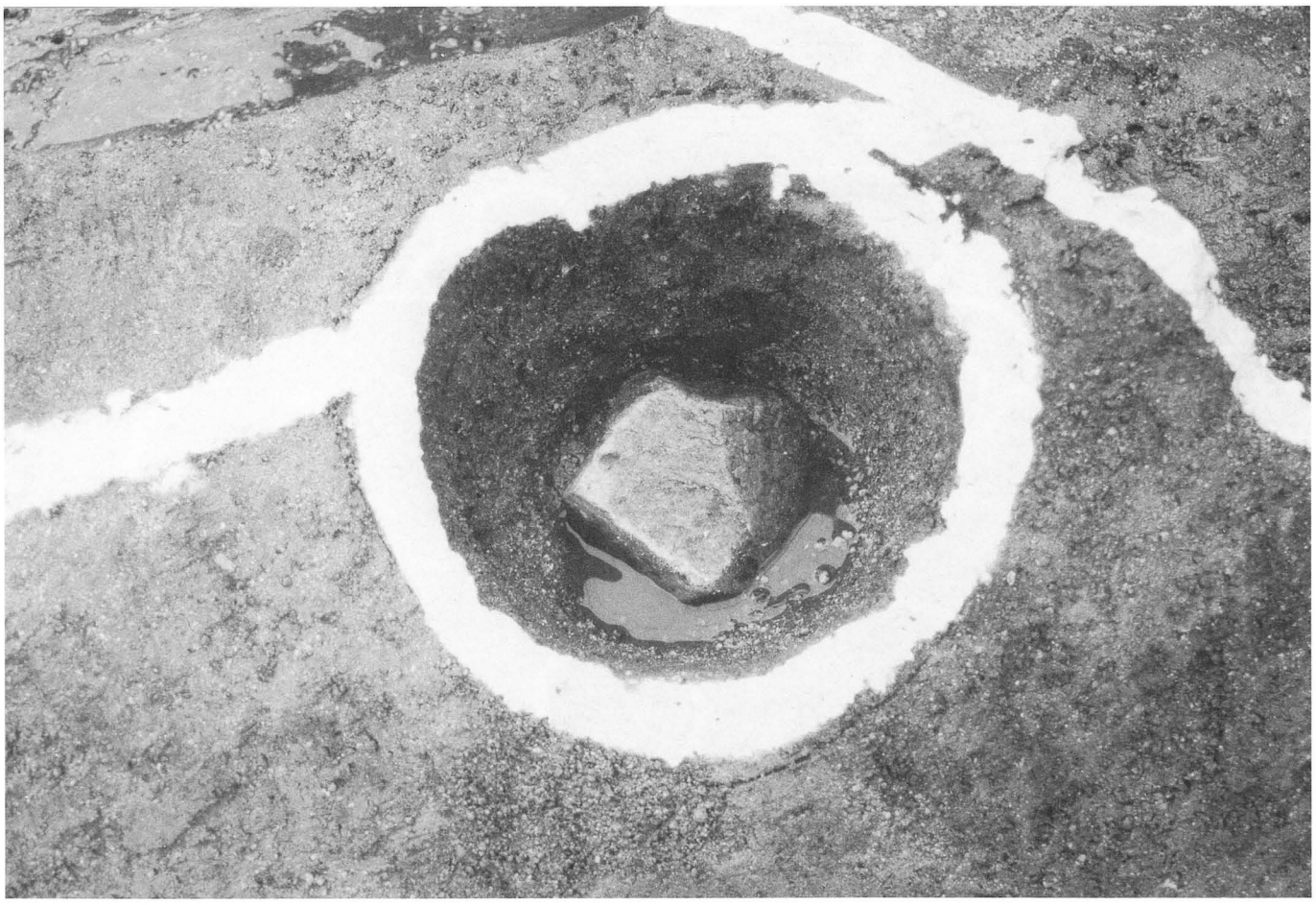


1．ＳＰ－Ａ321柱根

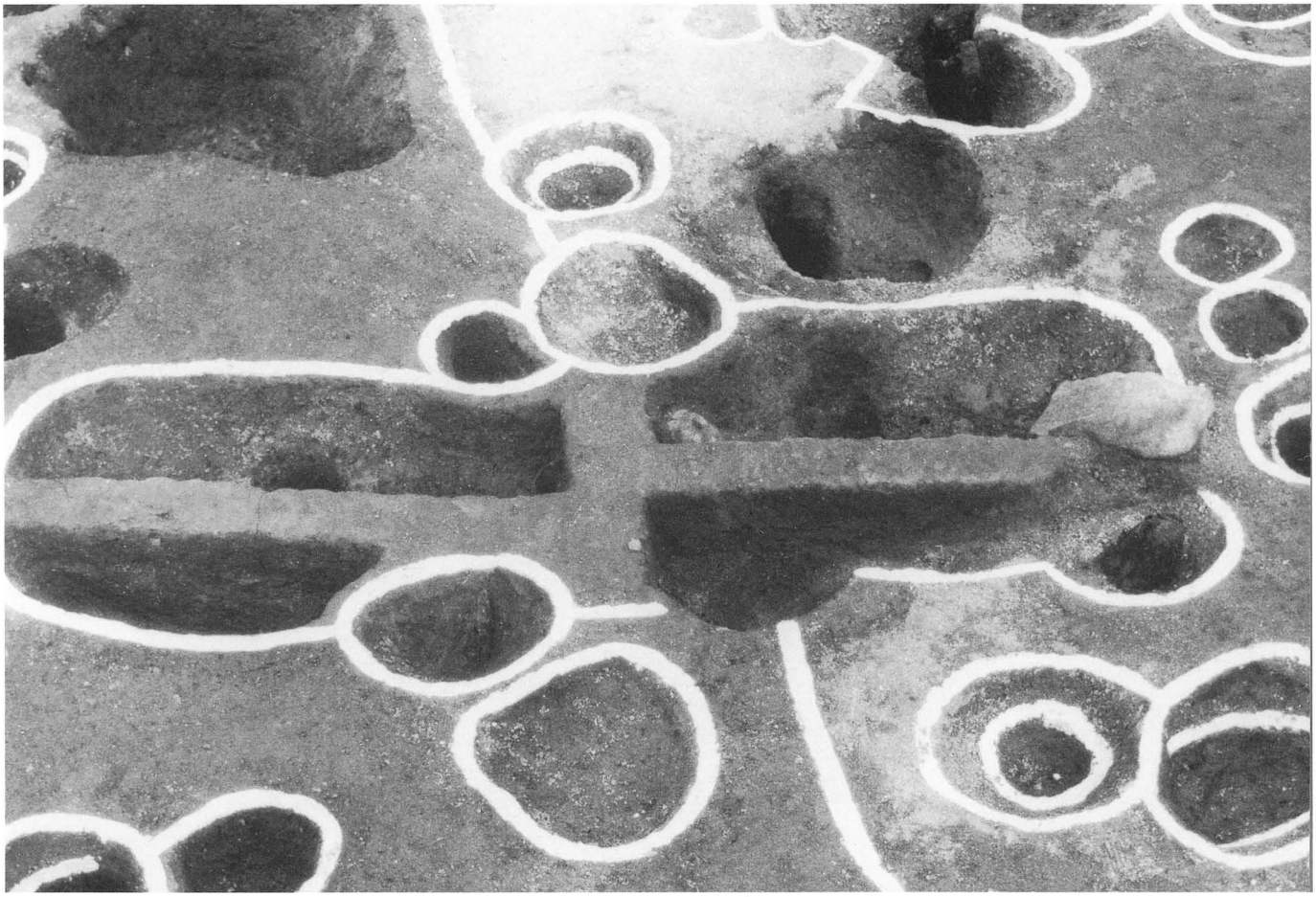
2．ＳＰ－Ａ391柱根



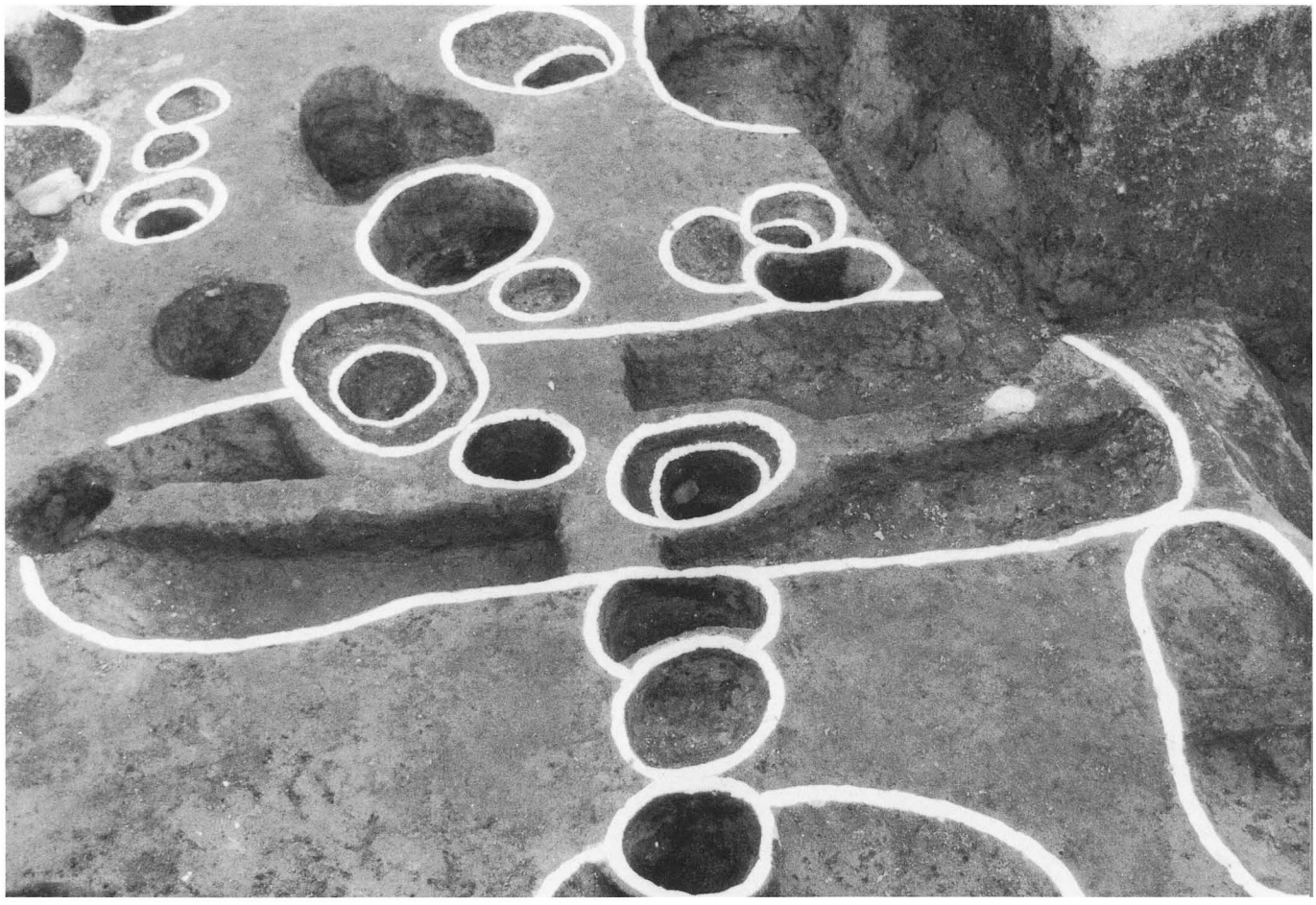
1．ＳＰ－Ａ375根石



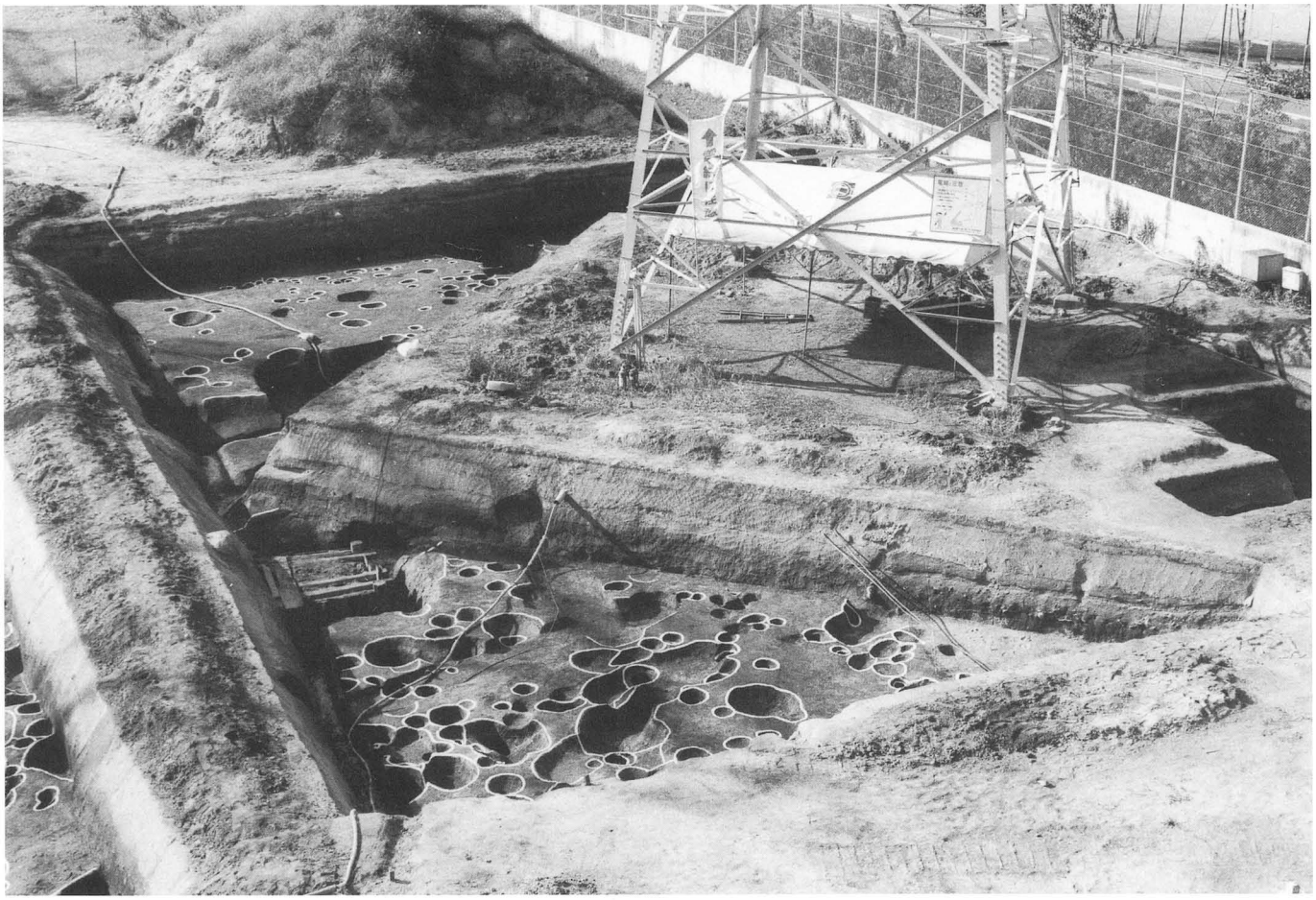
2．ＳＰ－Ｂ324根石



1．第３－ｂ遺構面全景（南より）

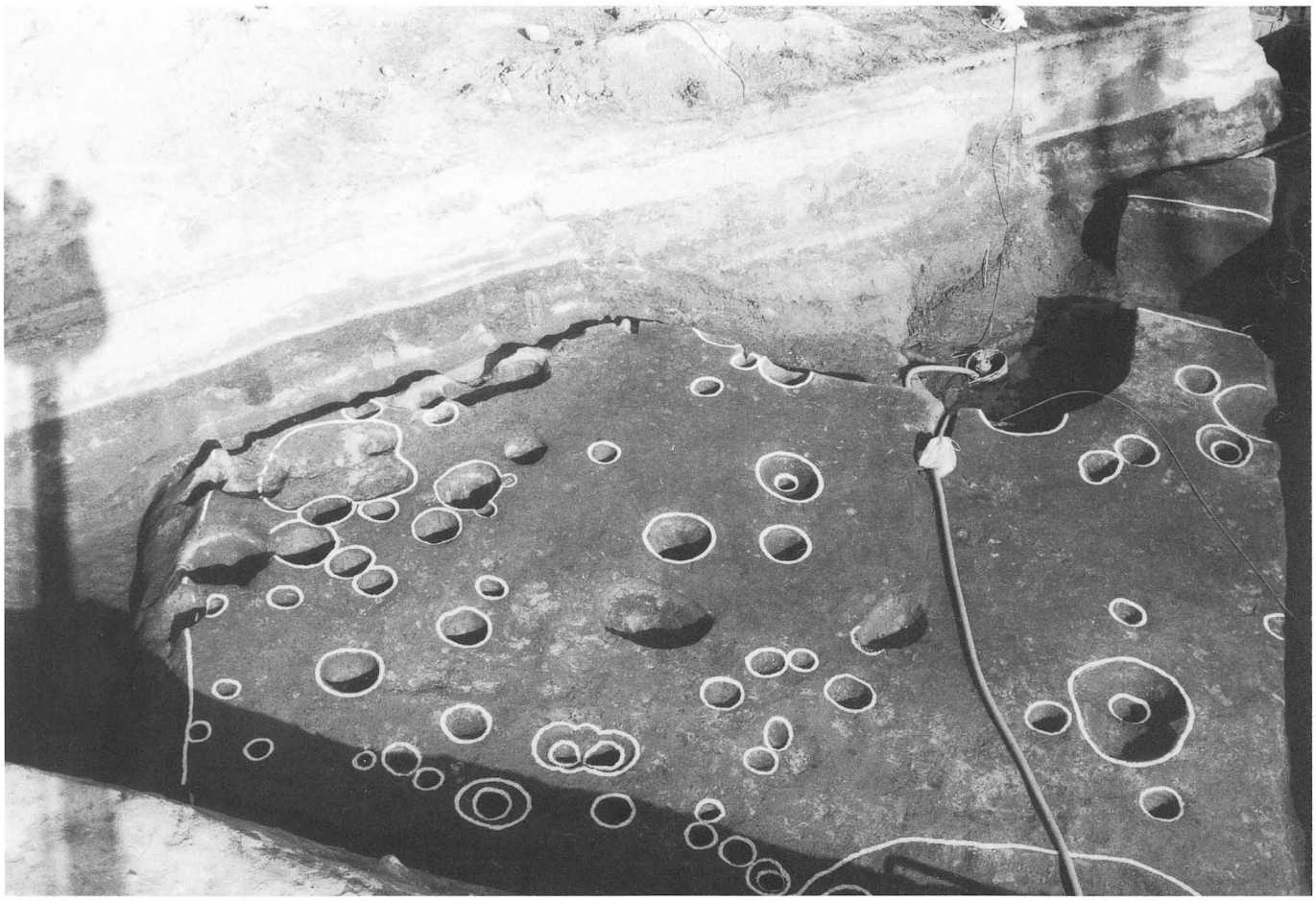


2．第３－ｂ遺構面全景（西より）



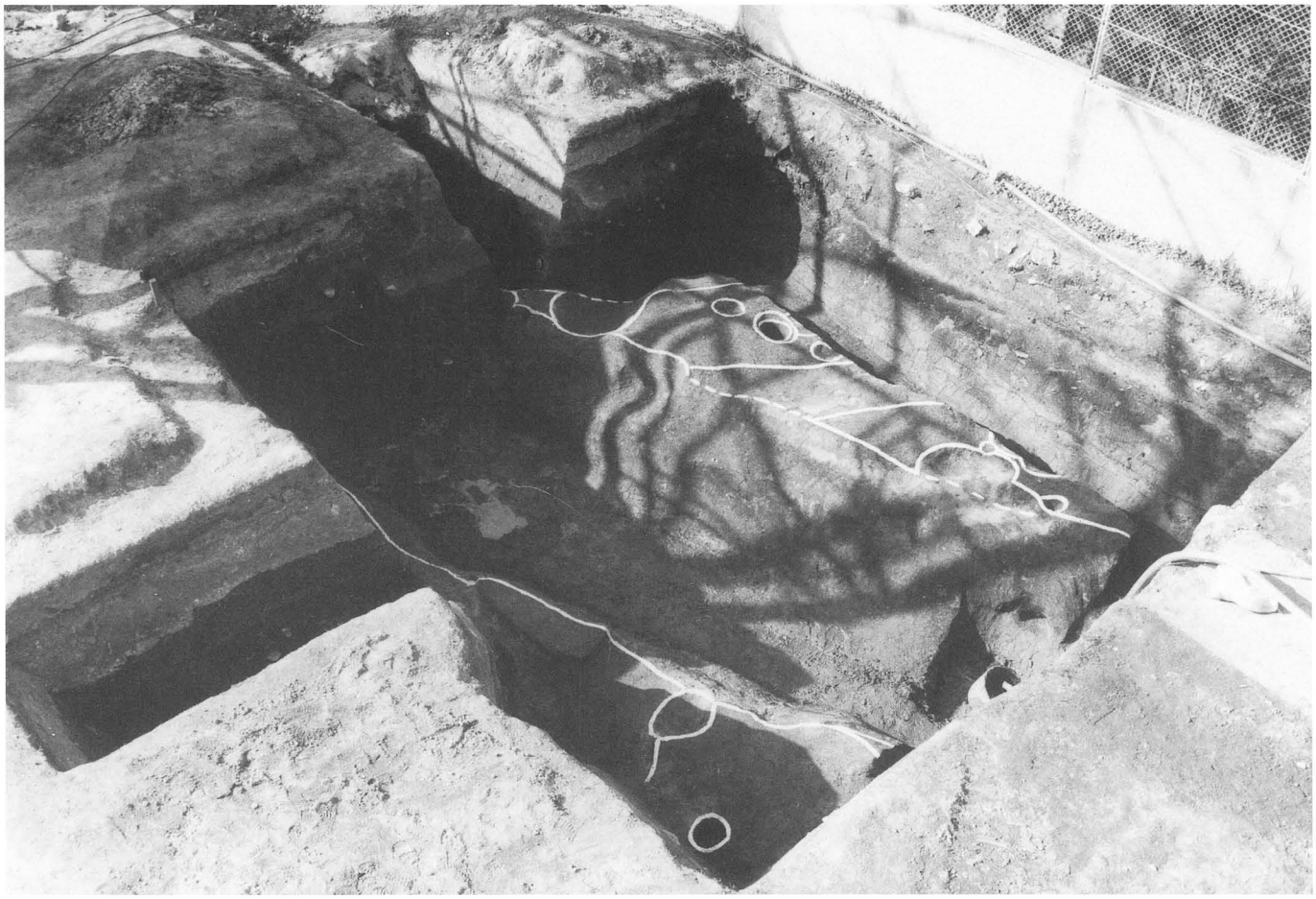
1．第３－ｂ遺構面全景（東より）

2．第３－ｂ遺構面・Ａ区北西部（南西より）

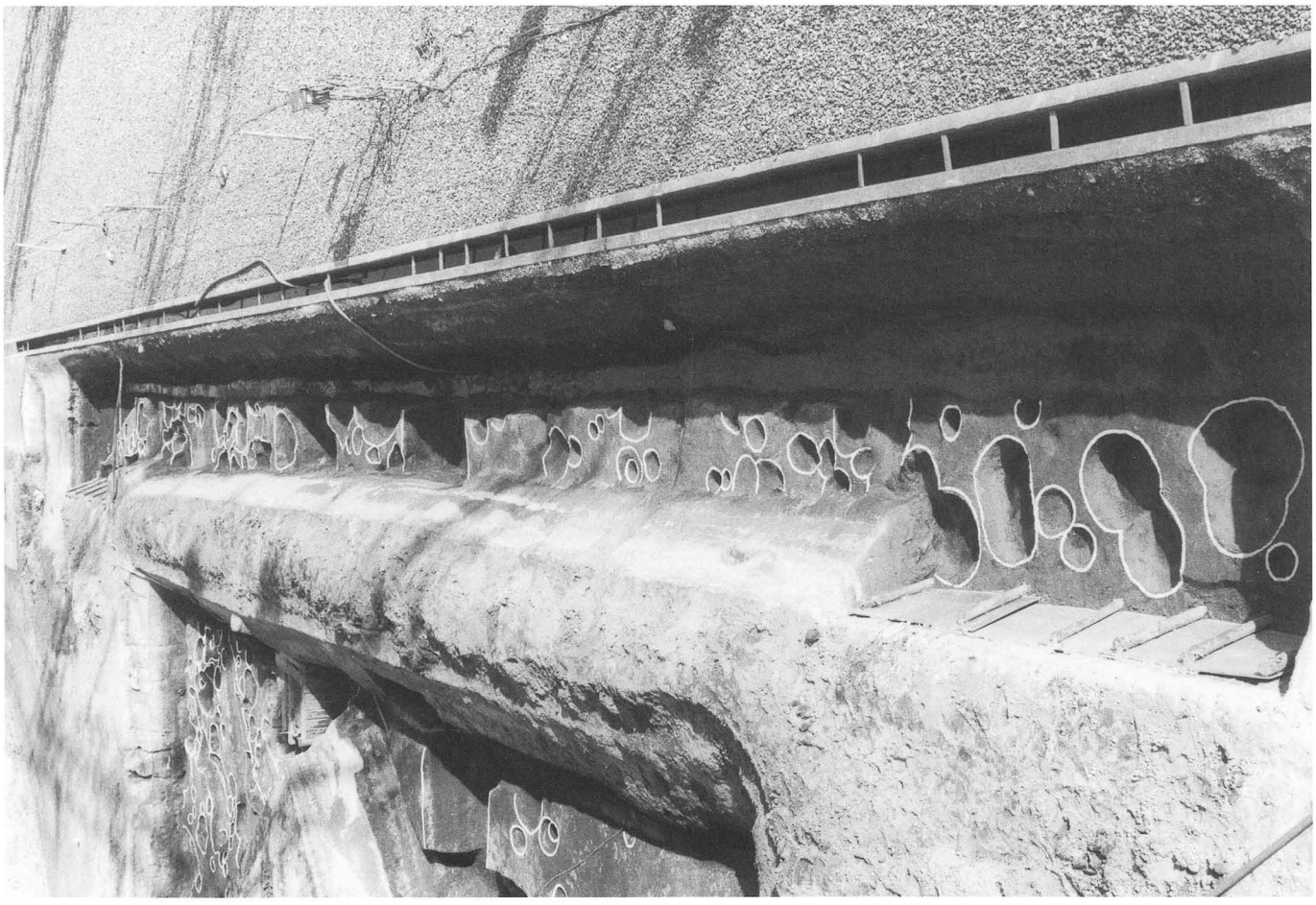


1．第３－ｂ遺構面・Ａ区南西部（西より）

2．第３－ｂ遺構面・Ａ区・Ｃ区（西より）

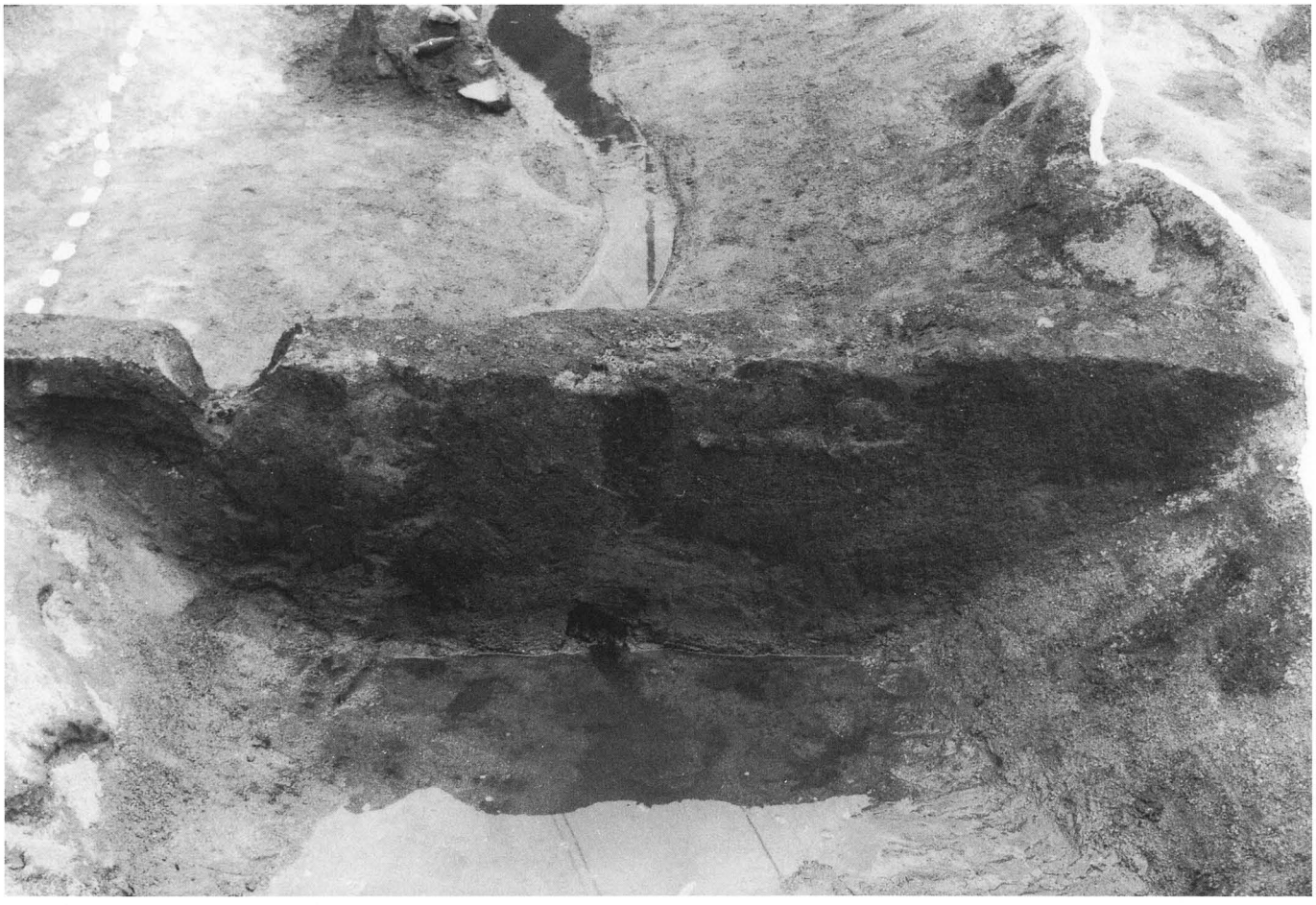


1．第３－ｂ遺構面・Ｂ区（南東より））



2．第３－ｂ遺構面・Ｃ区（西より）

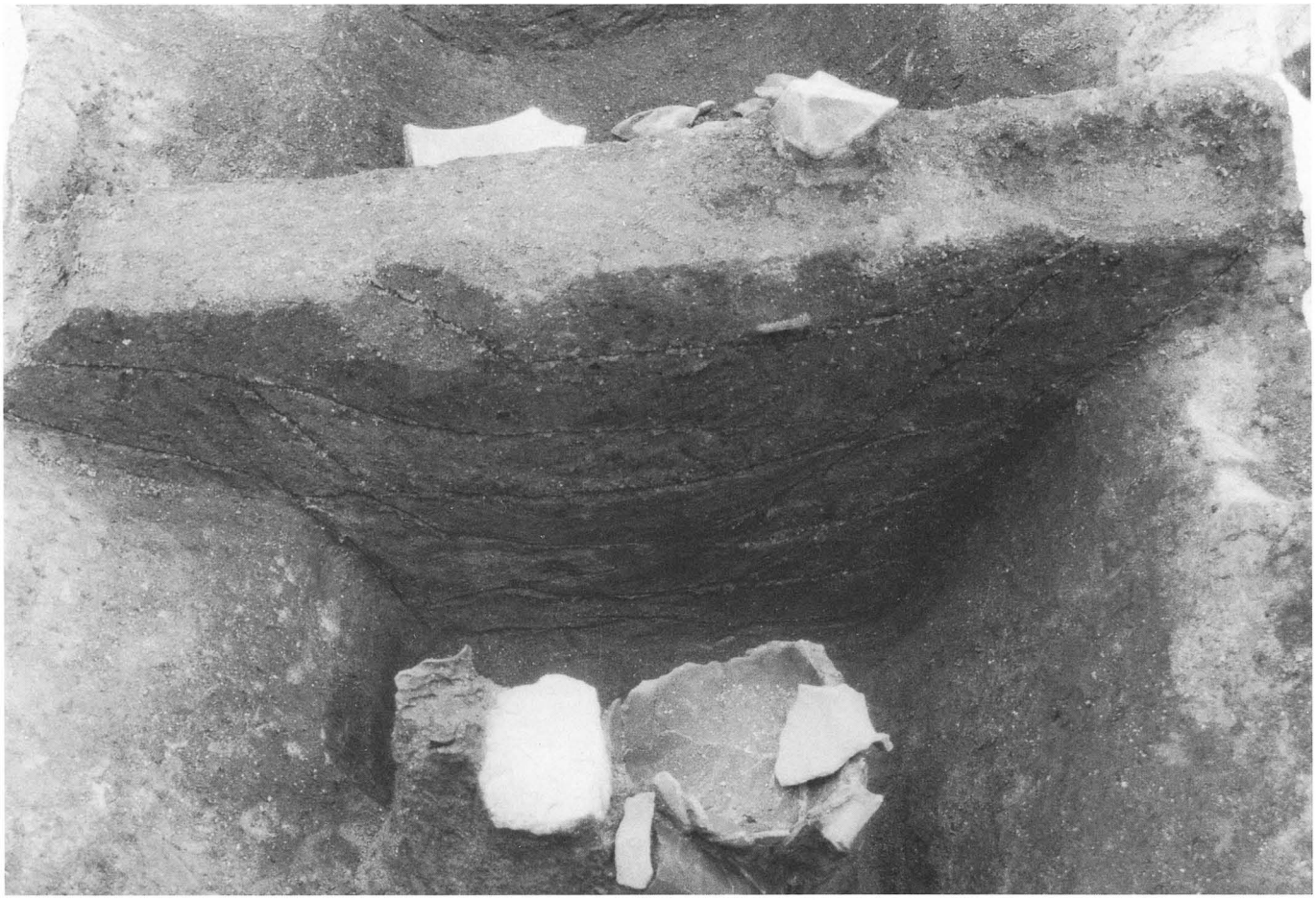
1．ＳＤ－Ａ301（南西より）



1．ＳＤ－Ａ301断面（南西より）

1．ＳＤ－Ａ301遺物出土状況（南より）

2．ＳＤ－Ａ302（南西より）



1．ＳＤ－Ａ302断面（南西より）

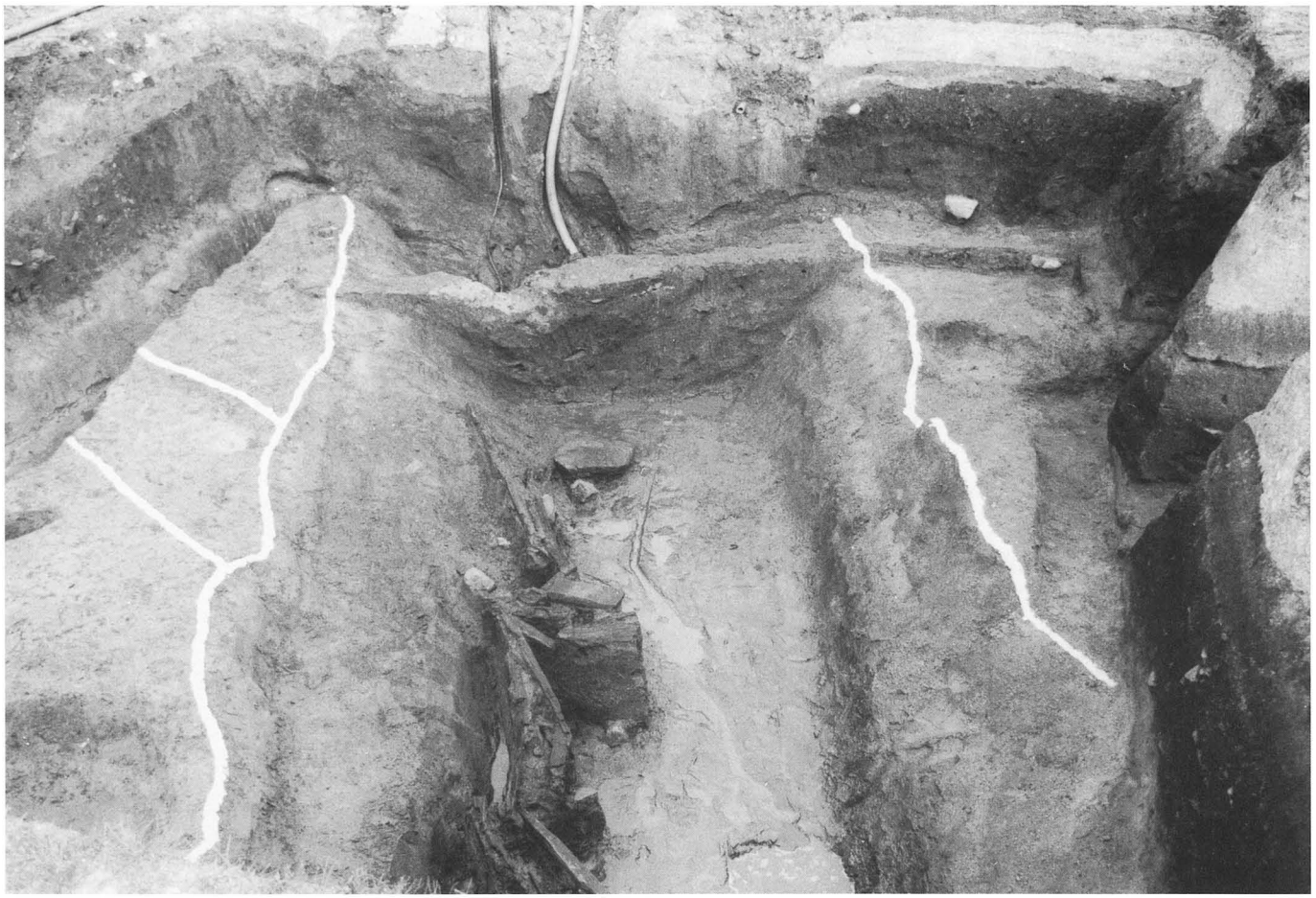
2．ＳＤ－Ａ302遺物出土状況（南西より）

1．ＳＤ－Ａ303（南より）

2．ＳＤ－Ａ303遺物出土状況①（北より）

1．ＳＤ－Ａ303遺物出土状況（北東より）

2．ＳＤ－Ａ304（北より）



1．ＳＤ－Ｂ302（西より）

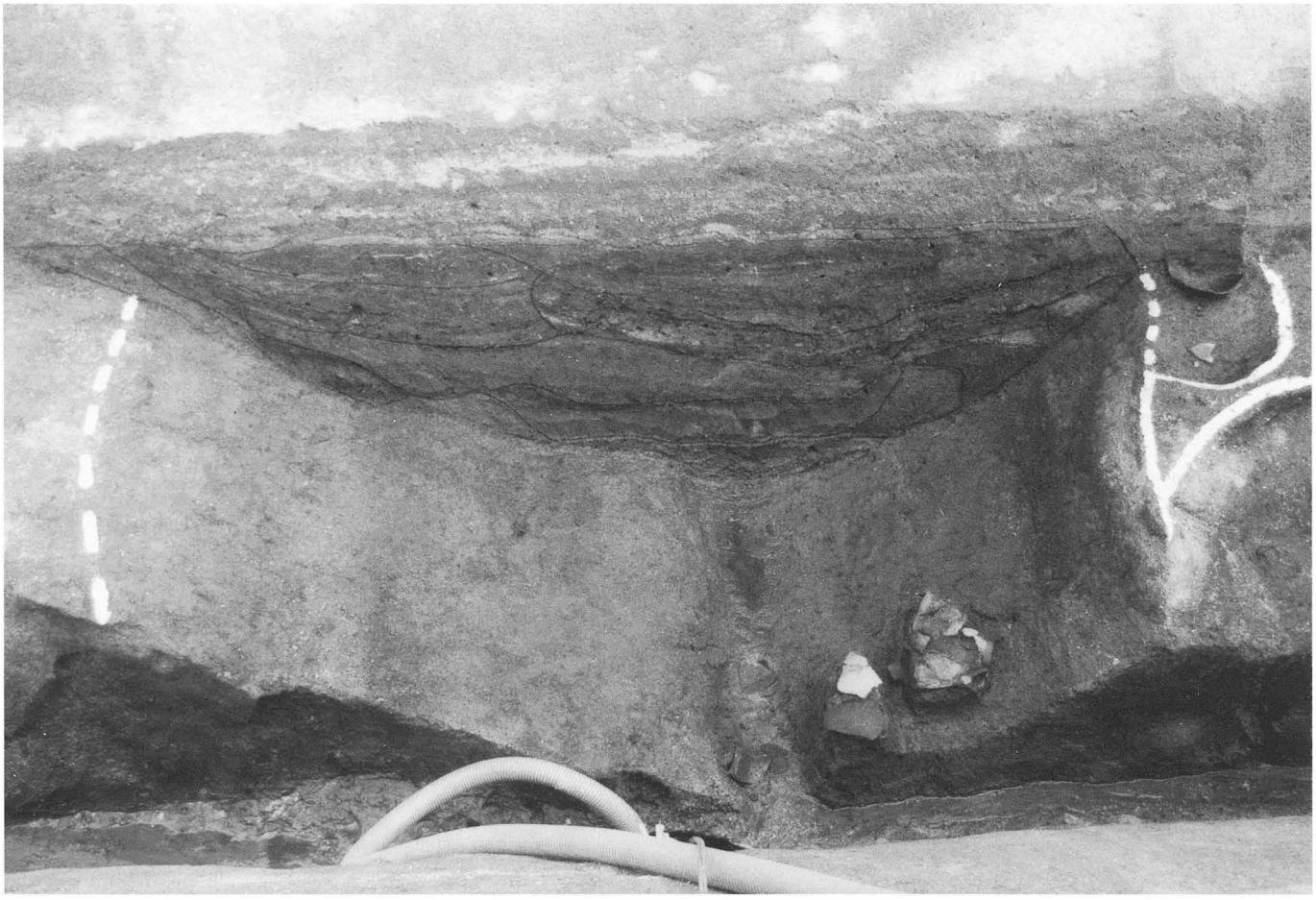
2．ＳＤ－Ｂ302断面（西より）

1．ＳＤ－Ｂ302遺物出土状況（上層）①（東より）

2．ＳＤ－Ｂ302遺物出土状況（上層）②

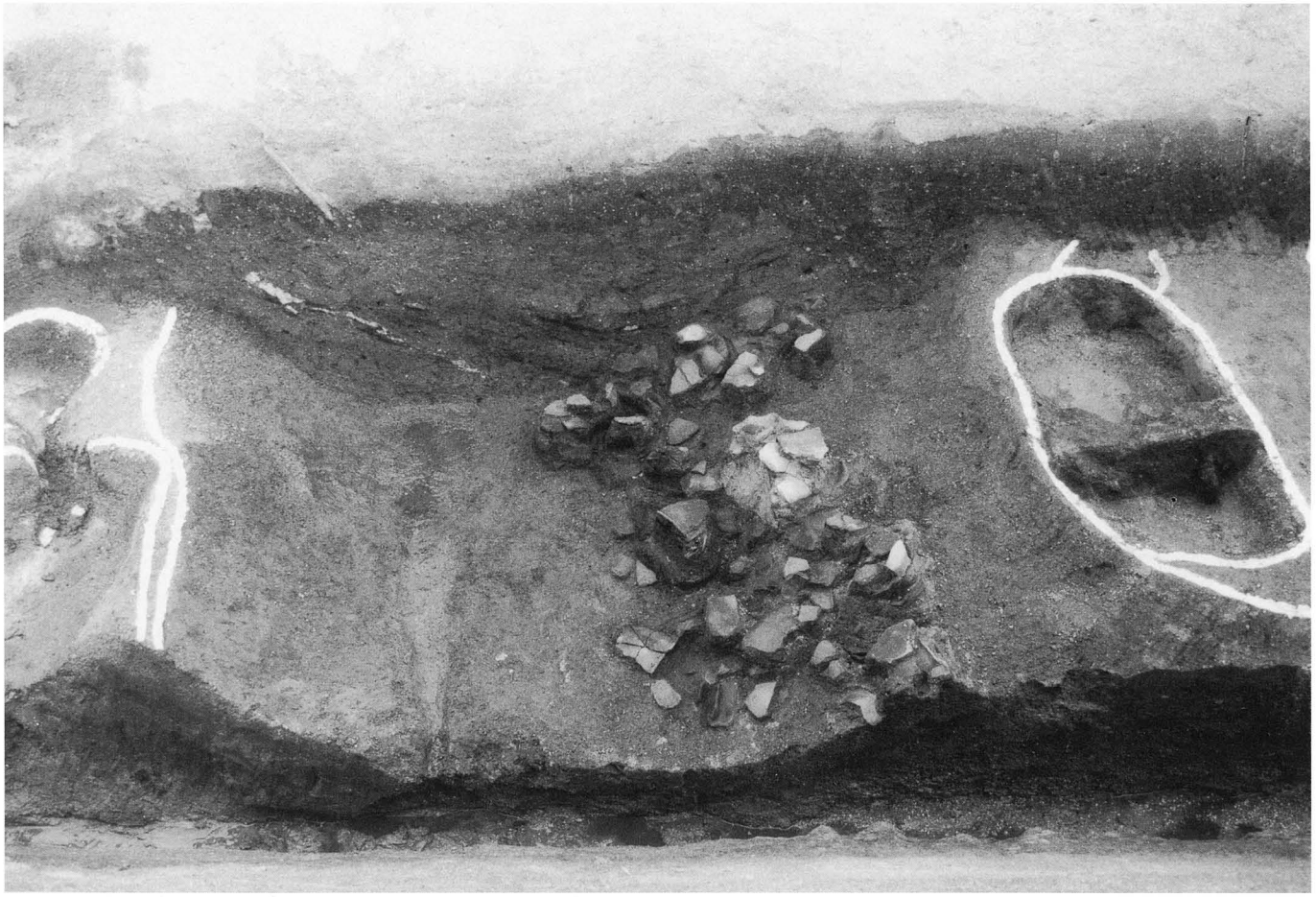
1．ＳＤ－Ｂ302遺物出土状況（下層）①

2．ＳＤ－Ｂ302遺物出土状況（下層）②



1．ＳＤ－Ｃ301（南より）

1．ＳＤ－Ｃ301遺物出土状況（北西より）



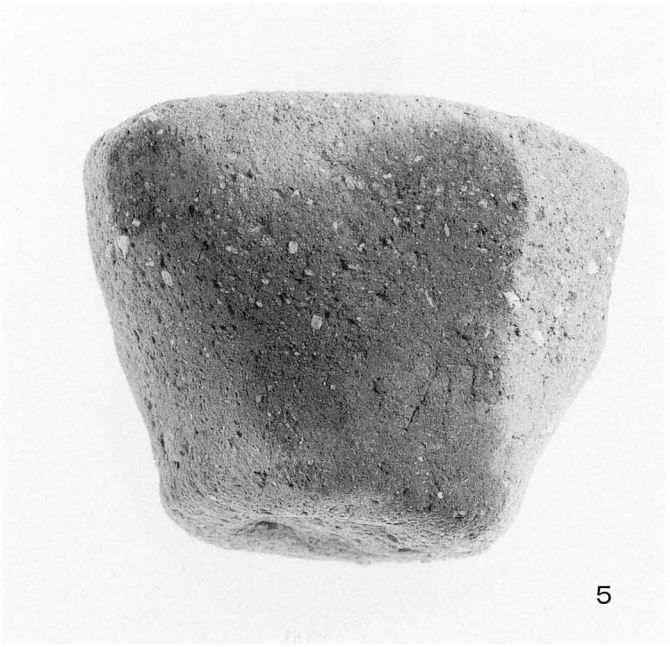
1．ＳＤ－Ｃ302（南より）

2．ＳＤ－Ｃ302遺物出土状況（上層）

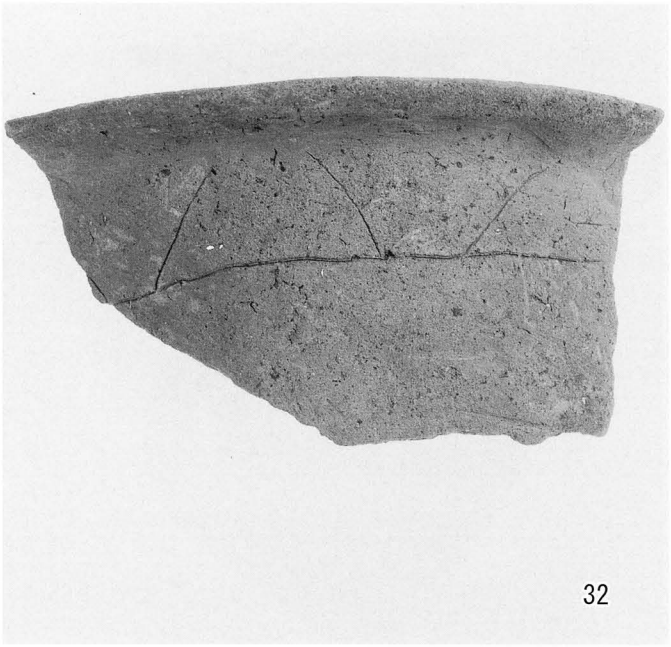
1．ＳＤ－Ｃ302遺物出土状況（下層）①

2．ＳＤ－Ｃ302遺物出土状況（下層）②

図版51　出土遺物(1)

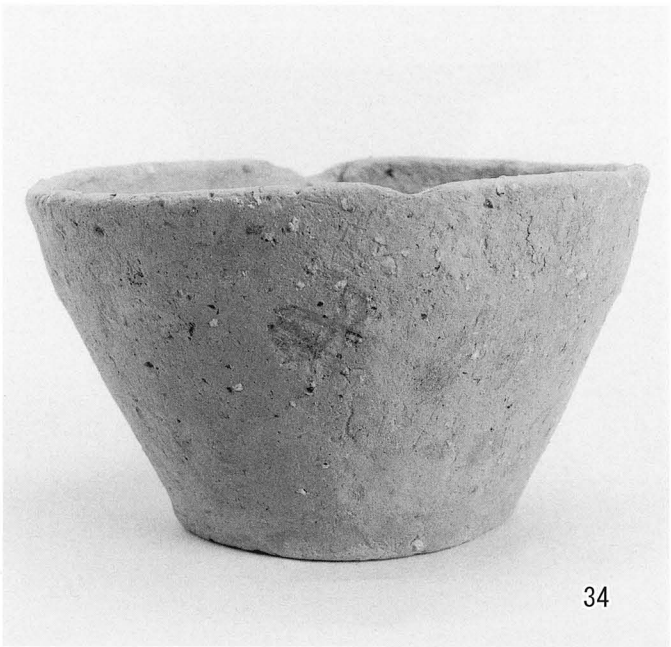


5



32

7

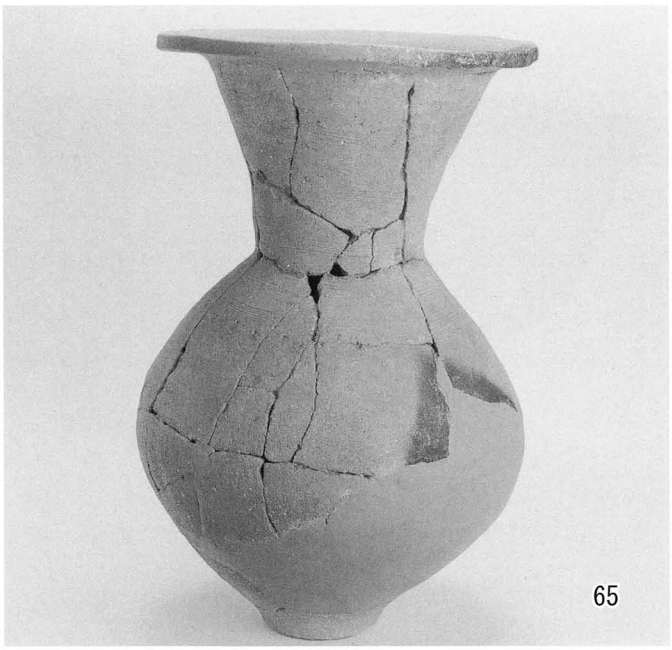


34

8

36

図版52　出土遺物(2)


65

66

67

70

71

72

図版53　出土遺物(3)

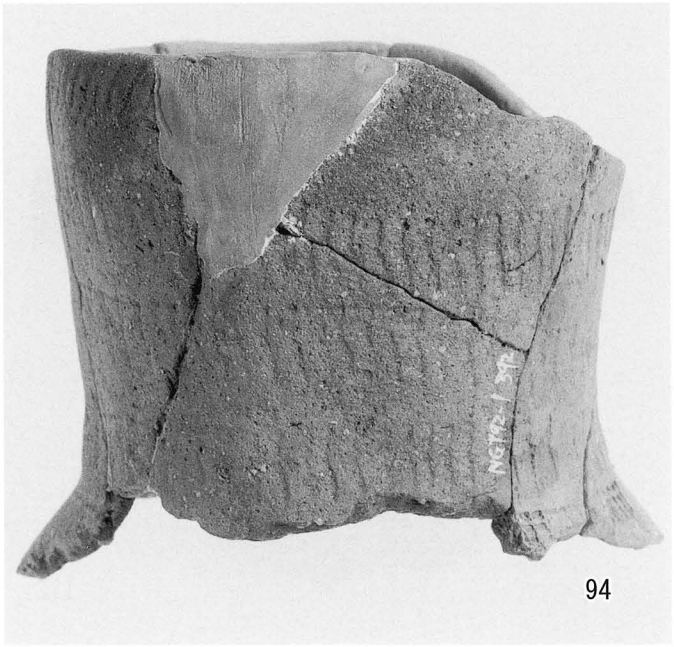
73

90

80

93

89


94

図版54　出土遺物(4)

95

115

111

117

112

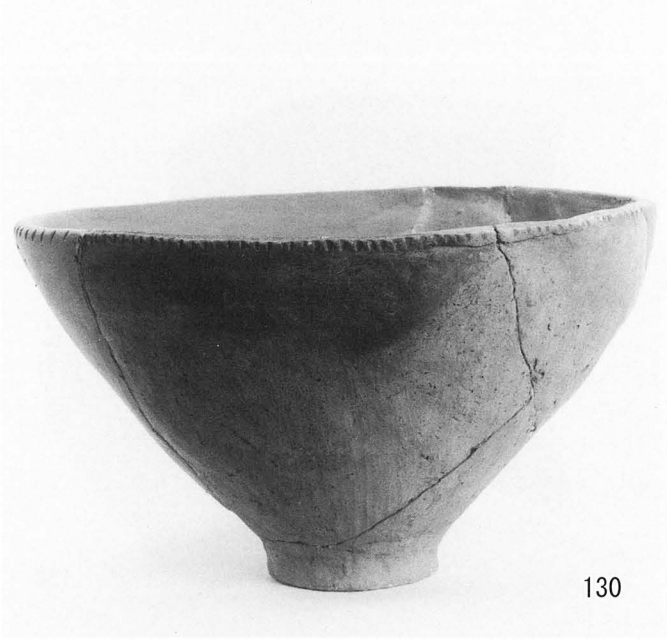
118

図版55　出土遺物(5)

119

129

120


130

122

133

図版56　出土遺物(6)

137

152

138

153

139

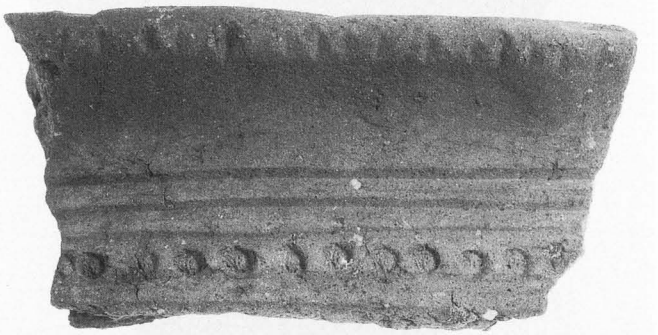
162

図版57　出土遺物(7)

163

176

166



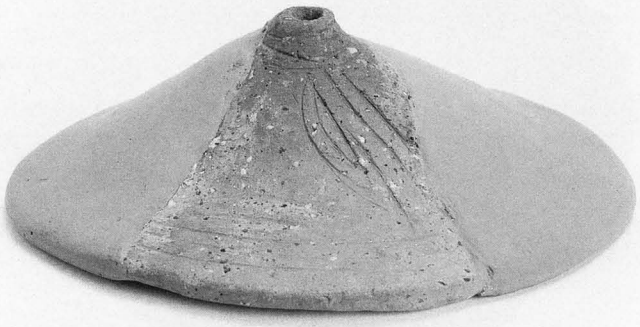
194

175

198

図版58　出土遺物(8)

206



237

217

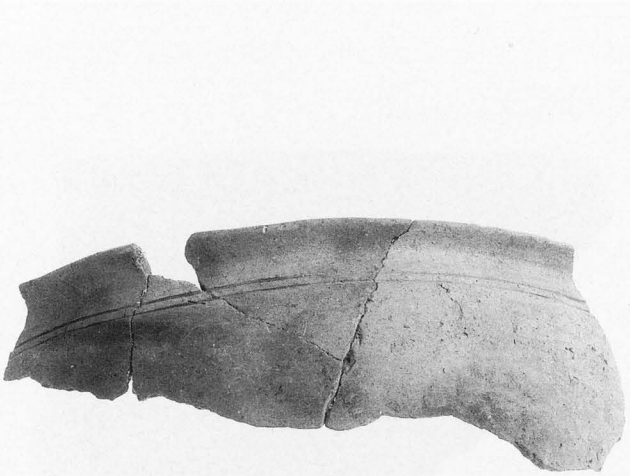
243

227

244

図版59　出土遺物(9)

245



255

249

259

254

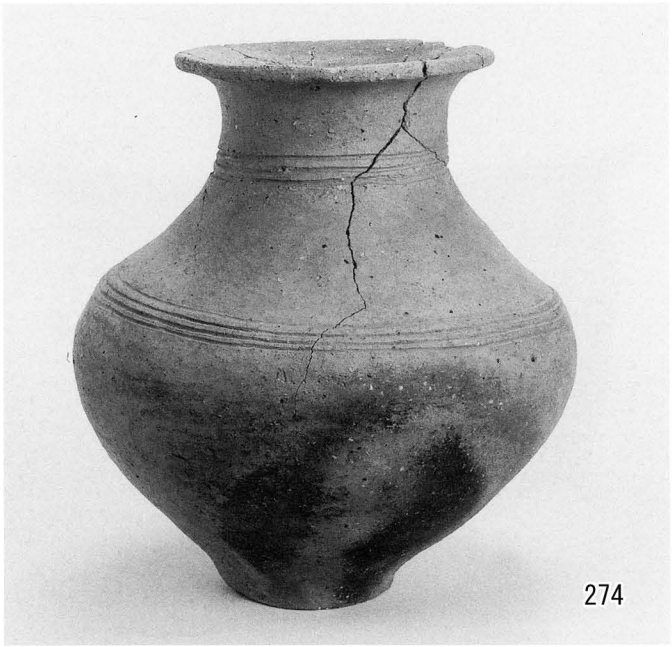
260

図版60　出土遺物(10)

264

272

268



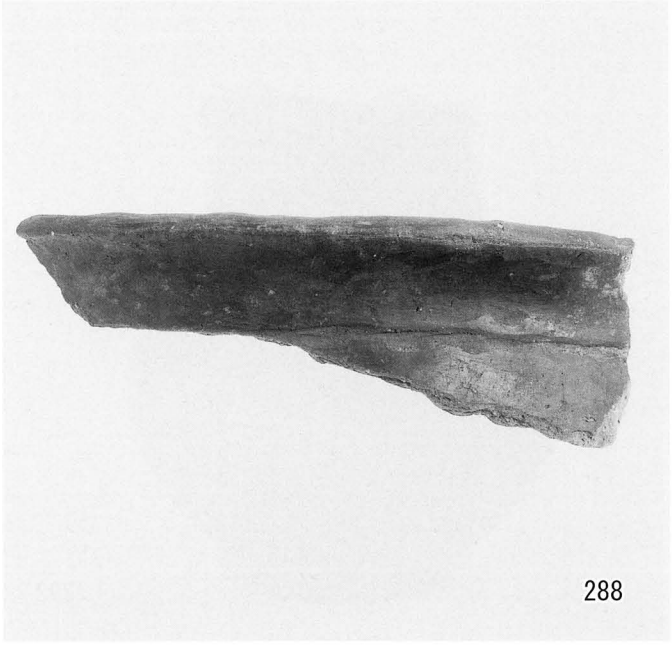
274

270

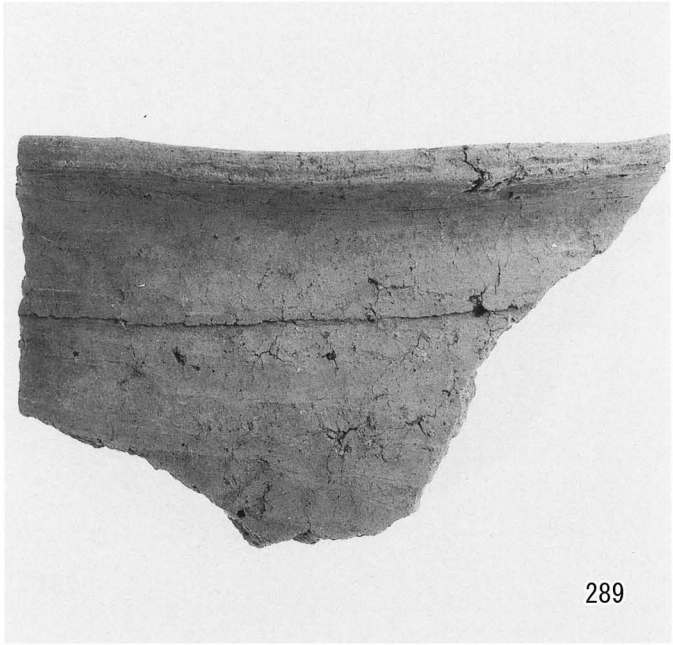
277

図版61　出土遺物(11)

278


288

280


289

283

291

図版62　出土遺物(12)

292

302

294

303

295

310

図版63　出土遺物(13)

312

319

314

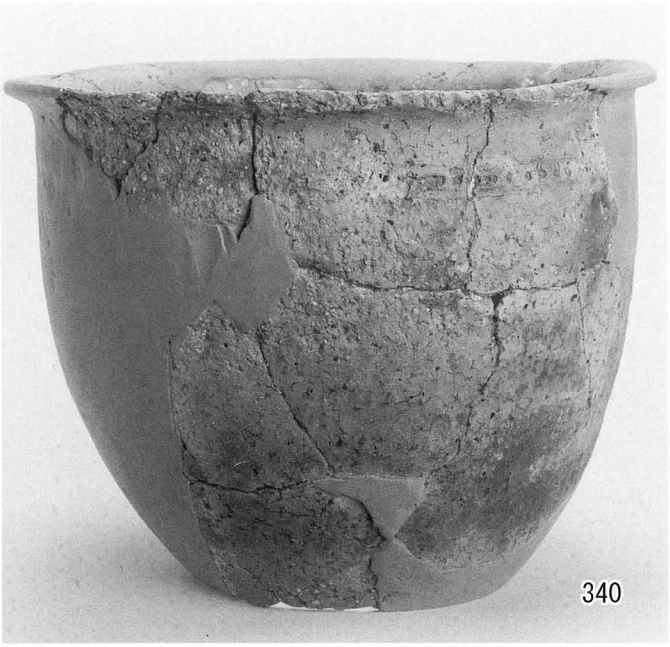
320

318

331

図版64　出土遺物(14)

334


340

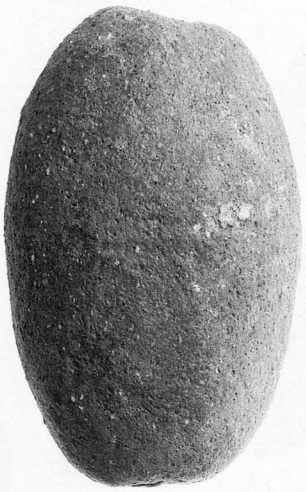
337

350

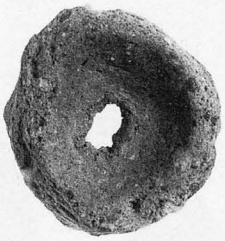
338

351

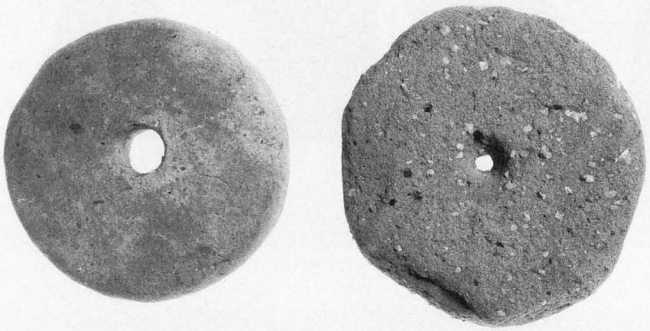
図版65　出土遺物(15)



2

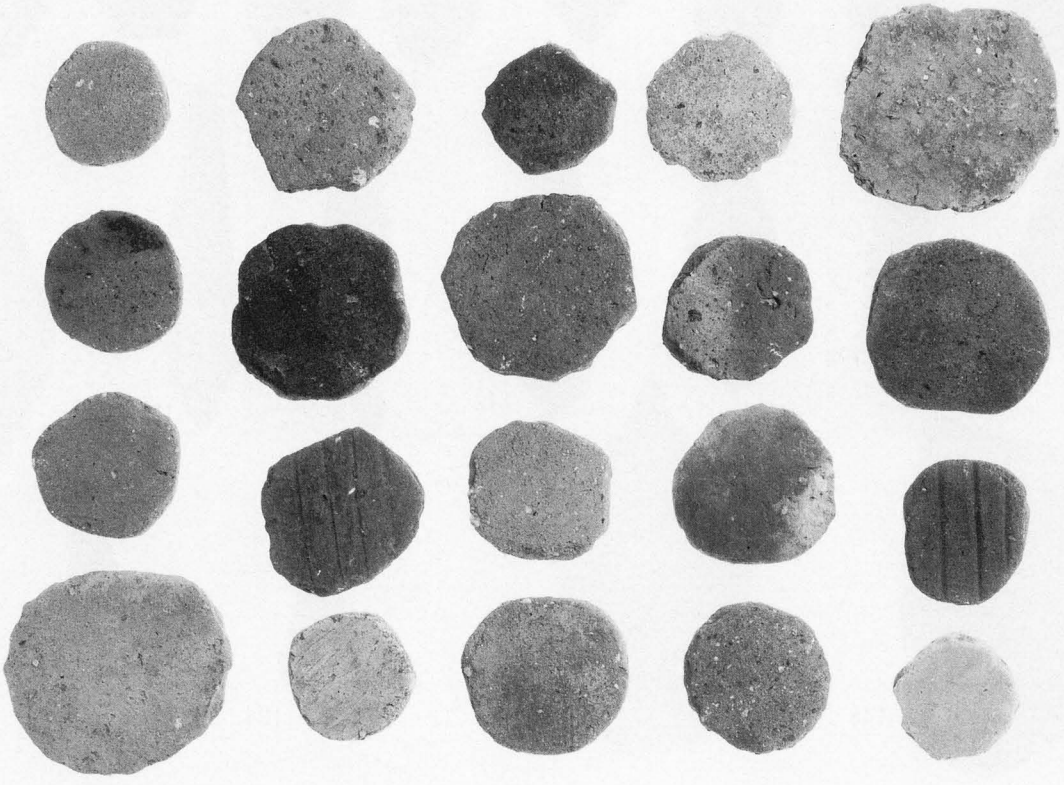


4

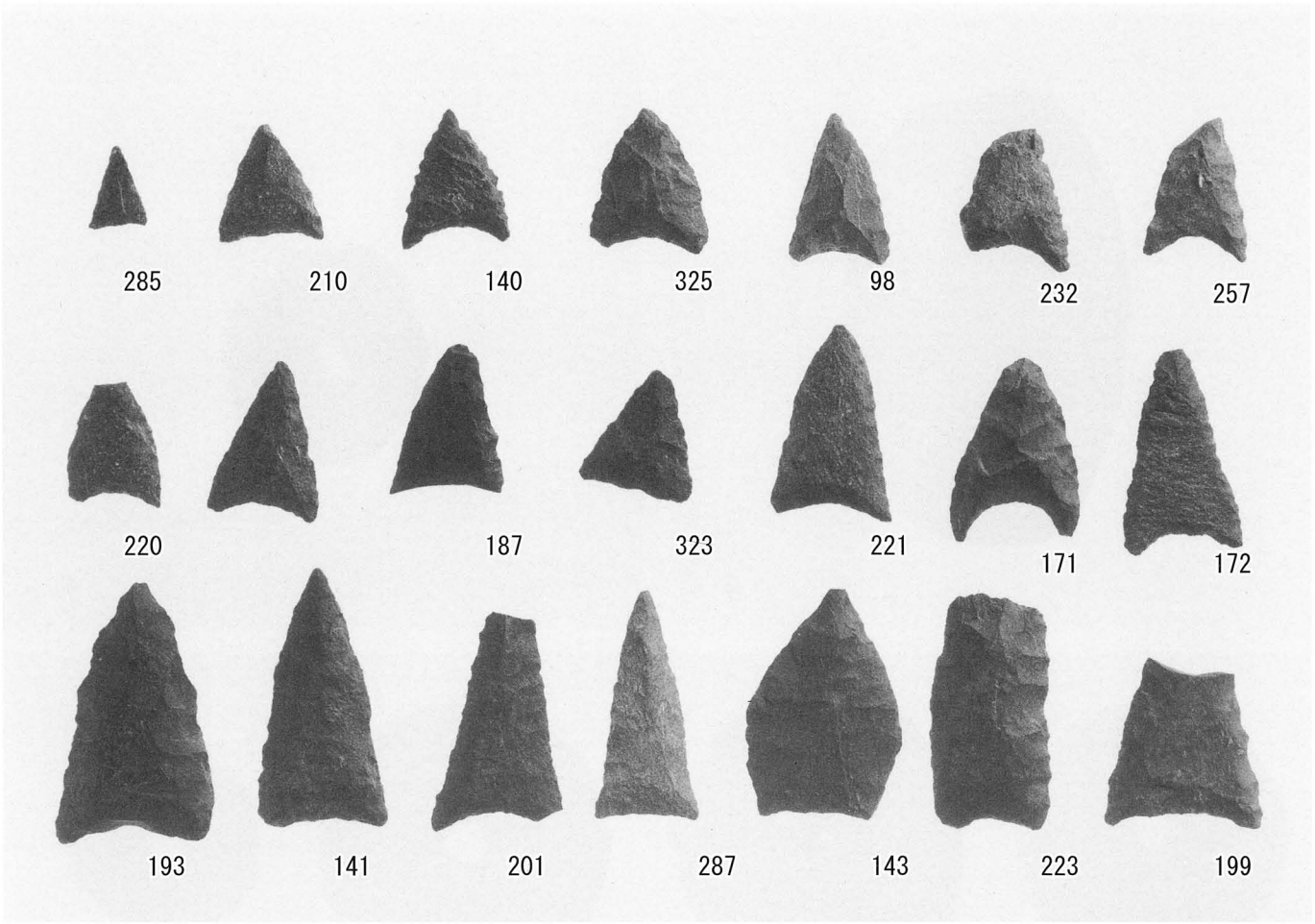


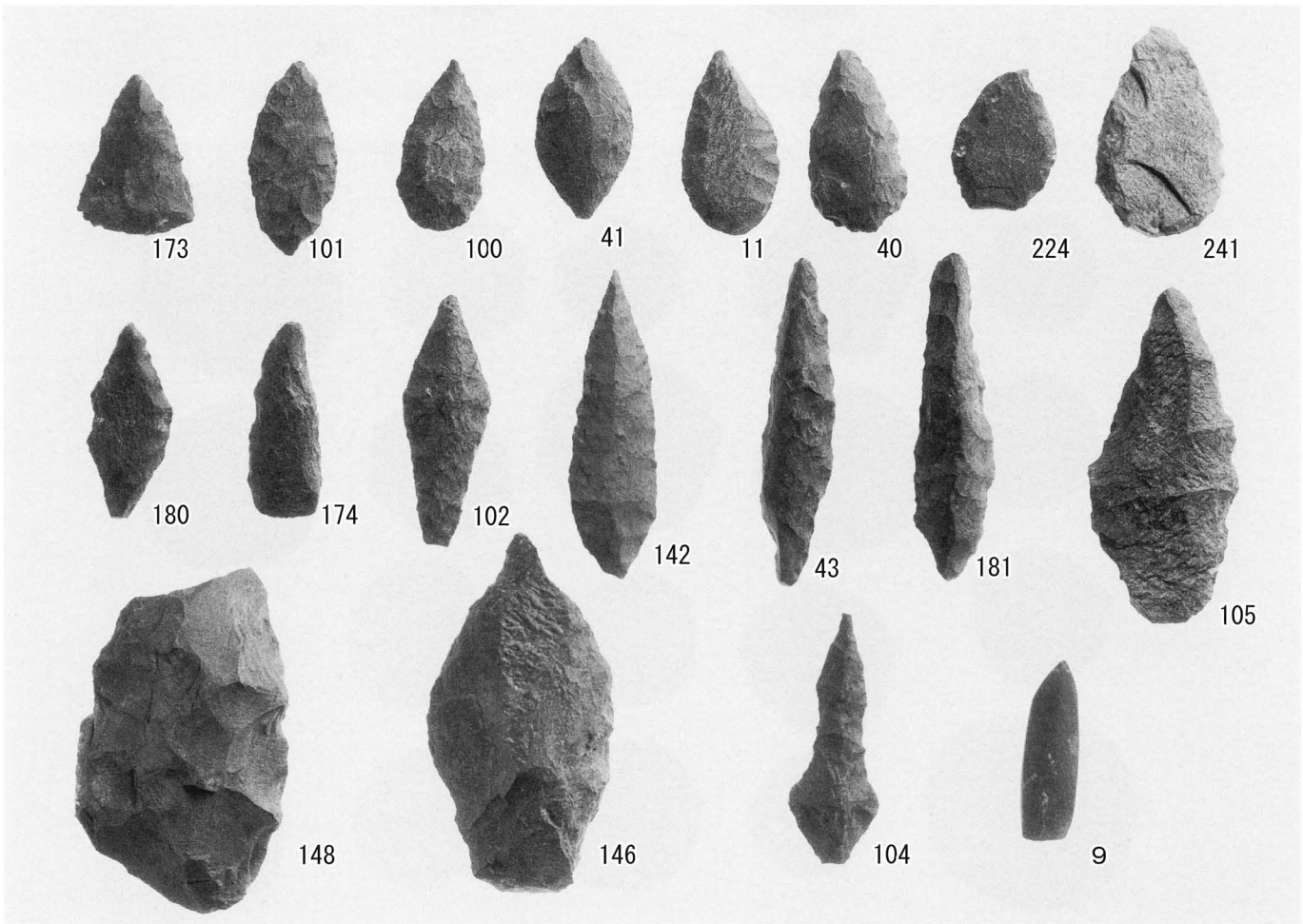
321

158　230

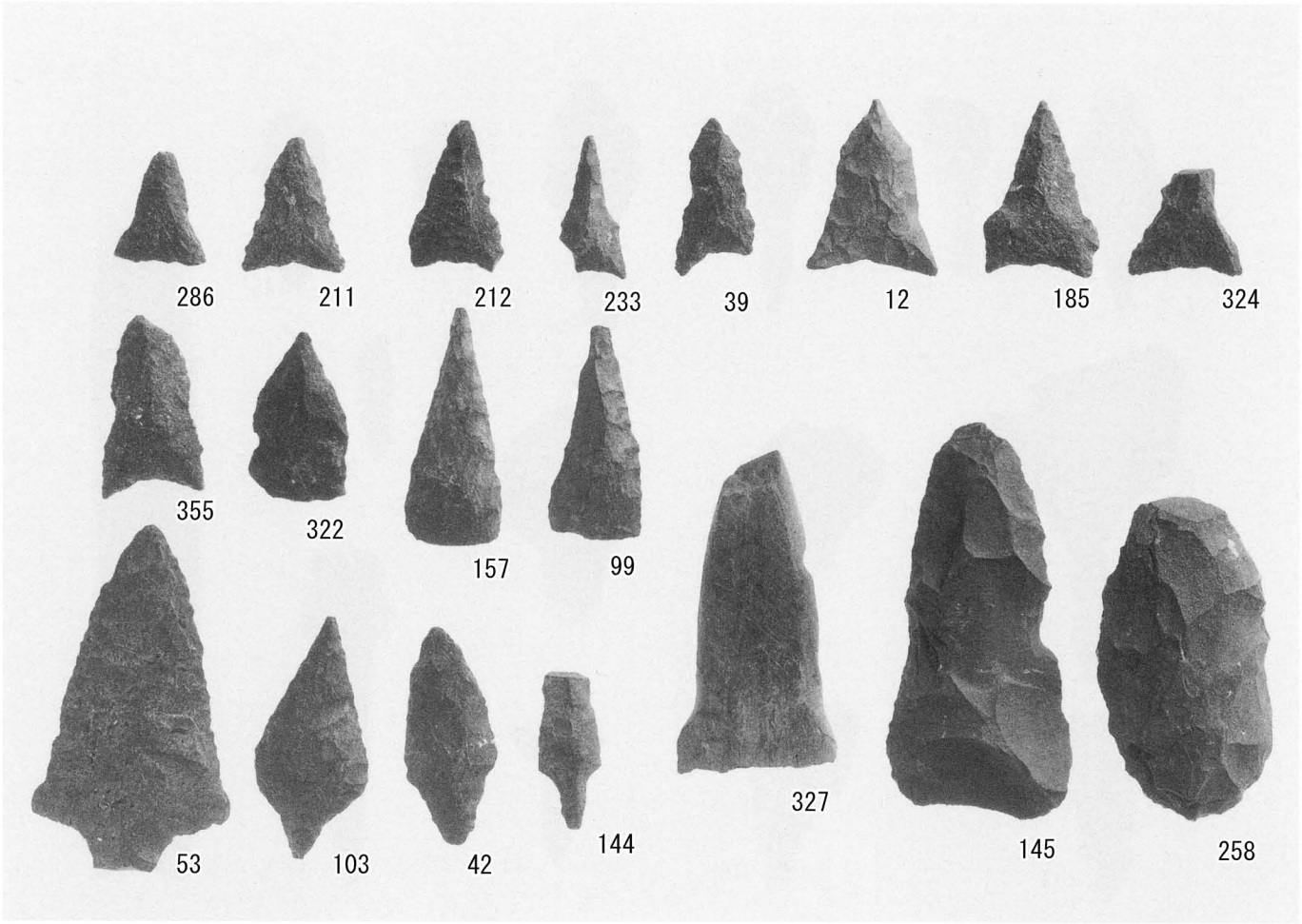


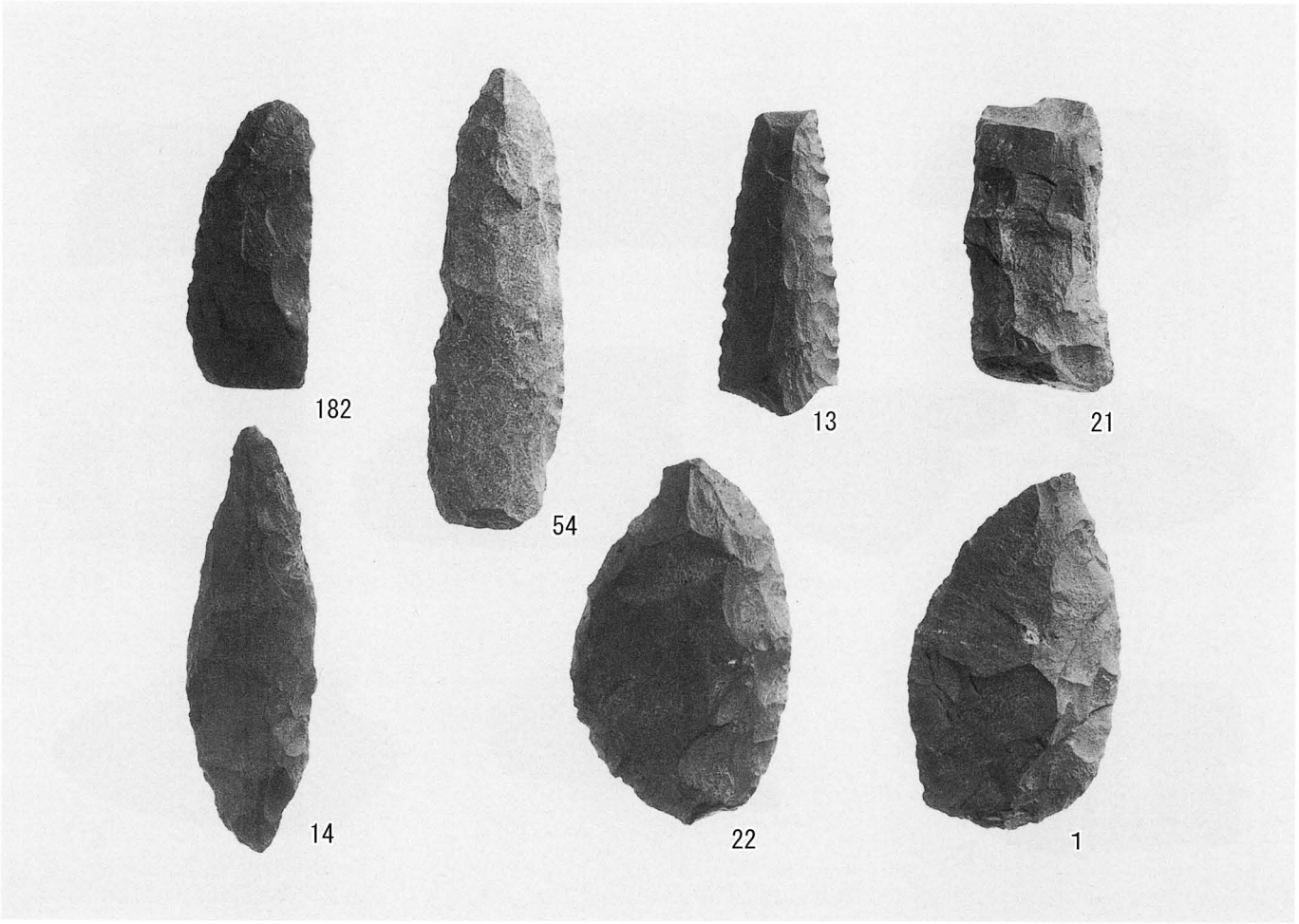
図版66　出土遺物(16)


285
210
140
325
98
232
257
220
187
323
221
171
172
193
141
201
287
143
223
199

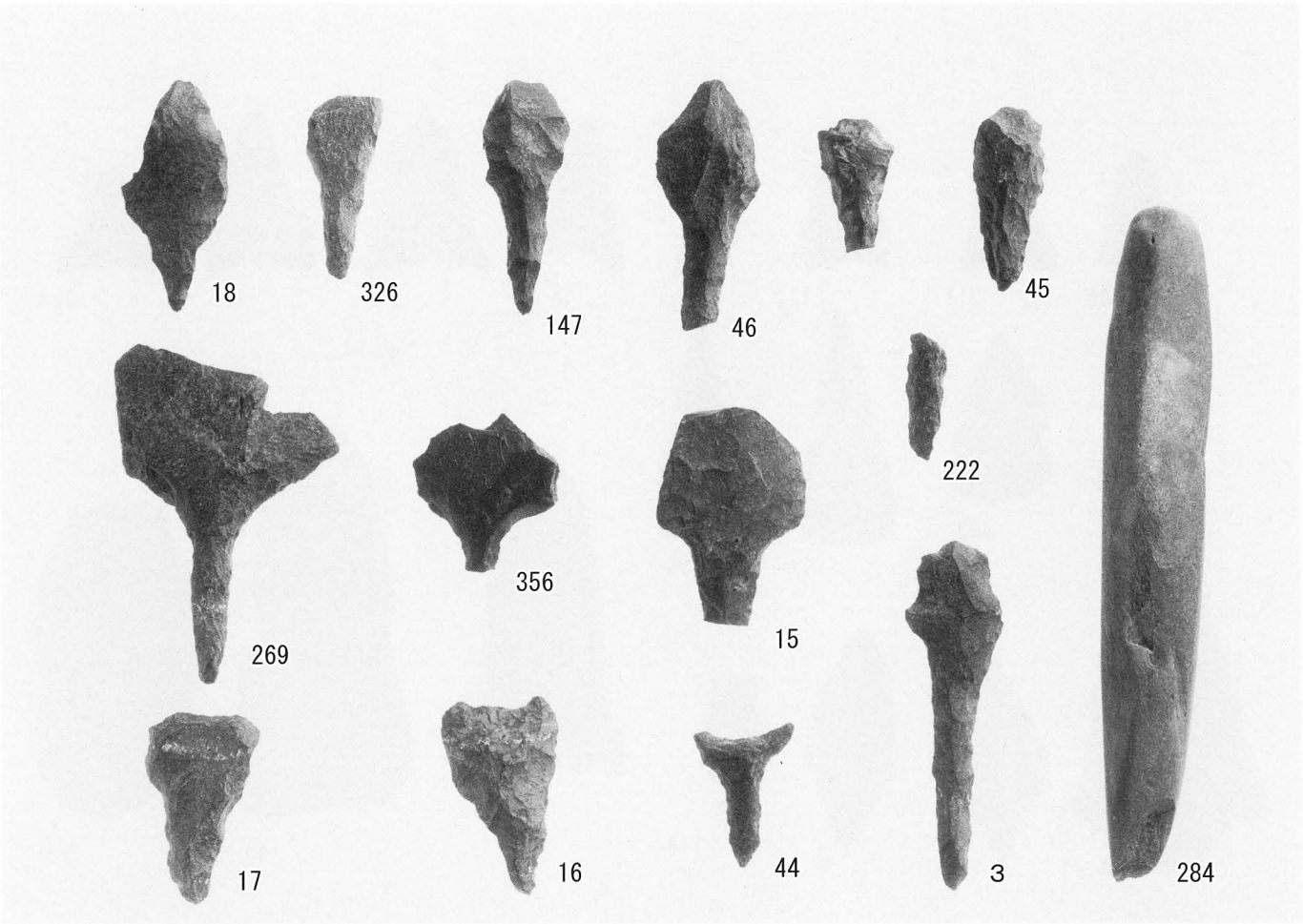

173
101
100
41
11
40
224
241
180
174
102
142
43
181
105
148
146
104
9

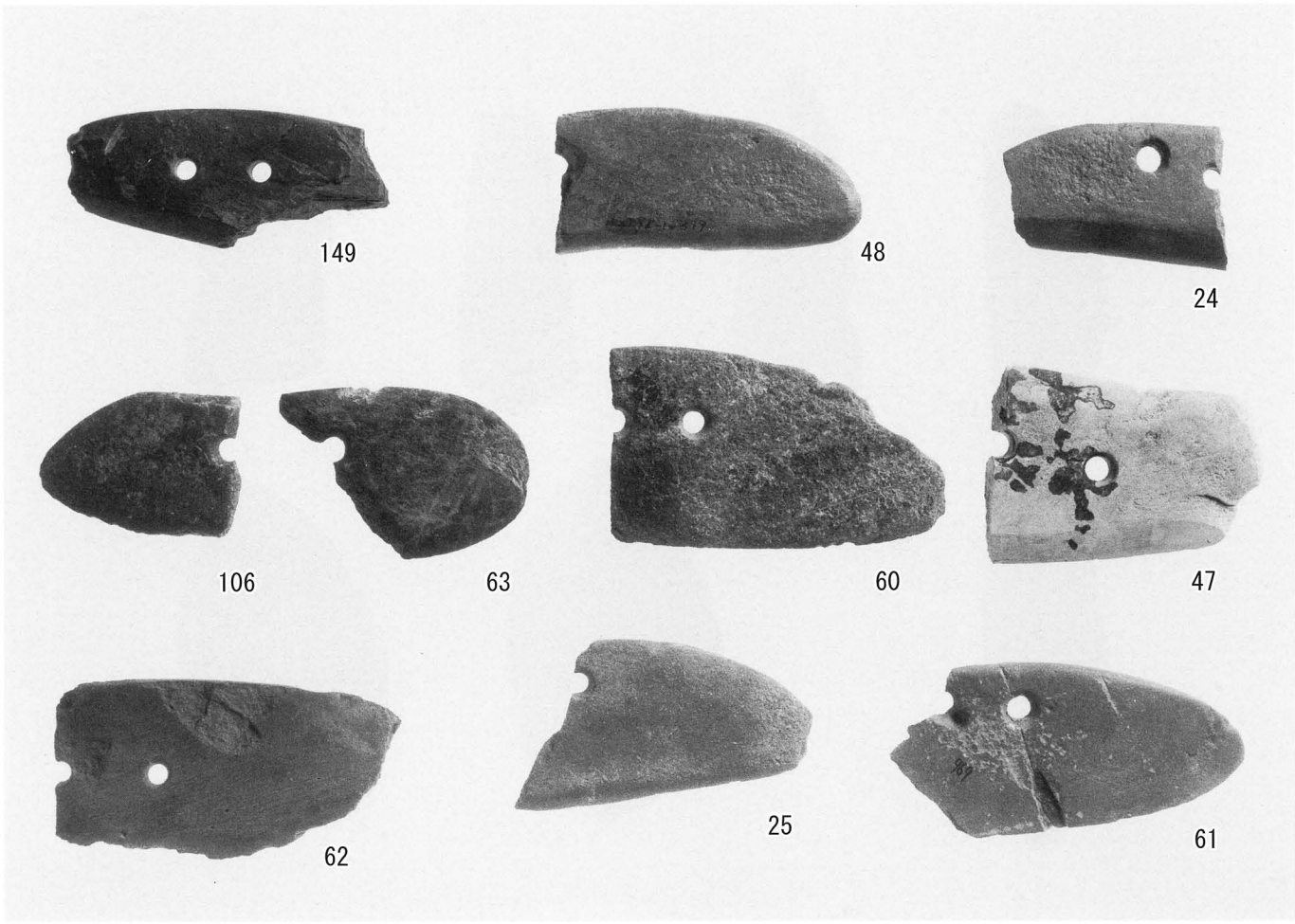
図版67　出土遺物(17)


286
211
212
233
39
12
185
324
355
322
157
99
53
103
42
144
327
145
258

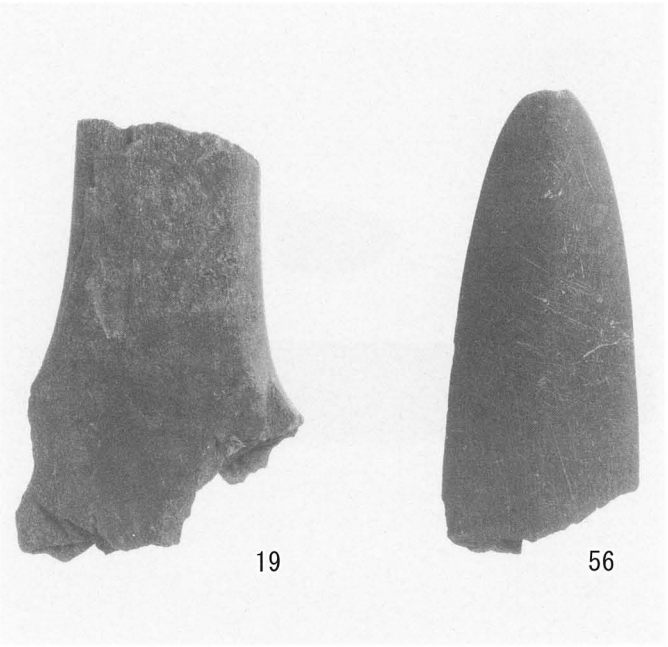

182
54
13
21
14
22
1

図版68　出土遺物(18)

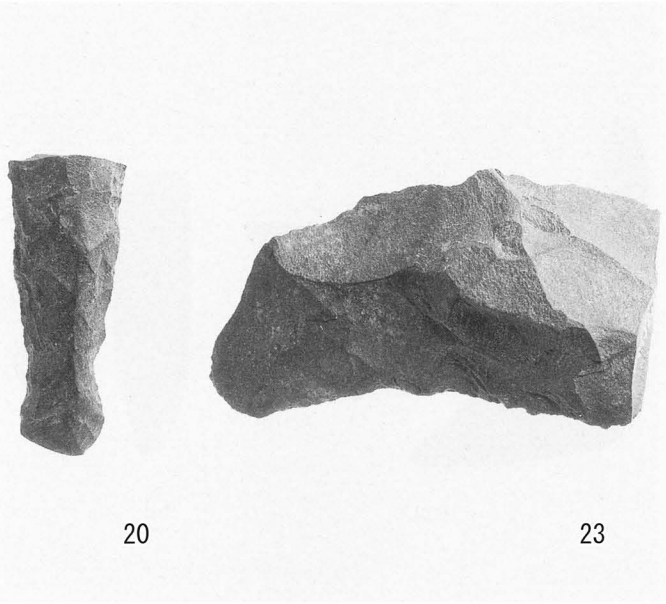

18
326
147
46
45
269
356
15
222
17
16
44
3
284


149
48
24
106
63
60
47
62
25
61

図版69　出土遺物(19)



19　56



20　23

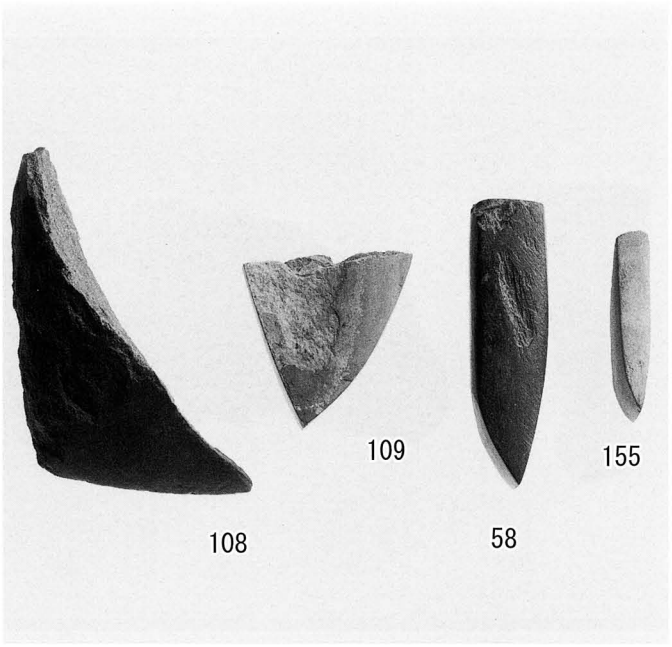
327

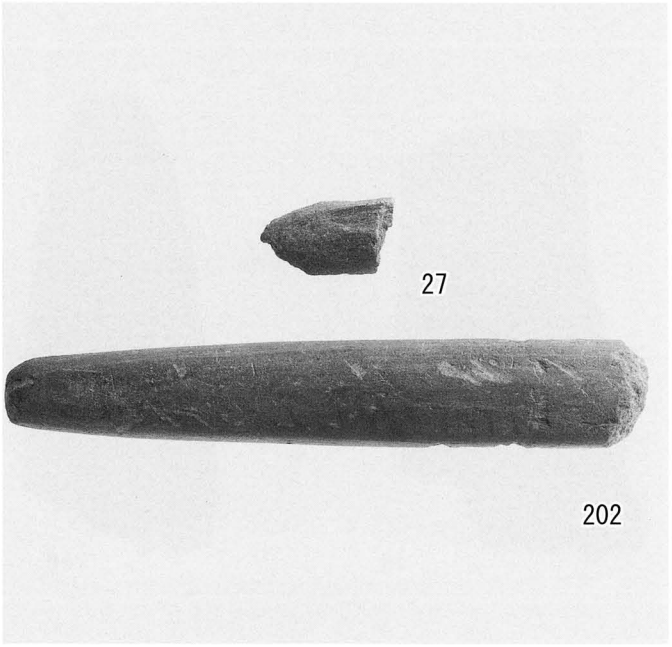
64

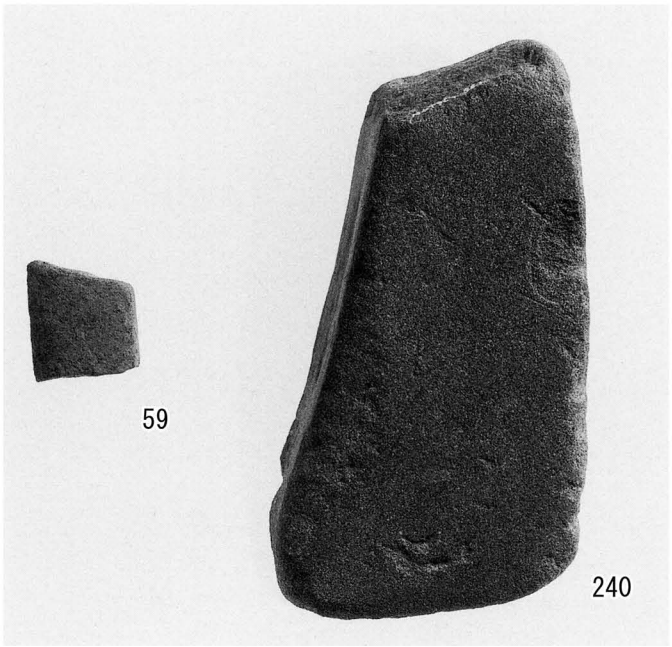
9

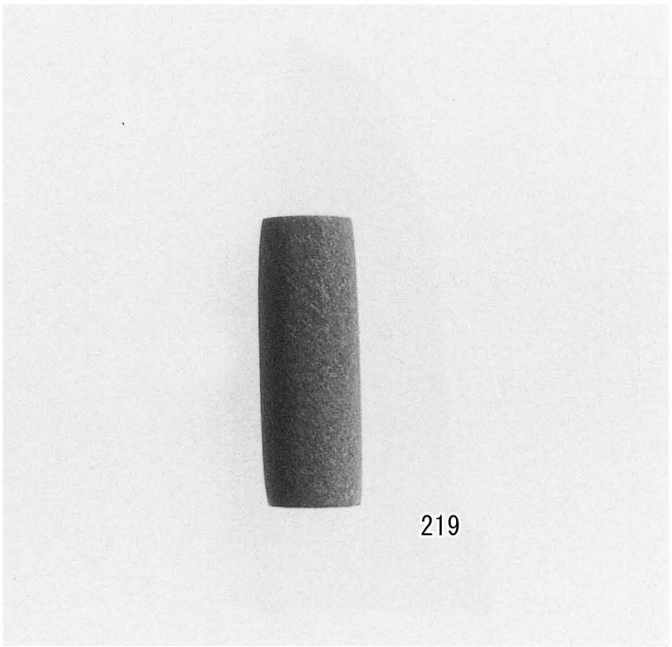
64'

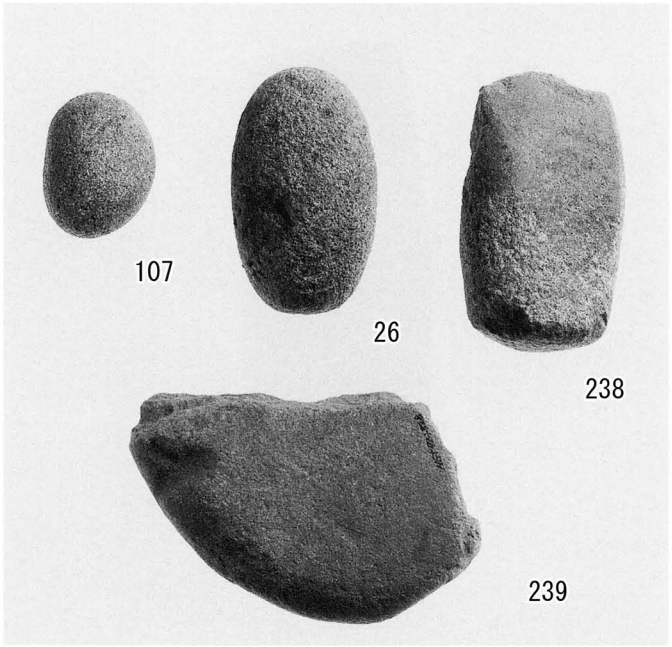
図版70　出土遺物(20)

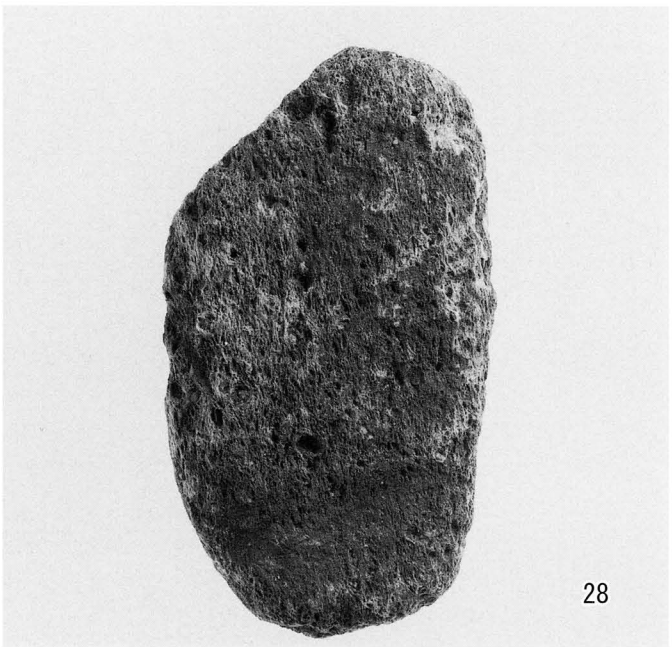












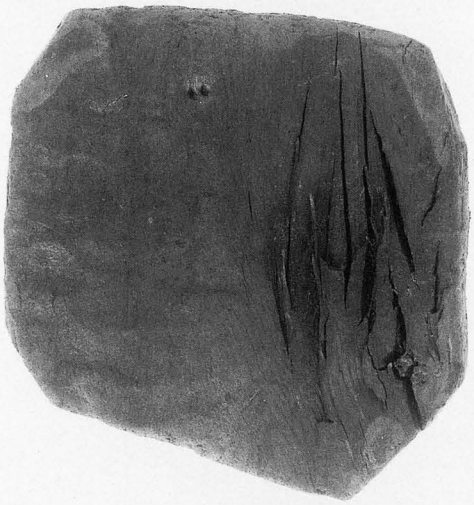
図版71　出土遺物(21)

328

SP－A215

329

SP－A271



330

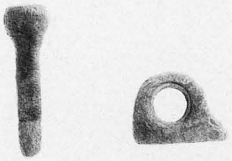
SP－A371

図版72　出土遺物(22)

B626

B627

B626'



B127　　B128

B479

B239

報告書抄録

ふりがな	なかがいといせき
書名	中垣内遺跡
副書名	関西電力株式会社架空送電線鉄塔（No.24）建替え等に伴う発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	大東市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第20集
編著者名	中達健一・阿部みき子・高志こころ
編集機関	大東市教育委員会
所在地	〒574－8555　大阪府大東市谷川1－1－1　　TEL　072－872－2181
発行年月日	2004年（平成16年）3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
なかがいといせき 中垣内遺跡	おおさかふだいとうし 大阪府大東市 なかがいと 中垣内	27218	4	34° 42′ 15″	135° 38′ 50″	1992年6月22日 ～ 1992年10月30日	鉄塔拡幅部分 373.45㎡ 地中配電線移設部分 302.63㎡ 合計　676.08㎡	送電線鉄塔建替え、及び地中配電線移設に伴う

ふりがな 所収遺跡名	種別	主な時期	主な遺構	主な遺物	特記事項
なかがいといせき 中垣内遺跡	集落	弥生時代前期	溝、土坑、ピット	土器 土製品 石製品 柱材 骨角製品・獣骨	
		弥生時代中期	溝、土坑、ピット	土器 土製品 石製品 柱材 骨角製品・獣骨	
		中世以降	鋤溝、土坑、ピット	土師器 須恵器 瓦器 瓦質土器	

印刷物番号
１５－５１

大東市埋蔵文化財調査報告第20集

中　垣　内　遺　跡

－関西電力株式会社架空送電線鉄塔（No. 24）建替え等に伴う発掘調査報告書－

2004年3月31日発行

編集・発行　大東市教育委員会

〒574 - 8555　大東市谷川１丁目１番１号

TEL. 072 - 872 - 2181

印刷・製本　西村印刷株式会社

〒534 - 0021　大阪市都島区都島本通５丁目１５番３号

TEL. 06 - 6925 - 6555